取扱説明書

FOMA® N905iμ

’08.2

ドコモ
W-CDMA・GSM／GPRS方式

このたびは、「FOMA N905iμ」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA N905iμはお客様の有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.120、290）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、メインメニューのテーマを「Standard」（P.35）に切り替えるか、メニューの操作履歴をリセット（P.110）してください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から P.458

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ➡ 表紙

表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から P.8

新機能や便利な機能など、FOMA N905iμの主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー機能一覧から ➡ P.402

FOMA N905iμに表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから P.472

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル（海外利用編）も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

- この『FOMA N905iμ取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N905iμ』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて→P.291
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「索引」、「かんたん検索」、「表紙インデックス」からの引きかたを、アラームを例として説明します。

索引から

P.458

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称をはじめ、調べたい事項のキーワードから探します。

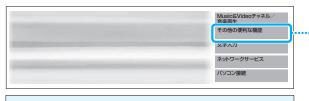
かんたん検索から

P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

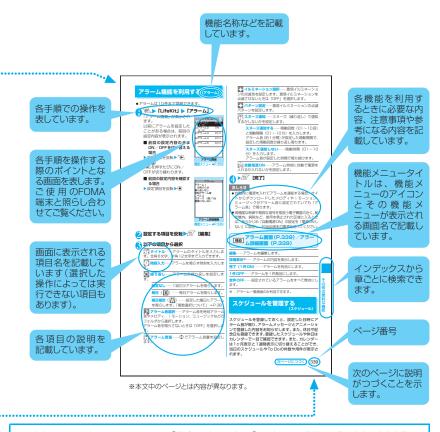
表紙インデックスから

表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

その他の便利な機能

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

※本文中のページとは内容が異なります。

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にして記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 画面の配色やアイコンは本体色opal whiteのお買い上げ時の表示で記載しています。メインメニューは「Standard」の表示で記載しています。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい・知りたい

※：文字の大きさは、「電話帳」や「マイプロフィール」の機能メニュー（P.93、348）、「待受時計表示」（P.115）、「ｉモード設定」（P.179）、「メール設定」（P.212）、「入力サイズ切替」（P.361）でも設定できます。

メールを使いこなしたい

- デコメールを送りたい P.190 デコメール
- 画像やメロディを送りたい P.193 添付ファイル
- メールを自動で振り分けて保存したい P.207 自動振分け設定

カメラを使いこなしたい

- 撮影する画像サイズを変えたい P.151
- 撮影した画像を表示したい P.274 マイピクチャ
- microSDメモリーカードに画像を保存したい P.298

安心して電話を使いたい

- 紛失したときなど、離れた場所からFOMA端末をロックしたい P.126 おまかせロック※1
- 電話帳の内容を知られたくない P.127 シークレットモード／シークレット専用モード
- 番号非通知の電話を受けたくない P.140 非通知着信設定
- 電話帳未登録の人からの電話を受けたくない P.141 登録外着信拒否
- 万一のデータ消失にそなえ電話帳などを保存しておきたい P.142 電話帳お預かりサービス※2

※1：おまかせロックは有料サービスです。
※2：電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、i モード契約が必要です）。

こんなこともできます

- 電池の消費を抑えたい P.110 照明設定(エマージェンシーモード)
- QRコードやバーコードを取り込みたい P.159 バーコードリーダー
- GPS機能を使いたい P.249 GPS機能
- microSDメモリーカードを使いたい P.291
- パソコンやほかのFOMA端末と情報をやりとりしたい P.305 赤外線通信／i C通信／OBEX™通信
- 音楽を聴きたい P.319 ミュージックプレーヤー／Music&Videoチャネル
- アラーム機能を使いたい P.339 アラーム
- 電卓として使いたい P.352 電卓
- 海外で携帯電話を使いたい P.391
- 最新のソフトウェアにしたい P.443 ソフトウェア更新
- セキュリティを最新の状態にしたい P.449 スキャン機能

その他の操作の引き方については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.472

目次

FOMA N905iμの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

●●●●● N905iμの主な特徴 ●●●●●

■ ｉモードメール／デコメール／デコメ絵文字 →P.188、190

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFなど）を添付することができます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。

■ メガｉアプリ／直感ゲーム →P.227

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
また、ケータイを「傾ける」「振る」などといった感覚的な操作で楽しむ直感ゲームにも対応。N905iμなら音声認識にも対応しているので声に反応した操作も可能です。

■ 高速通信対応 →P.386

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

■ 国際ローミング →P.392

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（GSM・3Gエリアに対応）。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。また、日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳する「しゃべって翻訳 for N」をプリインストールしています。

■ GPS →P.249

GPSを使って取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です。
地図アプリをプリインストールしており、手軽に高精細な地図を利用することができます。

■ 着うたフル®／うた・ホーダイ／Music＆Videoチャネル※／ビデオクリップ →P.324、319、183

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

１曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ１つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。N905iμなら動画付きの番組も楽しめます。さらに、10Mバイトまでのｉモーションに対応しているので１曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。

■ おサイフケータイ／トルカ →P.234、241

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしています。また機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「ｉCお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

■ きせかえツール →P.120

ｉモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受やメニュー画面などを一括して変更することができます。N905iμなら利用頻度に合わせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズすることができます。

●●●●● 豊富なネットワークサービス（→P.371） ●●●●●

- 留守番電話サービス（有料）※
- キャッチホン（有料）※
- 転送でんわサービス（無料）※
- 迷惑電話ストップサービス（無料）
- 番号通知お願いサービス（無料）
- デュアルネットワークサービス（有料）※
- 英語ガイダンス（無料）
- マルチナンバー（有料）※
- 2in1（有料）※

※：お申し込みが必要です。

多彩な機能

■ 3.0インチ・フルワイドVGA液晶ディスプレイ

480×854ドットの高精細液晶を搭載。待受画面だけでなく、すべての画面で高精細表示が可能です。

■ オートフォーカス機能を搭載したカメラ →P.145

有効画素数約200万画素のオートフォーカス機能を備えたCMOS（外側カメラ）で、1,200×1,600ドットの大画像も撮影できます。

■ ミュージックプレーヤー →P.325

音楽CDや動画を、パソコンでWMA（Windows Media Audio）データやSD-Audioデータなどに変換し、microSDメモリーカードに登録するとFOMA端末で再生できます。

■ ICカード認証機能 →P.135

暗証番号入力の代わりに、FOMA端末を、FeliCaに対応した非接触ICカードに重ね合わせるとユーザ認証が行われ、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除できます。

■ 顔認証機能 →P.137

キー操作ロックおよびICカードロック解除時の本人確認のために、顔認証機能を利用できます。

■ オリジナルロック／キー操作ロック →P.130、134

- 電話帳やメールなどの個人情報を利用する機能にロックをかけたり、電話の発着信やメールの送信を制限できます（オリジナルロック）。
- FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけることができます（キー操作ロック）。

■ PDF対応ビューア／ドキュメントビューア →P.311、313

- PDFデータの閲覧ができるので、紙を持ち歩くように地図やカタログ、時刻表などの便利な情報をｉモード端末で手軽に確認できます。
- Microsoft® Word、Microsoft® Excel、Microsoft® PowerPointの文書ファイルを閲覧できるドキュメントビューアを搭載しています。

■ フルブラウザ →P.263

フルブラウザを使うと、パソコン向けのインターネットホームページも表示できるようになり、より多くの情報を得ることができます。

■ ワンタッチマルチウィンドウ／マルチウィンドウ →P.174、170

- 一回の操作で、最大5つまでのサイトに連続して接続できます。
- 接続したサイトページはタブで切り替えて閲覧できます。

■ 直デン →P.96

よく使う電話帳を直デンに登録しておくと、すばやく電話をかけたり、メールを送信できます。
最大5件まで登録でき、メールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたｉモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。

■ プライバシーアングル →P.109

斜めの角度からディスプレイを見えにくくすることができます。周囲の視線を気にせずにご利用いただけます。

■ おまかせデコメ →P.192

メール本文の文面から感情を理解し、絵文字／顔文字などの最適なデコレーションを加えたデコメールに自動変換します。

■ 感情お知らせメール →P.197

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンで表現してお知らせします。

■ ｉC通信 →P.309

送信側のFOMA端末と受信側のFOMA端末のFeliCaマーク（）を重ね合わせてデータのやりとりを行うことができます。

■ 赤外線通信／赤外線リモコン→P.307、310

赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。赤外線リモコンに対応した機器に利用することもできます。

■ マルチアクセス／マルチタスク→P.336、337

音声通話、パケット通信、SMSを同時に利用できます（マルチアクセス）。また、複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できます（マルチタスク）。

■ 辞典 →P.353

国語、英和、和英辞典を搭載しています。

■ バーコードリーダー →P.159

バーコードやQRコードを読み取り、電話帳登録やｉモードメール作成などができます。

■ クイック検索 →P.339

ｉモードサイトやメール、スケジュールなどを閲覧中に調べたい情報を簡単な操作で検索できます。

あんしん

■ おまかせロック →P.126

電話機を紛失した際に携帯電話にロックがかけられ、お申し出により解除ができます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面を参照してください。
なお、おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
※ おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■ 電話帳お預かりサービス →P.142

携帯電話の電話帳・画像・メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集や管理ができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。「電話帳お預かりサービス」のご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

FOMA N905iμを使いこなす！

顔を見ながら話せる「テレビ電話」

● テレビ電話→P.51

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

仲間どうしで複数の会話を楽しめる「プッシュトーク」

● プッシュトーク→P.79

プッシュトーク電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。

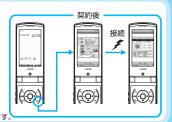
最新情報が配信されると待受画面にテロップ表示される「ｉチャネル」

● ｉチャネル→P.185

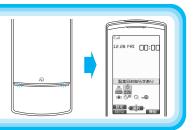
ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（詳細な説明は→P.171）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

未契約

※各画像はイメージです。
実際の画面とは異なります。

大切な日をイルミネーションでお知らせする「誕生日・記念日おしらせ機能」

● イルミネーション→P.113

電話帳に登録したお友達などの誕生日やスケジュールに登録した大切な記念日をイルミネーションとデスクトップアイコンでお知らせします。お知らせは、1週間前、3日前、前日、当日から重複して選択することが可能ですので大事なイベントを逃しません。また、マイプロフィールに誕生日を登録するとお客様のお誕生日を画像とメロディでお祝いします。

1つの携帯電話で2つの電話番号とメールアドレスが使える
「2in1」

● 2in1 →P.379

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

「Napster®」に対応した
「ミュージックプレーヤー」

● ミュージックプレーヤー→P.325

「Napster®」対応で、サイトから取得した楽曲や音楽CDの楽曲をパソコンなどでmicroSDメモリーカードに登録し、FOMA端末で再生できます。また、「着うたフル®」対応で、音楽配信サイトから楽曲を1曲まるごと取得して再生することもできます。
ほかの機能を操作しながら音楽を聞けるBGM再生や楽曲のジャケット写真や歌詞カードの表示、FOMA端末でのプレイリスト作成にも対応しています。

平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続すれば、携帯オーディオプレーヤー感覚で利用できます。

● Music&Videoチャネル→P.320

配信予約した音楽番組が夜間に自動取得され、番組を再生できます。

電話に出る前にメッセージをアニメーションで知らせる
「着もじ」

● 着もじ→P.56

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N16
卓上ホルダ N15
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA DCアダプタ 01／02
データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01
FOMA 充電機能付 USB接続ケーブル 01／02
FOMA補助充電アダプタ 01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

モーションコントロールご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーションコントロールは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロールご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

次ページにつづく

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

4.アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：
DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

5.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロットのキャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
故障の原因となります。
- **microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。**
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに FOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊪」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ICカード認証機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「V ライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ｉCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「IMCS」「OFFICEED」「ｉメロディ」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」「きせかえツール」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「WORLD WING」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- 「マルチタスク／ Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista™は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Napster」および「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- T9®およびT9ロゴマークはTegic Communications, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- AudioEngine™ はヤマハ株式会社の商標です。
- 「カメラでケンサク！ ERサーチ」はバンダイネットワークス株式会社と株式会社ディーツーコミュニケーションズの商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ および Adobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  ADOBE® FLASH® ENABLED
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109
  5,504,773 5,101,501 5,506,865
  5,109,390 5,511,073 5,228,054
  5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338
  5,600,754 5,414,796 5,657,420
  5,416,797 5,659,569 5,710,784
  5,778,338
- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。

  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、文書閲覧機能として株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS NetFront
  ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、赤外線データ通信機能として株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。

  IrFront
  ACCESS、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- フルブラウザはPicsel Technologiesにより実現しています。picsel
  Picsel, Picsel Powered, Picsel Browser, Picsel Viewer, Picsel File Viewer, Picsel Document Viewer, Picsel PDF Viewer またPicsel キューブロゴはPicsel Technologies の商標または登録商標です。
- Dialog Clarity技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。SRS Dialog Clarity
  Dialog Clarity、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- BBE M3技術はBBE Sound, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
  BBEと BBE 記号は、BBE Sound, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属のCD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
  FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部除く）
  無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0006Q
  SIAAマークは、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。 SIAA

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista™（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

FOMA N905iμ
（保証書、リアカバー N23含む）

FOMA N905iμ 取扱説明書
（本書）

※ P.472にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA N905iμ 用CD-ROM

※「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）、「区点コード一覧」（PDF形式）を収録しております。

電池パック N16
（取扱説明書付き）

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ N15
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.426

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※： アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

■各部の主な機能

❶ **赤外線ポート→P.307**

❷ **受話口**

❸ **ディスプレイ**

❹ **内側カメラ**
- カメラ機能で自分を撮影
- テレビ電話中に自分の映像を写す

❺ **マルチファンクションボタン**

Ⓤ／Ⓓ
- カーソルや表示内容などを上下方向へ移動（押し続けると連続スクロール）
- Ⓤ：直デンを表示→P.96
- Ⓓ：電話帳検索メニュー画面を表示

Ⓛ／Ⓡ
- カーソルを左右方向へ移動
- 表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へスクロール→P.36
- Ⓛ：着信履歴を表示→P.54
- Ⓡ：リダイヤルを表示→P.54

●
- ソフトキー（画面中央下）の表示内容を実行（主に選択／確定）→P.33

❻ **✉ ファンクションボタン1**
- ソフトキーの表示内容を実行→P.33
- メールメニューを表示
- テレビ電話をかける→P.50

⑦ ファンクションボタン2
- ソフトキーの表示内容を実行→P.33
- ｉモードメニューを表示
- 文字入力での文字種切り替え→P.360

⑧ ファンクションボタン3／メニューボタン／マルチボタン
- ソフトキーの表示内容を実行→P.33
- メインメニュー／シンプルメニューを表示→P.31、36
- タスク切替画面を表示→P.337

⑨ ファンクションボタン4／チャネルボタン
- ソフトキーの表示内容を実行（主に機能メニュー）→P.33
- 「chキー設定」で設定した機能の起動→P.33

※ お買い上げ時はｉチャネルのチャネル一覧を表示します。

⑩ 開始ボタン
- 音声電話をかける→P.50
- 音声電話／テレビ電話を受ける→P.63
- かな方式の文字入力で、1つ前の読みに戻す→P.360

⑪ CLR 戻る（クリア）ボタン
- 操作を1つ前の状態に戻す→P.37
- 通話を保留→P.66
- 入力した電話番号や文字を削除→P.50、365

⑫ 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）→P.46
- 各機能の終了→P.37
- 通話の終了→P.51
- 応答を保留→P.66

⑬ 0～9 ダイヤルボタン
- 電話番号や文字、数字を入力

⑭ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン
- 公共モード（ドライブモード）の設定（1秒以上）→P.67
- 入力した文字の「大文字／小文字」の切り替え→P.364
- 「＊」や濁点／半濁点などを入力→P.364

⑮ ＃／マナーボタン
- マナーモードの設定（1秒以上）→P.105
- 「＃」や句読点などを入力→P.413

⑯ 送話口／マイク

⑰ 充電端子

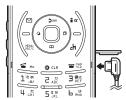
⑱ ストラップ取付穴

⑲ プッシュトークボタン
- プッシュトークを利用する→P.80
- 待受画面表示中にプッシュトーク電話帳を表示する→P.83
- FOMA端末を折り畳んだまま不在着信・新着メールなどがあるか確認→P.70
- メールやアラーム内容を読み上げ→P.30、346
- ミュージックプレーヤーの起動（1秒以上）→P.331

⑳ ▲ 音量大ボタン／[マナー]
- マナーモードの設定（1秒以上）→P.105
- 通話中に受話音量を上げる→P.66
- FOMA端末を折り畳んだまま不在着信・新着メールの内容を確認→P.30
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロール→P.36
- 「ホームURL設定」で設定したサイトへ接続→P.180

㉑ ▼ 音量小ボタン／[📷]
- フォトモード撮影画面を表示（1秒以上）→P.152
- 伝言メモを再生→P.72
- 通話中に受話音量を下げる→P.66
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロール→P.36
- 現在時刻を読み上げる（ボイスクロック）→P.70

㉒ 外部接続端子
- ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）などを接続

㉓ イヤホンマイク端子
- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続

㉔ イルミネーション・ウィンドウ
- FOMA端末の各種状態や時計を表示→P.30

㉕ 着信イルミネーション／充電ランプ
- 電話着信／メール受信時に点滅→P.113
- 誕生日／記念日に点滅→P.113
- カメラやICカード機能利用時に点滅→P.114、152
- 充電時は赤色で点灯

㉖ FeliCa マーク
- ICカード読み取り→P.242
- ｉC通信→P.309

㉗ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影
- テレビ電話中に風景などを写す

㉘ スピーカ（モノラル）

㉙ microSDメモリーカードスロット
- microSDメモリーカードを挿入→P.291

㉚ リアカバー

※：本書では、▲［マナー］、▼［📷］を合わせてサイドボタンと呼びます。

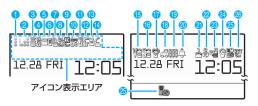
ボタンの長押し操作について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示（待受画面表示中） 文字サイズの縮小（受信メール詳細画面）	P.211
	送信アドレス一覧の表示（待受画面表示中） 文字サイズの拡大（受信メール詳細画面）	P.211
	文字編集の操作を1つ前の状態に戻す	P.364
1	GPS機能による現在地確認（待受画面表示中）	P.251
2	2in1の設定（待受画面表示中）	P.379
3	ICカードロックを設定（待受画面表示中）	P.247
5	エマージェンシーモードの切替（文字編集中、ｉアプリ実行中以外）	P.110
7	フォント設定画面を表示（待受画面表示中）	P.114
8	プライバシーアングルの切替（文字編集中、ｉアプリ実行中以外）	P.109
0	「+」の入力（待受画面、電話番号を入力する画面）	P.61
*	サイドボタンの無効／有効（メインメニュー表示中）	P.137
	公共モード（ドライブモード）の設定／解除（待受画面表示中）	P.67
	p（ポーズ）を入力（ポーズダイヤル編集中）	P.59
	改行マーク「↵」を入力（文字編集中）	P.364
#	マナーモードの設定／解除（待受画面表示中、通話中）	P.105
	受話音量の調節（待受画面表示中、通話中）	P.66
	ミュージックプレーヤーの起動／終了（待受画面表示中など）	P.331
▲[マナー]	マナーモードの設定／解除（待受画面表示中）	P.105
	マイクをミュート（消音）（テレビ電話中）	P.51
	ICカード認証機能の利用（ダイヤルロック中／キー操作ロック中）	P.136
▼[📷]	音声メモの録音（通話中）	P.349
	フォトモード撮影画面を表示（待受画面表示中）	P.152
	ｉモード問い合わせ（待受画面表示中）	P.217
	文字入力方式切替（文字編集中）	P.361
	ｉアプリのソフト一覧表示（待受画面表示中）	P.229
●	親画面の表示切替（テレビ電話中）	P.50

ディスプレイの見かた

- ディスプレイやイルミネーション・ウィンドウに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。
- ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.108

■ディスプレイ

■イルミネーション・ウィンドウ

■アイコン表示エリア

●表内に掲載しているアイコンは、ディスプレイのものです。イルミネーション・ウィンドウに表示されるアイコンについては、一部見えかたが異なるものがあります。

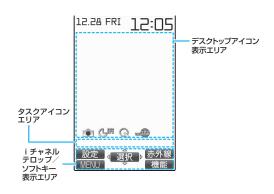
	アイコン	アイコンの内容
1		電池残量→P.45
2		電波の受信レベル→P.46
		サービスエリア外／電波が届かない場所→P.46
		セルフモード→P.141
3		ｉモード中→P.166
		ｉモード通信中→P.166
		パケット通信中（データ送受信なし）※1
		パケット通信中（発信）※1
		パケット通信中（着信）※1
		パケット通信中（データ送信中）※1
		パケット通信中（データ受信中）※1
		プッシュトーク通信中→P.80
4		SSL対応ページを表示中→P.169
5		未読メールあり→P.196
	（赤色）	受信BOX満杯→P.196
		FOMAカードのSMS満杯→P.304
		未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.196、304
	（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.196、304
		未読エリアメールあり→P.218
6		未読メッセージRあり→P.216
	（赤色）	メッセージR満杯→P.216
		未読メッセージFあり→P.216
	（赤色）	メッセージF満杯→P.216
		未読メッセージRあり／未読メッセージFあり→P.216
	（赤色）	メッセージR満杯／メッセージF満杯→P.216
	（R：赤色）	メッセージR満杯／未読メッセージFあり→P.216
	（F：赤色）	未読メッセージRあり／メッセージF満杯→P.216
7		ｉモードセンターにメールあり→P.199
	（赤色）	ｉモードセンターのメール満杯→P.198
		「メール選択受信設定」が「ON」／ｉモードセンターにメールあり→P.198
		ｉモードセンターにメッセージRあり→P.217
	（赤色）	ｉモードセンターのメッセージR満杯→P.217
		ｉモードセンターにメッセージFあり→P.217
	（赤色）	ｉモードセンターのメッセージF満杯→P.217
8		ダイヤルロック→P.126
		シークレットモード／シークレット専用モード→P.127
		オリジナルロック→P.130
		オリジナルロック一時解除中→P.131
		オリジナルロックとシークレットモード／シークレット専用モード→P.130、127
		オリジナルロック一時解除中で、シークレットモード／シークレット専用モード→P.131、127
9		ICカードロック設定→P.247
10		GPS測位動作中→P.250
		GPS位置提供設定中（位置提供「ON」）→P.256
		GPS位置提供設定中（許可期間設定中の位置提供「OFF」）→P.256
11		通信モード中（USBケーブル接続時）→P.302

次ページにつづく

ご使用前の確認

アイコン		アイコンの内容
⑪		通信モード中（USBケーブル／ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		通信モード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		microSDモード中→P.302
		microSDモード中（USBケーブル接続時）→P.302
		microSDモード中（USBケーブル／ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		microSDモード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		プリントモード中→P.302
		プリントモード中（プリンタ認識時）→P.302
		プリントモード中（プリンタ認識時、ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		プリントモード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		MTPモード中→P.302
		MTPモード中(USBケーブル接続時)→P.302
		MTPモード中（USBケーブル／ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
		MTPモード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.63、302
⑫		赤外線通信中→P.307
		赤外線リモコン操作中→P.310
		ICカード認証中→P.135
		ｉC通信中（データ送受信）→P.309
⑬		microSDメモリーカード取り付け時→P.291
		microSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.291
		microSDリーダー／ライター使用中→P.301

アイコン		アイコンの内容
⑬		microSDアクセス中→P.296
⑭		音声通話中→P.51
		64Kデータ通信中※1→P.386
		テレビ電話中→P.51
		音声電話・テレビ電話切替中→P.53、64
⑮		バイブレータ→P.102
⑯		着信音量が「消去」→P.66 メール／メッセージ鳴動が「OFF」→P.104
⑰		マナーモード→P.105
		遠隔監視→P.77
⑱		公共モード（ドライブモード）→P.67
⑲		Music&Videoチャネル予約中→P.321
⑳		アラーム通知機能→P.345
㉑	～	留守番電話の伝言メッセージあり※2→P.372
㉒	～	伝言メモ※2→P.71
㉓	～	テレビ電話伝言メモ※2→P.71
㉔		エマージェンシーモード「ON」→P.110
		プライバシーアングル「ON」→P.109
		プライバシーアングル「ON」とエマージェンシーモード「ON」→P.109、110
㉕		キー操作ロック設定中／待機中→P.135
		キー操作ロック中→P.135
㉖		サイドボタン設定が「閉じた時無効」→P.137

※1：アイコンの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
※2：2in1利用中は利用できるモードに合わせたアイコンのみ表示されます。

■デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	情報を通知するデスクトップアイコン→P.117
など	貼り付けたデスクトップアイコン→P.115

■タスクアイコン／ｉチャネルテロップ

アイコン	アイコンの内容
など	起動している機能のタスクアイコンを表示→P.337 利用中のネットワークの状況を表示→P.393
ｉチャネルテロップ	待受画面のテロップ表示→P.185

■ソフトキー表示エリア

アイコンの内容など詳しくは「ソフトキーの使いかた」（P.33）を参照してください。

おしらせ

- 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 表示アイコンの名称は、MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」で確認できます。

イルミネーション・ウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた

イルミネーション・ウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されます。

● 表示例

時計表示（時計1）

アラーム通知中

着もじ

着信表示

不在着信／新着メール表示

応答保留中

GPS測位動作中

感情お知らせメール

ICカード認証中

新しいｉチャネルの情報のテロップ表示(2回)

不在着信／新着メールを確認する

FOMA端末を折り畳んでいるときに、不在着信や新着メール（ｉモードメール、エリアメール、SMS）、新着チャットメールがあると、着信イルミネーションが点滅し続けてお知らせします。このとき、▲［マナー］、▣を押すと、FOMA端末を折り畳んだまま不在お知らせの内容を確認できます。

■不在着信の確認

▲［マナー］を押すと、「着信日／着信時間／名前（電話番号）」などが表示されます。

■新着メールの確認

「イルミネーション・ウィンドウ」のメール表示を「ON」（お買い上げ時：OFF）に設定した場合、▲［マナー］を押すと、「送信元／受信日時／題名」などが表示されます。

※ ▣を押すと、「新着メールあり」のアイコンが表示されます。このときもう一度▣を押すと、送信元とメール文が読み上げられます。

おしらせ

- 複数の不在着信や新着メールがある場合、最新の1件のみ内容を確認することができます。
- 「オリジナルロック」で着信履歴やメール機能の起動をロックしている場合、不在お知らせの内容は表示されず、「不在着信あり」や「新着メールあり」のアイコンのみが表示されます。

着信イルミネーションの点滅について

- 不在着信、新着メール、新着チャットメールなどがあると、「着信イルミネーション」のそれぞれの設定色に従って点滅し続けます。

<点滅色・点滅条件について>
- 「着信イルミネーション」の不在お知らせを「OFF」に設定すると、点滅しません。
- 「着信イルミネーション」でグラデーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定色で点滅します。
- 電話帳に、個別の着信イルミネーションが設定されている場合はその色で点滅します。
- 公共モード（ドライブモード）中は点滅しません。

<消灯するときは>
ディスプレイやイルミネーション・ウィンドウに表示されている「不在着信あり」「新着メールあり」「新着チャットメールあり」などの内容を確認し、アイコンが消えると消灯します。

時計を表示し、時刻を確認する

FOMA端末を折り畳んだまま、サイドボタンのいずれかを押すと、イルミネーション・ウィンドウを点灯し、時計を表示します。

- ●▼［📷］を押すと時計が表示されると同時に、時刻が読み上げられます。

■不在お知らせの内容（P.30）が表示された場合

▲［マナー］を押すと時計が表示されます。

不在着信履歴
12/28（金）12:05

▲[マナー]

おしらせ

- ●「イルミネーション・ウィンドウ」で時計の種類（4種類）や表示時間（15秒間／30秒間／60秒間）を設定できます。時計を常に表示しておくことはできません。

メニューの選択方法

FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。主に、メインメニューから機能を選択する方法と、以下のような方法があります。

- ソフトキーに割り当てられたボタンを押す→P.33
- あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号を押して機能を呼び出す→P.32
- メインメニューの中から使用頻度の高い機能だけを集め、メニュー数を減らした「シンプルメニュー」を利用する→P.36
- 自分がよく使う機能をカスタマイズできる「オリジナルメニュー」を利用する→P.33

メインメニューから機能を選択する

FOMA端末の各種機能は、待受画面でMENUを押して表示されるメインメニューから選択することができます。メニューは機能ごとに分類されていています。→P.34

- ●メインメニューから機能を選択する場合は、「メニュー機能一覧」（P.402）をご覧になって操作してください。
- ●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、メインメニューのテーマを「Standard」（P.35）に切り替えるか、メニューの操作履歴をリセット（P.110）してください。
- ●きせかえツールに「ドコモダケ_N905iμ」を設定している場合、メニューで「基本メニュー呼び出し」を選択すると、一時的に通常のメニュー構成に戻すことができます。
- ●きせかえツールに「拡大メニュー」を設定し、メインメニューの機能メニューから「自分で並び替え」を選択し並べ替えメニューに切り替えた場合でも、前回利用した機能によっては基本メニューが表示されることがあります。並べ替えメニューに切り替えたいときは、基本メニュー（2/2）から「並べ替えメニューへ」を選択してください。

<例：「国際ダイヤルアシスト」の国番号を設定する場合>

1 待受画面でMENUを押し、メインメニューを表示する

ワンポイント

メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 で反転表示を移動して◉［選択］を押し、表示されるメニューを順次選択する

反転した項目が2行表示になり、現在の設定値が表示されます。

ワンポイント

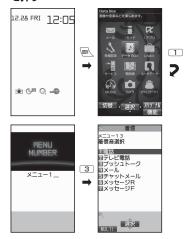
を押し続けると、反転表示を連続して移動することができます。

メニュー番号を押して機能を呼び出す

あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.402）に対応するボタンを押すと、その機能を素早く呼び出すことができます。

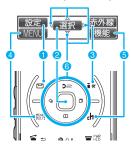
※ メインメニューのテーマを「Standard」に設定した場合にご利用になれます。→P.35

<例：「着信音選択」を呼び出す場合>

1 待受画面で MENU/MULTI を押し、続けて［1］［3］を押す

ソフトキー機能から呼び出す

● ソフトキーの使いかた

画面には（メール）、（決定）、（iα）、（MENU/MULTI）、（ch）に対応する操作アイコン（ソフトキー）と（方向キー）に対応する方向アイコンが表示されます。

アイコン（ソフトキー）

ファンクションボタン、
マルチファンクションボタン

■ソフトキーを実行する場合（1～5）

（メール）、（決定）、（iα）、（MENU/MULTI）、（ch）を押すと対応したソフトキーの表示内容を実行します。

1には［設定］、［編集］、［完了］、［デモ］、［送信］、［新規］などが表示されます。

2には［選択］、［確定］、［再生］、［発信］などが表示されます。

3には［表示切替］、［赤外線］、［文字］などが表示されます。

4には［MENU］、［MULTI］が表示されます。

5には［ch］、［機能］、［閉］などが表示されます。［機能］が表示されているときに押すと、機能メニューが表示されます。→P.37

※ 本書の操作説明では、上記のボタンを押すときは原則として、（メール）［編集］、（決定）［選択］、（ch）［機能］のように、［　］内にソフトキーの表示を記載しています。

■画面を移動、スクロールする場合（6）

アイコン（◁⇕▷）は移動またはスクロールできる方向のみ表示されます。（方向キー）を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

ソフトキーに機能を割り当てる 〈chキー設定〉

待受画面表示中やタスク切替画面表示中に、（ch）を押して呼び出す機能をカスタマイズできます。

● iチャネル、カメラ、スケジュール、ミュージック、Music&Videoチャネルから選択できます。

1 （MENU/MULTI）▶「各種設定」▶「その他」▶「chキー設定」

■ お買い上げ時の設定に戻す場合

▶（ch）［機能］▶「chキー初期化」

2 割り当てる機能を選択▶「YES」

オリジナルメニューから機能を選択する

自分がよく使う機能をあらかじめ登録しておくと（P.112）、その機能を簡単に呼び出せます。

1 待受画面で（MENU/MULTI）を押してメインメニューを表示し、続けて（iα）［オリジナル］を押す

（iα）を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

待受画面

メニュー項目を検索し、機能を呼び出す

キーワードを入力してメニュー項目を検索すると、操作手順がわからなくても目的の機能を呼び出すことができます。

＜例：「着信音選択」を呼び出す場合＞

1 待受画面で[MENU]を押し、[ch][機能]を押す

2 「検索」に反転表示を移動して◉［選択］を押す

3 「着信音」と入力して◉［確定］を押し、表示されるメニューを選択する

メインメニューについて

メニューグループとマルチタスクについて

メインメニューは次のようにグループ分けされています。

- 異なるグループであれば、最大3つの機能を同時に起動し、随時切り替えて使うことができます。これをマルチタスク機能といいます。→P.337

＜例：メインメニューのテーマを「Standard」に設定した場合＞

■マルチタスク中のアイコン表示

使用中のタスクアイコンが表示されます。

■ メールグループ
メール／Mail
送受信メールの閲覧や新規作成、送信ができます。
■ ｉモードグループ
ｉモード／i-mode
サイト接続などのｉモードサービスが利用できます。
■ ｉアプリグループ
ｉアプリ／i-αppli
いろいろなソフトを呼び出して楽しめます。
■ツールグループ
データ BOX／Data box
画像や音楽などを楽しめます。
電話帳／Phonebook
電話帳の登録、検索や設定などを行います。
LifeKit
カメラ、アラームやデータ交換など便利な機能を利用できます。
ユーザデータ／Own data
個人データや履歴の管理、確認を行います。
■ 設定グループ
各種設定／Settings
携帯電話に関する各機能の設定を行います。
サービス／Service
ネットワークサービスの設定や確認を行います。
■ MUSIC
MUSIC／Music
ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルの起動や設定を行います。
■ カメラ
カメラ／Camera
カメラの起動や撮影した画像や動画を表示します。
■ おサイフケータイ
おサイフケータイ／Osaifu-Keitai
おサイフケータイ対応ｉアプリ、トルカの起動や設定を行います。

※ 上記のメニューグループの説明で、青文字で示したのはメニュー名です。使用するメインメニューのデザインによって表示が異なります。

メインメニューを切り替える

メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）は自由に変更することができます。自分で撮影した写真を背景にするなどのカスタマイズも可能です。
また、メインメニューによっては、選択した回数に応じてメニュー項目が自動で並び替えられたり、自分が使いやすいようにメニュー項目を並び替えることができます。

<例：メインメニューのテーマを「Standard」に切り替える場合>

1 待受画面で MENU を押し、さらに ✉ ［切替］を押して項目を選択する

設定項目や設定操作の詳細については「メニュー画面設定」をご覧ください。→P.110

テーマ画面

■ **メインメニューの一時的な切り替え**
テーマ画面で ✉ ［一時切替］を押して設定すると、再度メインメニューを表示させたときは、設定前に戻ってメインメニューが表示されます。

■ **メニュー項目の並び替え**
メインメニューで ch ［機能］を押し、「自分で並び替え」を選択します。

● テーマ画面でシンプルメニューに切り替えると

シンプルメニューとは代表的なメニューだけを集めたもので、文字も大きく、メニューの選択操作も簡単に行えるようにしたものです。

- シンプルメニューから機能を選択する場合は、「シンプルメニュー機能一覧」（P.412）をご覧になって操作してください。
- シンプルメニューで表示されないメニューを選択したいときは、✉［切替］を選択し、他のメインメニューを選択します。

シンプルメニュー

各種画面の基本操作

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

1 ⊖でページを切り替える

⊖（または▲［マナー］）を押すと前のページに、⊖（または▼［📷］）を押すと次のページに切り替わります。

「現在のページ数／全体のページ数」

⊖ ➡ ⬅ ⊖

■ ⊜で切り替える場合

反転表示が一番上にあるときに⊜を押すと前のページに、一番下にあるときに⊜を押すと次のページに切り替わります。

● ダイヤルボタンで項目を選択する方法

1 メニュー番号に対応している［0］～［9］［＊］［＃］を押す

［4］➡

ダイヤルボタンに対応している番号

● 「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

1 ⊜で囲み枠を移動し●［選択］を押す

● ピクチャ一覧で画像を表示する場合

1 ⊕で囲み枠を移動し●［表示］を押す

● 端末暗証番号の入力

機能によっては端末暗証番号（P.124）の入力画面が表示される場合があります。機能を実行するには、端末暗証番号を入力してください。

1 4～8桁の端末暗証番号を入力し●［確定］を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

1 0～9を押して数値を入力する

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に0を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合
▶003

■「12」を入力する場合
▶012

● 操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

■CLRについて
間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときにはCLRを押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

■☎について
設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは☎を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などに☎を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

操作手順の表記／機能メニューについて

操作手順の表記について

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。

操作手順の記載例と実際の操作

①：待受画面でMENUボタンを押します。
②：✥で反転表示を「 」内のメニューに移動し◉［選択］を押します。
③：✥で反転表示を「 」内の項目に移動し◉［選択］を押します。
　または「 」内の項目のメニュー番号に対応する1～0＊#を押します。
④：✥で反転表示を移動します。
⑤：［ ］内に示したソフトキーに対応するファンクションボタンを押します。

■「選択」「確定」操作における◉の省略
- 上記記載例②、③のようにメインメニューや一覧から目的の機能を選択するときは◉［選択］を省略して記載しています。
- 同様に「項目を選択」、「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も◉［選択］または◉［確定］を省略して記載しています。
- ◉［選択］を押さずに次の操作に移る場合は、上記記載例④のように「～を反転」と記載しています。

■操作終了後の記載の省略
- 目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。

■ボタン表記について
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を上記記載例①、⑤のようにイラストで表現しています。なお、ボタンイラストは、次のように簡略に表現しています。

実際のボタン	本書での表記
1	1

- 記載例①、⑤のほかに、以下のように記載しているものもあります。

ボタン表記	実際の操作
#（1秒以上）	#を1秒以上押し続けます。
MENU 0	待受画面でMENUを押し、続けて0を押します。

■メニュー項目の記載について
複数のメニュー項目をまとめて説明する場合は、以下の例のように項目を「・」でつないで記載しています。

＜例：直デン画面の機能メニュー＞

1件解除・全解除……直デンを1件または全解除します。

機能メニューについて

FOMA端末のメニューの1つに、ソフトキー機能から呼び出す「機能メニュー」があります。機能メニューは各種画面での補助的な機能を実行するものです。たとえばメールを読んだ後にそのメールを削除したり、カメラで撮影した画像の保存先フォルダを選択したりするときに使います。

● 機能メニューの利用のしかた

機能メニューには主に、3とおりの利用方法があります。状況に応じてご利用ください。

① 操作画面に記載している参照ページから、機能メニュー項目の説明を見る
② 機能メニュー索引のページから、機能メニュー項目の説明を見る
③ 機能メニューの参照ページから、操作画面を表示するまでの手順を調べる

次ページにつづく

※ 上記の「機能メニュー項目」および「機能メニュー索引」は一部を抜粋したものです。

● 一覧画面の操作対象について

一覧画面の機能メニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「タイトル編集」や「1件削除」は反転表示したタイトルやデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。

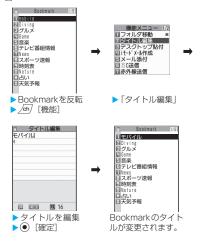
「タイトル編集」や「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とする機能メニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてから ch［機能］を押してください。

<例：一覧画面のBookmarkタイトルを編集する場合>

▶Bookmarkを反転
▶ch［機能］

▶「タイトル編集」

▶タイトルを編集
▶◉［確定］

Bookmarkのタイトルが変更されます。

● 複数選択について

不要になったデータを削除したり、大切なデータを保護したり、ほかの人に見られたくないデータをシークレットフォルダに保管するときなどには、1件のデータやすべてのデータを操作対象とするだけではなく、複数のデータを操作対象にすることもできます。このような場合、次のように操作します。

<例：受信メール一覧画面で複数のメールを削除する場合>

▶「選択削除」

▶削除するメールにチェックマークを付ける

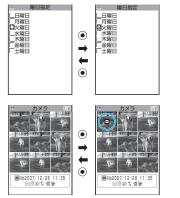
▶［完了］

▶「YES」

チェックマークの付けかた

で囲み枠を選択する項目に移動し◉［選択］を押すと、チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。◉［選択］を押すたびに、□と☑が切り替わります。

ピクチャー一覧では選択された状態になると、☑が表示されます。未選択状態では何も表示されません。

- ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、ch［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

● 表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下のように交互に切り替わるものがあります。

<画面例1>　　<画面例2>

外側カメラ使用中　　内側カメラ使用中

※ FOMA端末で撮影画面を表示しているとき、「外側カメラ」を使用しているときは、<画面例1>のように「内側カメラ」と表示されます。この状態で「内側カメラ」を選択すると、「内側カメラ」が使用できる状態になり、次に機能メニューを表示したときには、メニュー名が「外側カメラ」に切り替わります。

■表示が交互に切り替わるメニューの記載について

このようなメニューは「**内側カメラ⇔外側カメラ**」と記載しています。

おしらせ

- 表示されている機能メニューの配下にさらにメニューがある場合は右側に「+」が表示されます。
- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容が異なったり、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

FOMAカードを使う

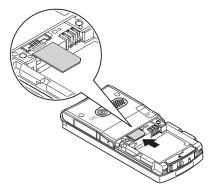
FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.42

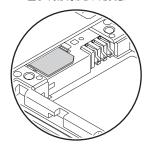
また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

イラストはFOMAカードを取り付ける方法を示しています。

1 FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカード挿入口に差し込む

2 FOMAカードが固定されるように奥まで差し込む

FOMAカードを取り外す場合は、以下の状態からまっすぐに静かに引き抜いてください。

正しく取り付けられた状態

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.124

FOMAカード動作制限機能について

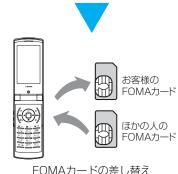
FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
- FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - 画面メモ
  - デコメールや署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - メロディ
  - Word／Excel／PowerPointのデータ
  - トルカ（詳細）の画像
  - 電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - Music&Videoチャネルの番組
  - コンテンツ移行対応のデータ
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - 着うた®※・着うたフル®
  - PDFデータ
  - きせかえツール
  - テレビ電話伝言メモ
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - ダウンロード辞書
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR／F

※：「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「ほかの人のFOMAカード」として説明しています。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときのFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

FOMAカードの差し替え

データをダウンロードしたり、メールを受信したときとは別のFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができません。

おしらせ

- FOMAカードを取り付けていないときやほかの人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは「　」が付いて表示され、「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
- ほかのｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、その端末のテロップは表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信するには、ch を押してチャネル一覧を表示してください。その場合は、テロップも自動的に表示されるようになります。

FOMAカード差し替え時の設定について

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

設定	別のFOMAカードに差し替えた場合
「バイリンガル」（P.115）	差し替えたFOMAカードの設定となります。
「SMSセンター設定」（P.226）	
「SMS有効期間設定」（P.225）	
「PIN設定」（P.125）	
「アプリケーション通信設定」の「接続先選択」（P.180）	
ｉチャネル設定（P.186）	お買い上げ時の設定に戻ります。
フルブラウザの「アクセス設定」（P.268）	差し替え前の設定にかかわらず、「利用しない」に設定されます。
フルブラウザの「Cookie設定」（P.269）	差し替え前の設定にかかわらず、「無効」に設定されます（Cookieの情報は残ります）。
Music&Videoチャネルの「番組設定」（P.320）	差し替え前の設定は無効となります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

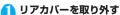
WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

●電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

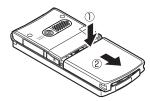
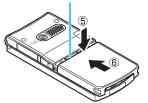
● 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

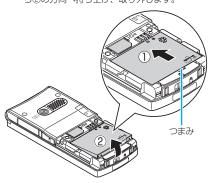
電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の金属端子が合うように③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

リアカバーとFOMA端末（本体）に
すきまがないことを確認してください。

● 取り外しかた

1 リアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

おしらせ

- リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメが壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック N16の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パック N16をご利用ください。
海外でご利用の際には、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01が必要です。滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。→P.426

■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話の視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。
- FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 高温環境下で充電中に、電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

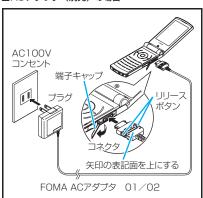
■電池の使用時間の目安（電池の使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります）

連続通話時間	連続待受時間
FOMA／3G 音声電話時：約220分 テレビ電話時：約110分 GSM 音声電話時：約190分	FOMA／3G 静止時（「自動」設定時※）：約630時間 移動時（「3G」設定時※）：約470時間 移動時（「自動」設定時※）：約390時間 GSM 静止時（「自動」設定時※）：約290時間

※：ネットワークの接続切り替え設定は、「3G／GSM切替」（P.397）で行います。

- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。またｉモード通信やｉモードメールの作成、データ通信、マルチアクセスの実行、ｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、カメラの使用、動画／ｉモーションや音楽の再生などによって、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況などにより、通話（通信）・待受時間が短くなることがあります。
- 国内で利用する場合は、「3G／GSM切替」（P.397）を「3G」に設定すると、通話（通信）・待受時間は長くなります。

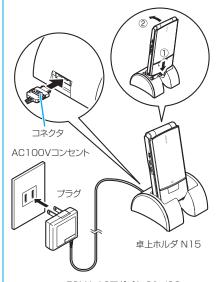
ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ACアダプタ（別売）の場合

■DCアダプタ（別売）の場合

1. **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**
2. **ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む**
3. **ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む**
   DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む
   充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4. **充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタを FOMA 端末から水平に引き抜く**
   無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。
5. **ACアダプタのプラグをコンセントから抜く**
   DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く
6. **FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる**

卓上ホルダで充電する

1. **ACアダプタ（別売）のコネクタを卓上ホルダ（別売）背面の端子に水平に差し込む**
2. **ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む**

3 卓上ホルダを押さえながら、図のようにFOMA端末を①の方向に差し込みながら②の方向にしっかりと取り付ける

充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。電源が入っている場合、充電中は「 」が点滅し、充電が終了すると、「 」が点灯します。

充電時間の目安
約120分

4 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を矢印の方向へ倒して持ち上げる

おしらせ

- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態などでは、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。

<ACアダプタ／DCアダプタ>

- FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「 」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

<卓上ホルダ>

- FOMA端末は卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた〈電池残量〉

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。

- ：十分残っています。
- ：まだ大丈夫です。
- ：電池残量がほとんどありません。充電してください。

音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒後に電池残量の表示は消えます。

「ピッピッピッ」：十分残っています。
「ピッピッ」：まだ大丈夫です。
「ピッ」：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに左のような画面が点滅表示されます。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合はサイドボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 音声電話中は電池切れ画面と「ピッピッピッ」音、テレビ電話中は電池切れ画面（相手側には「カメラオフ Camera Off」というメッセージ）によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。

電源を入れる／切る〈電源ON／OFF〉

●お買い上げ後はじめてお使いになる場合や長時間お使いにならなかった場合は、必ず充電してからお使いください。

電源を入れる

●電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

1 **☎（1秒以上）**

待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAIT A MINUTE」と画面に表示される場合があります。

■「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

待受画面

強 ⟷ 弱

■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。→P.124

■ 積算料金自動リセットを「ON」に設定している場合

PIN2コード入力画面が表示されます。

■ 初期設定画面が表示された場合

初期設定を行います。→ P.46

おしらせ

●FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4〜8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。

電源を切る

1 **☎（2秒以上）**

終了画面「SEE YOU」が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う〈初期設定〉

電源を入れた後に初期設定として「メイン時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「文字サイズ」、「位置提供」、「ボタン確認音」を設定します。

1 **初期設定画面▶「YES」**

初期設定画面

2 **メイン時計を設定**

メイン時計設定について→P.47

3 **端末暗証番号を変更**

端末暗証番号はお買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。

端末暗証番号を変更する→P.125

4 **文字サイズを設定**

文字サイズの設定について→P.114

5 **GPS機能の位置提供の可否の設定**

位置提供を「ON」に設定した場合は、端末暗証番号を入力します。

位置提供の設定について→P.256

6 **ボタン確認音を設定**

ボタン確認音について→P.103

7 **ソフトウェア更新の自動更新設定についての説明を確認したら「OK」**

おしらせ

●一部の機能だけを設定した場合、次回電源を入れたとき、その機能の設定画面は表示されません。すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

日付・時刻を合わせる〈メイン時計設定〉

FOMA端末の日付と時刻を設定します。日付時刻やタイムゾーンの時差が自動で補正されるように設定できます。時刻には必要に応じてサマータイムを設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「メイン時計設定」▶「自動時刻時差補正」

■ サマータイムを設定する場合
▶「サマータイム」
「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

2 以下の項目から選択

時刻補正

自動……日付・時刻を自動で設定します。時刻情報を取得して自動的に日付と時刻を補正します。

手動（時刻入力）……タイムゾーンと日付・時刻を手動で設定します。

3 操作2で「自動」を選んだときは以下の項目から選択

時差補正

自動………時差情報を取得して自動的にタイムゾーンの日付・時刻の補正を行います。

手動（タイムゾーン選択）………タイムゾーンの設定を手動で行います。

■「手動（時刻入力）」を選択した場合
年（西暦）、月、日、時刻を入力します。

＜例：2007年12月28日、12時5分に設定する場合＞

時計設定
(西暦) 2007
(月日) 12／28
(時刻) 12：05

を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。
ここでは2、0、0、7、1、2、2、8、1、2、0、5と押します。

おしらせ

- 日付・時刻を設定すると、待受画面やイルミネーション・ウィンドウなどに表示されるようになり、「アラーム」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

おしらせ

＜自動時刻時差補正＞
- FOMAカードを取り付けた状態で、電源をONにしたときなどに自動補正されます。
- 数秒程度の誤差を生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
- 海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。

世界時計を設定する〈サブ時計設定〉

「メイン時計設定」で設定した日付・時刻とは別に、日本または世界各国の都市の時刻を表示できます。時刻には必要に応じてサマータイムを設定できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「サブ時計設定」▶「表示方法」

■ サマータイムを設定する場合
▶「サマータイム」
「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

2 以下の項目から選択

自動（ローミング時自動表示）……国際ローミング中にサブ時計の表示を自動で行います。表示される時間は日本の時間が表示されます。

常時表示(タイムゾーン選択)……ここで選択されたタイムゾーンの時間をサブ時計に常に表示します。
▶タイムゾーンに設定する都市名を選択
都市名を変更する場合、［変更］を押すと、タイムゾーンに表示されている都市名を変更できます。（タイムゾーンによっては都市名が変更できません。）

OFF……サブ時計を表示しません。

おしらせ

- 「待受時計表示」の「表示サイズ」が「上に小さく表示」に設定されている場合は、サブ時計は表示されません。
- 「メイン時計設定」のタイムゾーンが「GMT+9　日本」以外の場合、本機能で「自動(ローミング時自動表示)」を設定したときは、サブ時計は日本の時刻を表示します。（「GMT+9　日本」の場合には、日本国内ではサブ時計は表示されません。）

相手に自分の電話番号を通知する〈発信者番号通知〉

FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。

1 MENU ▶「サービス」▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定……発信者番号を通知するかしないかを設定します。

発信者番号通知設定確認……現在の発信者番号通知設定の内容を確認します。

おしらせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.58
- 本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、発信者番号通知を「通知する」に設定してかけ直してください。
- プッシュトークの発信をしたときも、本機能の設定に従います。

自分の電話番号を確認する〈マイプロフィール〉

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認します。

- マイプロフィールは編集できます。→P.347

おしらせ

- 「マイプロフィール」に登録した情報は、サイトなどで所有者情報（名前、メールアドレスなど）を入力するとき、簡単に引用できます。→P.349、366
- ｉモードのメールアドレスは、ｉモードメニュー▶ｉMenu▶料金＆お申込･設定▶メール設定▶アドレス確認の順に操作すると確認できます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、でマイプロフィール表示が切り替えられます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bモードでマイプロフィールの初期化を行ってください。→P.348

電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

■電話／テレビ電話の受けかた

■電話／テレビ電話に出られないとき、出られなかったとき

■テレビ電話の設定

音声電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番からダイヤル

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 − 市内局番 − 電話番号

26桁を超えて入力すると、下26桁が表示されます。80桁まで発信できます。

電話番号入力画面

機能メニュー➡P.52

■ 携帯電話にかける場合
090－××××－××××
または
080－××××－××××

<電話番号の入力を間違えたとき>

■ 番号を挿入する場合
で挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動し、番号を入力します。

■ 番号を削除する場合
で削除したい番号にカーソルを合わせ、CLRを押します。
CLRを1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合
カーソルを番号の先頭か最後に合わせてCLRを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

<テレビ電話>

■ キャラ電画像でかける場合
▶ch［機能］▶「テレビ電話画像選択」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

2 （音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

<音声電話>

「通話中画面」が表示されます。

通話中画面

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話、PHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。

<テレビ電話>

「テレビ電話中画面」が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。

テレビ電話中画面

機能メニュー➡P.52

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.53

■ カメラ映像と代替画像を切り替える場合
▶ch［機能］▶「代替画像切替」または「自画像切替」

■ 外側カメラの映像を送信する場合
▶［切替］

［切替］を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

■ 親画面表示を切り替える場合
▶（1秒以上）

（1秒以上）を押すたびに画面が以下の順に切り替わります。
親画面に相手側映像を表示 → 親画面に自分側映像を表示 → 相手側映像のみを表示 → 自分側映像のみを表示

■ 送信する音声をミュート（消音）する場合（マイクミュート）
▶ [マナー]（1秒以上）
ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度 [マナー] を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

■ 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える場合
「通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える」→P.53

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合
「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.66

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

3 通話が終了したら

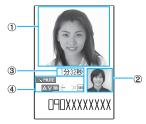
おしらせ

<音声電話>
- 発信中は「 」が点滅し、通話中は点灯します。

<テレビ電話>
- テレビ電話発信中は「 」が点滅し、通話中は点灯します。
- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。
- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  - ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
    第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  - ※2：3G-324M
    第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K(32kbps)の2種類がありますが、FOMA N905iμでは32Kによるテレビ電話は利用できません。

■テレビ電話画面の見かた

①親画面（お買い上げ時は相手側のカメラ映像を表示）
②子画面（お買い上げ時は自分側のカメラ映像を表示）
③通話時間
④各種機能の設定内容

A A：音声送受信中／送受信失敗
V V：映像送受信中／送受信失敗
 ：カメラ映像／代替画像送信中
（青色） （水色）：ハンズフリーON／OFF
MUTE：マイクミュート中（消音中）
：ビジュアルチェック中
：撮影モード（人物／風景／接写）
123 ：キー操作モード（DTMFモード※1／全体アクションモード※2／パーツアクションモード※2）
：キャラ電送信中

※1：「DTMF送信／DTMF解除」→P.52
※2：「キャラ電を利用する」→P.73

機能 電話番号入力画面（P.50）

発信者番号通知→P.59

プレフィックス→P.60

着もじ→P.56

国際電話発信→P.61

マルチナンバー→P.378

電話帳登録→P.89

ｉモードメール作成※→P.188

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

※： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

機能 テレビ電話中画面（P.50）

プチメッセージ→P.75

デコレーションテレビ電話→P.75

メッセージ･装飾消去……表示したメッセージやスタンプを消去します。

代替画像切替⇔自画像切替……自画像と代替画像を切り替えます。

外側カメラ⇔内側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。
通話中のみ設定が保持されます。

親画面表示切替……親画面の表示を切り替えます。
切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。

ビジュアルチェック⇔ビジュアルチェック終了→P.74

テレビ電話設定……テレビ電話の画面について設定します。

- **送信画質設定**……相手に送信する映像と相手から受信する映像について設定します。
  通話中のみ設定が保持されます。
  - **標準**（お買い上げ時）……画質、動きともに標準の設定です。
  - **画質優先**……きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
  - **動き優先**……動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
- **明るさ調節**……画像の明るさを「－2～0～＋2」の5段階で調節します。
- **ホワイトバランス設定**……画像の色合いを設定します。→P.152
  設定内容はカメラの同機能にも反映されます。
- **色調切替**……画像の効果を「通常／セピア／白黒」から選択します。
  通話中のみ設定が保持されます。
- **撮影モード選択**……撮影する場面に合ったモードを設定します。→P.151
  内側カメラのときは設定できません。

キャラ電設定……キャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。カメラ画像のときは設定できません。

- **キャラ電切替**……表示するキャラクタの種類を選択します。
- **アクション一覧**……操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。[＊]を押してもアクション一覧を表示できます。
- **アクション切替**……アクションモードを切り替えます。
- **静止画切替**……相手側の画面に自作の画像を表示します。→P.74

照明設定……バックライトの点灯を設定します。

- **常時点灯**（お買い上げ時）……常時バックライトを点灯します。
- **10秒点灯**……10秒間のみバックライトを点灯します。

内側カメラ鏡像……通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

自局番号……テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

DTMF送信⇔DTMF解除……キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。

音声電話切替→P.53

現在地通知→P.259

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。

- ●状況によっては接続できなかった理由が表示されない場合があります。
- ●接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手がお話し中の場合 • 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が 3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
お客様のご要望によりおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトを閲覧しないでテレビ電話をかけてＶライブを視聴しようとした場合

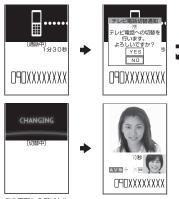
- ●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年１月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、正しい動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

- ●相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、音声電話とテレビ電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
- ●切り替え操作は、発信側からのみ行うことができます。
- ●切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.76
- ●音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。

<例：音声電話からテレビ電話に切り替える場合>

1 通話中画面（P.50）▶◉［テレビ電話］▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

この画面からデジタル通信料がかかります。

■ テレビ電話から音声電話に切り替える場合

▶テレビ電話中画面（P.50）▶ch［機能］▶「音声電話切替」

おしらせ

- ●切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
- ●以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
  - • 相手側が通話を保留にしているとき
  - • 相手側が伝言メモを起動したとき

おしらせ

- 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話を終了すると、音声電話とテレビ電話の合計時間が表示されます。通話時間からは切り替えにかかった時間は除かれて表示されます。
- 相手側の利用状態や電波の状態などにより、切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
- 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
- 「SWITCHING VOICE/VIDEO」が表示されている間は通話料はかかりません。
- 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。

<音声電話⇒テレビ電話切り替え時>

- 発信側がｉモード中の場合は、ｉモード接続を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中（ｉモード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声通話を継続します。
- 「キャッチホン」が動作しているときは、切り替えることができません。

通話中にハンズフリーを利用する〈ハンズフリー〉

通話中の相手の音声をスピーカから流して通話します。

1 通話中画面（P.50）▶ [✉] [🔊→On]

ハンズフリー通話中は「🔊（青色）」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます 。

呼出中に[✉]［🔊→On／🔊→Off］を押してハンズフリーを切り替えることもできます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に[✉]［🔊→Off］

ハンズフリーはOFFになり、音声電話、プッシュトークの場合は「🔊（青色）」が消えます。テレビ電話の場合は「🔊（青色）」が「🔊（水色）」に変わります 。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

- ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。
- 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する〈リダイヤル／発信履歴／着信履歴〉

かけたり、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は、リダイヤル／発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらを利用すると、かけたり、かかってきた相手に簡単に電話をかけられます。

- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、リダイヤルには最新の1件が、発信履歴には別の1件として情報が記憶されます。
- リダイヤルは音声電話、テレビ電話、プッシュトークの電話番号を30件まで記憶できます。
- 発信履歴／着信履歴は音声電話、テレビ電話、プッシュトークの履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について→P.81

<例：リダイヤル／着信履歴の一覧画面から電話をかける場合>

1 待受画面表示中▶ ◎（リダイヤル）／◎（着信履歴）

「リダイヤル画面（一覧）」／「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を確認する場合

▶[MENU]▶「ユーザデータ」▶「発信履歴」

「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー➡P.56

② リダイヤル／着信履歴を反転

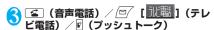
■ リダイヤル／着信履歴の詳細を確認してから電話をかける場合

▶リダイヤル／着信履歴を選択

「リダイヤル画面（詳細）」／「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー➡P.56

③
（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）／（プッシュトーク）

● 不在着信の件数を確認する

■ 着信履歴から不在着信だけを確認する場合

▶MENU▶「ユーザデータ」▶「着信履歴」

全着信の件数、不在着信の件数、および不在着信のうち未確認の件数が表示されます。

「不在着信」を選択すると、不在着信のみ表示されます。

■表示されるリダイヤル／発信履歴／着信履歴のアイコンについて

アイコン※1	説明
電話／不在／不在	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
／不在／不在	プッシュトーク（1対1で会話）の発着信／不在着信／未確認不在着信
／不在／不在	プッシュトーク（複数人で会話）の発着信／不在着信／未確認不在着信
B ※2	2in1のBモードの発着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されているもの
✎	着もじの付いた着信
パケット／不在／不在	パケット通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
64k／不在／不在	64Kデータ通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
遠隔	遠隔監視の着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信
GMT	「自動時刻時差補正」の設定にかかわらず、タイムゾーンが「GMT+9」以外のときの発着信 「サマータイム」が設定されている場合は、サマータイムの設定を反映して表示します。

※1：詳細表示画面と一覧表示画面では、一部見えかたが異なるものがあります。

※2：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示されます。

おしらせ

● 2in1利用時にはそれぞれの電話番号ごとに30件まで記憶できます。また、デュアルモードに設定している場合は、両方のリダイヤル／発信履歴／着信履歴が30件ずつ、最大60件まで表示されます。

<リダイヤル／発信履歴>

● 「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤル／発信履歴に記憶されます。

● マルチナンバーを機能メニューから選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名と番号が表示されます。機能メニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」を付加番号に設定していても、何も表示されません。

<着信履歴>

● 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。

● 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。

● 電話番号を通知してこなかった場合、着信履歴に非通知理由が表示されます。

● 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.92

● マルチナンバーの契約をしている場合、着信履歴画面から発信すると「通常発信番号設定」の設定にかかわらず、着信を受けた番号で発信します。

● マルチナンバーの付加番号に着信した場合、着信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。

機能 リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面（P.54）

発信者番号通知※1→P.59

プレフィックス※1※2→P.60

着もじ※1※2→P.56

国際電話発信※1※2→P.61

2in1／マルチナンバー※1※2※3→P.379、378

プッシュトーク選択発信※4※5……「プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について」→P.81

呼出時間表示※6※9……不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。

電話帳登録……登録先を「電話帳登録／プッシュトークメンバー登録※5／プッシュトークグループ登録※5」から選択します。「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.90

電話帳参照※2……「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.93

デスクトップ貼付→P.115

iモードメール作成※2※5→P.188

SMS作成※2※5→P.224

送信アドレス一覧※7※8……送信アドレス一覧を表示します。

受信アドレス一覧※6……受信アドレス一覧を表示します。

テレビ電話画像選択※2……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

拡大表示⇔標準表示※9……表示する名前の文字サイズを切り替えます。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：詳細表示画面でのみ利用できる機能です。
※2：プッシュトーク（複数人で会話）の履歴画面では利用できません。
※3：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ利用できる機能です。
※4：プッシュトーク（複数人で会話）の履歴画面でのみ利用できる機能です。
※5：2in1のモードをAモードまたはデュアルモードにし、Aモードの履歴を選択している場合のみ利用できる機能です。
※6：着信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※7：リダイヤル画面／発信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※8：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※9：一覧表示画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

- 「iモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- リダイヤル画面／発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、また発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されずに履歴が残りますのでご注意ください。発信履歴を削除するときは発信履歴画面の機能メニューから、リダイヤルを削除するときはリダイヤル画面の機能メニューから、それぞれ削除してください。

着もじを使う 〈着もじ〉

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージ（着もじ）を送り、あらかじめ用件などを伝えます。

- お買い上げ時には5件登録されており、お買い上げ時に登録されている着もじの内容は変更できます。
- 着もじには絵文字や顔文字を含めることができ、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで送れます。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 着もじは、プッシュトークに対応していません。

着もじを付けて電話をかける

「電話番号入力画面」や「電話帳」、「リダイヤル／発信履歴／着信履歴」の詳細画面から音声電話やテレビ電話をかける際に、着もじを付けることができます。

<例：電話番号入力画面から着もじを付けて電話をかける場合>

1 電話番号入力画面（P.50）▶ch［機能］▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成……着もじを入力します。10文字まで入力できます。

メッセージ選択……登録済みの着もじから選択します。
メッセージ選択画面で［編集］を押して、着もじの内容を編集することもできます。

送信メッセージ履歴……過去に送信した着もじから選択します。送信メッセージ履歴画面で［編集］を押して、着もじを編集することもできます。

■ 入力した着もじを消去（着もじなしで発信）する場合

▶ ch［機能］▶「着もじ」▶「メッセージ作成」▶入力されている着もじをすべて消去

2 **（音声電話）／ ［テレビ電話］（テレビ電話）**

着もじが相手側の端末に届いた場合、「送信しました」という送信結果が表示されます。

おしらせ

- 着もじの送信には送信料金がかかります。なお、受信側は料金はかかりません。
- 送信メッセージ履歴には送信した着もじを30件まで記憶できます※。同じ着もじを繰り返し送信した場合、最新の1件だけが記憶されます。また、最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。
  ※：2in1利用時には、それぞれのモードでの送信メッセージ履歴を30件まで記憶できます。また、デュアルモードに設定している場合は、両方の送信メッセージ履歴が30件ずつ、最大60件まで表示されます。
- 着信側が以下の場合などは、着もじを送信できません。このとき送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 着信側の「メッセージ表示設定」により、発信側の着もじが着信側に表示されない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - 伝言メモの呼出時間を0秒に設定している場合
  - 「圏外」または電源が入っていない場合
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。

おしらせ

- 海外での利用時は、着もじを送受信することができません。

● 着もじが付いた音声電話やテレビ電話を受けると

着もじが着信中画面に表示されます。なお、通話を開始すると着もじは消えます。

- 着もじを受信すると、3Dアニメーションで表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、イルミネーション・ウィンドウに着もじが表示されます。

例：音声電話

おしらせ

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信であっても、着もじは表示され、着信履歴にも着もじは残ります。
- 絵文字によっては3Dアニメーションで表示されないものがあります。
- 着信側や発信側の状態によっては、着もじが付いた着信であっても、着もじが表示されない場合があります。
- 「着もじ」がオリジナルロック設定中は、着もじが付いた着信があっても表示されません。この場合、ロック解除後の着信履歴に着もじが保存されます。

● 着信履歴から着もじを表示する

着もじを受信すると、着信履歴に「✎」のアイコンが表示されます。

1 **待受画面表示中▶◎▶「✎」が表示されている着信履歴を選択**

「着信履歴画面（詳細）」が表示され、着もじの内容を確認できます。

おしらせ

- 着信履歴を利用して電話をかけた場合でも、履歴に残されている着もじは送信されません。

着もじの編集や設定をする

1 MENU ▶「サービス」▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成→P.58

メッセージ表示設定……着もじが付いた着信があったときの着もじの表示条件を設定します。

すべて表示……すべての着もじを表示します。

電話帳登録番号のみ……電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。

番号通知ありのみ……番号通知のある相手からの着もじのみを表示します。

表示しない……すべての着もじを表示しません。

メッセージ3D表示……3Dアニメーションで表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- 「メッセージ表示設定」で設定した内容は、イルミネーション・ウィンドウにも反映されます。
- 「メッセージ3D表示」を「ON」に設定しても、イルミネーション・ウィンドウには3Dアニメーションでは表示されません。

● よく使う着もじを登録する

- 着もじは、最大30件（お買い上げ時に登録されている5件を含む）まで登録できます。

1 MENU ▶「サービス」▶「着もじ」▶「メッセージ作成」

「メッセージ作成一覧画面」が表示されます。

メッセージ作成一覧画面

機能メニュー➡P.58

2 「<未登録>」を反転▶ ✉［編集］

■ すでに登録されている着もじの内容を変更する場合

▶変更する項目を反転▶ ✉［編集］

3 着もじを入力

機能 メッセージ作成一覧画面（P.58）

編集……着もじを編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。お買い上げ時に登録されている着もじを変更し、その着もじを削除しても、お買い上げ時の内容に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

- プッシュトーク発信する場合、電話番号の前に「186」／「184」を付けて発信しても無効になります。

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知（一括設定）	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.48
発信者番号通知（発信ごとに設定）	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.59
「186」／「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」／「184」をダイヤルして設定します。	P.58

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

■電話番号を通知する場合

186－［相手先の電話番号］－ 📞（音声電話）／ ✉［テレビ電話］（テレビ電話）

■電話番号を通知しない場合

184－［相手先の電話番号］－ 📞（音声電話）／ ✉［テレビ電話］（テレビ電話）

おしらせ

- 国際電話をかけるときは、機能メニューから「発信者番号通知」を選択してください。

おしらせ

- 「186」または「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」または「184」を付けた電話番号で記憶されます。

電話をかけるときに通知／非通知を選択する 〈発信者番号通知〉

相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない／通知する」から選択します。
- 発信者番号通知機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面から音声電話をかける場合>

1. **相手の電話番号を入力**
2. **[ch]［機能］▶「発信者番号通知」▶「通知しない」または「通知する」**
   ■「発信者番号通知」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合
   ▶「設定消去」
   「設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」で設定した内容になります。
3. [発信]

プッシュ信号を手早く送り出す 〈ポーズダイヤル〉

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。p（ポーズ）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。
- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0〜9、#、*、p（ポーズ）です。
- p（ポーズ）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1. **[MENU]▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」**
   「ポーズダイヤル画面」が表示されます。
   ■ すでにダイヤルデータが登録されている場合
   登録されているダイヤルデータが表示されます。

   ポーズダイヤル
   ポーズダイヤル画面
   機能メニュー➡P.59
2. **[メール]［編集］▶ダイヤルデータを入力**
   [0]〜[9]、[#]、[*]を押してダイヤルデータを入力してください。
   ■ p（ポーズ）を入力する場合
   ▶[*]（1秒以上）

機能 ポーズダイヤル画面（P.59）

編集……ダイヤルデータを編集します。

ポーズダイヤル送信……送信先の電話番号を入力して、ダイヤルデータを送信します。
[発信]を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。

削除……登録されているダイヤルデータを削除します。

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1. **[MENU]▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」▶●［送信］**
2. **送信先の電話番号をダイヤル▶[発信]**
   入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のp（ポーズ）までのダイヤルデータが表示されます。p（ポーズ）は表示されません。
3. **[発信]**
   [発信]を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。
   ■ ダイヤルデータをまとめて送出する場合
   ▶[i]（1秒以上）▶「一括送出」
   相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

- 受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

プレフィックス機能を利用する

国際アクセス番号（WORLD CALL ＝ 009130-010）や発信者番号の通知／非通知（186／184）など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号をあらかじめ登録しておき、電話をかけるときに付加します。

プレフィックス番号を登録する 〈プレフィックス設定〉

- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0～9、#、✱、＋です。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「プレフィックス設定」

「プレフィックス設定画面」が表示されます。

発信
プレフィックス設定
1 WORLD CALL
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉
6 〈未登録〉
7 〈未登録〉

プレフィックス設定画面

機能メニュー ➡P.60

2 「<未登録>」を反転 ▶ ✉ ［編集］

■ すでに登録されている項目の内容を変更する場合

▶変更したい項目を反転 ▶ ✉ ［編集］

■ すでに登録されている項目の内容を確認する場合

▶確認したい項目を選択

3 登録名を入力

全角8文字、半角16文字まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力

番号は10桁まで入力できます。

機能 プレフィックス設定画面（P.60）／国際プレフィックス設定画面（P.62）

編集……プレフィックス、国際アクセス番号を編集します。

1件削除・全削除……プレフィックス、国際アクセス番号を1件または全削除します。

プレフィックス番号を付加して電話をかける 〈プレフィックス〉

- プレフィックス番号を付加できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面でプレフィックス番号を付加して音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 ch ［機能］▶「プレフィックス」▶登録名を選択 ▶ ☎

国際電話を利用する 〈WORLD CALL〉

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面、リダイヤル／発信履歴画面、着信履歴画面、電話帳詳細画面の各機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に /[テレビ電話] で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [発信]

国際電話がかかります。

3 通話が終了したら[終話]

「+」を利用して国際電話をかける

「+」を利用すれば、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。
- お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能設定」が「ON」（自動付加）に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、+（[0]（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [発信]▶「発信」

国際電話がかかります。

■「+」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合

▶「元の番号で発信」

※本端末ではご利用になれません。

■ 電話をかけるのをやめる場合

▶「中止」

国際電話発信機能を利用して国際電話をかける 〈国際電話発信〉

電話番号に、国番号や国際アクセス番号を付加し、国際電話をかけます。
- 国番号や国際アクセス番号は「国際ダイヤルアシスト」で登録できます。
- 国際電話発信機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例:電話番号入力画面で国際電話発信機能を利用する場合>

1 相手の電話番号を入力

2 [ch]［機能］▶「国際電話発信」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます（ただし、国番号で「イタリア」を選択した場合を除く）。

3

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする 〈国際ダイヤルアシスト〉

国際電話を発信するときの設定内容を変更したり、国番号を編集することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
自動変換機能設定	国内から国際電話をかけるときには、入力した「+」を本機能で設定した国際アクセス番号に自動的に置き換えます。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を編集します。お買い上げ時にはあらかじめ22件登録されています。
国際プレフィックス設定	国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。

●「+」の自動変換について設定する

国際電話をかけるときの「+」の自動変換について設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「自動変換機能設定」▶「ON」

■ 自動変換しない場合

▶「OFF」

2 国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

● 国番号を編集する

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。
国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「国番号設定」

「国番号設定画面」が表示されます。

2 項目を反転▶ [編集]

3 国名称を入力▶国番号を入力

国名称は全角8文字、半角16文字まで、国番号は5桁まで入力できます。

国番号設定画面

機能メニュー➡P.62

機能 国番号設定画面（P.62）

編集……国番号を編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

● 国際アクセス番号を登録する

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「国際プレフィックス設定」

「国際プレフィックス設定画面」が表示されます。

国際ダイヤルアシスト
国際プレフィックス設定
1 WORLD CALL
2 <未登録>
3 <未登録>

国際プレフィックス設定画面

機能メニュー➡P.60

2 「<未登録>」を反転▶ [編集]

■ すでに登録されている項目を変更する場合
▶ 変更したい項目を反転▶ [編集]

3 国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力

国際アクセス名は全角8文字、半角16文字まで、国際アクセス番号は10桁まで入力できます。

サブアドレスを指定して電話をかける 〈サブアドレス設定〉

電話番号に含まれる「*」を区切り文字とし、「*」以降をサブアドレスとして認識するように設定します。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」

■ 無効にする場合
▶「OFF」

おしらせ

- 以下のような場合、「*」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「*」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  - 電話番号の先頭に「*」がある場合
  - 電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「*」がある場合
  - 「プレフィックス」で入力した番号の直後に「*」がある場合
  - 電話番号内に「*590#／*591#／*592#」がある場合

再接続するときのアラームを設定する 〈再接続機能〉

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中、プッシュトーク通信中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定します。

- ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「再接続機能」▶アラーム音を選択

■ アラーム音を鳴らさない場合
▶「アラームなし」

おしらせ

- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする 〈ノイズキャンセラ〉

周囲の騒音を抑え、音声通話やテレビ電話、プッシュトークの声を相手に聞きやすくします。

1 MENU MULTI ▶「各種設定」▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」

■ 無効にする場合
▶「OFF」

車の中で手を使わずに話す 〈車載ハンズフリー〉

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変わりません。

音声電話／テレビ電話を受ける

1 音声電話／テレビ電話を着信する

着信音が鳴り、着信イルミネーションが点滅します。また「着信中画面」／「テレビ電話着信中画面」が表示されます。

着信中画面
機能メニュー ➡P.64

テレビ電話着信中画面
機能メニュー ➡P.64

■ 着もじが付いた着信の場合
着信中画面／テレビ電話着信中画面に着もじが表示されます。あらかじめ用件などを確認することができます。→P.56

■ 着信中に音声電話／テレビ電話を応答保留にする場合
「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.66

2 [☎]

「通話中画面」／「テレビ電話中画面」が表示されます。
テレビ電話では、相手の音声がスピーカから流れて通話できます。

■ テレビ電話に代替画像で出る場合
▶◉［代替画像］

■ テレビ電話中の操作について
テレビ電話では、カメラ映像を代替画像に切り替えたり、外側カメラに切り替えたり、送信する音声をミュート（消音）するなど、テレビ電話中にさまざまな操作が行えます。→P.50

■ 通話中に相手が音声電話／テレビ電話の通話を切り替えた場合
「相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき」→P.64

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合
「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.66

3 通話が終了したら[☎]

着信中の表示

■相手の電話番号が通知されたとき
相手の電話番号が画面に表示されます。電話帳に登録されている相手からの着信の場合、電話帳に登録した名前が画面に表示されます。
→P.88
- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録していると、電話帳のフリガナの検索順による最初の名前が表示されます。→P.92
- シークレットデータとして登録されている場合は名前などは表示されず、電話番号のみが表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信中画面に付加番号の登録名が表示されます。

■相手の電話番号が通知されなかったとき
発信者の非通知理由が表示されます。

機能 着信中画面／テレビ電話着信中画面（P.63）

着信拒否……電話を受けないで着信をそのまま切ります。

転送でんわ……電話を転送します。
「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

留守番電話……電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。

表示切替……付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けることができます。→P.355
- キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されていれば、「通話中着信設定」を有効にし、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴ります。
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービスの場合、現在の通話を終了して着信に応答することができます。
  - キャッチホンの場合、音声電話は、現在の通話を保留にして着信に応答することができ、テレビ電話は現在の通話を終了して着信に応答することができます。

おしらせ

<音声電話>
- 電話帳に登録されていない相手からの電話の着信動作を設定することができます。→P.140、141
- 電話帳に登録されている電話番号ごとに、電話の着信を制限することができます。→P.139

<テレビ電話>
- [✉]［現し電話］でも電話に出られます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

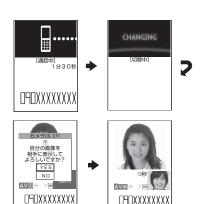
相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき

相手からかかってきた音声通話中／テレビ電話中に、相手が操作を行うことにより音声電話とテレビ電話が切り替わります。
- 着信側からは切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.76
- 音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

<例:相手が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合>

1 通話中画面（P.50）▶相手がテレビ電話切り替えを行う▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わると、自画像が相手側に送信されます。

■ 相手側に代替画像を送信する場合
▶「NO」
設定している代替画像が送信されます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替えた場合

▶テレビ電話中画面（P.50）▶相手が音声電話切り替えを行う

音声電話に切り替わります。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする 〈着信アンサー設定〉

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止めたり、電話に出られるように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー ……音声電話、プッシュトークに対して有効な機能で、以下のボタンで通話を開始できます。

［通話］、0～9、＊、CLR、、、［マナー］、
（音声電話のみ）、（プッシュトークのみ）

※ テレビ電話の場合、通常のボタン操作（、［代替画像］、［テレビ電話］）でのみ通話を開始できます。

クイックサイレント ……以下のボタンを押すかFOMA端末を開くと、相手には呼び出し音を鳴らしたまま、着信動作のみを止めることができます。

0～9、＊、CLR、、、［マナー］または（音声電話、プッシュトークの場合のみ）

電話に出るときは、、［通話／代替画像］、［テレビ電話］（テレビ電話のみ）、（プッシュトークのみ）を押します。

OFF ……通常のボタンでのみ通話を開始できます。

、［通話／代替画像］、［テレビ電話］（テレビ電話のみ）、（プッシュトークのみ）

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、5（エマージェンシーモードのON／OFF）や8（プライバシーアングルのON／OFF）を1秒以上押すと、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は動作しません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」にかかわらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても電話を受けることができます。
- 「エニーキーアンサー」に設定しているとき、本FOMA端末を閉じた状態で［マナー］を押すと音声電話は通話中保留になります。その際、クローズ動作設定を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する 〈クローズ動作設定〉

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択

ミュート……音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、相手側に「代替画像」が送信されます。保留音は流れません。

保留……通話を保留（通話中保留）にします。折り畳んでいる間、相手に保留音が流れます。テレビ電話の場合、相手側に通話中保留画像が送信されます。

スピーカ鳴動する……相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。

スピーカ鳴動しない……相手にのみ保留音が流れます。

終話……通話を終了します。を押す操作と同じです。

おしらせ

- マナーモード設定中は「スピーカ鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。
- プッシュトーク通信中は本設定は機能しません。プッシュトーク設定の「クローズ動作設定」に従います。

相手の声の音量を調節する〈受話音量〉

1 待受画面表示中▶ⓞ（1秒以上）▶ⓞで音量を調節

受話音量画面

ⓞ（1秒以上）で受話音量画面が表示されます。受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、受話音量調節を終了します。
「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節します。

■ 音声通話中に調節する場合
▶▲［マナー］／▼［📷］

■ テレビ電話中に調節する場合
▶ⓞまたは▲［マナー］／▼［📷］

おしらせ

- 通話中に待受中と同様、ⓞ（1秒以上）で調節することもできます。
- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- プッシュトーク通信中、ハンズフリーのときも調節できます。

着信音の音量を調節する〈着信音量〉

電話がかかってきたときや、メールやチャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節します。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくすることもできます。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音量」▶音量を調節する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話、64Kデータ通信などの着信音量が調節されます。
「メール」を選択すると、iモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信の着信音量が調節されます。

2 ⓞで音量を調節▶◉［確定］

■ 次第に音量を大きくする場合
▶「レベル6」のときにⓞ
「ステップ」に設定すると、3秒ごとに無音、「レベル1」～「レベル6」の順に着信音量が大きくなります。

■ 着信音を消す場合
▶「レベル1」のときにⓞ
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

- ：「電話」、「テレビ電話」、「プッシュトーク」を1つ以上「消去」に設定
- ：「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」を1つ以上「消去」に設定
- ：「」と「」の両方を設定

おしらせ

- 本機能で設定した「電話」の着信音量は、音声電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「To Doリスト」のアラーム音などに反映されます。

着信中や通話中の電話を保留にする〈応答保留／通話中保留〉

<例：着信中の電話を保留にする場合>

1 着信中▶☎

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。

■ 通話中の電話を保留にする場合
▶通話中▶CLR

■ 応答保留中／通話保留中に電話を切る場合
▶☎

■ 応答保留中／通話保留中に相手が電話を切った場合
通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら📞

通話保留中の場合はCLRを押しても保留を解除できます。

おしらせ

- 応答保留中や通話保留中でも、通話料金がかかります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。

保留音を設定する 〈保留音設定〉

応答保留中に、相手に流れるガイダンスを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「保留音設定」▶以下の項目から選択

応答保留音……応答を保留にするときのガイダンスを設定します。

応答保留音1……「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

応答保留音2……「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

おしゃべり1・おしゃべり2※……「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。

※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

公共モード（ドライブモード）を利用する 〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（画面に「圏外」が表示されているときも可能です）。
- 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モードに設定され、「🚗」が表示されます。
電話をかけてきた相手に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除する場合
▶待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）
公共モードが解除され、「🚗」の表示が消えます。

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。
- 公共モード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
- 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトーク着信音
  - メール着信音
  - メッセージR／F着信音
  - チャットメール着信音
  - アラームのアラーム音
  - スケジュールのアラーム音
  - To Doリストのアラーム音
  - 通話料金通知のアラーム音
  - 電池切れアラーム音
  - 充電確認音
  - ｉアプリのソフトの鳴動
  - パケット通信／64Kデータ通信着信音
  - GPS機能の検索要求通知音

● 公共モード（ドライブモード）を設定すると

FOMA端末に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- プッシュトークを着信しても応答しません。プッシュトークをかけてきた相手には、「接続できませんでした」と画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。

次ページにつづく

- ●メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

おしらせ

- ●公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。ただし、プッシュトークの場合は、メンバーに「不参加」として伝わります。

● 各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

公共モードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	• 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ • 相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	• 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。 • 転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
キャッチホン	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
迷惑電話ストップサービス	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

公共モード（電源OFF）を利用する 〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中▶
[＊][2][5][2][5][1]▶[☎]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合

▶待受画面表示中▶
[＊][2][5][2][5][0]▶[☎]

公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ 公共モード(電源OFF)の設定を確認する場合

▶待受画面表示中▶
[＊][2][5][2][5][9]▶[☎]

公共モード（電源OFF）の設定状況を確認できます。

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「✱25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- プッシュトークを着信しても応答しません。プッシュトークをかけてきた相手には、「接続できませんでした」と画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

● 各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	• 相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	• 相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	• 相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ • 相手に流れる公共モード（電源OFF）のガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	• 相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。 • 転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
迷惑電話ストップサービス	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

不在着信のお知らせのしかたを設定する 〈不在／新着確認設定〉

FOMA端末を折り畳んでいるときに、不在着信や新着メール（iモードメール、エリアメール、SMS）などがあるかどうかを[P]で確認するときのお知らせのしかたを設定します。

- 設定項目と[P]での確認動作の関係は以下のとおりです。

■不在着信や新着メールなどがある場合

設定項目	音と振動※1	着信イルミネーション
電子音	「ピピ、ピピ」という音でお知らせします。	「着信イルミネーション」の設定色で、約5秒間点灯します。 電話やメールなど、異なる種類の着信がある場合は、それぞれの色が1秒ずつ切り替わります。※2
ボイス	「ピピ」という音と、「新着チャットメールあり」「新着メールあり」「不在着信あり」「伝言メモあり」「留守番電話あり」の順に声（ボイスモニター）でお知らせします。	

■不在着信や新着メールなどがない場合

設定項目	音と振動※1	着信イルミネーション
電子音	「ピピピ」という音が鳴ります。	「色7」で約5秒間点滅します。
ボイス		

※1：振動でお知らせするのは、「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合です。
※2：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」、新着チャットメールは「色3」で点滅します。

1 [MENU] ▶「各種設定」▶「着信」▶「不在／新着確認設定」▶以下の項目から選択

電子音……電子音でお知らせします。

ボイス※……声でお知らせします。また、電話帳に登録済みの相手から着信した場合や伝言メモが録音／録画された場合に、発信者の名前を読み上げるか（ON）、読み上げないか（OFF）を設定します。

OFF……お知らせしません。

※：メール本文を読み上げる際の「○○さんからのメール」という音声通知は、「ボイス」の名前通知を「OFF」に設定した場合でも行います。
メール本文の読み上げについて→P.346

おしらせ

- 本機能は待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」などのデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.117

おしらせ

- 以下のような場合、[P]で不在着信や新着メールを確認できません。
  - サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定している場合
  - ミュージックプレーヤー／Music&Videoチャネルで音楽再生中の場合
- 音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「消去」「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります）。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。
- 「ボイス」の名前通知を「ON」に設定した場合でも、電話帳のフリガナが未登録の相手のときや、電話帳に登録した名前が表示されないときは発信者の名前を読み上げません。

● 現在の時刻を読み上げる

「ボイス」に設定した場合、FOMA端末を折り畳んだ状態で[▼][📷]を押すと、現在の時刻を読み上げます（ボイスクロック）。

電話に出られないときに用件を録音／録画する 〈伝言メモ〉

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。

- 本機能と留守番電話サービスとの違いは以下のとおりです。

項目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音／録画時間と件数	• 音声電話：最大20秒、5件まで • テレビ電話：最大20秒、2件まで	• 音声電話：最大3分、20件まで • テレビ電話：最大3分、20件まで
保存期間	制限なし	最大72時間
保存場所	FOMA端末内	留守番電話サービスセンター
再生可能な条件	圏内、圏外の制限なく再生可	圏内のみで再生可
録音／録画可能な条件	• 電話を受ける側が、圏内で電源が入っている場合に録音／録画可 • 伝言メモを「ON」に設定	• 電話を受ける側が、圏内または圏外で、電源を切っていても録音／録画可 • 「留守番電話サービス開始」を設定（P.372）

伝言メモを設定する

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「伝言メモ」▶以下の項目から選択

ON……応答メッセージの種類を選択します。

標準……「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。」と流れます。

プライベート……「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。」と流れます。

英語……「I can't take your call now. Please leave the message. Thank you.」と流れます。

おしゃべり1・おしゃべり2※……「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。

OFF……伝言メモの設定を解除します。

※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

2 **呼出時間（000～120秒の3桁）を入力**

自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「」と「」が表示されます。

おしらせ

- 応答メッセージを「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定しているときに、「おしゃべり1」「おしゃべり2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 「個別着信音／画像」で電話番号ごと、「グループ着信音／画像」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■伝言メモの録音／録画がはじまると

- 録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

例：音声電話

■録音中に音声電話に出る場合

▶

■録画中にテレビ電話に出る場合

▶カメラ映像で出るときは、代替画像で出るときは ［代替画像］

■伝言メモの録音／録画が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.72
- ディスプレイ上部のアイコン表示エリアには、それぞれの録音／録画件数を示すアイコンが表示されます。

～：音声電話伝言メモ（1件～5件）

／：テレビ電話伝言メモ（1件／2件）

おしらせ

- マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。
- 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する
〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン1つで用件を録音／録画します。

1 着信中▶▼［📷］

伝言メモの録音／録画が開始されます。

■ **伝言メモの録音／録画開始と同時にマナーモードに設定する場合**

▶着信中▶#

おしらせ

- この操作で「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- 録音／録画件数がいっぱいのとき（音声電話5件、テレビ電話2件）に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（#を押したときは、「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

- 未再生の伝言メモがある場合は待受画面に「伝言」（伝言メモあり）または「伝言」（テレビ電話伝言メモあり）が表示されます。

<例：未再生の伝言メモを確認する場合>

1 待受画面表示中▶◉▶「伝言」（伝言メモあり）または「伝言」（テレビ電話伝言メモあり）を選択

「音声メモの再生／消去画面」または「動画メモの再生／消去画面」が表示されます。

録音／録画されている項目に「★」が付きます。

音声メモの再生／消去画面

機能メニュー➡P.73

■ **メニュー操作で伝言メモを再生する場合**

▶MENU▶「LifeKit」▶「音声メモの再生／消去」または「動画メモの再生／消去」

2 再生する項目を選択

<伝言メモ／音声メモ>

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。

待受画面表示中に▼［📷］を押しても、メモを再生できます。

■ **再生中に次のメモを再生する場合**

▶▼［📷］

▼［📷］を押すごとに、新しい順で伝言メモが再生されます。

音声メモは最後に再生されます。

■ **停止する場合**

▶◉［停止］またはCLR

「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。

<テレビ電話伝言メモ>

再生がはじまります。再生が終了すると、「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ **再生中に別のメモを再生する場合**

▶◈

■ **再生中に音量を調節する場合**

▶◈

■ **再生中にスピーカのON／OFFを切り替える場合**

▶ch［機能］▶「スピーカーON」または「スピーカーOFF」

■ **再生を一時停止する場合**

▶◉［停止］

再生を再開するときは◉［再生］

■ **停止する場合**

▶CLR

「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ **再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信する場合**

▶📞（音声電話）／✉［テレビ電話］（テレビ電話）／P（プッシュトーク）

プッシュトークは1対1の会話のみ可能です。

■ **再生中のメモを消去する場合**

▶ch［機能］▶「消去」▶「YES」

おしらせ

- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号で録音した伝言メモには「★」が表示されません。「デュアルモード」に設定している場合は両方で録音した伝言メモに「★」が表示されます。

機能 **メモの再生／消去画面（音声／動画）（P.72）**

再生……再生します。

1件消去……伝言メモ、音声メモを1件消去します。

伝言メモ全消去※……伝言メモをすべて消去します。音声メモは消去されません。

全消去……伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

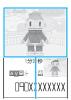
※：音声メモの再生／消去画面でのみ利用できます。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。「キャラ電とは」→P.285

- 「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定しておくと、お気に入りのキャラ電を表示できます。
  また、電話帳や個別着信音／画像にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用できます。
- テレビ電話中にカメラ映像からキャラ電に切り替えるには、機能メニューから「代替画像切替」を選択します。

1 テレビ電話がかかってきたら ◉［代替画像］

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

キャラ電

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを行います。

■ アクション一覧を確認する場合

▶［＊］

でアクションを選択してそのアクションを実行することもできます。

■ アクションモードを切り替える場合

▶［ch］［機能］▶「キャラ電設定」▶「アクション切替」

「全体アクション」と「パーツアクション」が切り替わります。

「キャラ電を操作する」→P.285

相手側に送信する映像について設定する

1 [MENU] ▶「各種設定」▶「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定……テレビ電話中の画質を設定します。

- **標準**（お買い上げ時）……画質、動きともに標準の設定です。
- **画質優先**……きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
- **動き優先**……動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。

画像選択→P.74

音声自動再発信……テレビ電話に接続できなかった場合の動作を設定します。

- **ON**……テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。
- **OFF**（お買い上げ時）……テレビ電話に接続できなかったメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

遠隔監視設定→P.77

テレビ電話画面設定→P.75

テレビ電話切替通知→P.76

ハンズフリー切替→P.75

パケット通信中着信設定→P.76

● テレビ電話中に送信する画像を設定する〈画像選択〉

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定します。
- 設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、横854×縦854ドット以下のJPEG画像、横854×縦480、横480×縦854ドット以下のGIF画像です（ただし、ファイル制限が設定されている画像は除く）。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択……応答保留のときに送信する画像を設定します。

通話保留選択……通話中保留のときに送信する画像を設定します。

代替画像選択……代替画像のときに送信する画像を設定します。

伝言メモ選択……テレビ電話伝言メモ録画中に送信する画像を設定します。

伝言メモ準備選択……テレビ電話伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。

音声メモ選択……音声メモ録音中に送信する画像を設定します。

2 送信する画像を選択

内蔵……メッセージのみを送信します。

自作……画像とメッセージを送信します。
画像を変更する場合は、機能メニューの「設定内容変更」で、マイピクチャの画像から選択します。

キャラ電※……「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。
キャラ電一覧画面の機能メニュー→P.286
キャラ電の優先順位→P.90
キャラ電を変更する場合は、機能メニューの「設定内容変更」で、キャラ電一覧から選択します。

※：「代替画像選択」を選択したときのみ利用できます。

■送信されるメッセージについて

応答保留の場合　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合：
「カメラオフ　Camera Off」
テレビ電話伝言メモ録画中の場合：
「伝言メモ録画中　Recording」
テレビ電話伝言メモ準備中の場合：
「伝言メモ準備中　Preparing」
音声メモ録音中の場合：
「音声メモ録音中　Recording Voice only」

おしらせ

＜送信画質設定＞
- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

＜画像選択＞
- 貼り付け元の静止画を削除すると、相手には「内蔵」の静止画が表示（送信）されます。
- 代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」を送信します。内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

＜音声自動再発信＞
- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「リダイヤル／発信履歴」には音声電話の履歴だけが記憶されます。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

テレビ電話中に自分の顔を確認する〈ビジュアルチェック〉

1 テレビ電話中画面（P.50）▶ ch［機能］▶「ビジュアルチェック」
内側カメラの映像で確認することができます。
ビジュアルチェック中は「□」が表示されます。
相手には代替画像が送信されます。

2 ch［機能］▶「ビジュアルチェック終了」
ビジュアルチェックを終了し、ビジュアルチェック前の状態に戻ります。

送信する画像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信します。
- ズームは、外側カメラのときに1倍〜約4倍までを16段階に調節できます。内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。
- テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切り替えなどを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
- 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。

1 テレビ電話中▶ ⊙ を押して倍率を調節

テレビ電話のハンズフリーについて設定する 〈ハンズフリー切替〉

テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替わるように設定します。

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「ハンズフリー切替」▶「ON」

■ 切り替えない場合
▶「OFF」

■ テレビ電話中に解除する場合
▶ [メール] [スピーカーOff]

おしらせ

- 以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
  - マナーモード設定中の場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従います）
  - 着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

テレビ電話中に表示される映像について設定する

親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定する 〈テレビ電話画面設定〉

親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定します。

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「テレビ電話画面設定」▶以下の項目から選択

親画面表示……テレビ電話の親画面表示について「親画面相手画像表示／親画面自画像表示」から選択します。
「親画面相手画像表示」は相手側のカメラ映像を、「親画面自画像表示」は自分側のカメラ映像を親画面に表示します。

内側カメラ鏡像……通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

テレビ電話の顔に装飾を施し表情豊かにする 〈デコレーションテレビ電話〉

テレビ電話の画面（自分側のカメラ映像）をスタンプやフレームで装飾します。

1 テレビ電話中画面（P.50）▶ [ch]［機能］▶「デコレーションテレビ電話」▶以下の項目から選択

フレーム……フレームを選択します。

スタンプ……スタンプを選択し、貼り付け位置を決定します。

■フレームやスタンプを消す場合
テレビ電話中画面の機能メニューから「メッセージ・装飾消去」を選択します。

おしらせ

- 自分側のカメラ映像を「内側カメラ鏡像」で「OFF」に設定している場合は、正像表示され、文字のようなスタンプが正しく読めます。

テレビ電話中（カメラ映像送信中）にメッセージを送信する 〈プチメッセージ〉

1 テレビ電話中画面（P.50）▶ [ch]［機能］▶「プチメッセージ」▶メッセージを入力

メッセージが表示されます。メッセージは約15秒で自動的に消えます。
メッセージは全角16文字まで入力できます。

■ 本文入力画面でメッセージの入力を中止する場合
▶メッセージをすべて消去▶ CLR

■ メッセージを表示させた後、手動でメッセージを消す場合
▶ CLR（1秒以上）
機能メニューから「メッセージ・装飾消去」を選択して消すこともできます。

おしらせ

- 自分側のカメラ映像を「内側カメラ鏡像」で「OFF」に設定している場合は、正像表示され、文字が正しく読めます。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する 〈テレビ電話切替通知〉

自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを、相手側のFOMA端末に通知するかしないかを設定します。

- 「切替機能通知開始」に設定すると、相手側のFOMA端末はテレビ電話と音声電話を切り替えることができますが、「切替機能通知停止」に設定すると、切り替えることができなくなります。
- 通話中または「圏外」が表示されているときは、本機能の設定を行うことはできません。

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「テレビ電話切替通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始……相手側のFOMA端末に、自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知します。

切替機能通知停止……相手側のFOMA端末に、自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知しません。

切替機能通知設定確認……「テレビ電話切替通知」の設定状態を確認します。

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する 〈パケット通信中着信設定〉

- テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、ｉモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.422

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択

テレビ電話優先……テレビ電話の着信中画面に移ります。テレビ電話の着信に応答するとｉモード通信が切断されます。

パケット通信優先……テレビ電話の着信を拒否します。

留守番電話……留守番電話サービスをご契約されている場合、「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

転送でんわ……転送でんわサービスをご契約されている場合、「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

おしらせ

- 「テレビ電話優先」に設定していても、音声通話中にｉモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。
- 「パケット通信優先」、「留守番電話」、「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。
- 「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

ｉモード通信中にテレビ電話を受ける

あらかじめ「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定しておくと、ｉモード通信中やメールの送受信中にテレビ電話を受けることができます。

1 ｉモード通信中にテレビ電話の着信を受けたら[発信キー]

■ 代替画像で出る場合

▶◉［代替画像］

ｉモード通信が切断され、テレビ電話通信中画面に切り替わります。

2 通話が終了したら[終話キー]

■ ｉモード通信を継続して利用するには

「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合でも、テレビ電話着信中画面の機能メニューから「着信拒否」、「転送でんわ」または「留守番電話」を選択することで、ｉモード通信を継続して利用することが可能です。

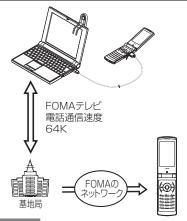
外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- USBモード設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
  (パソコンでのご利用環境などの詳細についてはサポートホームページでご確認ください)

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

- 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン、留守番電話、転送でんわのいずれかをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中に音声電話･テレビ電話･64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

外出先から室内の様子などを確認する 〈遠隔監視設定〉

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。FOMA N905iμは、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号(監視許可番号)や遠隔監視を開始するまでの時間(応答時間）を設定します。

- 監視許可番号は5件まで登録できます。

1 テレビ電話設定画面（P.73）▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「監視許可番号登録」

「監視許可番号登録画面」が表示されます。

監視許可番号登録画面

機能メニュー➡P.78

2 「<未登録>」▶監視を許可する電話番号を入力

■ すでに登録されている監視許可番号を変更する場合

▶変更したい監視許可番号を選択

3 CLRで遠隔監視設定画面に戻る

4 「応答時間設定」▶応答時間(003～120秒の3桁）を入力

応答時間が設定されます。

5 「設定」▶「ON」

待受画面に「 」が表示されます。

■ 遠隔監視を受けない場合

▶「OFF」

6 FOMA端末を設置

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。

着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。

閉じたまま設置した場合は、音声のみを送信しカメラ画像は送信せず、代替画像に「カメラオフ　Camera Off」の文字を重ねて送信します。

電話／テレビ電話

次ページにつづく

おしらせ

- FOMA端末を設置するときは、着信時の振動で動いてしまうことを防ぐため、「バイブレータ」のテレビ電話を「OFF」に設定してください。
- 着信側の「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「留守番電話」や「転送でんわ」が優先されます。

機能 監視許可番号登録画面（P.77）

宛先参照入力……電話帳や発信履歴、着信履歴を参照して宛先を入力します。

1件削除・全削除……監視許可番号を1件または全削除します。全削除すると、「設定」は「OFF」になります。

遠隔監視を行う／終了する

- 遠隔監視を行うには、必ず着信側が監視許可番号として登録したFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
- FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側の映像が表示され、音声も流れます。

1 着信側へテレビ電話をかける

発信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、スピーカから音声が流れます。

■ **着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話（カメラ映像）に出る場合**
▶応答時間が経過する前に[着信キー]
代替画像で出る場合は ◉［代替画像］を押します。

2 終了したら[終話キー]

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で[終話キー]を押しても遠隔監視が終了します。

おしらせ

- ダイヤルロック／おまかせロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの遠隔監視による着信は受けられます。
- 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。

おしらせ

- 遠隔監視設定と以下の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  - 公共モード（ドライブモード）
  - マナーモード
  - 指定着信拒否／許可※
  - 登録外着信拒否※

  ※：監視許可番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、監視許可番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合、監視許可番号が電話帳未登録時に「登録外着信拒否」が設定されている場合
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」の「テレビ電話」で設定した音量で鳴ります（「消去」や「レベル1」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります）。
- 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず、点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「ウェーブ」で点滅します。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。[終話キー]を押すと電話は切れます。
- 遠隔監視中に着信側でカメラを切り替えることはできません。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタン（）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んでを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信することができます。を押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

●プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

● プッシュトークプラス

※別途ご契約が必要

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できたりするなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。

●操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク発信する 〈プッシュトーク発信〉

1 相手の電話番号を入力▶

プッシュトーク通信中画面

- 相手が応答すると、参加音が鳴り、「プッシュトーク通信中画面」が表示されます。
- 相手が応答したら音声がスピーカから流れます。

■ 複数の相手と会話するには

プッシュトーク電話帳を利用して発信します。
→P.84

■ ハンズフリーを解除する場合

▶[]

プッシュトーク設定の「ハンズフリー設定」（P.86）で、ハンズフリーで応答しないようにすることができます。

2 自分が話すときはを押したまま話す

- 発言権を取得すると、発言権取得音が鳴り、発言できるようになります。
- ほかのメンバーが発言中など、発言権を取得できなかった場合は、発言できないことを示すエラー音が鳴ります。
- を放すと発言権開放音が鳴り、ほかのメンバーが発言できるようになります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しながらでも発言できます。
- 参加メンバーがプッシュトークから抜けた場合（通信を終了した場合）は、確認音が鳴ります。

■ メンバーを追加する

プッシュトークをはじめた後でも、途中参加させたいメンバーを呼び出して追加することができます。→P.82

3 通信を終了するときは

相手には確認音が鳴ります。

■ 一度抜けたプッシュトークに再び参加する

通信を終了してもほかのメンバーがプッシュトークを継続していれば、再び参加することができます。→P.81

おしらせ

<発信>

●通常電話帳、リダイヤル／発信履歴／着信履歴、Phone To機能を利用してプッシュトーク発信することもできます。電話番号を表示または一覧で反転しを押します。
「プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について」→P.81

●プッシュトーク発信時の番号通知は、「発信者番号通知」（P.48）の設定に従います。

●「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定して発信した場合、発信者とすべてのメンバーの電話番号が、着信したメンバー全員（プッシュトーク通信中に追加したメンバーを含む）に通知されます。「通知しない」に設定して発信した場合、着信したメンバー全員のプッシュトーク通信中画面で、発言者名や参加メンバー名が「非通知」と表示されます。

●音声通話中、テレビ電話中、データ通信中にプッシュトーク発信することはできません。

●ｉモード中にプッシュトーク発信すると、ｉモード通信は切断されます。また、ｉアプリ起動中にプッシュトーク発信すると、ｉアプリは中断されます。

●プッシュトーク通信中にテレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信があった場合は、着信履歴を残しプッシュトーク通信が継続されます。

●1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に近づくと発言権開放予告音が鳴り、制限時間に達すると、その発言権は終了します。

●一定時間、発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信自体が終了します。

●を押し、発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます（発言権を取得する度に課金されます）。

●プッシュトークでは緊急通報（110番･119番･118番）はご利用になれません。

●2in1のモードがデュアルモードの場合、発信番号選択画面が表示されます。Aナンバーを選択してください。

●2in1のモードがBモードの場合、プッシュトークで発信できません。

おしらせ

<終了>

- プッシュトーク設定の「クローズ動作設定」（P.86）を「終話」に設定している場合は、プッシュトーク通信中にFOMA端末を折り畳んでも、プッシュトークを終了できます。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、通信が継続されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続していても、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してプッシュトークを終了することはできません。

プッシュトーク通信中画面の見かた

①現在発言しているメンバーの名前※1
（自分が発言中の場合は「自分」、発言者が不明の場合は「？」と表示）
②発信時に指定されたグループ名
（発信時にグループが指定されていない場合は空欄）
③参加メンバー名（自分を除く）※1
④各メンバーの応答状態※2
呼出中：相手を呼び出し中
参加　：プッシュトークに参加中
不参加：応答がないか、相手がプッシュトークを終了しました。または、相手が圏外であるか電源を切っています。
運転中：相手が公共モード（ドライブモード）を設定中
⑤参加人数（自分を除く）
⑥会話を開始してからの経過時間
⑦ハンズフリー ON

※1：発信者が「発信者番号通知設定」（P.48）または「発信毎発番号設定」（P.85）を「通知する」に設定している場合は、電話帳の登録名で表示します。電話帳に登録されていない場合は電話番号が表示されます。また、発信者が「発信者番号通知設定」または「発信毎発番号設定」を「通知しない」に設定している場合は、着信側では、すべての参加メンバー名が「非通知」となります。
※2：「呼出中」「運転中」「不参加」は、3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

● プッシュトーク通信に途中参加する

プッシュトークから一度抜けた場合や、プッシュトークの着信時に「不参加」の応答を行った場合でも、プッシュトークが継続していれば、以下の操作で後から途中参加することができます。

<例：「リダイヤル」から途中参加する場合>

1 リダイヤル画面（P.54）▶プッシュトーク発信を反転▶

プッシュトーク通信が継続していれば、「プッシュトーク通信中画面」が表示されます。

プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について

- プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴は、1対1で会話の場合と、複数人で会話の場合とで区別して管理されます。
- 複数人で会話の場合でも、リダイヤル／発信履歴／着信履歴は、1件として管理されます。
- それぞれの履歴情報から利用できる機能は、以下のとおりです。

項目	1対1で会話の履歴（、不在など）	複数人で会話の履歴（、不在など）
1対1のプッシュトーク発信	○	○※1
複数人を指定してのプッシュトーク発信	×	○※2
音声電話／テレビ電話の発信	○	×
FOMA端末（本体）電話帳への登録	○	○

※1：リダイヤル／発信履歴／着信履歴の機能メニューから「プッシュトーク選択発信」を選択し、1名のみを選択することで、1対1のプッシュトーク発信となります。
※2：同一メンバーへの発信、または、同一メンバー内にて発信メンバーを選択しての発信が可能です。

おしらせ

- 複数人で会話のリダイヤルは、リダイヤル／発信履歴から同じ相手を指定して再発信したときのみ更新され、1人でも相手が異なる場合は別のリダイヤルとして記憶されます。

プッシュトーク通信中にメンバーを追加する

プッシュトーク通話中に、途中参加させたいメンバーを呼び出して追加します。
- 発信者以外のメンバーからは、途中参加メンバーの呼び出しはできません。

1 プッシュトーク通信中▶ [追加] ▶以下の項目から選択

電話帳……FOMA端末（本体）、FOMAカード電話帳に登録されている電話番号を選択します。

プッシュトーク電話帳……プッシュトーク電話帳からメンバーを選択します。グループリストを表示し、グループメンバーを選択することもできます。「プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する」→P.84

リダイヤル・着信履歴……リダイヤル／着信履歴から履歴を選択します。

■複数人でのプッシュトーク履歴から追加するメンバーを選択する場合
▶履歴一覧表示中▶複数人での会話の履歴を選択▶◉［選択］▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］

直接入力……電話番号を入力します。

2 ［発信］

追加したメンバーに対してプッシュトーク発信します。
プッシュトーク発信すると、「プッシュトーク通信中画面」の参加メンバーに追加表示されます。

おしらせ

- 同時に通信可能な人数は発信者を含めて最大5人までです。発信するメンバーの合計が4人になるまで、メンバーは何度でも追加できます。すでに4人に発信している場合、参加していないメンバーを再度呼び出すことはできますが、新たなメンバーを追加することはできません。
- 5人でプッシュトーク通信中の場合、メンバーを追加することはできません。また、メンバーがプッシュトークから抜けても、新たなメンバーを追加することはできません。
- 発信者のリダイヤル／発信履歴、着信者の着信履歴には、途中参加させたメンバーは記憶されません。

おしらせ

- メンバー追加非対応機種のメンバーも追加できます。追加メンバーはメンバー追加非対応機種の画面には表示されず、参加音やプッシュトークから抜けたときの確認音も鳴りません。また、メンバー追加非対応機種では、発信者からのメンバーの追加はできません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、「直接入力」でメンバーを追加すると発信番号選択画面が表示されます。Aナンバーを選択してください。

プッシュトーク着信する 〈プッシュトーク着信〉

プッシュトークの着信に応答してプッシュトークに参加します。
- プッシュトークの着信があると着信音が鳴り、着信イルミネーションが点滅し、「プッシュトーク着信中画面」が表示されます。
- 「プッシュトーク着信中画面」には、発信者名、呼出中の他メンバー名（複数のメンバーに発信の場合）などが表示されます。

1 プッシュトーク着信中▶

またはで◉［通話］でも応答できます。
応答すると参加音が鳴り、「プッシュトーク着信中画面」が表示されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してプッシュトークに応答できます。

■ 応答しない（「不参加」の応答をする）場合
▶着信中に
着信時に「不参加」の応答を行った場合でも、ほかのメンバーがプッシュトークを継続していれば、後から途中参加することができます。
→P.81

■ プッシュトークの着信を自動的に応答するには
プッシュトーク設定の「自動応答設定」（P.86）で「自動応答あり」を選択します。

2 プッシュトークに参加する

「プッシュトーク発信する」（P.80）の操作2へ

おしらせ

- 着信中に［］、を押しても「クイック伝言メモ」にはならず、着信を切断します。相手には「不参加」として伝わります。

おしらせ

- 公共モード（ドライブモード）設定中は、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。また、複数人で会話の場合、ほかのメンバーには「運転中」と表示され、運転中であることが伝わります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、Pを押して、ハンズフリーで応答できます。
- プッシュトークの着信に対して☎を押しても「応答保留」はできません。相手には「不参加」として伝わります。
- 「指定着信拒否」や「登録外着信拒否」などで着信拒否を設定している電話番号から着信があった場合は、「不参加」の応答を行います。
- プッシュトーク通信中に途中参加したメンバーは「プッシュトーク通信中画面」に追加表示されますが、着信履歴の「複数人で会話の履歴（ ）」には、記憶されません。
- 音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、データ通信中にプッシュトークの着信があった場合、プッシュトークに応答することはできません。ただし、音声通話中、プッシュトーク通信中の場合は不在着信履歴が残ります。
- ｉモード通信中にプッシュトークの着信があった場合は、「ｉモード通信中着信設定」の設定に従います。→P.180

プッシュトーク電話帳を登録する 〈プッシュトーク電話帳登録〉

FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を利用して、プッシュトーク電話帳にメンバーを登録します。

- メンバーは最大1,000件まで登録できます。

1 待受画面表示中▶P

「プッシュトーク電話帳画面」（P.84）が表示されます。

2 ✉［新規］▶「電話帳参照」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた
→P.92

■ 直接入力する場合
▶✉［新規］▶「直接入力」
▶電話帳を登録

メンバーリスト

3 電話帳詳細画面を表示▶◎で登録したい電話番号を選択

プッシュトーク電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面から登録する場合
▶登録する電話帳を反転▶✉［完了］
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号をプッシュトーク電話帳に登録します。

4 「YES」

メンバーリストに新しいメンバーが登録されます。

■ 選択した電話番号と同一メモリ番号の電話番号がすでに登録されている場合
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「YES」を選択します。

おしらせ

- メンバーリストのメンバーは、以下の順番で表示されます。
  - メンバーリストに新規登録したときやグループにメンバーを追加したときは、新規登録／追加したメンバーが一番上に表示されます。
  - プッシュトーク電話帳画面を表示したときは、前回利用した順に表示されます。
- 2in1のモードがBモードの場合、プッシュトーク電話帳は利用できません。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に「グループ」を作成して登録メンバーを分類しておくと、発信するときに便利です。

● グループを作成する

グループは、最大10個まで作成できます。グループ名は、全角10文字、半角21文字まで登録できます。

1 プッシュトーク電話帳画面（P.84）▶ch［機能］▶「グループ設定」▶「新規グループ作成」

2 グループ名を入力

グループリストに新しいグループ名が追加されます。

● グループにメンバーを登録する

あらかじめ、登録したいメンバーをメンバーリストに登録しておきます。→P.83
1つのグループにつき、メンバーは最大19人まで登録できますが、同時に発信可能な人数は4人までです。

<例：グループリストから登録する場合>

1 グループリスト表示中▶登録するグループを反転▶ch［機能］▶「グループ設定」▶「メンバー追加」

「グループメンバー選択画面」が表示されます。

❷ ⓒで□(チェックボックス)を選択▶ [完了]

選択したメンバーがそのグループに登録されます。

おしらせ

- グループメンバーは、以下のように表示されます。
  - グループにメンバーを追加したときは、追加したメンバーが一番上に表示されます。
  - プッシュトーク電話帳画面を表示し、グループメンバーリストを表示したときは、前回利用した順に表示されます。

プッシュトーク電話帳のリストの切り替えかた

タブ

メンバーリスト（「メンバー」タブを選ぶ）

グループリスト（「グループ」タブを選ぶ）

グループメンバーリスト

おしらせ

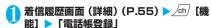
- ⓒで同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。

リダイヤルや発信履歴などからプッシュトーク電話帳に登録する

「着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各画面から、プッシュトークメンバーやプッシュトークグループに登録します。

<例：音声電話の「着信履歴」からプッシュトークグループに新規登録する場合>

❶ 着信履歴画面（詳細）(P.55) ▶ ch［機能］▶「電話帳登録」

❷「プッシュトークグループ登録」

■ プッシュトーク（複数人で会話）のリダイヤル／発信履歴／着信履歴の場合

▶ⓒで□（チェックボックス）を選択

■ プッシュトークメンバーを登録する場合

▶「プッシュトークメンバー登録」

■ FOMA 端末（本体）や FOMA カードに登録する場合

▶「電話帳登録」

「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.90

❸「新規登録」▶電話帳に登録する

■ 登録済みの電話帳に追加登録する場合

▶「追加登録」▶登録する電話帳を検索▶電話帳の詳細画面を表示▶◉［選択］▶電話帳に登録する▶「YES」

❹ グループを選択

■ 新規グループを登録する場合

▶<新規グループ作成>▶グループ名を入力

おしらせ

- プッシュトーク（複数人で会話）のリダイヤル／発信履歴／着信履歴で、プッシュトーク電話帳に登録できない履歴は「[icon]」が表示されます。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳に登録されているメンバーを選択して発信します。

- 複数の相手（メンバー）を最大4人まで指定して発信することができます。

❶ 待受画面表示中▶P

「プッシュトーク電話帳画面」が表示されます。

プッシュトーク電話帳画面

機能メニュー➡P.85

❷ ⓒで□（チェックボックス）を選択▶P

1～0でもチェックを付けることができます。

相手が応答すると参加音が鳴り、「プッシュトーク通信中画面」が表示されます。

以降の操作は「プッシュトーク発信する」(P.80) の操作2へ

プッシュトーク通信中画面

■ チェックを付けたメンバーを確認するには

▶Pを押して発信する前に ch［機能］▶「発信メンバー参照」

おしらせ

- 発信したメンバーがすべて「不参加」の場合は、プッシュトークが終了します。
- 「発信者番号通知設定」(P.48) または「発信毎発番号設定」(P.85) を「通知する」に設定して発信した場合、すべてのメンバーの電話番号が、着信したメンバー全員 (プッシュトーク通信中に追加したメンバーを含む) に通知されます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

プッシュトークグループから発信する

1 グループリスト表示中▶発信するグループを反転▶[プッシュトークボタン]

反転したグループの登録メンバー全員に対して発信します。

■ **グループで発信しない相手がいる場合**

▶グループを選択▶[決定キー]で発信しない相手のチェックを外す▶[プッシュトークボタン]

機能 プッシュトーク電話帳画面 (P.84)

- メンバーリスト／グループリスト／グループメンバーリストやタブの選択状態によって、利用できる機能が異なります。

新規……プッシュトーク電話帳に登録します。

電話帳参照……FOMA端末 (本体) の電話帳から電話番号を参照してプッシュトーク電話帳に登録します。

直接入力……新規にFOMA端末 (本体) の電話帳を作成･登録します。登録した電話番号はプッシュトーク電話帳にも登録されます。

発信毎発番号設定……発信するメンバーに、自分やほかのメンバー全員(プッシュトーク通信中に追加したメンバーを含む) の電話番号を表示させるかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。
「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」で設定した内容になります。

発信メンバー参照……発信するメンバーを一覧表示します。

プッシュトーク設定……プッシュトークの各種設定をします。→P.86

ネットワーク接続……ネットワークに接続し、「プッシュトークプラス」を利用します。→P.80
プッシュトークプラスをご契約のお客様のみ利用可能です。

ソート……指定した条件に従って表示するリストを並び替えます。※

グループ設定……グループの新規作成、グループへのメンバー追加、グループ名の編集を行います。→P.83

全選択解除……メンバーリスト／グループメンバーリストにて、すべてのメンバーの選択を解除します。

登録件数確認……メンバー登録件数、グループ登録件数、グループ別のメンバー登録件数を確認します。
画面の切り替えは、[マルチカーソルキー]、[上] [マナー]、[下] [カメラ] で行います。

削除→P.85

※：グループリストでは、フリガナ順のソートはできません。

おしらせ

<発信毎発番号設定>
- プッシュトーク発信時の電話番号通知設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①発信毎発番号設定　②発信者番号通知設定

プッシュトーク電話帳を削除する 〈プッシュトーク電話帳削除〉

プッシュトーク電話帳からメンバー、グループ、グループメンバーを削除します。

1 削除するリストを表示する

メンバーリスト：プッシュトーク電話帳からメンバーを削除するときに表示します。
グループリスト：グループを削除するときに表示します。
グループメンバーリスト：グループ内のメンバーを削除するときに表示します。
「プッシュトーク電話帳のリストの切り替えかた」→P.84

2 [ch] [機能] ▶「削除」▶以下の項目から選択

1件削除……操作1で反転表示したメンバー／グループ／グループメンバーを1件削除します。メンバーリストからメンバーを削除する場合は、プッシュトーク電話帳だけを削除するか、FOMA端末の電話帳もいっしょに削除するかを選択します。

選択削除・全削除……複数またはすべてのメンバー／グループ／グループメンバーを削除します。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- メンバーリストからメンバーを削除した場合、登録されているすべてのグループからそのメンバーが削除されます。
- グループを削除してもグループ内に登録されていたメンバーは、メンバーリストからは削除されません。
- グループメンバーを削除しても表示中のグループからのみ削除されます。削除したメンバーがほかのグループに登録されていてもそのグループからは削除されません。

プッシュトークについて設定する〈プッシュトーク設定〉

プッシュトークに関する設定をします。

1 プッシュトーク電話帳画面（P.84）▶ch［機能］▶「プッシュトーク設定」▶以下の項目から選択

自動応答設定（お買い上げ時：自動応答なし）……プッシュトークの着信をしたとき、自動的に応答するかどうかを「自動応答あり／自動応答なし」から選択します。
「自動応答あり」に設定した場合、FOMA端末の開閉にかかわらず、自動応答時にハンズフリーONとなり、発言者の音声などがスピーカから流れます。

呼出時間設定（お買い上げ時：30秒）……プッシュトーク着信があったとき、着信音が鳴り続ける時間（01～60秒）を設定します。設定した時間になると、自動的に「不参加」で応答し、着信音を止めます。

クローズ動作設定……プッシュトーク通信中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します。

スピーカ通話（お買い上げ時）……ハンズフリーで会話を継続します。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。

終話……会話を終了します。☎を押す操作と同じです。

プッシュトーク通信中着信設定……プッシュトークの発着信中や通信中に音声電話の着信があったときの動作について設定します。

通常着信（お買い上げ時）……音声電話の着信中画面に移ります。ただし、プッシュトーク発着信中／呼出中の場合は、音声電話の着信中画面には移りません。

■プッシュトーク通信中に☎で音声電話に出ると
プッシュトーク通信が終了し、音声通話中画面に切り替わります。

■プッシュトーク通信を継続して利用するには
▶音声電話の着信中画面▶ch［機能］▶「着信拒否／転送でんわ／留守番電話」のいずれかを選択

着信拒否……音声電話の着信を拒否します。

留守番電話……留守番電話サービスをご契約されている場合、「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。ご契約されていない場合は、「通常着信」の動作になります。

転送でんわ……転送でんわサービスをご契約されている場合、「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。ご契約されていない場合は、「通常着信」の動作になります。

ハンズフリー設定（お買い上げ時：ON）……プッシュトーク通信開始時に、自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかについて設定します。

おしらせ

＜自動応答設定＞
- マナーモード設定中は、「自動応答あり」に設定していても、手動応答となります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、「自動応答設定」の設定にかかわらず、応答は行わずに参加メンバーに運転中であることが伝わります。
- 「オート着信設定」の「プッシュトーク」を「オート着信あり」に設定している場合は、「自動応答設定」は無効になります。
- 「自動応答あり」に設定している場合は、「自動応答設定」がプッシュトーク設定の「呼出時間設定」（P.86）よりも優先されます。

＜呼出時間設定＞
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「呼出時間設定」と「オート着信設定」のうち、時間設定の短い方が優先されます。また、同じ呼出時間を設定した場合は、「呼出時間設定」が優先されます。

＜クローズ動作設定＞
- ここでの設定は、プッシュトークにのみ有効です。音声電話、テレビ電話の「クローズ動作設定」には従いません。
- 「スピーカ通話」に設定しているときにFOMA端末を折り畳んだ場合、マナーモードの設定にかかわらずハンズフリーONとなります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通信状態は変化しません。

＜ハンズフリー設定＞
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、本機能は無効になり自動的にハンズフリーに切り替わりません。
- マナーモード設定中は、「ハンズフリー設定」にかかわらず「OFF」の状態になります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

- このほかに、プッシュトーク専用の「プッシュトーク電話帳」があります。プッシュトーク電話帳は、FOMA端末（本体）電話帳の登録データを利用して作成できます。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■登録内容

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大1,000件まで登録可能	最大50件まで登録可能
グループ	グループなし、01～19に分類可能	グループなし、01～10に分類可能
電話番号の登録	1つの電話帳につき4番号まで、電話帳全体で4,000番号まで登録可能	1つの電話帳に1番号登録可能
	23種類のアイコンから選択して登録可能	「☎」が自動的に登録
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で3,000アドレスまで登録可能	1つの電話帳に1アドレス登録可能
	5種類のアイコンから選択して登録可能	「📱✉」が自動的に登録
画像の登録	1つの電話帳につき静止画、キャラ電を1件ずつ、電話帳全体でそれぞれ100件まで登録可能	−
その他のデータの登録	1つの電話帳につき名前、フリガナ、郵便番号、住所、位置情報、誕生日、メモをそれぞれ1件登録可能	名前とフリガナが登録可能

■FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

- 「直デン」→P.96
- 「ツータッチダイヤル」→P.97
- 「個別着信音／画像」、「グループ着信音／画像」→P.95
- 「個別着信動作選択」→P.139
- シークレットデータとして登録→P.127
- シークレットコードの設定→P.94
- プッシュトーク電話帳へのメンバー登録→P.83

■FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■音声電話、テレビ電話

電話帳に登録されている相手が電話番号を通知してかけてきた場合、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

おしらせ

- 静止画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画が「画面表示設定」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

■ｉモードメール、SMS

電話帳に登録した相手からのｉモードメールまたはSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にｉモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。

「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

FOMA端末（本体）、FOMA端末（本体）＋プッシュトーク電話帳、FOMAカードの3つの登録先から選択し登録します。

- ●「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。
- ●FOMAカード電話帳に登録できるのは「名前」と「フリガナ」以外では「グループ」「電話番号」「メールアドレス」の3項目のみです。

1 **MENU ▶「電話帳」▶「電話帳」▶ ch［機能］▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶名前を入力**

■ **登録先が「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」の場合**

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。全角16文字、半角32文字まで登録できます。

■ **登録先が「FOMAカード（UIM）」の場合**

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

2 **フリガナを確認▶◉［確定］**

■ **フリガナが間違っていた場合**

カタカナ（「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」は半角、「FOMAカード（UIM）」は全角）、および半角の英字、数字、記号で修正します。

登録できる文字数は、「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」で半角32文字、「FOMAカード（UIM）」で全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

3 **以下の項目から選択**

グループ……登録するグループを「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」では「グループ01～19」から、「FOMAカード（UIM）」では「グループ01～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループなし」に登録されます。

電話番号……電話番号を入力します。

- ・「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」ではさらにアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。
- ・「FOMAカード（UIM）」では、青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色／白色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。

メールアドレス……メールアドレスを入力します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

「本体」または「本体＋プッシュトーク電話帳」ではさらにアイコンを選択します。1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所……郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

位置情報……位置情報を「現在地確認から付加／位置履歴から付加／画像から付加」から選択して登録します。

「位置情報詳細」を選択すると、登録済みの緯度・経度、測地系、測位レベルを確認できます。

「位置情報削除」を選択すると、登録済みの位置情報を削除できます。

誕生日……「年月日入力」を選択して誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

「お知らせ設定」を選択して誕生日をお知らせする日を「1週間前／3日前／前日／当日」から選択します。ここで登録した日の午前0:00になると、着信イルミネーションの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコンを表示して、お知らせがあることを通知します。→P.113、117

メモ……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画……着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

メモリ番号……メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～999の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※：010～999の空き番号に、若い順に割り当てられます。ただし、010～999に空き番号がないときは、000～009の空き番号に割り当てられます。

4 **［完了］**

■ **登録先が「本体＋プッシュトーク電話帳」の場合**

電話番号を1件登録した場合は、その番号がプッシュトーク電話帳に登録されます。

電話番号を複数登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

プッシュトーク電話番号の追加登録やプッシュトークグループの登録はプッシュトーク電話帳から行うことができます。「プッシュトーク電話帳を登録する」→P.83

次ページにつづく

おしらせ

- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 「2in1設定」の設定により、以下のように電話帳2in1設定が設定されます。「電話帳2in1設定」の設定内容（A／B／AB）は、2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面に表示されます。ただし、電話帳をメールに添付したりFOMAカード電話帳にコピーする場合、電話帳2in1設定は送られません。

モード	電話帳2in1設定
デュアルモード	A
Aモード	A
Bモード	B
OFF	A

電話帳2in1設定の変更は「2in1設定」から行います。
「2in1を利用する」→P.380

電話帳一覧画面

電話帳詳細画面

<キャラ電設定の優先順位>
- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①個別着信音／画像のキャラ電設定
②グループ着信音／画像のキャラ電設定
③電話帳登録のキャラ電
④画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

1 MENU ▶「電話帳」▶「電話帳」▶ ch［機能］▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶「再編集」

編集中に電池切れアラームが鳴った場合やマルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」、「テキストリーダー」またはサイト画面、電話番号入力画面などから電話帳に登録します。

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 着信履歴画面（P.54）▶ ch［機能］▶「電話帳登録」

2 「電話帳登録」

■ **プッシュトーク（複数人で会話）のリダイヤル／発信履歴／着信履歴の場合**
▶電話帳に登録する相手（電話番号）を選択

■ **プッシュトーク電話帳に登録する場合**
▶「プッシュトークメンバー登録」または「プッシュトークグループ登録」
「リダイヤルや発信履歴などからプッシュトーク電話帳に登録する」→P.84

3 「本体」

■ **FOMA端末（本体）＋プッシュトーク電話帳に登録する場合**
▶「本体＋プッシュトーク電話帳」

■ **FOMAカードに登録する場合**
▶「FOMAカード（UIM）」

4 「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.92

■ **新規に登録する場合**
▶「新規登録」

■ **FOMAカードの場合**
▶「新規登録」または「上書き登録」

5 電話帳の詳細画面を表示▶ ●［選択］

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.94

6 修正が終わったら ✉［完了］

■ **上書きするかどうかのメッセージが表示された場合**
▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発信者番号通知の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。

グループ名を変更する〈グループ設定〉

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。

- 変更できるグループと登録できる文字数は以下のとおりです。

電話帳登録先	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末（本体）	グループ01～グループ19	全角10文字、半角21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角10文字、半角21文字

- 「グループなし」のグループ名は変更できません。

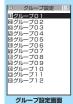
1 MENU ▶「電話帳」▶「電話帳」▶ ch［機能］▶「グループ設定」

「グループ設定画面」が表示されます。

グループ設定画面

機能メニュー➡P.91

2 グループを選択▶グループ名を入力

「 」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

機能 グループ設定画面（P.91）

グループ名編集……グループ名を編集します。

グループ着信音／画像→P.95

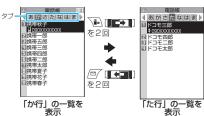
グループ名初期化……変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

- グループ名を初期化しても、「グループ着信音／画像」の設定は解除されません。

電話帳から電話をかける〈電話帳検索〉

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出します。

- 電話帳一覧画面で、タブが表示されている場合は、以下のように表示を切り替えられます。
  ＜例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合＞

おしらせ

- で同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかける

1 MENU ▶「電話帳」▶「電話帳」

「電話帳一覧画面」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.93

■ 一覧画面から音声電話をかける場合

▶電話をかける電話帳を反転▶

電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■ タブの種類を切り替える場合

▶ ch［機能］▶「タブ表示切替」

「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

次ページにつづく

2 目的の電話帳を選択

「電話帳詳細画面」が表示されます。

電話帳詳細画面

機能メニュー➡P.93

3 [電話]または[メール]［テレビ電話］

[電話]を押すと音声電話が、[メール]［テレビ電話］を押すとテレビ電話が現在表示されている電話番号にかかります。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

[←→]で電話番号の表示を切り替えることができます。

おしらせ

- 通話中に[↓]を押した場合はグループ検索画面が表示され、[↑]を押した場合は行検索画面が表示されます。

検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索できます。

■検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索してその結果を表示します。

50音[フリガナの先頭がスペースからはじまるもの、ア、ァ、イ、ィ………ン]

⬇

アルファベット[A、a、B、b………Z、z]

⬇

数字[0………9]

⬇

記号

⬇

フリガナが登録されていないもの

1 待受画面表示中▶[↑]▶検索する方法を選択

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合

▶優先して表示したい検索方法を反転▶[メール]［優先］▶「OK」

優先に設定した検索方法には「★」が付きます。次回検索するときに、待受画面表示中に[↑]を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合

▶待受画面表示中▶[↑]▶[CLR]▶「★」が付いている検索方法を反転▶[メール]［解除］

2 電話帳を検索

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は「[FOMAカード]」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.93

■ フリガナ検索の場合

▶フリガナの一部を入力▶[↓]または[↑]

フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

■ 名前検索の場合

▶名前の一部を入力▶[↓]または[↑]

名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

■ 電話番号検索の場合

▶電話番号の一部を入力▶[↓]または[↑]

最初の数桁または途中の数桁を入力します。「電話番号入力画面」（P.50）で電話番号の一部を入力し[↕]でも検索できます。

■ アドレス検索の場合

▶メールアドレスの一部を入力▶[↓]または[↑]

■ メモリ番号検索の場合

▶3桁のメモリ番号を入力

FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

■ グループ検索の場合

▶目的のグループを選択

FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

■ 行検索の場合

▶検索したい行（タブ）のボタンを押す

[1]：「あ行」タブ
[2]：「か行」タブ
[3]：「さ行」タブ
[4]：「た行」タブ
[5]：「な行」タブ
[6]：「は行」タブ
[7]：「ま行」タブ
[8]：「や行」タブ
[9]：「ら行」タブ
[0]：「わ行」タブ
[＊]：「他」タブ

■ 全検索の場合

登録されているすべての電話帳を50音タブ表示します。

電話帳

リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の各画面から登録済みの電話帳詳細画面を呼び出して、電話をかけたり、メールを送信します。

<例：音声電話の「着信履歴」から電話帳参照する場合>

1 着信履歴画面（P.54）▶ ch［機能］▶「電話帳参照」

「電話帳詳細画面」が表示されます。

機能 電話帳一覧画面（P.91）

電話帳登録→P.89

お預りセンターに接続……電話帳データをドコモのお預かりセンターに預けます。→P.98

ソート※1……指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。

タブ表示切替……タブ表示を切り替えます。「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

個別着信音／画像→P.96

個別着信動作選択→P.140

グループ設定→P.91

microSDへコピー※2→P.298
- 「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、マイプロフィールのデータをコピーするかしないかを選択できます。
- 「全コピー」、「選択コピー」では、プッシュトーク電話帳の登録情報もコピーされます。

iC送信※3→P.309

iC全送信→P.309

赤外線送信※3→P.307

赤外線全送信→P.308

電話帳登録件数→P.95

メール添付※3……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。

microSD参照⇔本体参照……microSDメモリーカード内、FOMA端末（本体）の電話帳を参照します。

誕生日お知らせ一覧※4……誕生日の「お知らせ設定」が設定されている電話帳の一覧を表示します。

電話帳削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「全削除」を行うと、FOMAカードの電話帳も削除されます。
- 電話帳がプッシュトーク電話帳や直デンに登録されている場合は、プッシュトーク電話帳のメンバーリスト、グループメンバーリスト、直デンからも削除されます。

※1：タブ表示のときは利用できません。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は「全コピー」のみ利用できます。
※3：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。
※4：「お知らせ設定」が設定されていない場合は利用できません。

機能 電話帳詳細画面（P.92）

電話帳編集→P.94

発信者番号通知→P.59

着もじ→P.56

発信設定

- **プレフィックス**→P.60
- **国際電話発信**→P.61
- **2in1／マルチナンバー**※1→P.379、378
- **テレビ電話画像選択**……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

個別着信音／画像※2→P.95

個別着信動作選択※2→P.139

先頭へ移動※2……電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。

プッシュトーク電話帳登録※2※3→P.83

直デン登録※2→P.96

デスクトップ貼付→P.115

iモードメール作成※3→P.188

メール添付※2※3……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

SMS作成※3→P.224

iC送信※2→P.309

iC全送信→P.309

赤外線送信※2→P.307

赤外線全送信→P.308

microSDへコピー※2→P.298

次ページにつづく

コピー

名前……名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。
「文字を貼り付ける」→P.367

電話番号※4……電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。「文字を貼り付ける」→P.367

シークレットコード※2→P.94

コード設定……シークレットコード（4桁）を設定します。

コード参照……設定したシークレットコードを確認します。

設定解除……設定したシークレットコードを解除します。

シークレット設定※2※5→P.127

FOMAカードへコピー※6→P.304

対応ｉアプリを利用※2……GPS機能に対応したｉアプリの一覧を表示します。

地図を見る※2……ｉモードサイトに接続し位置情報から周辺地図などを表示します。

メール貼り付け※2※3……電話帳に登録されている位置情報のURLを貼り付けた新規メール画面を表示します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。

電話帳削除→P.95

※1：「2in1」は2in1のモードがデュアルモードの場合のみ利用できます。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：選択している項目によって機能名は「メールアドレス／住所／位置情報／誕生日／メモ」と表示されます。
※5：シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※6：FOMAカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

<プッシュトーク電話帳登録>
- プッシュトーク電話帳に登録した場合、電話帳詳細画面に「　」が表示され、機能メニューにも「★」が表示されます。

<直デン登録>
- 直デンに登録すると機能メニューに「★」が表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。
① 電話帳詳細画面の機能メニューから電話帳にシークレットコードを設定する（メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます）。
② 電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

- シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。
- FOMAカードの電話帳にはシークレットコードを設定できません。

電話帳を修正する 〈電話帳修正〉

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.89

■ 新しいメモリ番号に登録する場合
▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～999）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら ✉［完了］▶「YES」

■ FOMAカードの場合
▶✉［完了］▶「上書き登録」または「追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 修正した電話帳がプッシュトーク電話帳や直デンに登録されている場合は、プッシュトーク電話帳や直デンも自動的に修正されます。
- 電話帳のメモリ番号を修正すると、修正前の電話帳にてプッシュトーク電話帳にメンバーリスト登録、グループリスト登録されていたり直デンに登録されていた場合、その内容は変更後の電話帳には引き継がれません。

電話帳を削除する 〈電話帳削除〉

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※……選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。

1件削除……電話帳を削除します。

※：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／位置情報削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除／キャラ電削除」と表示されます。

おしらせ

- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

電話帳の登録状況を確認する 〈電話帳登録件数〉

1 電話帳一覧画面（P.91）▶ ch［機能］▶「電話帳登録件数」

■ 本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳：電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／1,000（登録できる件数）

シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示（「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示）

静止画：電話帳に登録されている静止画の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

誕生日お知らせ：電話帳に登録されている誕生日「お知らせ設定」の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

■ FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳：電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／50（登録できる件数）

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える 〈個別着信音／画像、グループ着信音／画像〉

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループなし」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、個別着信音／画像およびグループ着信音／画像は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」が付きます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。

個別着信音／画像設定画面

■ グループごとに発着信の設定を変える場合
▶「グループ設定画面」（P.91）▶ ch［機能］▶「グループ着信音／画像」

2 着信を識別する項目を選択

「音声着信設定／テレビ電話発着信設定／メール着信設定」から選択します。
・「メール着信設定」を選択すると、iモードメールのほか、SMSの着信も対象になります。

3 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を反転 ▶ ✉［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

着信音設定※1……誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。
「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.100

着信画面設定※1※2……誰からの電話かを、着信画像で区別します。
「画面の表示を変える」→P.107

キャラ電設定※3……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

イルミネーション設定※1……誰からの電話／メールかを、着信イルミネーションの点滅で区別します。「着信時の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する」→P.113

バイブレーション設定※1……誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。
「着信を振動で知らせる」→P.102

応答メッセージ設定※2……伝言メモ※4、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.70

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※3：「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※4：「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

■個別着信音／画像を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

：着信音（音声／テレビ電話）
：着信音（メール）
：イルミネーション（音声／テレビ電話）
：イルミネーション（メール）
：バイブレーション（音声／テレビ電話）
：バイブレーション（メール）
：着信画面（音声／テレビ電話）
：応答メッセージ（音声／テレビ電話）
：キャラ電（テレビ電話）

おしらせ

- 電話番号に対して設定する「メール着信設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。
- シークレットデータとして登録された電話帳が含まれているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 個別着信音／画像、グループ着信音／画像の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - 着信音の優先順位→P.101
  - バイブレータの優先順位→P.102
  - 着信画像の優先順位→P.108
  - 着信イルミネーションの優先順位→P.114

個別着信音／画像、グループ着信音／画像の設定状況を確認する

個別着信音／画像、グループ着信音／画像を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認します。

1 電話帳一覧画面（P.91）▶ch［機能］▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像確認画面」が表示されます。本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

2 「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転▶ch［機能］▶以下の項目から選択

設定確認……設定状態を確認します。
▶「★」が付いている機能または項目を選択※▶設定されている電話帳およびグループを確認

設定解除……「★」が付いている機能の設定をまとめて解除します。

※：設定している機能または項目によって選択項目の数（◉を押す回数）が変わります。

直デンを利用する 〈直デン〉

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンは、FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を引用し、最大5件まで登録できます。
- 直デンにメールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたｉモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することはできません。

直デンに登録する

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「直デン」

「直デン画面」が表示されます。
待受画面表示中に◎を押しても「直デン画面」を表示することができます。
登録したデータがある場合、登録されている最も若いタブの番号の直デン画面が表示されます。

直デン画面

機能メニュー➡P.97

■ 登録する場所を変更する場合
▶でタブを移動する
1～5を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 **［登録］▶電話帳を検索**
電話帳の検索のしかた
→P.92

3 **［選択］**
「電話帳引用画面」が表示されます。

電話帳引用画面

4 **で□（チェックボックス）を選択**
電話帳に複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合は登録するものを1つだけ選択します。
チェックボックスが選択状態になっていると、他の電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

5 **［完了］**
電話帳の名前、選択した電話番号やメールアドレスが直デンに登録されます。

おしらせ
- 「電話帳2in1設定」の設定内容は、2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に表示されます。
- 電話帳に画像が登録されているときは、電話帳の画像も直デンに登録されます。

直デンから電話をかける／メールを作成する

<例：電話をかける場合>

1 **待受画面表示中▶**
「直デン画面」（P.96）が表示されます。

2 **で電話をかける直デン画面を表示**
1～5を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

3 **で「電話する」を選択状態にする▶［選択］**

■ メールを作成する場合
▶で「メールする」を選択状態にする▶［選択］
宛先にメールアドレスが入力された新規メール画面が表示されます。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.188

■ テレビ電話をかける場合
▶で「テレビ電話する」を選択状態にする
▶［選択］

機能 直デン画面（P.96）

登録⇔編集……未登録の直デンに登録、または登録済みの直デンを編集します。→P.96

画像変更……「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンに表示されている画像を変更します。

ｉモードメール一斉送信※……直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.188

チャットメール一斉送信※……直デンに登録したすべてのメールアドレスをチャットメンバーに設定し、チャット画面を表示します。
「チャットメールを送受信する」→P.219

1件解除・全解除……直デンを1件または全解除します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ
- 直デンを解除しても、FOMA端末（本体）の電話帳は削除されません。

<画像変更>
- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

少ないボタン操作で電話をかける 〈ツータッチダイヤル〉

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、0から9（メモリ番号の下1桁）とを押すだけで電話をかけることができます。

1 **0～9▶（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）／（プッシュトーク）**
プッシュトークの場合は、「1対1で会話」のみ可能です。

おしらせ
- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。

電話帳データをセンターに保存する 〈電話帳お預かりサービス〉

FOMA端末（本体）の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、FOMA端末に復元・更新することができます。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」

■ 電話帳内の画像送信について設定する場合
▶「電話帳内画像送信設定」▶「する」（お買い上げ時：しない）
電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

2 端末暗証番号を入力 ▶「YES」
お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

3 ✉ ［完了］

おしらせ

- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。

● 電話帳を復元／更新する

お預かりセンターに保存した電話帳データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存することができます。
また、お預かりセンターに預けている電話帳データをパソコンなどから編集することもできます。
ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、「更新」のデスクトップアイコンでお知らせします。

おしらせ

- お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「☎」や「✉」に置き換わることがあります。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンター残件数が表示されます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「通信履歴表示」
「通信履歴一覧画面」が表示されます。

通信履歴一覧画面

機能メニュー➡P.98

2 通信履歴項目を選択

機能 通信履歴一覧画面（P.98）

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.38

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える 〈着信音選択〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR／Fを受けたときのそれぞれの着信音を設定します。また、特定の電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.95

●メロディ一覧の見かた→P.288

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音選択」▶着信音を設定する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信の着信音が設定されます。

「メール」を選択すると、iモードメールやSMS、パケット通信の着信音が設定されます。

2 「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ……お買い上げ時に登録されている着信音やメロディは「プリインストール」から選択します。iモードのサイトなどからダウンロードしたメロディは「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選択します。

iモーション……お買い上げ時に登録されている着モーションは「プリインストール」から選択します。FOMA端末に取得したiモーション／着うた®やカメラで撮影した動画（iモーション）は「INBOX」「カメラ」「移行可能コンテンツ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
着信時には、選択したiモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。

ミュージック……お買い上げ時に登録されている着うたフル®は「プリインストール」から選択します。FOMA端末にダウンロードした着うたフル®は「INBOX」「移行可能コンテンツ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
着うたフル®に配信元が指定した着信音設定部分がある場合は、以下の項目から設定します。

まるごと設定……1曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……曲の一部を着信音に設定します。

■「移行可能コンテンツ」以外のフォルダを選択した場合
▶ で着信音に設定する部分（橙色で表示）を指定▶ [確定]

■「移行可能コンテンツ」フォルダを選択した場合
▶ で着信音に設定する部分（橙色で表示）を指定▶ [確定]▶「YES」▶フォルダを選択

おしゃべり……「おしゃべり機能」で録音した音声を選択します。
「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」
→P.350

ランダムメロディ……メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF……着信音を鳴らしません。

3 着信音を選択

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。
、、、のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

■お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ アラーム音一覧

表示	曲名※1	作曲者※1※2	3Dサウンド対応
着信音1～4	－	－	×
CALLING	－	－	×
電話がかかっています	－	－	×
黒電話	－	－	×
Trip	Trip	－	×
Sunshine Place	Sunshine Place	－	○
ジムノペティ	ジムノペティ	SATIE ERIK	×
木星	"The Planets" Jupiter	GUSTAV THEODORE HOLST	○
You've got mail	－	－	×
メールが届きました	－	－	×
Good Morning	－	－	×
予定時間になりました	－	－	×
ひよこ	－	－	×
Signal	－	－	×
Calmness	－	－	×
Relief	－	－	×
Simple Bell	－	－	×
Sonic	－	－	×
Phonon	－	－	×

■お買い上げ時に登録されている着モーション
Kaleidoscope

■お買い上げ時に登録されている着うたフル®
Cosmic Globe

※1：曲名、作曲者のローマ字は大文字で表記しています。
※2：作曲者はJASRACホームページに準拠して表記しています。

おしらせ

- 映像のみのｉモーションは着信音に設定できません。
- プッシュトークの着信音に設定できるｉモーションは音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。
- ｉモーションや着うたフル®によっては設定できないものがあります。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - 赤外線通信機能、ｉC通信機能や「ドコモケータイdatalink」（P.389）などを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - microSDメモリーカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 移行可能コンテンツフォルダ内のｉモーションを選択すると、選択したｉモーションが「ｉモーション」のINBOXフォルダに移動されます。
- 移行可能コンテンツフォルダ内の着うたフル®を選択すると、「まるごと設定」のときは選択した着うたフル®が「ミュージック」のINBOXフォルダに移動されます。「オススメ設定」のときは選択した部分をｉモーションとして切り出し、「ｉモーション」のフォルダに保存されます。
- FOMA端末本体に保存されている着うたフル®を「オススメ設定」で着信音に設定した場合は、ｉモーションとしての切り出しは行われずに選択した部分がそのまま着信音に設定されます。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量で鳴ります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションが再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションが再生されます。
- メールの着信音にｉモーションを設定している場合、パケット通信の着信音はお買い上げ時の「メール」の着信音になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。

おしらせ

- 着うたフル®を着信音に設定した場合、着うたフル®にジャケット画像が含まれていても、着信時に表示されません。
- 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信音の動作は以下のとおりです。

受信内容	着信音の動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信音が鳴ります。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信音が鳴ります。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている着信音が鳴ります。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

<電話着信音の優先順位>
- 電話着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音
  ②個別着信音／画像の音声／テレビ電話着信音
  ③グループ着信音／画像の音声／テレビ電話着信音
  ④2in1のBモードへの着信音
  ⑤着信音選択／きせかえツール設定の着信音
  ※上記②個別着信音／画像、③グループ着信音／画像での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のｉモーション
  ②着信画面設定のｉモーション
  ③音声／テレビ電話着信音のｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディ、着うたフル®

<メール（SMSを含む）着信音の優先順位>
- メール着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像のメール着信音
  ②グループ着信音／画像のメール着信音
  ③着信音選択の着信音／きせかえツール設定の着信音

着信音やメロディなどの音響効果を設定する 〈サウンド効果〉

ステレオイヤホンセット（別売）などを接続しているときのメロディの再生音や音声電話、テレビ電話、プッシュトークやメールなどの着信音、効果音、ｉモーション再生音を表現豊かに再生します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「サウンド効果」▶「ステレオ・3Dサウンド設定」▶「ON」

■ サウンド効果を設定しない場合
▶「OFF」

● 3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオイヤホンセットを使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリによるゲームやメロディ再生などをお楽しみいただけます。

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「サウンド効果」を「OFF」に設定してください。

●「音響効果あり」のｉモーションを再生したときは

音響効果ありのｉモーションを再生したときに、イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

- 音響効果ありのｉモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.275

おしらせ

- 本体内蔵のスピーカから流れる再生音は、本機能を「ON」に設定しても音響効果は加わりません。
- 「イヤホン切替設定」を「イヤホン＋スピーカー」に設定している場合、ステレオイヤホンセット（別売）などを接続しているときの着信音・メロディアラーム音の再生時には、サウンド効果は無効になり、「イヤホンのみ」に設定すると有効になります。

着信を振動で知らせる 〈バイブレータ〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR／Fを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「バイブレータ」▶バイブレータを設定する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信のバイブレータが設定されます。
「メール」を選択すると、ｉモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信のバイブレータが設定されます。

2 振動パターンを選択

パターン１～パターン３……それぞれのパターンで振動します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動……着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。

OFF……振動しません。

■バイブレータ設定時の待受画面のアイコン表示

- （アイコン）: 音声電話、テレビ電話、プッシュトークのいずれかの着信で振動
- （アイコン）: メール／チャットメール／メッセージＲ／メッセージFのいずれかの着信で振動
- （アイコン）:「（アイコン）」と「（アイコン）」の両方の状態

おしらせ

- バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- 「メロディ連動」を選択しても、必ずしも主旋律に連動するわけではありません。またメロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、着信音をｉモーションや着うたフル®に設定している場合は、パターン2で振動します。
- エリアメール受信時は、ブザー音鳴動時にはブザー音に連動して振動し、エリアメール着信音鳴動時には本機能の「メール」の設定に従います。

<バイブレータの優先順位>

- バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像のバイブレーション設定
  ②グループ着信音／画像のバイブレーション設定
  ③バイブレータの設定

呼出音を変える 〈メロディコール設定〉

電話がかかってきたときに相手に聞こえる呼出音を、好きなメロディに変更することができます。

1 **MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「メロディコール設定」▶「YES」**

メロディコールのｉモードサイトに接続します。ｉモードサイトに接続するとパケット通信料がかかります。ただし、設定サイトはパケット通信料無料です。
画面の指示に従って設定してください。

■ メロディコール設定をしない場合
▶「NO」

おしらせ

- テレビ電話、プッシュトークから発信された場合は、相手側にはメロディコールは流れません。

ボタンを押したときに鳴る音を設定する 〈ボタン確認音〉

- 本機能を「OFF」に設定した場合、以下の音も鳴りません。
  - 各種警告音
  - 電池残量表示の音
  - 受話音量の調節を開始したときの音
  - アラームのスヌーズ解除音
- ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ボタン確認音」▶「ON」**

■ 鳴らさない場合
▶「OFF」

GPS機能で測位したときの通知音やイルミネーションを設定する

現在地確認、現在地通知、位置提供にて測位したときの通知音やイルミネーションについて設定します。

- 「位置提供設定」の「位置提供」を「ON」に設定し、公共モード（ドライブモード）を設定している場合、位置提供の要求があると通知音、バイブレータ、イルミネーションは動作せずに位置情報が提供されます。

通知音やバイブレータを設定する

1 **MENU▶「LifeKit」▶「GPS」▶「GPS設定」▶「音／バイブレータ設定」**

2 **以下の項目から選択**

音量……通知音の音量を設定する項目を選択し、で音量を調節します。

音選択……通知音を設定する項目を選択し、「メロディ／OFF（鳴らさない）」から選択します。

バイブレータ……バイブレータを設定する項目を選択し、「パターン1～3／メロディ連動／OFF（振動しない）」から選択します。「メロディ連動」を選択した場合は、設定されているメロディのパターンにあわせて振動します。

通知時間設定……通知音を鳴らす時間を設定する項目を選択し、「ON／OFF（鳴動しない）」から選択します。「ON」を選択した場合は、鳴動時間（01～30秒の2桁）※も入力します。

※：「位置提供／毎回確認」については、01～20秒の2桁を入力します。

イルミネーションを設定する

1 **MENU▶「LifeKit」▶「GPS」▶「GPS設定」▶「イルミネーション選択」**

2 **設定する項目を選択▶以下の項目から選択**

色1～7……それぞれの色で点滅します。

グラデーション……色1～7が順番に点灯します。

OFF……点滅しません。「位置提供／許可」と「位置提供／毎回確認」を選択した場合は、「OFF」を設定することはできません。

充電時の確認音を設定する 〈充電確認音〉

充電開始、終了時に「ピッピッ」と確認音を鳴らします。

- 本機能の設定にかかわらず、以下の場合は確認音が鳴りません。
  - 待受画面以外の画面を表示中
  - 発信中
  - 着信中
  - 音声通話中／テレビ電話中／プッシュトーク通信中
  - マナーモード設定中
  - 公共モード（ドライブモード）設定中
  - データ通信中
  - 電源が切れている場合

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「充電確認音」▶「ON」

■ 鳴らさない場合
▶「OFF」

時刻アラーム音を設定する 〈時刻アラーム音設定〉

アラーム、スケジュール、To Doリストで設定できる時刻アラーム音を変更します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「時刻アラーム音設定」▶アラーム音を選択

アラーム音は「メロディ／iモーション／ミュージック／おしゃべり」から選択します。

■ アラーム音を鳴らさない場合
▶「OFF」

通話が切れそうなときはアラームで知らせる 〈通話品質アラーム〉

電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「通話品質アラーム」▶アラーム音を選択

アラーム音は「アラーム高音／アラーム低音」から選択します。

■ アラーム音を鳴らさない場合
▶「アラームなし」

メールの着信音を鳴らす時間を設定する 〈メール／メッセージ鳴動〉

メールやチャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」▶時間を設定する項目を選択

「メール」を選択すると、iモードメール、エリアメール、SMSの鳴動時間が設定されます。

2 「ON」▶鳴動時間（01～30秒の2桁）を入力

■ 着信音を鳴らさない場合
▶「OFF」
「バイブレータ」を動作するように設定していた場合は、振動しなくなります。

イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす 〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「イヤホン切替設定」▶「イヤホン＋スピーカー」または「イヤホンのみ」

おしらせ

- 本機能を「イヤホン＋スピーカー」に設定している場合、ステレオイヤホンセット（別売）などを接続しているときの着信音・メロディアラーム音の再生時には、サウンド効果は無効になり、「イヤホンのみ」に設定すると有効になります。
- 「着信音量」を「消去」に設定している場合は、イヤホンからもスピーカからも着信音は鳴りません。
- マナーモード（オリジナルマナー）で「電話着信音量」、「メール着信音量」を「消去」以外に設定している場合は、本機能に従って着信音が鳴ります。ただし、マナーモード（マナーモード、スーパーサイレント）設定中は、イヤホンからのみ着信音が鳴ります。

電話から鳴る音を消す
〈マナーモード〉

FOMA端末のスピーカから出る着信音やボタン確認音などを、ボタン1つの操作で鳴らさないように設定します。

●「マナーモードに設定すると」→P.106

●マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。

1 待受画面表示中▶# (1秒以上) または ▲［マナー］(1秒以上)

通話中は#を1秒以上押してもマナーモードを設定できます。

マナーモードが設定されて「 」が表示され、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

：「バイブレータ」で通知

、、 ：「着信音量」を「消去」に設定

～ 、 ～ ：「伝言メモ」「テレビ電話伝言メモ」で録音／録画するように設定（数字は録音／録画されている伝言メモの件数）

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

■ マナーモードを解除する場合

▶待受画面表示中▶#（1秒以上）または▲［マナー］（1秒以上）

通話中は#を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。

マナーモードが解除されて「 」の表示が消えます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

●マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音やオートフォーカスロック完了音は鳴ります。

●バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

マナーモードを変更する
〈マナーモード選択〉

マナーモード設定中の動作を選択します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「マナーモード選択」

「マナーモード選択画面」が表示されます。

着信
メニュー20 マナーモード選択
1マナーモード
2スーパーサイレント
3オリジナルマナー

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード……スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモの再生／消去で▼［📷］を押したときの確認音）は消去しません。

スーパーサイレント……スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。

オリジナルマナー……お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定します。
「オリジナルマナーを設定する」→P.105

オリジナルマナーを設定する

●お買い上げ時の「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。

- 伝言メモ：OFF
- バイブレータ：ON
- 電話着信音量：消去
- メール着信音量：消去
- アラーム音量：消去
- ｉアプリ音量：消去
- メモ確認音：ON
- ボタン確認音：OFF
- 通話中マイク感度：アップ
- 低電圧アラーム：OFF

1 マナーモード選択画面（P.105）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ→P.70

バイブレータ→P.102

電話着信音量……音声電話とテレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信音量を設定します。→P.66

メール着信音量……メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／Fの着信音量を設定します。→P.66

アラーム音量→P.339

ｉアプリ音量→P.231
ただし、「ステップ」は設定できません。

メモ確認音……「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。

ボタン確認音→P.103

通話中マイク感度……通話中のマイク感度を「標準／アップ」から選択します。

低電圧アラーム……電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは?」→P.45

2 **［完了］**

■マナーモードに設定すると

各マナーモードは以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／Fの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
アラームの音量（スヌーズ機能を含む）	消去		「アラーム音量」の設定値
ｉアプリの音量	消去		「ｉアプリ音量」の設定値
スケジュール／To Doリスト／料金通知のアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
通話中のマイクの感度	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
通話中保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は「レベル1」
応答保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「電話着信音量」を「消去」に設定していても、「低電圧アラーム」を「ON」に設定すると、電池切れアラームは「レベル1」
受信メールの読み上げ	「着信音量」の「電話」の設定値 「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」 メールの読み上げは、受信メール詳細画面の機能メニューで「メール読み上げ」を選択したときのみ有効		
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
トルカ取得音	消去		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル4」
GPS機能の現在地確認音や通知音	消去		オリジナルマナーの設定値にかかわらず、すべて消去

■イヤホン接続時は

イヤホン接続時は以下のような設定になります。

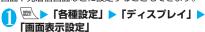
項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
受信メールの読み上げ、To Doリスト／スケジュールの内容読み上げ	「着信音量」の「電話」の設定値 「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」		
ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）、FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	「着信音量」の「電話」の設定値 「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
ミュージックプレーヤーの音量	ミュージックプレーヤーでの音量設定値（P.329）		

おしらせ

- 「オリジナルマナー」で設定した伝言メモは、「伝言メモ」（P.70）で設定した呼出時間で伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は13秒後に開始）。
- 通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。また、マイクの感度は「カメラ」の動画撮影時には「標準」になります。

画面の表示を変える 〈画面表示設定〉

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに設定することもできます。

1
MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

「画面表示設定画面」が表示されます。

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

待受画面……待受画面のイメージを変えます。
→P.108

ウェイクアップ表示……FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。

OFF……画像などを表示しません。

メッセージ……メッセージを入力します。全角50文字、半角100文字まで入力できます。

マイピクチャ……表示される画像を、マイピクチャから選択します。

電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信……音声電話、テレビ電話、メール（ｉモードメール、SMS）の発信時・送信時や着信時・受信時に表示される画像を設定します。

- 発信画面の設定では発信時・送信時に表示される画像を、マイピクチャから選択します。
- 着信画面の設定では「着信画面」を選択してから、着信時・受信時に表示される画像を、マイピクチャ、ｉモーション※から選択します。
- メールの受信画面ではｉモーションを選択できません。

問い合わせ・メール受信結果……「ｉモード問い合わせ」（ｉモードメール、メッセージ）、「SMS問い合わせ」のときやメール受信結果画面に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

※：ｉモーションを移行可能コンテンツフォルダから選択した場合、コンテンツはFOMA端末のINBOXフォルダに移動後、設定されます。

おしらせ

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画面に設定できません。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。
- Flash画像を着信画面／メール着信画面に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、パソコンや、ほかのFOMA端末、microSDメモリーカードからFOMA端末本体に転送／コピーしたもの（FOMA端末本体から一度外に出したものを含む）は設定できなくなります。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションが再生されます。

おしらせ

- 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションが再生されます。

<着信画像の優先順位>

- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像の着信画面設定
  ②グループ着信音／画像の着信画面設定
  ③電話帳登録の静止画
  ④2in1のBモードへの着信画面設定
  ⑤着信音選択のｉモーション
  ⑥画面表示設定／きせかえツール設定
  ※上記①個別着信音／画像、②グループ着信音／画像での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のｉモーション
  ②着信画面設定のｉモーション、静止画・画像

<待受画面の優先順位>

- 待受画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①待受ｉアプリ
  ②画面表示設定／きせかえツール設定

待受画面のイメージを変える

- 本機能は2in1のモードがAモードのとき、または「2in1設定」がOFFのときの待受画面を設定します。「Bモード」または「デュアルモード」に設定している場合は反映されません。「2in1設定」の「モード別待受画面設定」で設定してください。

1 画面表示設定画面（P.107）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

OFF※1……画像などを表示しません。

カレンダー……カレンダーを設定します。

背景画像あり……カレンダーの背景に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

背景画像なし※1……カレンダーのみを表示します。

マイピクチャ……待受画面に表示される画像を選択します。

ｉモーション※1※2……待受画面に表示されるｉモーションを選択します。

ｉアプリ待受画面※1……ｉアプリ待受画面を設定します。→P.238
ｉアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。

ランダム待受画面※3……FOMA端末を開いたり、待受画面を表示させたときに、選択したフォルダ内の画像をランダムに表示します。

※1：操作2以降は不要です。
※2：ｉモーションを移行可能コンテンツフォルダから選択した場合、コンテンツはFOMA端末のINBOXフォルダに移動後、設定されます。
※3：操作3は不要です。

2 画像の表示方法を以下の項目から選択

センタリング表示……画面中央に表示します。

画面サイズで表示……縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大／縮小して表示します。

並べて表示……左上から並べて表示します。

全画面表示……画面サイズいっぱいに拡大または切り出して表示します。

3 画像を確認▶◉［確定］

おしらせ

- 選択した画像の種類によっては、表示方法を選択できない場合があります。
- 動画やｉモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開いたときにｉモーションが再生されます。
- Flash画像やアニメーションGIF形式の画像を待受画面に設定した場合、以下の操作を行うと再生されます（メロディは再生されません）。
  - FOMA端末を開く
  - 待受画面表示中にCLRを押す
  - ほかの画面から待受画面に戻る

● 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

■前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に◉を押すと、デスクトップアイコンやカレンダーが選択できるようになります。Ⓞでカレンダーを反転させて◉［選択］を押すと、デスクトップアイコンの表示が消え、Ⓞで前の月や次の月のカレンダーが確認できます。

■スケジュール機能を起動する場合

Ⓞまたは Ⓞで前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で◉［選択］を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

着信時に電話帳に設定した画像を表示する 〈電話帳画像着信設定〉

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」

■ 表示しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位については、P.108をご覧ください。
- 着信画面と着信音の組み合わせまたは優先順位により、着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、画像は表示されません。

発着信番号表示の色を変更する 〈発着信番号表示設定〉

リダイヤル／着信履歴画面や、送信／受信アドレス履歴一覧画面などに表示される名前や電話番号・メールアドレスを、文字色を変えて表示するように設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「発着信番号表示設定」▶色を選択

■ お買い上げ時の設定に戻す場合
▶ iα［リセット］

おしらせ

- ✉［切替］を押すと、選択できる色の数を16色から256色に切り替えられます。✉［切替］を押すごとに16色と256色が切り替わります。
- 2in1ご利用の場合は、Aナンバー・Aアドレスの情報がここで設定した文字色で表示されます。Bナンバー・Bアドレスの情報を色分けして表示する場合は、「2in1設定」の「発着信番号表示設定」から設定します。

周りから画面が見えないようにする 〈プライバシーアングル〉

周りからディスプレイの表示内容を見えにくくします。

1 8（1秒以上）

プライバシーアングルが設定されて「 」が表示されます。

■ 解除する場合
▶ 8（1秒以上）
プライバシーアングルが解除されて「 」が消えます。

おしらせ

- 文字編集中やｉアプリ実行中に、プライバシーアングルの設定や解除はできません。

ディスプレイとボタンの照明を設定する 〈照明設定〉

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時……通常時のバックライト動作と省電力モードを、それぞれ「ON／OFF」から選択します。
省電力モードを「ON」に設定する場合、省電力モードに移るまでの待ち時間（01～20分の2桁）も入力します。
- 省電力モードを「ON」に設定すると、設定した待ち時間経過後、待受画面の表示が消えます（省電力モード）。省電力モード中にボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。

充電時……充電時のバックライト動作を「標準／常時点灯」から選択します。
「標準」の場合は、通常時の「ON」の設定で点灯します（省電力モードにはなりません）。
「常時点灯」の場合は、ディスプレイのバックライトを点灯し続けます（約10秒間操作がないと「暗め」の明るさになります）。

範囲……バックライトの点灯範囲を「液晶＋ボタン／液晶」から選択します。

明るさ……「明るめ／普通／暗め」からバックライトの明るさのレベルを選択します。

● 各機能に省電力モードを一括設定する（エマージェンシーモード）

エマージェンシーモードに設定すると、照明・音・画面の各機能の設定が省電力モードになるように一括で変更されます。電池残量を節約したいときに設定すると有効です。

- ●エマージェンシーモード設定中に利用が制限されたり、設定が変更される機能は以下のとおりです。
  - ・照明関連：照明設定、イルミネーション・ウィンドウ、通話中イルミネーション、クローズイルミネーション
  - ・音関連：サウンド効果、メール読み上げ設定、ｉモーション自動再生設定、効果音設定（ｉモード）、ボタン確認音
  - ・画面関連：画面表示設定、配色パターンの設定項目、ｉチャネルのテロップ表示

1 5（1秒以上）

エマージェンシーモードが設定されて「」が表示されます。

■ 解除する場合

▶5（1秒以上）

エマージェンシーモードが解除されて「」が消えます。

おしらせ

- ●エマージェンシーモードは、電源を切る／入れると設定が解除されます。
- ●文字編集中やｉアプリ実行中に、エマージェンシーモードの設定や解除はできません。
- ●「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにバックライトを約10秒間点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。
- ●エマージェンシーモードを設定しても各機能の設定は変更されません。また、各機能で設定を変更してもエマージェンシーモードの動作には影響しません。
- ●FOMA端末を開いているときに省電力モードになるとマルチファンクションボタン横の⊂⊃が点滅します。

ディスプレイのデザインを変更する 〈画面デザイン〉

文字や背景、ソフトキーの背景などを変更します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面デザイン」▶以下の項目から選択

配色パターン……配色パターンを「Light Gray／Golden Yellow／Opal Blue／Bourgogne Red／Black」から選択します。※

アイコンパターン……電池アイコン、アンテナアイコンのデザインを「Basic ／ Crest ／ Opal ／ Stardust／Disney」から選択します。

ソフトキー……ソフトキーの背景パターンを「Gray／Red／Gold」から選択します。※

※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンがディスプレイに表示されます。

おしらせ

- ●ｉモードのサイト画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する 〈メニュー画面設定〉

「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示方法や、メインメニューのデザインを変更します。また、メインメニューやシンプルメニューのラストワン機能を設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

「メニュー画面設定画面」が表示されます。

ディスプレイ
メニュー57
メニュー画面設定
1 メニュー表示
2 テーマ
3 フォーカス記憶
4 操作履歴リセット

メニュー画面設定画面

2 以下の項目から選択

メニュー表示……小項目の表示のしかたを「一覧表示／詳細表示」から選択します。

テーマ……メインメニューの選択画面の背景やアイコンを「Flame／Aurora／Luster／Stardust／Disney／Standard／シンプルメニュー／オリジナルテーマ／きせかえツール」から選択します。オリジナルテーマについては「メインメニューの画面を変更する」（P.111）を、きせかえツールについては「きせかえツールを設定する」（P.120）を参照してください。

フォーカス記憶……メインメニューやシンプルメニューを再表示した際、前回選択した項目を反転表示するかどうかを設定します（ラストワン機能）。

操作履歴リセット……自動で並べ替えられたメニュー（P.35）の操作履歴をリセットします。

■メニュー表示について

「一覧表示」の場合

「詳細表示」の場合

「シンプルメニュー」の場合

■テーマについて

「Flame」の場合

「Aurora」の場合

「Luster」の場合

「Stardust」の場合

「Disney」の場合

「Standard」の場合

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更します。

1 メニュー画面設定画面（P.110）▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。

オリジナルテーマ画面

機能メニュー➡P.112

2 以下の項目から選択

メール・iモード・iアプリ・各種設定・データBOX・LifeKit・サービス・電話帳・ユーザデータ・MUSIC・カメラ・おサイフケータイ……メインメニューの各アイコンをマイピクチャから選択します。

背景イメージ……メインメニューの背景イメージをマイピクチャから選択します。

おしらせ

- ファイル容量が100Kバイトを超える画像は設定できません。
- 画像表示エリアより大きい画像の場合は、縦横が同じ比率で縮小表示されます。小さい画像の場合は、元の画像サイズを2倍したときに表示エリア内に収まるときは2倍で中央表示され、収まらないときはそのままのサイズで中央表示されます。

機能 オリジナルテーマ画面（P.111）

- オリジナルテーマの設定を変更した場合のみ表示されます。

1件リセット……変更した大項目のアイコンまたは背景イメージをお買い上げ時の設定に戻します。

全リセット……メインメニューのアイコンと背景イメージをすべてお買い上げ時の設定に戻します。

オリジナルメニューを作成する
〈オリジナルメニュー〉

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、簡単に機能を呼び出すことができます。
→P.33

- オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
- オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「各種設定」、「データ BOX」、「LifeKit」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」、「MUSIC」、「カメラ」、「おサイフケータイ」の各中項目および小項目です。
- 同じ機能を登録することはできません。

1 **［オリジナル］**

「オリジナルメニュー画面」が表示されます。

2 **「＜未登録＞」を反転▶［編集］▶で機能を選択**

■ すでに登録されている機能を変更する場合

▶機能が登録されている項目を反転

オリジナルメニュー画面

機能メニュー➡P.112

機能 オリジナルメニュー画面（P.112）

メニュー登録……オリジナルメニューを登録します。

並び替え……で反転しているメニューを移動し、オリジナルメニューを並び替えます。

デスクトップ貼付→P.115

オリジナルメニュー初期化……お買い上げ時の設定に戻します。

解除……機能をオリジナルメニューから解除します。

全解除……登録されているすべての機能をオリジナルメニューから解除します。

イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定する
〈イルミネーション・ウィンドウ〉

イルミネーション･ウィンドウのメッセージ表示のしかたや時計表示などを設定できます。

- 「イルミネーション・ウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた」→P.30

1 **▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「イルミネーション･ウィンドウ」▶「ON」**

■ イルミネーション・ウィンドウに何も表示しない場合

▶「OFF」

2 **以下の項目から選択**

時計固定表示……時計表示に固定するかしないか（ON／OFF）を設定します。「ON」に設定すると、着信時などのメッセージやアラーム通知などのアニメーションも表示されません。

時計種類……表示する時計の種類を「時計1～4」から選択します。

着信表示……着信中に相手の電話番号（名前）を表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

メール表示……メール受信時に送信元、受信日時、題名を表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

通信中表示……音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信中や通話中、赤外線通信／iC通信中やデータ通信中、ICカード認証中などの状態を画像、アニメーションで表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

背面iアプリ……イルミネーション・ウィンドウ用のiアプリを表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

表示時間……イルミネーション・ウィンドウの表示時間を「15秒間／30秒間／60秒間」から選択します。

3 **［完了］**

おしらせ

- 着もじが付いた音声電話やテレビ電話を着信すると、イルミネーション・ウィンドウに着もじが表示されます（着もじと着信表示は交互に表示されます）。ただし、本機能の「着信表示」を「OFF」に設定した場合、着もじは表示されません。

折り畳んだとき・誕生日・記念日の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する
〈イルミネーション〉

FOMA端末を折り畳んだときの着信イルミネーションの点滅色や点滅のしかたを設定します。また、電話帳の誕生日やスケジュールの記念日に登録されている「お知らせ設定」の着信イルミネーションの点滅色や点滅のしかたについて設定します。

- 電話帳の誕生日登録について→P.89
- スケジュールの記念日登録について→P.342

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「イルミネーション」▶以下の項目から選択

クローズイルミネーション……FOMA端末を折り畳んだときに、着信イルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

誕生日お知らせ……電話帳の誕生日のお知らせ設定に登録されている日に、着信イルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

記念日お知らせ……スケジュールの記念日のお知らせ設定に登録されている日に、着信イルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

2 以下の項目から選択

イルミネーション選択……着信イルミネーションの点滅色を選択します。項目選択のとき、反転移動すると、その色で着信イルミネーションが点灯します。
色1～色7：それぞれの色で点灯します。

パターン設定……着信イルミネーションの点滅パターンを「ノーマル～ランダム」から選択します。項目選択のとき、反転移動すると、そのパターンで着信イルミネーションが点滅します。

おしらせ

- 誕生日お知らせ・記念日お知らせは、着信イルミネーションの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコン（P.117）を表示してお知らせがあることを通知します。お知らせする日の午前0:00になると着信イルミネーションが点滅し、以後デスクトップアイコンを選択するまで、1時間おきに点滅します。

着信時の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する
〈着信イルミネーション〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときや、メール、チャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信イルミネーションの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定します。

- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.95

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「着信イルミネーション」▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択……「電話（音声電話）／テレビ電話／プッシュトーク／メール／チャットメール／メッセージR／メッセージF」の着信イルミネーションの点滅色を選択します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色で着信イルミネーションが点灯します。
色1～色7　　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション：色1～色7が順番に点滅します。
「メール」を選択すると、iモードメールやSMSの着信イルミネーションが設定されます。

パターン設定……着信イルミネーションの点滅パターンを「ノーマル～ランダム／メロディ連動」から選択します。

不在お知らせ……ディスプレイに不在着信または新着メール（iモードメール、チャットメール、エリアメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、着信イルミネーションを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します（省電力モード時は点滅の間隔が長くなります）。

おしらせ

- 着信音に「着信音1～4」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず着信音に合わせて点滅します。
- 「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「ウェーブ」で点滅します。
- エリアメールの着信イルミネーションは以下の動作となります。
  - 着信イルミネーションの点滅色：赤（色5）
  - パターン設定：ブザー音鳴動時はメロディ連動で点滅し、着信音鳴動時は本機能の設定に従います。

次ページにつづく

おしらせ

● 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信イルミネーションの動作は以下のとおりです。

受信内容	着信イルミネーションの動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信イルミネーションで動作します。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。

<着信イルミネーションの優先順位>

● 着信イルミネーションの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①個別着信音／画像のイルミネーション設定
②グループ着信音／画像のイルミネーション設定
③着信イルミネーションの設定

通話中の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する 〈通話中イルミネーション〉

音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中のイルミネーションの点滅のしかたを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「通話中イルミネーション」▶以下の項目から選択

OFF……点滅しません。

色1〜色7……それぞれの色で点滅します。

グラデーション1……点滅しながら色が変化します。

グラデーション2……点灯したまま色が変化します。

グラデーション3……すばやく色が変化する点滅パターンを繰り返します。

ICカード機能利用時のイルミネーションとバイブレータについて設定する 〈ICカード通知設定〉

ICカード機能を利用したときに、イルミネーションまたはバイブレータ（振動）で知らせるかどうかを設定します。

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「ICカード通知設定」▶以下の項目から選択

イルミネーション……ICカード機能利用時に着信イルミネーションが点灯するように設定します。

バイブレータ……ICカード機能利用時にバイブレータが振動するように設定します。

文字のフォントを変える 〈フォント設定〉

ディスプレイに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「フォント設定」▶以下の項目から選択

書体……「ゴシック体／明朝体」から選択します。反転したフォントの文字例が画面の下部に表示されます。

太さ……太さを「細字／太字」から選択します。反転した太さの文字例が画面の下部に表示されます。

文字サイズ……以下の画面の文字サイズを設定します。
文字入力（編集）画面、メール詳細画面、メッセージR／Fの詳細画面、サイトのページ、画面メモ、電話帳一覧画面、電話帳詳細画面、マイプロフィール画面、フルブラウザ表示

- **中・特大**……各種画面の文字サイズを「中サイズ」または「特大サイズ」に設定します。
- **個別設定**……文字入力、メール、ｉモード、フルブラウザ、電話帳、発着信履歴、ｉチャネルテロップの各画面の文字サイズを個別に設定します。
反転したサイズの文字例が画面の下部に表示されます。

おしらせ

●「文字サイズ」の「個別設定」の「フルブラウザ」で設定できるのは、スタンダードタイプの文字サイズのみです。ビューアタイプの文字サイズは変更できません。→P.265

待受画面の時計表示を設定する 〈待受時計表示〉

待受画面の曜日を日本語または英語に設定したり、時刻の表示サイズや色を設定します。メイン時計の日付や時刻を表示しないように設定することもできます。

- 待受画面以外の画面では、本設定にかかわらず時刻のみを画面上に小さく表示します。

1 **MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択**

表示方法……曜日の表示を「日本語／英語」から選択します。「OFF」を選択すると、日付や時刻は表示されません。

表示サイズ

大きく表示……時刻を大きく表示します。

小さく表示……時刻を小さく表示します。

上に小さく表示……時刻のみを画面上に小さく表示します。

文字色……「ブラック／ホワイト」から選択します。

画面を英語表示に切り替える 〈バイリンガル〉

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 **MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「バイリンガル」**

■ 日本語表示から英語表示に切り替える場合
▶「English」

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶「日本語」

おしらせ

- FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。
- 「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「待受時計表示」の「表示方法」および「不在／新着確認設定」の選択肢が「ON／OFF」の2項目になります。

デスクトップアイコンを利用する 〈デスクトップ〉

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

- デスクトップに貼り付けられるアイコンは以下のとおりです。

分類	表示されるアイコン（種類）	アイコンのタイトル※1
データを呼び出す	（電話番号）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	（メールアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合はメールアドレス）※2
	（SMSアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）※2
	（ｉモード）	ｉモードのページタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURL）
	（フルブラウザ）	フルブラウザのページタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURL）
	（メロディ）※3	メロディのタイトル（ない場合は「メロディ」）
	（画像）※3	画像のタイトル（ない場合は「イメージ」）
	（動画またはｉモーション）※3	動画またはｉモーションのタイトル（ない場合は「ｉモーション」）
	（キャラ電）	キャラ電のタイトル（ない場合は「キャラ電」）
	（PDFデータ）	PDFデータのタイトル（ない場合は「ドキュメント」）
	（ｉアプリのソフト※）	ソフト名
	（GPS）	現在地通知先のタイトル（ない場合は「現在地通知」）

※：ｉアプリのソフトに対応したアイコンがデスクトップに貼り付けられます。

音／画面／照明設定

次ページにつづく

分類	表示される アイコン（種類）	アイコンのタイトル※1
機能を呼び出す※4	（フォトモード） （ムービーモード） （ボイスモード） （To Doリスト） （スケジュール） （テキストメモ） （テキストリーダー） （バーコードリーダー） （ｉチャネル） （Music&Videoチャネル） （ミュージック） （赤外線受信） （辞典） （オリジナルメニュー） （ビューアタイプメニュー） （ライフヒストリービューア） （クイック検索） （ワンタッチマルチウィンドウ） （ワンタッチマルチウィンドウ（FB）） （電卓）	それぞれの機能名（左記「種類」と同じ）
フォルダを呼び出す	（受信BOXのフォルダ）	フォルダのタイトル（ない場合は「フォルダ」）

※1：デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角11文字、半角22文字までです。
※2：メール詳細画面から貼り付けた場合、名前は表示されません。
※3：お買い上げ時に登録されているメロディ、画像、ｉモーションまたは自作アニメをデスクトップに貼り付けることはできません。
※4：同じ機能のデスクトップアイコンを複数貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

- デスクトップアイコンはテーマ１～３それぞれに15件まで貼り付けることができます。

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

電話帳詳細画面の機能メニューの「デスクトップ貼付」→P.93

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶●

「デスクトップアイコン画面」が表示され、デスクトップアイコンが選択できる状態になります。反転表示されたデスクトップアイコンには吹き出しタイトルが表示されます。

デスクトップアイコン画面
機能メニュー➡P.117

■ デスクトップの表示を設定する場合
▶［設定］
「デスクトップアイコン画面」の設定メニュー→P.117

2 でデスクトップアイコンを選択

■ デスクトップアイコンが６件以上登録されている場合
画面の左右に「」が表示されます。でデスクトップアイコンをスクロールできます。

待受画面のデスクトップテーマを変更する

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」

「テーマ選択画面」が表示されます。設定中のテーマには「SET」が表示されます。

テーマ選択画面

機能メニュー➡P.117

2 テーマを選択▶「YES」

このあとデスクトップに貼り付ける操作（P.116）を行うと選択したテーマにデスクトップアイコンを振り分けて貼り付けることができます。

■ テーマの内容を確認する場合

▶テーマを反転▶ ［詳細］

「デスクトップ画面」が表示されます。

「デスクトップ画面」の機能メニュー→P.117

機能設定 デスクトップアイコン画面（P.116）／テーマ選択画面（P.117）／デスクトップ画面（P.117）

●デスクトップアイコン画面／テーマ選択画面／デスクトップ画面では利用できる機能が異なるため、表示される項目が異なります。

デスクトップ切替……デスクトップのテーマを切り替えます。

デスクトップ表示設定……アイコンの表示方法を「常に表示／使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で◉を押したときのみアイコンが表示されます。

待受画面設定……待受画面のイメージを変更します。
→P.108

きせかえツール設定……きせかえツールを設定します。
→P.120

chキー設定……ソフトキーに機能を割り当てます。
→P.33

時計設定……待受画面の時計表示を設定します。
→P.115

アイコン作成……機能名一覧から貼り付けるアイコンを選択し、テーマを選択します。

並び替え……アイコンの並び順を変更します。

タイトル編集……アイコンタイトルは全角16文字、半角32文字、テーマは全角11文字、半角22文字まで入力できます。

アイコン変更……「ユーザ選択／初期アイコン」から選択します。「ユーザ選択」を選択するとアイコンを変更できます。「初期アイコン」を選択するとアイコンをお買い上げ時状態に戻します。

アイコン情報……アイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。

コピー……「1件コピー／選択コピー／全コピー」から選択し、アイコンをほかのテーマにコピーします。
「複数選択について」→P.38

移動……「1件移動／選択移動／全移動」から選択し、アイコンをほかのテーマに移動します。
「複数選択について」→P.38

デスクトップ初期化……お買い上げ時の状態（「フォトモード」「ライフヒストリービューア」「クイック検索」「ビューアタイプメニュー」）に戻します。

オリジナルメニュー……オリジナルメニューを表示します。→P.112

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。
「複数選択について」→P.38

情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
メール	新着メールの着信があったことを通知します。アイコンを反転表示すると、メールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコン、メールの題名に含まれる絵文字を3Dアニメーションで表示します。メールの題名も表示します。→P.119、197	最新の受信メール詳細画面を表示します。
R/F メッセージ	新着メッセージの着信があったことを通知します。アイコンを反転表示すると、メッセージの題名に含まれる絵文字を3Dアニメーションで表示します。メッセージの題名も表示します。→P.119、216	最新のメッセージ詳細画面を表示します。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
チャット	新着チャットメールがあったことを通知します。アイコンを反転表示すると、チャットメールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンを3Dアニメーションで表示し、「チャットメールあり」を表示します。→P.119、197	チャット画面を表示します。
トルカ	新着トルカがあることを通知します。	最新のトルカがあるトルカ一覧画面を表示します。
不在	不在着信があったことを通知します。アイコンを選ぶと、不在着信の件数を表示します。	「不在着信履歴」を表示します。
伝言	音声電話の伝言メモがあることを通知します。	「音声メモの再生／消去」を起動します。
伝言	テレビ電話伝言メモがあることを通知します。	「動画メモの再生／消去」を起動します。
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。
アラーム	アラーム、スケジュール、To Doリストのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。
更新	ソフトウェア更新のお知らせがあることを通知します。	「ソフトウェア更新」を起動します。
	ソフトウェア更新が成功したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。
	ソフトウェア更新が失敗したことを通知します。	
	書換え開始時刻を通知します。	書換え予告内容表示画面を表示します。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
お知らせ	マイプロフィールに登録した誕生日になったことを通知します。	誕生日用画像画面を表示します。
	電話帳の誕生日のお知らせ設定に登録した日になったことを通知します。	誕生日お知らせ一覧画面を表示します。
お知らせ	スケジュールの記念日のお知らせ設定に登録した日になったことを通知します。	記念日お知らせ一覧画面を表示します。
上限	積算料金が設定した通知金額を超えたことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、「通話料金通知」のアラーム情報を表示します。
更新	スキャン機能のパターンデータ自動更新が成功したことを通知します。	スキャン機能のパターンデータ自動更新結果を表示します
	更新が正常に行えなかったことを通知します。または、スキャン機能の新規パターンデータがリリースされたことを通知します。	スキャン機能のパターンデータ更新実行を推奨する画面を表示します。
更新	電話帳お預かりサービスの更新ができなかったことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、電話帳お預かりセンターへの接続を選択する画面を表示します。
不在	GPS機能の位置提供の要求があったことを通知します。	位置履歴画面を表示します。
GPS 成功	操作なしに位置提供の応答に成功したことを通知します。	
GPS 失敗	操作なしに位置提供の応答に失敗したことを通知します。	
更新	Music&Videoチャネルの番組のダウンロードに成功したことを通知します。	Music&Videoチャネル画面を表示します。
失敗	Music&Videoチャネルの番組のダウンロードに失敗したことを通知します。	

おしらせ

- 情報を通知するデスクトップアイコンは、各機能を呼び出したり実行すると消えます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンの表示を消したい場合はCLRを1秒以上押します（アイコンの種類により消えないものがあります）。

新着メールのデスクトップアイコンのメッセージを3Dアニメーションで表示する 〈新着お知らせ3D表示〉

新着メール、新着メッセージ、新着チャットメールのデスクトップアイコンを反転表示したときアイコンが3Dアニメーションで表示するように設定します。

- 新着メール、新着メッセージの場合はメールの題名が最大で全角22文字、半角44文字まで表示されます。
- 新着メール、新着メッセージ、新着チャットメールのデスクトップアイコンを反転表示したときの通知内容について→P.117
- 感情お知らせメールのアイコンについて→P.197

感情お知らせ
メールのアイコン
（3Dアニメーション）

メールの題名に
含まれる絵文字
（3Dアニメーション）

ありがとう

メールの題名

メール

新着メール
（「ON」に設定した場合の表示例）

新着メール
（「OFF」に設定した場合の表示例）

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「新着お知らせ3D表示」▶「ON」

■ 3Dアニメーションで表示しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 保存先の受信BOXやフォルダがロック設定中のときに受信した新着メール、新着メッセージ、新着チャットメールは、デスクトップアイコンを反転表示しても、感情お知らせメールのアイコンや絵文字の3Dアニメーションおよび題名は表示されず、「新着メールあり」、「新着メッセージあり」、「チャットメールあり」のみを各々表示します。

おしらせ

- 新着メール、新着メッセージの題名が「無題」の場合やSMSの場合は、デスクトップアイコンを反転表示すると、メールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンを3Dアニメーションで表示し、「新着メールあり」、「新着メッセージあり」を表示します。

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする 〈表示アイコン設定〉

待受画面上のアイコンや日付表示、時刻表示を で選択できるようにします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」

■ 選択できないようにする場合
▶「OFF」

表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中▶●▶ でアイコンを反転

反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2 ●［選択］

選択したアイコンの設定画面などが表示されます。

■選択できるアイコン／表示と、選択後の表示内容

選択できるアイコン／表示	選択後の表示内容
	「画面デザイン」を表示
圏外	「画面デザイン」を表示
self	「セルフモード」を解除する画面を表示
（赤色） （赤色）	未読メールの一覧を表示
	「受信BOX」を表示
R R（赤色） F F（赤色）	「メッセージR」「メッセージF」を表示
（R、F：赤色） （R：赤色） （F：赤色）	「メッセージR」「メッセージF」を選択する画面を表示

音／画面／照明設定

選択できるアイコン／表示	選択後の表示内容
	未読メールの一覧を表示
(赤色) (赤色) (赤色)	「ｉモード問い合わせ」を実行
	「ロック機能選択画面」を表示
	「ICカードロック設定」を解除する画面を表示
	「位置提供」を表示
	「USBモード設定」を表示
	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	• 通常のとき（マナーモードでないとき） 「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示 • マナーモード、スーパーサイレントのとき 設定できないことを通知するメッセージを表示 • オリジナルマナーのとき 「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	「マナーモード選択」を表示
	「遠隔監視設定」を表示
	「スケジュール」、「アラーム」、「To Doリスト」の選択画面を表示
～	「留守番電話」を表示
、～	録音されていないことを通知するメッセージを表示。または「音声メモの再生／消去」を表示
、	録画されていないことを通知するメッセージを表示。または「動画メモの再生／消去」を表示
	「プライバシーアングル」を表示
	「キー操作ロック」を設定する画面を表示
	「サイドボタン設定」を表示
日付	「スケジュール」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
メイン時計	「アラーム」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
サブ時計	「サブ時計設定」を表示
	起動しているタスクを切り替えて表示

きせかえツールを設定する 〈きせかえツール設定〉

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインをきせかえツールパッケージで一括設定します。

●お買い上げ時は本体色に対応したデータのほか、「Disney」、「拡大メニュー」、「ドコモダケ_N905iμ」の計7種類が登録されています。

●きせかえツールパッケージは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.177
ダウンロードしたパッケージはデータBOXに保存され、内容を確認することができます。→P.273

●一括設定できる対象項目は以下のとおりです。
- 「画面表示設定」
- 「着信音選択」
- 「GPS設定」－「音／バイブレータ設定」－「音選択※」
- 「時刻アラーム音設定」
- 「メニュー画面設定」－「テーマ」
- ミュージックプレーヤーの「プレーヤー画面変更」
- 「ｉチャネル」－「ｉチャネル設定」－「テロップカラー設定」
- 「待受時計表示」
- 「イルミネーション･ウィンドウ」－「時計種類※」
- 「画面デザイン」
- 「着信イルミネーション」
- 「イルミネーション」－「クローズイルミネーション」

※：「拡大メニュー」、「ドコモダケ_N905iμ」およびサイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージ（ ）では設定できません。
「 」が付いたデータでのみ設定できます。

●2in1設定時、いずれのモードできせかえツールを設定しても、次の項目以外は、すべてのモード／電話番号／メールアドレスに反映されます。
- 待受画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面はAモードのみ
- 音声電話着信音とテレビ電話着信音はAナンバーのみ
- メール着信音はAアドレスのみ

●本機能に設定するパッケージによっては、利用頻度により自動的に使いやすくメニューが切り替わったり、手動で中項目のメニューを個別設定するなど、メインメニューをカスタマイズして利用することが可能になります。

●本機能を利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、メインメニューのテーマを「Standard」（P.35）に切り替えるか、メニューの操作履歴をリセット（P.110）してください。

パッケージを設定する

●一括設定する前に、現在の設定内容を「お気に入り」に登録しておくと、後でその設定に戻すことができます。→P.121

1 MENU ▶「各種設定」▶「きせかえツール設定」

「きせかえツール設定一覧画面」が表示されます。

きせかえﾂｰﾙ設定
1 お気に入り
2 Bourgogne Red
3 Opal White
4 Venus Gold
5 Graphite Black
6 Disney
7 拡大メニュー
8 ドコモダケ_N905iμ
9 モードで探す

きせかえツール設定一覧画面

機能メニュー➡P.121

2 項目を選択▶「YES」

お買い上げ時、「お気に入り」は未登録です。

■ 設定内容を確認する場合
▶項目を反転▶ [詳細]
▶項目を反転▶ [デモ]

■ ｉモードでパッケージを検索する場合
▶「ｉモードで探す」

おしらせ

●変更される項目は、パッケージによって異なります。
●パッケージを設定すると、発着信番号表示設定の色が変更される場合があります。
●「個別着信音／画像」、「グループ着信音／画像」が設定されている場合や電話帳に画像が設定されている場合は、本機能で設定された項目よりも優先して表示されます。
●パッケージを設定した後に、一括設定された項目を本機能以外から個別に設定した場合は、その設定が優先されます。

機能 きせかえツール設定一覧画面（P.121）

タイトル編集……タイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

現在の設定情報確認……設定内容を確認します。

設定情報リセット……「お気に入り」の設定内容を消去します。

現在の設定を「お気に入り」に登録する

1 きせかえツール設定一覧画面（P.121）▶「お気に入り」を反転▶ [詳細]

「コンテンツ設定確認画面」が表示されます。
未登録の場合は「設定なし」と表示されます。

コンテンツ設定確認画面

機能メニュー➡P.122

2 ch [機能] ▶「現在の設定情報取得」▶「YES」

●「お気に入り」の項目を設定変更する

「お気に入り」に登録した項目はコンテンツ設定確認画面の各項目から設定変更します。

1 コンテンツ設定確認画面（P.121）▶項目を選択▶設定を変更

おしらせ

●「ｉアプリ待受画面」の設定内容は、「お気に入り」の「待受画像」に登録されません。
●「お気に入り」に登録された画像やｉモーション、メロディなどが削除された場合、「お気に入り」の登録内容から消去され「設定なし」と表示されます。

機能 コンテンツ設定確認画面（P.121）

一括設定※1**・設定を反映**※2……現在の表示内容で一括設定します。

現在の設定情報取得※2……現在の各項目の設定情報を取得し、「お気に入り」に登録します。

設定情報リセット※2……「お気に入り」に登録されている内容を消去し、すべて「設定なし」にします。

※1：「拡大メニュー」、「ドコモダケ_N905iμ」およびサイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージ（ ）でのみ利用できます。
※2：「 」が付いたデータのコンテンツ設定確認画面の場合に表示されます。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.125

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉［確定］を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

■ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ｉモードから変更される場合は、[ｉ]▶ｉMenu▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶ｉモードパスワード変更から変更ができます。

■PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.125

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

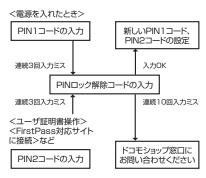
※ 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◉［確定］を押します。

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

●PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

端末暗証番号を変更する 〈端末暗証番号変更〉

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

PINコードを設定する 〈PIN設定〉

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.124

●PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。

●PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

PIN1コード変更……現在のPIN1コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN1コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN2コード変更……現在のPIN2コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN2コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN1コード入力設定……電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON／OFF）を設定します。

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 **8桁のPINロック解除コードを入力**

PINロック解除コード入力
PIN1コードが
ロックされました
PINロック解除コードを
入力してください
－－－－－－－－
あと10回

2 **4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力**

各種ロック機能について

目的	機能名
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	ダイヤルロック／おまかせロック
ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットモード／シークレット専用モード
ほかの人に見られたくない画像やメールなどを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットフォルダ
ほかの人に個人情報を見られたり、書換えられたりすることを防ぐ。電話やプッシュトークの発着信を制限したり、メールの送受信などを制限する	オリジナルロック
ボタン操作を自動的にロックする	キー操作ロック
非接触ICカードでロックを解除する	ICカード認証設定
サイドボタンの誤操作を防ぐ	サイドボタン設定
顔認証機能でロックを解除する	顔認証設定
フォルダにロックを設定してメールを無断で見られることを防ぐ	BOXロック／フォルダロック
電話帳に登録した電話番号ごとに着信や発信を制限し私用電話や迷惑電話などを防ぐ	個別着信動作選択
発信者番号のわからない相手からの着信を防ぐ	非通知着信設定

目的	機能名
呼出動作が短い電話帳未登録の迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐ	呼出時間表示設定
電話帳未登録の相手からの着信を防ぐ	登録外着信拒否
音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信を気にしないでFOMA端末を操作する	セルフモード

ほかの人が使用できないようにする 〈ダイヤルロック／おまかせロック〉

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号(110番、119番、118番)に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける※	○	○
遠隔監視の着信を受ける	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×
GPS機能の位置提供を行う(ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供に対応したサービスで設定した相手への位置提供)	○	○
上記以外の機能を利用する	×	×

○：利用できます。×：利用できません。

※：音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信することはできません。また、プッシュトークの着信を受けても着信動作は行われず、不在着信履歴として記憶されます。公共モード(ドライブモード)設定中は着信を受けることができません。

- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」などで設定した時刻になってもアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップに貼り付けられているアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロック設定中の着信は「着信履歴」に記憶されます。

FOMA端末を操作してダイヤルロックを設定する

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力 ▶「ダイヤルロック」

● ダイヤルロック設定中の動作について

ダイヤルロック設定中画面

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「🔑 IC」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります(ICカード認証機能でダイヤルロックの解除はできます)。
- イルミネーション･ウィンドウには「ダイヤルロック中です」が表示されます。
- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

ダイヤルロックを解除する

- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力 ▶ ◉

ダイヤルロックが解除されて「🔑 IC」の表示が消えます。

■ ICカード認証機能で解除する場合

「ICカード認証機能を利用する」→P.135

おしらせ

- ダイヤルロックを解除してもICカードロックを同時に設定している場合は、「IC」の表示は消えません。
- ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。[☎]を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

※ おまかせロック中も位置提供機能の設定を「ON」にしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間24時間
※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックのご利用方法／料金などの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● おまかせロック設定中の動作について

12.28 FRI 12:05
おまかせロック中です

- ディスプレイやイルミネーション・ウィンドウに「おまかせロック中です」と表示します。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック設定中に受信したメールはｉモードセンターに保管されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりません。

おしらせ

- ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。
- ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。
- 以下の場合はロックがかかりません。
  - FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にあるとき
  - セルフモード設定中、赤外線通信／ケーブル接続によるデータ送受信中などの理由でFOMA端末に「圏外」が表示されているとき
- 「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- ロックの解除は、ロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードを挿入している場合にのみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- おまかせロックを解除しようとしたときに FOMA 端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする
〈シークレットモード／シークレット専用モード〉

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「ｉモーション」、「受信メール」、「送信メール」、「Bookmark」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.129

シークレットモード／シークレット専用モードにする

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」／「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力**

シークレットモードに設定すると「S」が表示されます。
シークレット専用モードに設定すると、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示された後、「S」が点滅表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- FOMA カードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
- シークレットモード中／シークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話、プッシュトークを発信したり着信したりすると、電話に出なくても設定中のモードは解除されます。
- シークレットモード中／シークレット専用モード中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。
電話帳の登録のしかた→P.89
スケジュールの登録のしかた→P.340

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択します。
※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。
電話帳の検索のしかた→P.92
スケジュールの確認のしかた→P.342

■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、「電話帳詳細画面」（P.92）または「スケジュール一覧画面」（P.342）を表示し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

シークレットモード／シークレット専用モードを解除する

1 **シークレットモード／シークレット専用モード中に☎**

シークレットモード／シークレット専用モードが解除され、「S」の表示が消えます。

MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」やMENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」を押しても解除できます。

おしらせ

- シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「S」が点滅に変わります。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。また「着信履歴」にも電話番号のみが表示されます。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、登録されている名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。また「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- 「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」、「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」は、誕生日お知らせを行いません。

各種データを表示できないようにする 〈シークレットフォルダ〉

ほかの人に見られたくない画像、動画・iモーション、受信メール、送信メール、Bookmarkの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。

- FOMA 端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	iモーション	受信メール
約100件 (約2Mバイト)	約10件 (約10Mバイト)	約100件 (約1.2Mバイト)

送信メール	iモードの Bookmark	フルブラウザの Bookmark
約100件 (約1.2Mバイト)	約10件 (約3Kバイト)	約10件 (約6Kバイト)

※ 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例:マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

「電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする」→P.127

2 画像一覧画面(P.274)▶ で画像の囲み枠を移動▶ [機能]▶「シークレットに保管」

おしらせ

- シークレットフォルダは FOMA 端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。
- シークレットフォルダ内のデータを表示していたとき、電話の着信などでシークレットモードやシークレット専用モードが解除されると、各フォルダの一覧画面に戻ります。

<受信メール><送信メール>

- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード/シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。
- シークレットフォルダに保管されている SMS の送達通知を受信した場合、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと選択できるようになります。

おしらせ

<デスクトップアイコン>

- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、iモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- デスクトップアイコンとして貼り付けた Bookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときは通常の動作となります。

● シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」(P.130)をご覧ください。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときの機能メニュー

マイピクチャ (P.302)	iモーション (P.302)
フォルダ追加 画像全削除※1 保存容量確認	フォルダ追加 動画全削除※1 保存容量確認

受信メール/送信メール (P.206)	Bookmark (P.173)
フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 iC全送信※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 登録件数確認※1 iC全送信※1※4 赤外線全送信※1※4 microSDへ全コピー※1※4 Bookmark全削除※1

※1: シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。
※2: 受信メールフォルダ一覧画面のみ利用できます。
※3: 送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。
※4: ビューアタイプの Bookmark の場合は利用できません。

■データ一覧画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.277)	iモーション (P.283)
イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧※1 削除 シークレットから出す	iモーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す

あんしん設定

受信メール／送信メール (P.208)	Bookmark (P.173)
色分け 一覧表示切替 保護※2 保護解除※2 保護／保護解除※3 全保護解除※3 メール情報※2 保存件数確認 削除 シークレットから出す	登録件数確認 削除 シークレットから出す

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。お買い上げ時はピクチャ一覧です。
※2：受信メール一覧画面のみ利用できます。
※3：送信メール一覧画面のみ利用できます。

■データ詳細表示画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.277)	i モーション (P.330)
イメージ情報 画像表示設定 通常モード※1 リトライ 1件削除	動作設定 再生メニュー 詳細情報 ファイル選択 ヘルプ

受信メール／送信メール (P.210)
保護／保護解除 クイック検索※2 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す

※1：通常モードのときは「全画面モード」になります。
※2：受信メール詳細画面のみで利用できます。

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例:マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

「電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする」→P.127

2 フォルダ一覧画面（P.274）▶「シークレット」▶画像に囲み枠を移動▶ch［機能］▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、日付の古いメールは他のメールを受信時／送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする〈オリジナルロック〉

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信を制限したり、i モードメールやSMSの送信を制限します。

- ロック対象の機能やデータはオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途･目的に応じて使い分けることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。

オリジナルロックを有効にする

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力

「ロック機能選択画面」が表示されます。

ロック機能選択画面

2 オリジナルロック1～3を選択

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。
画面には「」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

■ ロックする機能やデータを変更する場合
「ロックする機能やデータをカスタマイズする」→P.134

■ タイトルを編集する場合
▶オリジナルロック1～3を反転▶ch［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ オリジナルロックを解除する場合
▶「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

- 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります（「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません）。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合>

1. **待受画面表示中▶✉**
2. **端末暗証番号を入力**
   オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。
3. **ｉモードメールを読む**
4. **メールメニューを終了し、待受画面に戻る**
   オリジナルロックが有効になり、画面に「🔒」が表示されます。

● ロック対象の機能やデータについて

- オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは以下のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定（カスタマイズ）できます。→P.134

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧·編集·削除	メール	メール	メール機能をロックします。 • メールBOXの表示などはできません。 • メール作成や送信はできません。 • FOMA端末を閉じた状態で🔑を押してもメール本文読み上げはできません。 • エリアメールの内容表示はできます。
		メールメンバー	各機能の起動をロックします。
		チャットグループ	
	ｉモード	ｉモード	ｉモード機能をロックします。 • ｉモードやフルブラウザ、ｉチャネルなどが利用できません。 • ｉチャネルのテロップ表示も行われません。 • クイック検索の利用はできません。
		Bookmark	ｉモード、フルブラウザのブックマーク一覧の表示をロックします。
	ｉアプリ	ｉアプリ	ｉアプリメニューやICカード一覧の表示をロックします。また、すべてのｉアプリ（お買い上げ時に登録されているｉアプリを含む）を実行できません。 • ICカード機能は本機能ではロックされません。 • ｉアプリ待受画面を設定している場合、ロック中はｉアプリ待受画面が無効になり、カメラで撮影した画像やダウンロードした画像を直前に設定していた場合はその画像が表示されます。ただし、直前に設定していた画像がロック対象になっているときはお買い上げ時の画像が表示されます。お買い上げ時に登録されている画像を直前に設定していた場合はその画像が表示されます。
	トルカ	トルカ	トルカ一覧画面の表示をロックします。ロック中でも読み取り機からトルカ取得ができます。ロックを解除すると「新着トルカあり」のデスクトップアイコンが表示されます。

次ページにつづく

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧･編集･削除	マルチメディア	マイピクチャ	各機能の起動をロックします。また、ほかの機能からデータを呼び出すこともできません。 • ロック対象となるデータを着信音や着信画面、待受画面などに設定している場合、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します。 •「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
		ミュージック	
		ｉモーション	
		メロディ	
		きせかえツール	
		マイドキュメント	
		キャラ電	
		ドキュメントビューア	
		おしゃべり機能	
		Music&Videoチャネル	各機能の起動をロックします。 • ロック中でもMusic&Videoチャネルの番組はダウンロードします。
		カメラ	
		バーコードリーダー	
		テキストリーダー	
	スケジュール	スケジュール	各機能の起動をロックします。また、設定した時刻になってもアラーム通知を行いません。 • ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。 •「スケジュール」がロック対象になっており待受画面にカレンダーを設定している場合、ロック中は待受画面のカレンダーからスケジュール機能を起動できません。
		アラーム	
		To Doリスト	
	メモ	音声メモの再生／消去	各機能の起動をロックします。 FOMA端末を閉じた状態でを押しても「伝言メモあり」、「テレビ電話伝言メモあり」の確認はできません。
		動画メモの再生／消去	
		待受中音声メモ	各機能の起動をロックします。
		通話中音声メモ	
	電話帳	電話帳／直デン	電話帳やプッシュトーク電話帳、直デンの起動をロックします。また、あらゆる場面で電話帳参照が行われなくなります（電話帳を利用する多くの機能に影響があります）。 • 電話帳に登録されている相手であっても音声電話、テレビ電話の発信中画面や着信中画面に電話番号だけが表示されます。また、新着メール表示では送信元の登録名の代わりにメールアドレスが表示されます。 •「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されている場合は、着信中画面に着もじは表示されません。 • 電話帳に登録されている相手であっても着信や発信に対する「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」には電話番号だけが表示されます。 • メール一覧画面や詳細画面には、電話帳に登録されている名前の表示は行われず、代わりにメールアドレスが表示されます。 •「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 •「指定着信拒否」、「指定着信許可」、「指定転送でんわ」、「指定留守番電話」の設定は無効になります。 • FOMA端末を閉じた状態でを押しても「不在着信あり」、「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「伝言メモあり」の発信者名の読み上げはできません。
		マイプロフィール	「マイプロフィール」の起動をロックします。

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧･編集･削除	電話帳	発信履歴	「発信履歴」、「リダイヤル」、「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
		着信履歴	「着信履歴」、「受信アドレス一覧」の起動をロックします。 • FOMA端末を閉じた状態で を押しても不在着信の確認はできません。
	その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
		通話料金通知	設定した上限料金を超えてもアラームを通知しません。 • ロック解除後、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 •「通話料金通知」の設定操作は本機能でロックされませんので設定することはできます。
		着もじ	「着もじ」の利用をロックします。 • 機能メニューの「メッセージ作成」から着もじを付けて発信することはできます。
発信・メール送信	ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルや電話帳未登録の相手からの着信履歴による音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信はできません（ただし、電話帳、電話帳に登録されている相手からの着信履歴、リダイヤル／発信履歴からは発信できます）。 • 電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作やmicroSDからのコピーはできません。 • 緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
	メール送信	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信はできません（宛先には、電話帳、リダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧が利用できます。また、電話帳に登録されている相手からの着信履歴、受信アドレス一覧が利用できます）。 • 電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作やmicroSDからのコピーはできません。 • 電話帳に登録されていない相手からの着信履歴、受信アドレス一覧と、メールメンバー、チャットグループはメール作成時のメールアドレスとして利用できません。 •「自分」を除くチャットメンバーはすべて削除されます。 • 保存BOX内のメールの宛先はすべて削除されます。また、宛先のみ入力された保存BOX内のメールはすべて削除されます。
		メール送信	ｉモードメール、SMSの送信はできません。 • チャットメールは利用できません。
着信・メール受信表示	着信		音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、パケット通信の着信を拒否します。着信動作は行わず不在着信履歴として記憶されます。 • ロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
	メール／メッセージ受信表示		メッセージR／F、ｉモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 • エリアメールの自動受信と内容表示はできます。 • ロック解除後、「新着メールあり」、「チャットメールあり」、「新着メッセージあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 • チャットメールは利用できません。
GPS	GPS		GPS機能の起動をロックします。 • ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供に対応したサービスで設定した相手への位置提供はできます。

おしらせ

● ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

ロックする機能やデータをカスタマイズする

- たとえば「電話帳だけをロックする」、「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）は、カテゴリー、グループ、機能ごとに行います。→P.131
- ロック対象の設定（カスタマイズ）内容は、オリジナルロックの有効／無効を切り替えても保持されます。

1 ロック機能選択画面（P.130）▶オリジナルロック1～3を反転▶ [詳細]

「カテゴリー一覧画面」が表示されます。
カテゴリー内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

カテゴリー一覧画面

機能メニュー➡P.134

2 設定変更したいカテゴリーを選択

「グループ一覧画面」が表示されます。
グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

グループ一覧画面

機能メニュー➡P.134

3 設定変更したいグループを選択

「機能一覧画面」が表示されます。

4 で□（チェックボックス）を選択▶ [完了]

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。
ロック対象外にしたい項目はチェックを外します。

機能一覧画面

機能メニュー➡P.134

5 [完了]▶ [完了]▶◉ [確定]

カテゴリーによっては [完了] を押す回数が異なります。

機能 カテゴリー一覧画面（P.134）／グループ一覧画面（P.134）

グループ選択……反転表示している項目より下の階層の項目をすべて選択します。

グループ解除……反転表示している項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。

全グループ選択……表示されている項目より下の階層の項目をすべて選択します。

全グループ解除……表示されている項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。

機能 機能一覧画面（P.134）

全選択……表示されている項目をすべて選択します。

全選択解除……表示されている項目の選択をすべて解除します。

ボタン操作を自動的にロックする 〈キー操作ロック〉

FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- キー操作ロック時に、着信イルミネーションが青色で点滅します。
- キー操作ロックは電源を切っても解除されません。

キー操作ロックを設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

閉じたとき

ON……FOMA端末を閉じたときに自動的にロックがかかります。

OFF……FOMA端末を閉じてもロックはかかりません。

タイマー……「OFF／1分後ON／5分後ON／15分後ON／30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

2

● キー操作ロック中の動作について

- キー操作ロック中はディスプレイに「キー操作ロック」と「」が表示されます。
- キー操作ロック中は、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能、顔認証機能によるキー操作ロック解除、［マナー］（不在着信／新着メールの内容確認）の操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- キー操作ロック中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、チャットメール、エリアメールの着信動作は行われますが、内容の閲覧やによる読み上げ機能の利用はできません。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。
- キー操作ロック中でも、「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」などのアラームは通知されます。
- 上記の着信時やアラーム通知時などキー操作ロック中でも動作可能な場合は画面下に「」が表示されます。

おしらせ

- キー操作ロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- 通話中やデータの通信中（iモード中など）、メロディ／iモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

キー操作ロックを一時解除する

1 キー操作ロック中の画面で端末暗証番号を入力▶◉

■ **顔認証機能を利用して一時解除する場合**

「顔認証機能でキー操作ロックを一時解除する」→P.138

■ **ICカード認証機能を利用して一時解除する場合**

「ダイヤルロック／キー操作ロックの解除にICカード認証機能を利用する」→P.136

ICカード認証機能を利用する〈ICカード認証設定〉

FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）に重ね合わせるだけで、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除したり、端末暗証番号の入力が必要な画面で、暗証番号を入力せずにユーザ認証ができるようにします。

- ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。
- 非接触ICカードを2枚まで登録できます。

ICカード認証機能を有効にする

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ICカード認証設定」▶端末暗証番号を入力

「ICカード認証設定画面」が表示されます。

ICカード認証設定画面

機能メニュー➡P.135

2 「有効」▶「OK」

■ **登録済みの非接触ICカードを有効にする場合**

▶「有効」

■ **ICカード認証機能を無効にする場合**

▶「無効」▶「YES」または「NO」

3 非接触ICカードをFOMA端末の FeliCa マーク「」に重ね合わせる

登録されると「」が消えます。

機能 ICカード認証設定画面（P.135）

外部ICカード登録……非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。

外部ICカード削除……非接触ICカードのデータを削除します。

● ダイヤルロック／キー操作ロックの解除にICカード認証機能を利用する

●以下の操作を行うと「[IC]」が表示され、本機能で登録した非接触ICカードをFOMA端末の FeliCaマークに重ね合わせるだけでユーザ認証が行われ、ロックを解除できます。

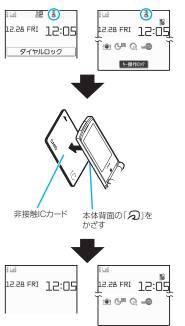
1 ダイヤルロック設定中／キー操作ロック中にFOMA端末を開く

ディスプレイに「[IC]」が表示されて10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中に[iα]［IC認証］を押しても同じ状態になります。

■ FOMA端末を閉じたまま解除したいとき

▶[▲]［マナー］（1秒以上）を押すと10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。

2 非接触ICカードをFOMA端末の FeliCaマーク「[FeliCa]」に重ね合わせる

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。

※イラストのように重ね合わせてください。
ICカードによっては認識しにくい場合があります。その場合は上下左右にずらしてください。

● 端末暗証番号入力時にICカード認証機能を利用する

●端末暗証番号の入力画面が表示されると自動的に「[IC]」が表示されて10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。その間に本機能で登録した非接触ICカードをFOMA端末の FeliCa マークに重ね合わせるとユーザ認証が行われ、目的の操作を行うことができます。

※イラストのように重ね合わせてください。
ICカードによっては認識しにくい場合があります。その場合は上下左右にずらしてください。

おしらせ

●ICカード認証機能利用時は「ICカード通知設定」の内容で着信イルミネーション、バイブレータが動作します。

●FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。

●ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。

おしらせ

- 本機能で登録されていない非接触ICカードをユーザ認証時に利用するとユーザ認証は失敗します。5回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

サイドボタンの誤操作を防止する 〈サイドボタン設定〉

FOMA端末を閉じたときに、サイドボタン（、[マナー]、[]）の機能を無効にします。

- 以下のような場合は、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。
  - FOMA端末を開いているとき
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき
  - 外部接続端子にパソコンやプリンタなどを接続し、画面に「」、「」、「」が表示されているとき

1 ▶（1秒以上）

サイドボタンの操作が無効（閉じた時無効）になり「」が表示されます。

■ **閉じた時有効にする場合**

▶操作1を再度行う

「」の表示が消えます。

顔認証機能を利用する 〈顔認証設定〉

以下の機能の起動時／解除時の本人確認のために顔の画像撮影と、認証が失敗した場合のキーワードとして画像名を登録します。

- キー操作ロック解除時
- 端末初期化起動時
- ICカードロック解除時
- 顔認証設定起動時
- 設定リセット起動時

- 内側カメラのレンズが汚れていたりすると誤作動の原因になります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 顔の状態によって認識率が低下することがありますが、次の対処方法で改善される場合があります。

認識率が低下する条件	対処方法
光が強く当たったり、暗い場所の電灯下など、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きい	顔に当たる光が一定になるように、均一な明るさになるような場所に移動してください。
顔に光が当たり顔全体が白くなる	
髪やめがね、マスクなどにより顔の特徴（目・鼻・口・眉など）がはっきり見えない	目・鼻・口・眉がはっきり見えるように髪をあげたり、めがねやマスクなどを取ってください。

- 顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または本機能の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

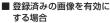
1 ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「顔認証設定」▶端末暗証番号を入力

2 「有効」▶「OK」

顔認証設定画面

機能メニュー➡P.138

「画像登録画面」が表示されます。注意点が表示されるので事前によくお読みください。

■ **登録済みの画像を有効にする場合**

▶「有効」

■ **無効にする場合**

▶「無効」▶「YES」または「NO」

3 ガイド枠に目の位置を合わせる▶［撮影］▶［保存］

撮影は3回行われ1回撮影するごとに保存します。

保存が完了しなかったり、撮影を途中で終了したり、3枚未満の状態で撮影を終了した場合は、すでに保存されている画像は削除されて画像未登録の状態となります。

画像登録画面

3枚の画像の保存が完了すると「画像名編集画面」が表示されます。

■ **途中で撮影を中止する場合**

▶CLR▶「YES」

4 画像名を入力▶「YES」

入力した画像名が認証失敗時のキーワードとなります。

画像名は全角で2～8文字、半角で4～16文字の範囲で入力します。

■ **画像名を変更する場合**

▶「NO」または画像名を選択

次ページにつづく

5 ◎で□（チェックボックス）を選択▶ ✉ [完了]

チェックを付けた（☑にした）項目が、顔認証機能を利用できる対象となります。対象外にしたい項目はチェックを外します。

機能 顔認証設定画面（P.137）

画像登録……画像登録を行います。

画像名編集……画像名を編集します。

画像削除……画像を削除します。

解除機能選択……顔認証機能でロック解除する機能を選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 登録した画像名は、認証失敗時に必要になりますので、メモを取るなど忘れないようにしてください。また、画像名は分かりやすい文字の組み合わせはさけ、ほかの人に知られないようにご注意ください。

● 顔認証機能でキー操作ロックを一時解除する

「顔認証設定」で画像を登録し、「解除機能選択」で「キー操作ロック」を選択している場合は、ロック解除時に本人確認のために顔データの読取認証が行われます。

- 顔データの読取認証ができないときは、「顔認証設定」でキーワードとして登録した画像名を入力すれば解除できます。
- 顔認証機能でICカードロックを解除するには→P.247

1 待受画面表示中▶ [認証]

2 正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる

■ 顔データの読取認証が失敗した場合

▶画像名を入力▶「OK」

3 端末暗証番号を入力

キー操作ロックが一時解除されます。

メールを無断で表示できないようにする 〈BOXロック／フォルダロック〉

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけます。ロックをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

- 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
- ロックをかけたBOXには、「 」のアイコンが表示されます。
- ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「 」、「 」などの表示になります。
- BOXやフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にロックを設定する

1 ✉▶「メール設定」▶「BOXロック」▶端末暗証番号を入力

2 ◎で□（チェックボックス）を選択

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選択すると、選択を解除します。

3 ✉ [完了]

フォルダ別にロックを設定する

1 メールフォルダ一覧画面（P.202、204）▶ロックを設定するフォルダを反転▶ ch [機能]▶「フォルダロック」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ 解除する場合

▶操作1を再度行う

指定した電話番号の着信や発信を制限する 〈個別着信動作選択〉

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別着信動作選択の各機能は解除されます（ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません）。
- 「指定発信制限」、「指定着信拒否」、「指定着信許可」の設定は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「個別着信動作選択」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

指定発信制限……指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否……指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可……指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

指定転送でんわ……指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

指定留守番電話……指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」が付いている機能を選択

機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

▶ CLR を2回押して電話帳一覧画面に戻る▶目的の電話帳を選択▶操作1を行う

指定発信制限を設定した後に ☎ を押して待受画面に戻ると、個別着信動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の個別着信動作選択を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると

- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

- 2in1利用時は、ご利用のモードと電話帳2in1設定の組み合わせによって、以下のように個別着信動作選択の各機能の動作が異ります。
  - A モードの場合は、A・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
  - B モードの場合は、B・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
  - デュアルモードの場合は、すべての電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。

  ただし、指定発信制限については2in1のモードにかかわらず、指定した電話番号以外に発信することはできません。

<指定発信制限>
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。

<指定着信拒否><指定着信許可>
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

あんしん設定

次ページにつづく

おしらせ

<指定転送でんわ><指定留守番電話>
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

個別着信動作選択の設定状況を確認する

1 電話帳一覧画面（P.91）▶ ch［機能］▶「個別着信動作選択」▶端末暗証番号を入力

「個別着信動作選択」が表示されます。

個別着信動作選択画面

機能メニュー ➡P.140

機能 個別着信動作選択画面（P.140）

設定確認……機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除……機能が解除されて「★」が消えます。

発信者番号のわからない電話を受けない〈非通知着信設定〉

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

公衆電話……公衆電話などから発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

非通知設定……発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

2 「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合

▶「着信音」または「着信画面」
- 「着信音」は「通常着信音と同じ／メロディ／ｉモーション／ミュージック／おしゃべり／ランダムメロディ／OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
- 「着信画面」は「通常着信画面と同じ／マイピクチャ／ｉモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

■「拒否」を選択した場合

着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ
- 本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。非通知のプッシュトークを着信したときは、「着信音選択」の「プッシュトーク」と同じになります。
- 「拒否」に設定した相手から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする〈呼出時間表示設定〉

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。
- 非通知の音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

1 MENU ▶「各種設定」▶「着信」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定

ON……呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力します。

OFF……呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示……呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない 〈登録外着信拒否〉

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定します。

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」**

■ **電話帳未登録の相手からの電話を受ける場合**
▶「許可」

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能の設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「圏外」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

おしらせ

- 2in1利用時は、ご利用のモードによって、以下のように着信拒否されます。
  - Aモードの場合は、A・共通設定の電話帳以外の着信を拒否します。
  - Bモードの場合は、B・共通設定の電話帳以外の着信を拒否します。
  - デュアルモードの場合は、すべての電話帳以外の着信を拒否します。

発信や着信ができないようにする 〈セルフモード〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信、ｉモードの利用、メールの送受信ができないように設定します。音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」**

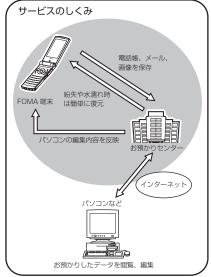
セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ **セルフモードを解除する場合**
▶再度操作1を行う
セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

● セルフモードを設定すると

- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／Fやｉモードメールはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- プッシュトークの着信があった場合は、メンバーに「不参加」として伝わります。
- 赤外線通信機能／ｉC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証もできません。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリを利用してICカード内のデータの読み書きはできます。

電話帳お預かりサービスとは〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、iモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。
※ 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、iモード契約が必要です）。
- お預かりセンターへの保存操作については以下のページをご覧ください。
  - 「電話帳データをセンターに保存する」→P.98
  - 「メールをお預かりセンターに保存する」→P.209
  - 「画像をお預かりセンターに保存する」→P.278

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
ほかの人に無断でICカード機能を使われるのを防ぐ	ICカードロック設定	P.247
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.375
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.375
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.181
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.443
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.449
iモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.197
災害が発生した際にiモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「iモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください
メールアドレスを変更したい	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	

目的	機能／サービス名称	参照ページ
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください
iモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	
1日に1台のiモード対応携帯電話から送信される500通目以降のiモードメールを受信拒否したい	迷惑メール対策（iモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおよその位置を確認したい	ケータイお探しサービス	

おしらせ

● 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

● 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
①迷惑電話ストップサービス
②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

カメラ

著作権について

FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

- FOMA端末を閉じた状態ではカメラ機能の起動や撮影はできません。

カメラの使いかた

● カメラモードにするには

次の４とおりの方法があります。

① 待受画面のデスクトップアイコン（ ）を選択する
② 待受画面表示中に [ ]（１秒以上）を押す
③ メインメニューまたはシンプルメニューから「カメラ」を選択する
④ メインメニューの「LifeKit」から「カメラ」を選択する

- 約３分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。

おしらせ

- デスクトップアイコンを削除した後に再度貼り付ける場合は、上記③または④の操作で「カメラ」を選択後、 ［機能］を押して「デスクトップ貼付」を選択します。

● 外側カメラと内側カメラを切り替えるには

撮影画面で ［機能］を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

■外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。

外側カメラでは、接写が可能です。→P.146

また、オートフォーカスを使って静止画を撮影できます。→P.152

■内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示（鏡像表示）され、撮影結果は表示と逆向き（正像）に保存されます。

● 接写について

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、「カメラ調節」の「撮影モード選択」（P.151）で「接写」を選択してください。外側レンズとの距離が約10cmの被写体にピントが合います。

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 外側カメラ起動時、異音が聞こえますが、異常ではありません。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- シャッター音、セルフタイマーの開始音、オートフォーカスロック完了音の音量を変更することや消去することはできません。
- 静止画の撮影時にシャッター音が鳴った後、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数に合わせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
- 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

■着信イルミネーションの点滅について

- 撮影時などには以下のように点灯または点滅します。
  - 撮影画面表示中：赤色で点滅（約1.5秒周期）
  - 静止画撮影、連続撮影：赤色で点灯（約3秒間）
  - 動画撮影、ボイスモード録音：赤色で点滅（約1秒周期）
  - セルフタイマー動作中：青色で点滅→P.159

■撮影した静止画・動画などの保存について

- 撮影した静止画や動画などは「画像保存先選択」や「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

- 着信（音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信）やアラーム通知（アラーム、スケジュール、To Doリスト）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
  - 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
  - カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
  - セルフタイマーは中止されます。
- 以下の場合は中断されません。
  - カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR／Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  - 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。

■ microSDメモリーカードを使用するとき

- microSDメモリーカードへ保存中は「」が点滅します。このときは絶対にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で「microSD」を選択したときにmicroSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。
- 「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。

登録件数と撮影時間について

FOMA N905iμで撮影した静止画および動画は、本体またはmicroSDメモリーカードに保存できます。

- FOMA N905iμで撮影した静止画のおおよその登録（保存）可能件数は別表1（P.148）のとおりです。
- 動画のおおよその撮影可能時間は別表2（P.148）のとおりです。

[別表1] 静止画の保存先別登録件数の目安

品質	2M	1M	フルスクリーン※1	VGA	CIF	フルスクリーン※2	QVGA縦	QCIF	SubQCIF
保存先：N905iμ（本体）									
スーパーファイン	約339件	約339件	約407件	約407件	約994件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
ファイン	約407件	約407件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
ノーマル	約668件	約668件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
保存先：microSD（64Mバイト）									
スーパーファイン	約99件	約99件	約118件	約118件	約291件	約542件	約542件	約948件	約1,897件
ファイン	約118件	約118件	約542件	約542件	約948件	約948件	約948件	約1,897件	約1,897件
ノーマル	約189件	約189件	約948件	約948件	約1,265件	約1,265件	約1,265件	約3,795件	約3,795件

- 登録件数は撮影環境などにより異なります。

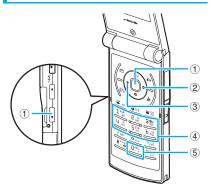
※1： 横480×縦854ドット
※2： 横240×縦427ドット

[別表2] 動画の保存先別撮影時間の目安

画像サイズ	ファイルサイズ設定	撮影種別設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			記録品質設定				記録品質設定			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
保存先：N905iμ（本体）										
VGA	2MB以下	通常	約31秒	約16秒	約8秒	約5秒	約51分	約27分	約13分	約500秒
		映像のみ	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約53分	約27分	約13分	約500秒
		音声のみ	約22分				約2,200分			
ワイド(640×360)	2MB以下	通常	約41秒	約21秒	約10秒	約7秒	約68分	約35分	約16分	約11分
		映像のみ	約43秒	約21秒	約10秒	約7秒	約71分	約35分	約16分	約11分
		音声のみ	約22分				約2,200分			
QVGA	2MB以下	通常	約80秒	約33秒	約16秒	約8秒	約133分	約55分	約27分	約13分
		映像のみ	約85秒	約34秒	約16秒	約8秒	約141分	約56分	約27分	約13分
		音声のみ	約22分				約2,200分			
QCIF	500KB以下	通常	約103秒	約52秒	約20秒	約15秒	約686分	約346分	約133分	約100分
		映像のみ	約125秒	約63秒	約21秒	約16秒	約833分	約420分	約140分	約106分
		音声のみ	約328秒				約2,133分			
	2MB以下	通常	約423秒	約215秒	約80秒	約61秒	約705分	約358分	約133分	約101分
		映像のみ	約512秒	約256秒	約85秒	約64秒	約853分	約426分	約141分	約106分
		音声のみ	約22分				約2,200分			
Sub QCIF	500KB以下	通常	約179秒	約66秒	約29秒	約20秒	約1,193分	約440分	約193分	約133分
		映像のみ	約250秒	約83秒	約31秒	約21秒	約1,666分	約553分	約206分	約140分
		音声のみ	約328秒				約2,133分			
	2MB以下	通常	約12分	約272秒	約117秒	約80秒	約1,200分	約453分	約195分	約133分
		映像のみ	約17分	約341秒	約128秒	約85秒	約1,700分	約568分	約213分	約141分
		音声のみ	約22分				約2,200分			
保存先：microSD（64Mバイト）										
VGA	2MB以下	通常	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約17分	約512秒	約256秒	約160秒
		映像のみ	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約17分	約512秒	約256秒	約160秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	通常	約16分	約518秒	約261秒	約174秒	約16分	約518秒	約264秒	約174秒
		映像のみ	約17分	約524秒	約262秒	約175秒	約17分	約524秒	約262秒	約175秒
		音声のみ	約120分				約704分			
ワイド(640×360)	2MB以下	通常	約42秒	約21秒	約10秒	約7秒	約22分	約11分	約320秒	約224秒
		映像のみ	約43秒	約21秒	約10秒	約7秒	約22分	約11分	約320秒	約224秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	通常	約22分	約11分	約325秒	約217秒	約22分	約11分	約325秒	約217秒
		映像のみ	約22分	約11分	約328秒	約218秒	約22分	約11分	約328秒	約218秒
		音声のみ	約120分				約704分			

画像サイズ	ファイルサイズ設定	撮影種別設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			記録品質設定				記録品質設定			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
QVGA	2MB以下	通常	約82秒	約33秒	約16秒	約8秒	約43分	約17分	約512秒	約256秒
		映像のみ	約85秒	約34秒	約16秒	約8秒	約45分	約18分	約512秒	約256秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	通常	約43分	約17分	約518秒	約261秒	約43分	約17分	約518秒	約261秒
		映像のみ	約45分	約18分	約524秒	約262秒	約45分	約18分	約524秒	約262秒
		音声のみ	約120分				約704分			
QCIF	500KB以下	通常	約103秒	約52秒	約20秒	約15秒	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約125秒	約63秒	約21秒	約16秒	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約328秒				約704分			
	2MB以下	通常	約423秒	約215秒	約80秒	約61秒	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約512秒	約256秒	約85秒	約64秒	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	通常	約120分	約114分	約42分	約32分	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約120分	約120分	約45分	約34分	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約120分				約704分			
Sub QCIF	500KB以下	通常	約176秒	約66秒	約29秒	約20秒	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約250秒	約83秒	約31秒	約21秒	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約328秒				約704分			
	2MB以下	通常	約12分	約272秒	約117秒	約80秒	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約17分	約341秒	約128秒	約85秒	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	通常	約120分	約120分	約62分	約42分	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約120分	約120分	約68分	約45分	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約120分				約704分			

- 時間はそのファイルサイズ設定で撮影できるおおよその時間です。
- 登録できる撮影時間は撮影環境などにより異なります。

カメラモードのボタン操作

① ●／▼［📷］：シャッター
② ⊙：ズーム（望遠）
③ ⊙：ズーム（広角）

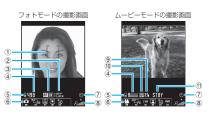
④ 1～6：それぞれ以下の撮影メニューを表示

1：カメラモード切替
2：画像サイズ選択
3：記録品質設定またはファイルサイズ設定
4：撮影モード選択
5：明るさ調節
6：ホワイトバランス設定

●カメラモードによっては表示されない撮影メニューがあります。

⑤ 0：ボタン操作の説明を表示

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

① フォーカス枠（P.152）

……AF切替が「ON」のときのオートフォーカス枠

- 白色：ピント調整前
- 白い点線：ピント調整中
- 緑色：ピント調整完了
- 赤い点線：ピント調整失敗

② AF操作ガイダンス（P.152）

▲OFF ▼LOCK ……AF切替とフォーカスロックの操作ガイダンス

③ オートフォーカス状態表示（P.152）

AF ON ……AF切替が「ON」

AF OFF ……AF切替が「OFF」

④ 保存可能枚数／保存容量表示※1

123……保存可能枚数

- 白文字：11枚以上
- 黄文字：10枚以下
- 赤文字：空きメモリなし

……全体容量に対する保存可能容量

- 青：残り500Kバイト以上
- 黄：残り500Kバイト未満
- 赤：空きメモリなし※2

※1：枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDメモリーカードが挿入されていない場合は表示されません。

※2：「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定して動画撮影するとき以外は、撮影可能です。撮影後に本体／microSDメモリーカードの空き容量に保存、または上書き保存します。

⑤ 画像／動画保存先選択（P.153、157）

……保存先の設定状態（本体／microSDメモリーカード）

⑥ 撮影メニュー（P.151）

……撮影メニューの各種設定状態

⑦ セルフタイマー（P.159）

……セルフタイマー設定中

⑧ ズーム状態表示（P.158）

～～……ズームの設定状態

⑨ 撮影種別設定（P.157）

……通常（映像＋音声）

……映像のみ

……音声のみ

⑩ 記録品質設定（P.157）

……長時間

……標準

……高品質

……最高品質

⑪ 撮影状態表示

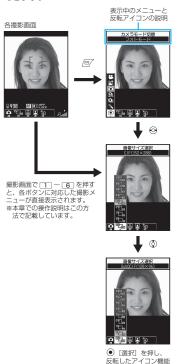
REC ……動画撮影中

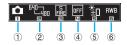
STBY ……動画撮影待機中

⑫ 撮影時間

0:03:38……動画撮影の残り時間（時：分：秒）

撮影メニューの選択方法

撮影メニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

● 撮影メニューのアイコンと設定内容

- ●カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。
- ●メールなど他の機能から呼び出したときや内側カメラを使用しているときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。

① **カメラモード切替**

ムービーモード……P.156
チャンスキャプチャ……P.158
フォトモード……P.152
オート連続撮影……P.154
マニュアル連続撮影……P.154
ボイスモード……P.158

② **画像サイズ選択**

フォトモード
（お買い上げ時：内側カメラはフルスクリーン（240×427）、外側カメラはフルスクリーン（480×854））

1200×1600～128×96 …… 2M（1,200×1,600）～Sub-QCIF（128×96）

480×480／240×240 …… JAVA（480×480）※／JAVA（240×240）※

※：ｉアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

ムービーモード（お買い上げ時：QCIF）

640×480～128×96 …… VGA（640×480）～Sub-QCIF（128×96）

③ **記録品質設定／ファイルサイズ設定**

フォトモード（記録品質設定）
（お買い上げ時：スーパーファイン）

スーパーファイン……最高画質（ファイル容量：大）
ファイン……高画質（ファイル容量：中）
ノーマル……標準画質（ファイル容量：小）

ムービーモード（ファイルサイズ設定）
（お買い上げ時：2MB以下）

500KB以下……500Kバイトまで
2MB以下……2Mバイトまで
長時間……長時間（microSDのみ）

④ **撮影モード選択**

フォトモード（お買い上げ時：オート）
ムービーモード（お買い上げ時：人物）

オート……自動調整モード
人物……人物などの撮影に適したモード
風景……景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード
接写……近くのものの撮影に適したモード
スポーツモード……動きのある被写体に適したモード
ナイトモード……暗い所で人物などを撮影するのに適したモード
効果OFF……撮影効果を無効に設定

カメラ

次ページにつづく

※ムービーモードでは、「人物」「風景」「接写」のみ設定できます。
※フォトモードの内側カメラでは「人物」「ナイトモード」「効果OFF」のみ設定できます。
※ムービーモードの内側カメラでは「人物」に固定されます。

⑤ **明るさ調節**（カメラ起動時：±0）
+2／+1／±0／−1／−2……画像の明るさ（+2／+1／±0／−1／−2）

⑥ **ホワイトバランス設定**（お買い上げ時：オート）
フォトモードでは、撮影モード選択で「効果OFF」を選択したときのみ設定できます。
AWB オート……自動的に色あいを補正
晴天……晴れた屋外での撮影に適した設定
曇天……曇った屋外や日陰の撮影に適した設定
電球……白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定
蛍光灯……蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定

静止画を撮影する 〈フォトモード〉

●カメラを起動したときには、オートフォーカスは「ON」に設定されています。
「オートフォーカス撮影について」→P.152

撮影する

1 待受画面表示中▶◉▶「📷」を選択
「フォトモード撮影画面」が表示されます。

フォトモード撮影画面
機能メニュー➡P.153

■ オートフォーカスOFF（固定焦点）で撮影するときは
▶Ⓢ
オートフォーカスOFF（AF OFF）になります。
オートフォーカスのON／OFFはⓈを押すたびに切り替わります。

2 カメラを被写体に向ける▶◉［撮影］
「フォトモード確認画面」が表示されます。

フォトモード確認画面
機能メニュー➡P.154

■ オートフォーカスをロックして撮影するときは
▶オートフォーカスON（AF ON）を確認▶焦点を合わせる箇所をフォーカス枠の中央にしⓆ▶写真の中央にフォーカス枠を移動し◉［撮影］
フォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。
フォーカスロックに失敗すると、フォーカス枠が赤い点線になります。再度Ⓠを押すとフォーカスロックし直すことができます。

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

3 ◉［保存］

おしらせ
●画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

● オートフォーカス撮影について

外側カメラを使った静止画撮影では、オートフォーカス機能を使うことができます。

■オートフォーカス撮影（オートフォーカスON）
シャッターボタンを押した後、画面の中央に自動的にピントを合わせて撮影します。
シャッターボタンを押すとフォーカス枠が白い点線に変わり、ピントを調整します。ピントが合ったときはフォーカス枠が緑色に変わったあと、シャッターが切れます。ピントが合わなかったときはフォーカス枠が赤色の点線に変わったあと、シャッターが切れます。

■固定焦点撮影（オートフォーカスOFF）
オートフォーカス機能を利用しないで撮影します。
シャッターチャンスを逃さずにすばやく撮影できます。

■オートフォーカスロック撮影（オートフォーカスON）
ピントを合わせたい箇所が画面の中央ではないとき、あらかじめ被写体にピントを合わせ、構図を変更して撮影します。

おしらせ

- オートフォーカスのフォーカス距離は、10cm以上です。
- 以下のような場合はピントが合わないことがあります。
  - 暗い場所で撮影する場合
  - コントラストが弱い（明暗差のない）被写体を撮影する場合
  - 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- フォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。

機能 フォトモード撮影画面（P.152）／連続撮影画面（P.154）

内側カメラ⇔外側カメラ※1……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・記録品質設定……撮影メニュー（P.151）と同じ設定ができます。

AF切替※2……外側カメラのオートフォーカスのON／OFFを切り替えます。

撮影間隔／枚数※3……連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.155

カメラ調節

- **撮影モード選択**……撮影メニュー（P.151）と同じ設定ができます。
- **明るさ調節**……で撮影する明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調整します。
  2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
  カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
- **ホワイトバランス設定**……撮影メニュー（P.152）と同じ設定ができます。
- **色調切替**……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。
- **ちらつき軽減**※2……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。

シャッター音選択（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定→P.159

フレーム選択※1……重ねて撮影するフレームを設定します。→P.156

自動保存設定

- **ON**……撮影時に確認画面は表示されず、「画像保存先選択」で設定されているフォルダに自動保存されます。
- **OFF**（お買い上げ時）……撮影時に確認画面を表示します。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

保存容量確認……画像の保存容量などを表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

位置情報付加

- **現在地確認から付加**……現在の位置情報を取得し付加します。
- **位置履歴から付加**……位置履歴から付加します。
- **位置情報詳細**……付加した位置情報の詳細（取得日時、緯度・経度、測地系）を確認します。
- **位置情報削除**……付加した位置情報を削除します。

※1：フォトモード撮影画面でのみ利用できる機能です。
※2：内側カメラのときは操作／設定できません。
※3：連続撮影画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<撮影モード選択>
- 「スポーツモード」「ナイトモード」で撮影する場合、オートフォーカス機能は使えません。

<シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 フォトモード確認画面（P.152）

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

iモードメール作成※……「撮影した静止画を利用してiモードメールやデコメールを作成する」→P.156
フォトモード確認画面で✉［MAIL］を押してもiモードメールやデコメールを作成することができます。

画像編集……撮影した静止画にフレームを付けたり、効果を付けます。「静止画を編集する」→P.280

イメージ貼付……撮影した静止画を待受画面などに設定します。
「画面の表示を変える」→P.107
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.74

フレーム取替え……「フレームを重ねて撮影する」→P.156

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

位置情報付加

現在地確認から付加……現在の位置情報を取得し付加します。

位置履歴から付加……位置履歴から付加します。

位置情報詳細……付加した位置情報の詳細（取得日時、緯度・経度、測地系）を確認します。

位置情報削除……付加した位置情報を削除します。

取り消し……撮影した静止画を削除してフォトモード撮影画面に戻ります。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<画像編集>
- 「画像編集」を選択すると正像表示になります。
- 1M（960×1,280）以上の画像は編集できません。

<イメージ貼付>
- 1M（960×1,280）以上の画像サイズの場合は貼り付けできません。また、データ容量が100Kバイトを超える場合は待受画面、ウェイクアップ表示以外には貼り付けできません。
- 待受画面などに設定する静止画は「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

連続撮影する 〈連続撮影〉

外側カメラを使って、最大20枚までの静止画を連続撮影します。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。
- オート連続撮影は、撮影したい枚数と撮影する間隔を設定してシャッターを切ると、設定した間隔で残りの枚数を自動的に撮影する機能です。オート連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目であわせたフォーカス位置での撮影となります。
- マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。マニュアル連続撮影の場合、撮影中は、1枚ずつオートフォーカスの設定を切り替えることができます。
- CIF（352×288）、フルスクリーン（240×427）、QVGA縦（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影できます。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末の開閉を行うと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.152）▶1▶「AUTO」または「■」

「連続撮影画面」が表示されます。

■ オートフォーカスOFF（固定焦点）で撮影するときは

▶◎

オートフォーカスOFF（AF OFF）になります。
オートフォーカスのON／OFFは◎を押すたびに切り替わります。

撮影枚数／撮影可能枚数

連続撮影画面（例：マニュアル）

機能メニュー➡P.153

2 カメラを被写体に向ける▶◉［連写／撮影］

■ オートフォーカスをロックして撮影するときは

「撮影する」操作2→P.152

■ 連続撮影を中止する場合

オート連続撮影：▶☎▶「NO」
マニュアル連続撮影：▶CLR
撮影を終了して連続撮影確認画面が表示されます。

連続撮影確認画面

機能メニュー➡P.155

カメラ

■ 保存する静止画を選択する場合
操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。
▶で囲み枠を保存する画像に移動▶［選択］
選択された静止画にはが表示されます。
操作を繰り返して静止画を選択します。
選択を解除するときは、解除したい静止画を選択します。の表示が消えます。

■ 詳細表示で確認する場合
▶で囲み枠を確認する画像に移動▶［詳細］
で確認する静止画を切り替えることができます。

■ 詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合
▶［保存］

連続撮影詳細表示確認画面

機能メニュー➡P.156

3 ［機能］▶保存する方法を選択
「選択保存」「全保存」「全保存＆自作アニメ」のいずれかを選択します。→P.155
「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた「連続撮影確認画面」が表示されます。
- 連続撮影確認画面で、［］を短く（1秒未満）押すと選択保存となります。［］または［］を1秒以上押すと全保存となります。

おしらせ
- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオートで撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.154）▶［機能］▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択
撮影間隔（お買い上げ時：0.5秒）……撮影する間隔を「0.5秒／1.0秒／2.0秒」から選択します。
マニュアル連続撮影のときは設定できません。

撮影枚数（お買い上げ時：5枚）……撮影する枚数（05～20枚の2桁）を入力します。
最大撮影枚数は画像サイズによって変わります。画像サイズがCIF（352×288）の場合、撮影枚数は自動的に4枚となり、撮影枚数は設定できません。また、フルスクリーン（240×427）、QVGA縦（240×320）サイズの場合は5～10枚までしか設定できません。

2 設定が終わったらCLR▶CLR
連続撮影画面に戻ります。

機能 連続撮影確認画面（P.154）

選択保存……を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

全保存……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

全保存＆自作アニメ……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

1件選択……囲み枠のある静止画にを表示して選択状態にします。

全選択……撮影したすべての静止画にを表示して選択状態にします。

1件解除……囲み枠のある静止画のが消えて選択状態を解除します。

全解除……すべての静止画のが消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

選択ファイル制限（お買い上げ時：なし）……を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

全ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

位置情報付加

現在地確認から付加……現在の位置情報を取得し付加します。

位置履歴から付加……位置履歴から付加します。

位置情報詳細……付加した位置情報の詳細（取得日時、緯度・経度、測地系）を確認します。

位置情報削除……付加した位置情報を削除します。

取り消し……撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ
<全保存＆自作アニメ>
- 「画像保存先選択」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

機能 連続撮影詳細表示確認画面 (P.155)

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

ｉモードメール作成※……「撮影した静止画を利用してｉモードメールやデコメールを作成する」→P.156
連続撮影詳細表示確認画面で✉を押してもｉモードメールやデコメールを作成することができます。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

フレームを重ねて撮影する 〈フレーム撮影〉

- 画像サイズがフルスクリーン(480×854)、VGA（640×480）、CIF（352×288）、フルスクリーン（240×427）、QVGA縦（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のときに利用できます。
- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 フォトモード撮影画面（P.152）▶ch［機能］▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶◉［撮影］
「フレーム撮影確認画面」が表示されます。

■ 保存する前にフレームを変更する場合
▶ch［機能］▶「フレーム取替え」

3 ◉［保存］

撮影した静止画を利用してｉモードメールやデコメールを作成する

撮影した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入します。

1 フォトモード確認画面（P.152）▶✉［MAIL］▶以下の項目から選択

画像添付※1

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

画像挿入※2

そのまま挿入※3……画像サイズを変更しないで、そのまま挿入します。

SubQCIF縮小挿入……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

※1：QVGA縦（240×320）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付／QVGA縮小添付」の選択画面は表示されません。
※2：SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま挿入／SubQCIF縮小挿入」の選択画面は表示されません。
※3：QCIF（176×144）以外のときは選択できません。

2 メールを作成
ｉモードメールの作成／送信のしかた→P.188
デコメールの作成／送信のしかた→P.190

おしらせ
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

動画を撮影する 〈ムービーモード〉

- 「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定した場合は、動画撮影後、microSDメモリーカードに保存して撮影を終了します。
- 撮影時間は撮影条件によって異なります。
- 通話中は動画撮影できません。
- 動画撮影中にFOMA端末の開閉を行うと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.152）▶1▶「🎥」
「ムービーモード撮影画面」が表示されます。

ムービーモード撮影画面
機能メニュー➡P.157

2 カメラを被写体に向ける▶◉［撮影］

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。

■ ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合
▶「OK」
ムービーモード確認画面が表示されます。

3

◉［終了］

撮影が終了して「ムービーモード確認画面」が表示されます。

ムービーモード確認画面
機能メニュー➡P.158

■ 撮影した動画を再生して確認する場合
▶ ［再生］

■ 撮影した動画を添付したｉモードメールを作成する場合
▶ ［MAIL］▶ｉモードメールを作成して送信する→P.188

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

4 ◉［保存］

おしらせ

- 動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

機能 ムービーモード撮影画面（P.156）

内側カメラ⇔外側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・ファイルサイズ設定……撮影メニュー（P.151）と同じ設定ができます。

記録品質設定（お買い上げ時：標準）……動画撮影時の画質・時間を「長時間／標準／高品質／最高品質」から選択します。
「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。

カメラ調節

撮影モード選択※1……撮影メニュー（P.151）と同じ設定ができます。

明るさ調節……◎で撮影する明るさを「−2〜±0〜＋2」の5段階で調整します。
2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。

ホワイトバランス設定……撮影メニュー（P.152）と同じ設定ができます。

色調切替……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。

ちらつき軽減※1……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。

動画シャッター音選択※2（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定→P.159

撮影種別設定

通常（カメラ起動時）……映像と音声を録画します。

映像のみ……映像のみの動画として録画します。

音声のみ……音声のみの動画として録音します。

自動保存設定

ON……撮影時に確認画面は表示されず、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに自動保存されます。

OFF（お買い上げ時）……撮影時に確認画面を表示します。

動画保存先選択※3（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

保存容量確認……動画の保存容量などを表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

※1：内側カメラのときは操作／設定できません。
※2：「撮影種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「録音開始音選択」となります。
※3：「撮影種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

おしらせ

<撮影モード選択>
- 内側カメラでは人物に固定されます。

<動画シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 ムービーモード確認画面（P.157）

再生……撮影した動画を再生します。

保存……撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

iモードメール作成※1……撮影した動画を添付したiモードメールを作成します。→P.188

待受画面設定……撮影した動画を待受画面に設定します。

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

動画保存先選択※2（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

取り消し……撮影した動画を削除してムービーモード撮影画面に戻ります。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：「撮影種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

おしらせ

<待受画面設定>
- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

大切な場面をのがさず撮影する 〈チャンスキャプチャ〉

動画撮影時に、撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けることができます。
- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分（お買い上げ時の設定では約3分38秒）までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

1 **フォトモード撮影画面（P.152）▶1▶「」**

2 **カメラを被写体に向ける▶◉［撮影］**
撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が点滅します。

3 **◉［終了］**
撮影が終了します。

4 **◉［保存］**

ボイスモードを使う 〈ボイスモード〉

音声のみの動画として、音声を録音します。

1 **フォトモード撮影画面（P.152）▶1▶「」**
「録音開始画面」が表示されます。
ムービーモード撮影画面の機能メニュー→P.157

2 **◉［録音］**
録音が開始されます。

3 **◉［終了］**
録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。
ムービーモード確認画面の機能メニュー→P.158

4 **◉［保存］**

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーの設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節します。
- ズームの画像サイズ別最大倍率は**別表3**（P.159）のとおりです。
- ズームはデジタルズームです。

1 **各撮影画面▶ でズームを調節**
：押すたびに1段階ずつ拡大します。
：押すたびに1段階ずつ1倍（標準）に戻ります。
を押し続けると連続的に変化します。

おしらせ
- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。

カメラ

[別表3] ズームの画像サイズ別最大倍率

<table>
<tr><th rowspan="2">カメラの種類</th><th rowspan="2">画像サイズ</th><th colspan="2">最大倍率表示</th></tr>
<tr><th>静止画撮影時</th><th>動画撮影時</th></tr>
<tr><td rowspan="12">外側カメラ</td><td>2M
(1,200×1,600)
1M
(960×1,280)</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>フルスクリーン
(480×854)</td><td>約1.8倍
(16段階)</td><td>–</td></tr>
<tr><td>VGA
(640×480)</td><td colspan="2">約1.8倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>ワイド
(640×360)</td><td>–</td><td>約1.8倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>JAVA
(480×480) ※</td><td>約2.4倍
(16段階)</td><td rowspan="4">–</td></tr>
<tr><td>CIF(352×288)</td><td>約3.3倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>フルスクリーン
(240×427)</td><td>約3.7倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>QVGA縦
(240×320)</td><td>約4.9倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>QVGA
(320×240)</td><td>–</td><td>約3.7倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>JAVA
(240×240) ※</td><td>約4.9倍
(16段階)</td><td>–</td></tr>
<tr><td>QCIF
(176×144)</td><td colspan="2">約6.7倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td>SubQCIF
(128×96)</td><td colspan="2">約9.1倍
(16段階)</td></tr>
<tr><td rowspan="10">内側カメラ</td><td>VGA
(640×480)</td><td colspan="2" rowspan="3">–</td></tr>
<tr><td>ワイド
(640×360)</td></tr>
<tr><td>JAVA
(480 ×480) ※</td></tr>
<tr><td>CIF(352×288)</td><td>約1.8倍
(2段階)</td><td>–</td></tr>
<tr><td>フルスクリーン
(240×427)</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>QVGA縦
(240×320)</td><td>約1.5倍
(2段階)</td><td>–</td></tr>
<tr><td>QVGA
(320×240)</td><td>–</td><td>約2.0倍
(2段階)</td></tr>
<tr><td>JAVA
(240×240) ※</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>QCIF
(176×144)</td><td colspan="2" rowspan="2">約2.0倍
(2段階)</td></tr>
<tr><td>SubQCIF
(126×96)</td></tr>
</table>

※：ｉアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

セルフタイマーを使う

- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 各撮影画面▶ch［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01～15秒の2桁）を入力▶●［確定］

●を押してもセルフタイマーの時間を入力できます。
お買い上げ時は「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「⏱」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。
●［撮影］を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
着信イルミネーションが青色で点滅し、ディスプレイの「⏱」やファンクションボタン横の⊂⊃も点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合

▶ch［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■ タイマーの動作を止める場合

▶✉［中止］またはCLR

おしらせ

- セルフタイマーのカウント中に●［撮影］を押して手動で撮影することもできます。
- マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
- オートフォーカスロックで撮影する場合は、あらかじめピント合わせを行ってからセルフタイマー撮影を行ってください。

バーコードリーダーを利用する
〈バーコードリーダー〉

外側カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。

次ページにつづく

●バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約10cm離してください。

■JANコード、QRコードについて

●JANコードとは
太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。

※ 右上のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

●QRコードとは
縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。

※ 右上のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

1 ▶「LifeKit」▶「バーコードリーダー」

2 **JANコードまたはQRコードを認識範囲に表示**

自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┏、┓、┗、┛”で示されています。
ピントが合った状態で、JANコードまたはQRコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。
読み取りに時間がかかる場合があります。

機能メニュー➡P.160

■ 読み取りを中止する場合
▶◉［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
◎：拡大されます。
◎：標準に戻ります。

■ オートフォーカスを使用する場合
▶✉［AF］
フォーカス枠は以下のように変化します。
・白く表示：ピント調整前
・白い点線で表示：ピント調整中
・緑で表示：ピント調整完了
・赤い点線で表示：ピント調整失敗

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合
▶「OK」▶◉［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 **読み取ったデータを確認**

■ 読み取ったデータを破棄する場合
▶CLR▶「YES」

4 ch［機能］▶「登録」▶「YES」▶「OK」
読み取ったデータが保存されます。

おしらせ

●JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
●傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
●読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は音が鳴りません。
●文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
●読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
●読み取ったデータをmicroSDメモリーカードに登録することはできません。

機能 読み取り画面（P.160）

読み取りデーター覧……「読み取りデータを利用する」→P.160

デスクトップ貼付→P.115

読み取りデータを利用する

●利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.89
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.188
Bookmark登録	URLとタイトル名をブックマークに登録→P.172
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.229
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.288
電話番号	Phone To（AV Phone To）機能を利用して電話をかけたり、SMSを作成する→P.178

項目	説明
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.245
メールアドレス	Mail To機能を利用してｉモードメールを作成→P.179
URL	Web To機能を利用してサイトに接続→P.179

1 読み取り画面（P.160）▶ ch［機能］▶「読み取りデータ一覧」

「読み取りデータ一覧画面」が表示されます。

読み取りデータ一覧画面

機能メニュー ➡P.161

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

バーコードリーダー
電話帳登録
名前 ドコモ太郎
ﾌﾘｶﾞﾅ ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
TEL 090XXXXXXXX
TEL 03XXXXXXXX
ｱﾄﾞﾚｽ docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
誕生日 1970年2月12日
〒 1XXXXXX
住所 東京都△△区××1-2

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー ➡P.161

3 表示されている項目を選択

おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  - タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
    同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

機能 読み取りデータ一覧画面（P.161）

タイトル編集……読み取りデータのタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

結果表示……読み取りデータ詳細画面を表示します。

1件削除・全削除……読み取りデータを1件または全削除します。

機能 読み取りデータ詳細画面（P.161）

登録……読み取ったデータを登録します。

一覧表示……読み取りデータ一覧画面を表示します。
表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet……URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.179

ｉモードメール作成※……「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力されたｉモードメールを作成します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

電話発信……電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。「Phone To機能」→P.178

電話帳登録……「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。
「電話帳に登録する」→P.89

Bookmark登録……「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.172

画像保存……画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

メロディ保存……メロディをデータBOXのメロディに保存します。
着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

トルカ保存……トルカをトルカフォルダに保存します。

ｉアプリ起動……「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。

コピー……読み取りデータに入力されている文字をコピーします。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

＜Internet＞＜Bookmark登録＞
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

＜ｉモードメール作成＞
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

おしらせ

＜電話発信＞
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

文字を読み取る 〈テキストリーダー〉

カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などをします。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。
- 読み取りデータは8件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 文字を読み取るときは、外側カメラを読み取りたい文字から約10cm離してください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

■読み取りモードについて

読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

項目	説明
名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力された i モードメールを作成することができます。
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用して i モードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

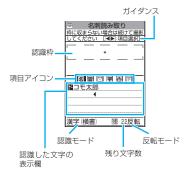
■読み取り可能な文字数について

読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角16文字、半角32文字まで
	電話番号	半角数字と＃、＊、＋、p（ポーズ）、(、)、－で最大26桁まで
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	郵便番号	半角の数字で7桁まで
	住所	全角50文字、半角100文字まで
	メモ	全角100文字、半角200文字まで
メール作成	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	題名	全角100文字、半角200文字まで
	本文	全角128文字、半角256文字まで
URL		半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス		半角の英字、数字、記号で256文字まで
電話番号		半角の数字、＃、(、)、－で256文字まで
フリーメモ		全角128文字、半角256文字まで
辞典※	日本語	全角32文字、半角64文字まで
	英語	半角64文字まで

※：辞典からテキストリーダーを起動したときに選択できます。

■読み取り画面の見かた

＜名刺読み取りモードの画面例＞

ガイダンス　：そのとき行う操作など
認識枠　：認識する範囲（認識範囲）
項目アイコン　：読み取る項目
名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／郵便番号／住所／メモ」
メール作成モード：「宛先／題名／本文」
認識した文字の表示欄：
読み取った文字（画面によってはガイダンス）
認識モード　：文字を読み取るときの認識モード「漢字（横書／縦書）／郵便番号／電話番号／メールアドレス／URL」
残り文字数　：読み取り可能な残りの文字数（半角文字数で表示）
反転モード　：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示

文字を読み取る

<例：名刺読み取りモードで読み取るとき>

1 MENU ▶「LifeKit」▶「テキストリーダー」

「テキストリーダー画面」が表示されます。

テキストリーダー画面

機能メニュー➡P.164

2 「新規読み取り」

「読み取りモード選択画面」が表示されます。

「読み取りモードについて」→P.162

3 「名刺読み取り」

「テキストリーダー読み取り画面」が表示されます。

外側カメラの撮影モードは自動的に「接写」になります。

テキストリーダー読み取り画面

機能メニュー➡P.164

4 で読み取る項目アイコンを選択▶文字列を認識範囲に表示

ピントが合っている状態で、読み取りたい文字の上下が認識範囲にできるだけ大きく入るようにします。

読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ることができます。

■ ズームを利用する場合

：「標準」→「拡大」に切り替わります。

：「拡大」→「標準」に戻ります。

5 ● ［読取］

文字が読み取られ、認識した文字が赤色で表示されます。

■ 撮り直しする場合

▶CLR▶「YES」

読み取った文字列が表示欄を超えた場合はまたは［マナー］、［］を押して確認できます。

［登録］を押すと読み取られた文字がそのまま登録され、読み取りデータの詳細画面が表示されます。

読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

文字を選択して修正する場合

▶で修正したい文字を反転▶変更候補文字の番号を押す

小文字に変換が可能な文字は、＊で大文字／小文字を切り替えることができます。

変更候補

文字編集で修正する場合

▶ch［機能］▶「編集」▶文字を編集

読み取った文字を通常の文字編集で修正することができます。

変更候補の選択に戻るときは、ch［機能］を押し、「認識候補選択」を選択します。

文字の編集が終了したら、操作6に進みます。

6 ● ［確定］

文字として確定します。

■ 残りの文字列を続けて読み取る場合

▶操作4～6を繰り返す

このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

■ ほかの項目を読み取る場合

▶で読み取る項目アイコンを選択▶操作4～6を繰り返す

名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

7 ch［機能］▶「登録」

読み取りデータの詳細画面になり、CLRを押すと読み取りデータの一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 画面に「取込中…」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は音が鳴りません。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。

機能 テキストリーダー画面（P.163）

デスクトップ貼付→P.115

文字情報を利用する

●利用できる読み取りデータは以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.89
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.188

※ 電話番号やメールアドレスなどの項目を選択すると、それぞれのデータが編集できます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「テキストリーダー」▶「読み取りデータ一覧」

「読み取りデータ一覧画面」が表示されます。

テキストリーダー
1 ドコモ太郎
2 http://www.△△△abc.co.j
3 03XXXXXXXX
4 090XXXXXXXX

読み取りデータ一覧画面

機能メニュー➡P.164

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

テキストリーダー
電話帳登録
名前 ドコモ太郎
TEL 090XXXXXXXX
アドレス docomo.taro.△△ab c@docomo.ne.jp
郵便番号 1XXXXXX
住所 東京都△△区×× 1-2
メモ XXXXXXXXXXXXX

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.164

3 表示されている項目を選択

機能 テキストリーダー読み取り画面（P.163）／読み取りデータ一覧画面（P.164）／読み取りデータ詳細画面（P.164）

編集※1 ……読み取った文字を編集します。

登録※2 ……読み取ったデータを登録します。

Internet……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.179

ｉモードメール作成※3……読み取りデータが入力された新規メール作成画面を表示し、ｉモードメールを作成します。入力されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

電話発信……電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけたり、SMSを作成できます。「Phone To機能」→P.178

電話帳登録……読み取りデータを電話帳に登録します。登録されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

Bookmark登録……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。

電話帳検索……読み取りデータを使って電話帳を検索します。
読み取り画面の場合、名刺読み取りモード、メール作成モードのときは検索できません。

テキストメモ登録……読み取りデータを「テキストメモ」に登録します。
名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取りデータは登録できません。

読取モード設定※2 …… 読み取りモードを「名刺読み取り／メール作成／URL／メールアドレス／電話番号／フリーメモ」から選択します。

反転モード設定※2 …… 印刷物の状態を設定します。

自動設定……反転／無反転を自動的に判断します。

無反転固定……薄い色地に濃い色の文字が印刷されているときに選択します。

反転固定……濃い色地に薄い色の文字が印刷されているときに選択します。

ガイダンスOFF⇔ガイダンスON※2 ……ガイダンスを表示するかしないかを設定します。

縦書き⇔横書き※2 ……読み取りたい日本語文字列の横書き／縦書きを設定します。

詳細表示※4 ……読み取りデータ詳細画面を表示します。

一覧表示※5 ……読み取りデータ一覧画面を表示します。

コピー※6 ……読み取りデータに入力されている文字をコピーします。

1件削除・全削除※6……読み取りデータを1件または全削除します。

※1： 読み取りデータ一覧画面では利用できない機能です。
※2： 読み取り画面でのみ利用できる機能です。
※3： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4： 読み取りデータ一覧画面でのみ利用できる機能です。
※5： 読み取りデータ詳細画面でのみ利用できる機能です。
※6： 読み取り画面では利用できない機能です。

おしらせ

●テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- iモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■iモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

iモードメニューを表示する

〈iモードメニュー〉

iモードを開始する

1 [i]

「iモードメニュー画面」が表示されます。

iモードメニュー

- 1 Menu　P.167
- 2 Bookmark　P.172
- 3 画面メモ　P.174
- 4 サイト閲覧履歴　P.169
- 5 Internet　P.172
- 6 ﾜﾝﾀｯﾁﾏﾙﾁｳｨﾝﾄﾞｳ　P.174
- 7 フルブラウザ　P.263
- 8 iチャネル　P.185
- 9 メッセージR／F　P.217
- 0 iモード問い合わせ　P.217
- ＊ ユーザ証明書操作　P.181
- ＃ iモード設定　P.179

■「圏外」が表示されている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。

「[アンテナ]」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

■「[⇆]」が点滅している場合

iモードセンターとの通信中に点滅します。

■「[i]」が点滅している場合

iモードのサービスを受けているとき（iモード中）に点滅します。

おしらせ

- iモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

iモード／iモーション／iチャネル

i Menu画面を表示する

1 [i] ▶「i Menu」
iモードセンターに接続して、「i Menu画面」が表示されます。

■ ページの取得を中止する場合
▶ CLR

iモードメニュー画面

i Menu画面

iモードを終了する

1 iモード中に[電話] ▶「YES」
「⇔」が点滅した後、「i」が消灯します。

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途申し込みが必要なことがあります）。

1 [i] ▶「i Menu」

2 「メニュー／検索」▶サイトの項目を選択し、目的のサイト画面を表示

「サイト画面」が表示されます。

サイト画面

機能メニュー➡P.168

おしらせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイト画面と表示が異なることがあります。
- iモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

おしらせ

- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

● スクロール機能について

サイトのページで文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

[下]：下方向にスクロール
[上]：上方向にスクロール
[▼]［📷］：画面単位で下方向にスクロール
[▲]［マナー］：画面単位で上方向にスクロール

- スクロール設定について→P.179

●「みんなNらんど」について

i Menuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるiアプリ、辞書、デコメテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。
お買い上げ時に登録されているiアプリやPDFデータ、デコメ絵文字などを削除した場合、元に戻したいときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
「みんなNらんど」への接続のしかたには以下の2とおりの方法があります。

- 「i Menu」→「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなNらんど」の順に選択
- 右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択→P.160

● 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIPなどに通知されることはありません。

機能 サイト画面（P.167）

Bookmark登録→P.172

Bookmark一覧→P.173

画面メモ保存→P.174

画面メモ一覧→P.174

画像保存→P.175

クイック検索→P.339

サイト閲覧履歴→P.169

ウィンドウ操作

- **新ウィンドウで開く**……「マルチウィンドウで表示する」→P.170
- **ウィンドウを閉じる**……表示中のウィンドウを閉じます。
- **ウィンドウ切替**……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。
- **iチャネル起動**→P.185

URL入力……URLを入力してインターネットホームページに接続します。

電話帳登録→P.171

デスクトップ貼付……表示中のページのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。→P.115

スケジュール参照登録……ページを参照しながらスケジュールを登録します。
「スケジュールを登録する」→P.340

辞典検索……辞典を起動します。→P.353

ホーム登録／表示

- **ホーム登録**……表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
- **ホーム表示**……ホームURLに登録されているページを表示します。
利用するには「ホームURL設定」を「有効」に設定してください。→P.180

再読み込み……ページを新しい情報に更新します。

iモードメール作成※……ページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付または挿入してiモードメールやデコメールを作成します。

i Menu……i Menu画面を表示します。

サイト情報表示

- **タイトル表示**……ページのタイトルを表示し、確認します。
- **URL表示**……ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、◉［選択］を押し、Ⓞでカーソルを移動して確認します。もう一度◉［選択］を押すとカーソルが消えます。
- **証明書表示**……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

サイト設定／表示

- **リプレイ**……ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
- **画像表示設定**……ページの画像表示をするかしないかを設定します。「表示しない」を選択したときは、表示されない画像の代わりに「 」が表示されます。
- **効果音設定**……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（ON／OFF）を設定します。
- **文字コード変換**……ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

フルブラウザ切替……iモードで表示できなかったページをフルブラウザのスタンダードタイプに切り替えて表示します。→P.265

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<ホーム表示>
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<証明書表示>
- 証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず一定の速度でスクロールします。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。

おしらせ

- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。

- CA証明書：認証会社が発行した証明書が、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書：FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「🔒」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合

▶「Cancel」

SSL対応ページの画面

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「🔒」の表示が消えます。

おしらせ

- SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。このようなメッセージは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

これまでに表示したサイトに再接続する〈サイト閲覧履歴〉

これまでに表示したサイトが、「サイト閲覧履歴」に30件まで記録されます。「サイト閲覧履歴」を使って、これまでに表示したサイトに再接続します。

1 i▶「サイト閲覧履歴」

サイト閲覧履歴画面が表示されます。

サイト閲覧履歴画面

機能メニュー➡P.169

2 履歴を選択

おしらせ

- 履歴が30件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

機能 サイト閲覧履歴画面（P.169）

Bookmark登録→P.172

URL表示……登録されているURLを表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

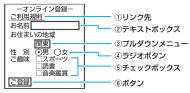
画像の表示について

- FOMA N905iμでは、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.171）が表示できます。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDメモリーカード等に保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」で設定できます。

■表示される画像のアイコンについて

- （カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示
- ：画像を取得できなかった場合に表示
- （白黒）：取得できない画像の場合に表示

リンク先や項目を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

①リンク先
項目を選択するとリンク先のページに移動します。

②テキストボックス
文字を直接入力します。選択すると文字入力画面が表示されます。

③プルダウンメニュー
選択肢の一覧から項目を選択します。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

④ラジオボタン
選択肢の中から１つだけ選択します。⦿が選択された状態です。

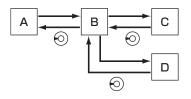
⑤チェックボックス
選択肢の中から複数の項目を選択できます。☑が選択された状態です。

⑥ボタン
選択すると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

前のページに戻る／進む

１ウィンドウあたり最大30ページ（全ウィンドウでは最大100ページ）まで、キャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは◎、次のページに進むときは◎

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

■キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に◎を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、◎を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

情報を再読み込みする

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 サイト画面（P.167）▶ ch［機能］▶「再読み込み」

マルチウィンドウで表示する

最大５つのインターネットホームページやサイト（ｉチャネルを含む場合は最大6）を同時に開くことができます。

- 開いたページは１つずつ切り替えて表示します。

1 ページを表示中に ch［機能］▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶以下の項目から選択

リンク……選択（反転表示）したリンクを開きます。

Bookmark一覧……Bookmark登録したページを表示します。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

ホーム表示……ホームURLに登録したページを表示します。

指定したページを新しいウィンドウで開きます。

■ 表示するページを切り替える場合
▶ ✉［⇄］

■ 開いているページを閉じる場合
▶ CLR

おしらせ

- 開いたページを並べて表示することはできません。
- ｉαpp［開く］でも新しいウィンドウで開くことができます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。

＜例：サイトに表示されている電話番号を登録する場合＞

1 **サイト画面（P.167）▶ ch［機能］▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録**

電話帳の登録のしかた→P.89

電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- 再生中にエラーが発生した Flash 画像は保存することができません。
- バイブレータ振動が設定されている Flash 画像を再生した場合、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◁⇔▷」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定した場合は、端末情報データ（時刻、日付、受信レベル、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「効果音設定」を選択して「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
- 「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リプレイ」の機能は使えません。→P.168
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。

マイメニューに登録する 〈マイメニュー〉

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」をご利用ください。

1 **サイト画面（P.167）▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」**

iモードパスワードについて→P.171

おしらせ

- i Menuのメニュー／検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 **iα ▶「i Menu」▶「マイメニュー」▶サイトを選択**

iモードパスワードを変更する 〈iモードパスワード変更〉

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

- iモードパスワードが変更されるまでは、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」（数字のゼロ4つ）にリセットさせていただくことになります。

1 **iα ▶「i Menu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」**

2 **「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力**

入力した数字は「*」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するｉモードパスワードを入力

ｉモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するｉモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」

■「現在のパスワード」が間違っている場合

ｉモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

■「新パスワード」と「新パスワード確認」が一致しない場合

ｉモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

インターネットホームページを表示する 〈インターネット接続〉

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示します。

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示することもできます。

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

「URL一覧画面」が表示されます。

URL一覧画面

機能メニュー➡P.172

2 「<新規入力>」▶URLを入力▶「OK」

■「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合

URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

2 URLを選択▶「OK」

■ 選択したURLを編集する場合

▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

おしらせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。

機能 URL一覧画面（P.172）

デスクトップ貼付→P.115

ｉモードメール作成※……URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

インターネットホームページやサイトを登録して素早く表示する 〈ブックマーク〉

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。
- ブックマークに登録したサイトのうち、最大で5件まで連続して接続することができます。→P.174

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できる1件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。
- サイトによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

＜例：サイト表示中の場合＞

1 サイト画面（P.167）▶ ch［機能］▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダを選択

おしらせ

- ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 ▶「Bookmark」

「Bookmark フォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、シークレットフォルダも表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧
1 Bookmark
2 映画
3 釣り
4 レストラン
5 その他
6 microSD

Bookmarkフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.173

2 フォルダを選択

「Bookmark一覧画面」が表示されます。

3 ブックマークを選択

Bookmark一覧画面

機能メニュー➡P.173

機能 Bookmarkフォルダ一覧画面（P.173）

- お買い上げ時にすでにあるBookmarkフォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。追加作成できるフォルダは9個までです。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

登録件数確認……すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。

iC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

microSDへ全コピー→P.298

フォルダ削除……フォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。

Bookmark全削除……ブックマークをすべて削除します。ただし、ブックマークのフォルダは削除されません。

おしらせ

＜登録件数確認＞
- microSDフォルダ、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。

機能 Bookmark一覧画面（P.173）

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、ブックマークをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

タイトル編集……タイトルを編集します。全角12文字、半角24文字まで入力できます。

デスクトップ貼付→P.115

iモードメール作成※1……URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

メール添付※1……ブックマークを添付したiモードメールを作成します。

iC送信→P.309

赤外線送信→P.307

microSDへコピー→P.298

ワンタッチマルチウィンドウ登録⇔ワンタッチマルチウィンドウ解除……ワンタッチマルチウィンドウを登録／登録解除します。→P.174

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

URLコピー……ブックマークのURLをコピーします。
▶でコピーする部分の先頭の文字の前にカーソルを合わせる▶［始点］▶でコピーする部分の最後の文字を反転▶［終点］
コピーしたURLは文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。→P.367

登録件数確認……フォルダ内のブックマークの件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.129

Bookmark情報表示※3……ブックマークの情報を表示します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDメモリーカードに保存されているブックマークのときのみ利用できます。

複数のページに連続して接続する〈ワンタッチマルチウィンドウ〉

ブックマークに登録したサイトから最大5件に連続して接続します。

接続するサイトを登録する

1 **[iモード]▶「iモード設定」▶「ワンタッチマルチウィンドウ設定」**

ワンタッチマルチウィンドウ設定画面が表示されます。

2 **登録先を選択▶ブックマークを選択**

ワンタッチマルチウィンドウ設定画面

機能メニュー➡P.174

機能 ワンタッチマルチウィンドウ設定画面（P.174）

1件解除……選択しているブックマークをワンタッチマルチウィンドウから削除します。

全解除……ワンタッチマルチウィンドウをすべて削除します。

並び替え……登録順序を並び替えます。

デスクトップ貼付→P.115

サイト情報表示……サイトのタイトル、およびURLを表示します。

おしらせ

- ワンタッチマルチウィンドウに登録されているブックマークには、登録済みアイコン（☆）が表示されます。

登録したサイトに連続して接続する

1 **[iモード]▶「ワンタッチマルチウィンドウ」**

登録したサイトがマルチウィンドウで表示されます。

サイトの内容を保存する〈画面メモ〉

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存します。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量などにより変動します。

画面メモを保存する

1 **サイト画面（P.167）▶[ch]［機能］▶「画面メモ保存」▶「YES」**

おしらせ

- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
- データ取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生期限付きのiモーションや着うたフル®のデータ取得完了画面は、画面メモとして保存できません。

画面メモを表示する

1 **[iモード]▶「画面メモ」**

「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

機能メニュー➡P.175

2 **画面メモを選択**

「画面メモ詳細画面」が表示されます。

画面メモ
（画面メモ詳細画面）

機能メニュー➡P.175

おしらせ

- 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。

機能 画面メモ一覧画面（P.174）

タイトル編集……タイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔑」が表示されます。保護解除すると、「🔑」の表示が消えます。

保存件数確認……保存されている画面メモの件数と、その内、保護されている画面メモの件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

機能 画面メモ詳細画面（P.174）

画像保存……画面メモに表示されている画像を保存します。→P.175

電話帳登録……画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
「電話帳に登録する」→P.89

タイトル編集……画面メモのタイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔑」が表示されます。保護解除すると、「🔑」の表示が消えます。

クイック検索→P.339

iモードメール作成※……画面メモのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。

スケジュール参照登録……画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。

辞典検索……辞典を起動します。→P.353

URL表示……画面メモのURLを表示し、確認します。

証明書表示……画面メモがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（ON／OFF）を設定します。

リプレイ……画面メモのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除……画面メモを削除します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

有料コンテンツのダウンロードについて

サイトからダウンロードできる各種コンテンツ（画像やメロディ、着うたフル®など）の中には、有料のものがあります。有料コンテンツをダウンロードしようとしたときには、購入確認のメッセージおよびiモードパスワード入力画面が表示されます。

おしらせ

- 不正なデータをダウンロードしようとした場合などは、その旨を通知するメッセージが表示されます。
- iモードパスワードを入力してから、ダウンロードを開始するまでに2分以上経過していると、そのコンテンツのダウンロードはできません。再度iモードパスワードを入力してください。

サイトやメッセージから画像を取得する 〈画像保存〉

表示中のサイトや画面メモ、iモードメール、メッセージR／Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

- 画像はデコメピクチャやデコメ絵文字など、撮影した静止画などと合わせて最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトに表示されている通常画像を保存する場合>

1 **サイト画面（P.167）▶ch［機能］▶「画像保存」▶「通常画像」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択**

保存する画像に □ を合わせます。

■ 背景画像を保存する場合

▶「画像保存」▶「背景画像」▶「YES」▶フォルダを選択

2 **「YES」▶項目を選択**

■ 待受画面などに設定しない場合

▶「NO」

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードまたはBモードのとき、「モード別待受画面設定」が「Aナンバーと同じ」以外に設定されている場合、保存した画像を待受画面に設定しても反映されません。2in1のモードがAモードのときやOFFのときの待受画面に設定されます。
- デコメ絵文字の対象画像の場合、自動的に「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

サイトからメロディをダウンロードする 〈iメロディ〉

サイトから保存した最新のメロディやお好みのメロディ、またｉモードメールに添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

- メロディは最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトからメロディを保存する場合>

1 サイト画面（P.167）▶メロディを選択▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディを再生する場合
▶「再生」

■ メロディの情報を表示する場合
▶「情報表示」

2 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトからPDF形式で作成されたPDFデータをダウンロードして表示／保存します。

- PDFデータはFOMA端末本体に最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.167）▶PDFデータファイルを選択

「PDFデータ画面」（P.311）が表示されます。
PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.314

※ ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合、最初に取得したページが表示されます。以降、まだ取得していないページに移動しようとするたびにデータの取得が行われます。

■ ダウンロードを中止する場合
▶ [✉]［中止］または[CLR]
途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選択するとダウンロードしたところまでが保存されます。この場合、後で残りすべてのデータを追加でダウンロードできます。
→P.177

■ パスワード入力画面が表示された場合
PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ PDFデータを保存する場合
▶ [ch]［機能］▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択
最初にすべてのデータを取得するPDFデータの場合は、すべてのページが保存されます。ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合は、取得したところまでのデータ（ページ）が保存されます。まだ取得していないページは、後から追加でダウンロードできます。→P.177

■ PDFデータの表示を終了する場合
▶ [CLR]
PDFデータを保存していない場合は、終了するかどうかのメッセージが表示されます。保存する場合は「NO」を選択します。

部分的に取得したPDFデータを追加で取得する

部分的に取得したPDFデータの残りのページ（データ）を、追加でダウンロードします。ダウンロードの方法はPDFデータの取得状態により異なります。

● ページ単位で取得したPDFデータの場合〈[PDF]（水色）〉

1 PDFデータ一覧画面（P.311）▶表示したいPDFデータを選択

ダウンロードを再開するというメッセージが表示された後、「PDFデータ画面」（P.311）が表示されます。
PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.314

2 [✉]［ツール］▶ツールバーの◀ ▶を選択し、まだ取得していないページを表示

サイトに接続して該当ページがダウンロードされます。

■ 取得するページ番号を指定してダウンロードする場合
▶ツールバーのページ番号表示を選択▶表示したいページを入力

iモード／iモーション／iチャネル

■ 残りすべてのデータを一括でダウンロードする場合

▶ ch［機能］▶「残り全てを取得」▶「YES」

■ PDFデータを保存する場合

▶ ch［機能］▶「保存」▶「YES」

新たに取得したページが含まれた状態で保存されます。

● 一部のデータしか取得できなかったPDFデータの場合〈PDF（水色）、PDF（水色）〉

1 PDFデーター覧画面（P.311）▶表示したいPDFデータを選択

PDFデータが表示される前に、残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」

サイトに接続して、残りすべてのデータのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると「PDFデータ画面」（P.311）が表示されます（データによっては閲覧可能なPDFデータにならず、表示されない場合があります）。

■ PDFデータを保存する場合

▶ ch［機能］▶「保存」▶「YES」

おしらせ

- PDFデータによっては、表示に時間がかかることがあります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
- データ量の大きいPDFデータをダウンロードする場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- 500Kバイトを超えるPDFデータをダウンロードする場合は、ダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 2Mバイトを超えるPDFデータおよびサイズが不明のPDFデータはダウンロードできません。
- ダウンロードするPDFデータと同じ定義ファイル（PDF識別用の情報ファイル）を持つPDFデータがFOMA端末内やmicroSDメモリーカード内に保存されている場合は、同じPDFデータと見なされるため、ダウンロードされず、保存されているPDFデータが表示されます。
- microSDメモリーカードへ保存されたPDFデータのファイル名は、オリジナルのファイル名（全角29文字、半角59文字まで）になります。microSDメモリーカードへ保存されているPDFデータのファイル名と重複する場合は、オリジナルのファイル名に3桁の数字が付いたもので保存されます。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからお好みのキャラ電をダウンロードして保存します。

- お買い上げ時に登録されているデータを含めて10件まで保存できます。
- 1件につき100Kバイトまでのキャラ電をダウンロードすることができます。

1 サイト画面（P.167）▶キャラ電を選択▶「保存」▶「YES」

■ キャラ電を再生する場合

▶「再生」

キャラ電の操作方法について→P.285

■ キャラ電の情報を表示する場合

▶「情報表示」

おしらせ

- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した後、元に戻すときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。→P.167

サイトからきせかえツールをダウンロードする

サイトからきせかえツールのパッケージをダウンロードして保存します。

- きせかえツールのパッケージはお買い上げ時に登録されているデータを含めて最大100件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.167）▶きせかえツールのパッケージを選択

■ 取得中止する場合

▶ CLR

取得を再開するかどうかのメッセージが表示された場合は、取得を再開できます。

「NO」を選択すると取得したところまでを保存（部分保存）できます。

2 「保存」または「部分保存」▶「YES」

■ きせかえツールのパッケージを確認する場合

▶「プレビュー」

■ きせかえツールのパッケージの情報を表示する場合

▶「情報表示」

次ページにつづく

おしらせ

- お買い上げ時に登録されているきせかえツールを削除した後、元に戻すときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。→P.167

サイトからデータファイルをダウンロードする

サイトから辞書、デコメピクチャ、おまかせデコメピクチャ、デコメテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

- 辞書は最大5件まで、デコメピクチャ、おまかせデコメピクチャなどの画像は撮影した静止画などと合わせて最大1,000件まで、デコメテンプレートはお買い上げ時に登録されているデータと合わせて最大45件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されているデータのデータ量により少なくなる場合があります）。

<例：サイトから辞書ファイルをダウンロードする場合>

1 サイト画面（P.167）▶データファイルを選択▶「保存」▶「YES」

■ 辞書の情報を表示する場合
▶「情報表示」

■ 保存されている辞書がいっぱいの場合
▶削除する辞書を選択▶「YES」
選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

- タイトルの無いテンプレートは、タイトルが「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。
- 接続するサイトやデータファイルのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。

サイトからトルカをダウンロードする

サイトからトルカをダウンロードして保存します。

- トルカは最大100件まで保存できます。

1 サイト画面（P.167）▶トルカを選択

2 「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

Phone To・Mail To・Web To機能を使う
〈Phone To・Mail To・Web To機能〉

サイトのページやメールなどに表示されている情報（電話番号、メールアドレス、URL）を利用して、簡単な操作で音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信やSMSを作成したり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示します。

- パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、ご利用できない場合があります。
- チャットメール画面ではご利用になれません。

Phone To機能

サイトのページやメール、PDFデータなどに表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信したり、SMSを作成することができます。

- テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
- 電話番号として使える桁数は26桁までです。

<例：サイトの画面で音声電話をかける場合>

1 サイト画面（P.167）▶電話番号を選択

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

2 「音声発信」

■ テレビ電話をかける場合
▶「テレビ電話発信」

■ プッシュトークを発信する場合
▶「プッシュトーク発信」

3 「発信」

■「発信者番号通知設定」が「通知する」のときに電話番号を通知しないでかける場合
▶「発信者番号通知」▶「通知しない」

■「発信者番号通知設定」が「通知しない」のときに電話番号を通知してかける場合
▶「発信者番号通知」▶「通知する」

■「発信者番号通知設定」の設定に従ってかける場合
▶「発信者番号通知」▶「設定消去」

おしらせ

- 電話番号を表す数字列以外でも、電話番号が登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってPhone To機能を利用できる場合もあります。

Mail To機能

サイトのページやメール、PDFデータ、フルブラウザ画面に表示されているメールアドレスにメールを送信します。

- 保存メールがいっぱいのときは、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

<例：サイトの画面からメールを送信する場合>

1 サイト画面（P.167）▶メールアドレスを選択▶ｉモードメールを作成して送信

「ｉモードメールを作成して送信する」→P.188

おしらせ

- メールアドレス以外でも、メールアドレスが登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってMail To機能を利用できる場合もあります。

Web To機能

サイトのページやメール、PDFデータ、フルブラウザ画面に表示されているURLのインターネットホームページを表示します。

- URL として使える文字数は半角 512 文字までです。
- メール本文に、「 」が先頭に表示されているURL（位置情報URL）が貼り付けられている場合、そのURLを選択すると位置情報に従い周辺地図が表示されます。

<例：サイトの画面から別のページを表示する場合>

1 サイト画面（P.167）▶URLを選択

おしらせ

- URL以外でも、URLが登録された項目（「詳しくはこちら」など）を使ってWeb To機能を利用できる場合もあります。

ｉモードの設定を行う

1 ▶「ｉモード設定」

「ｉモード設定画面」が表示されます。

ｉモード設定 1/2
1 スクロール設定
2 文字サイズ設定
3 画像表示設定
4 ｉモーション自動再生設定
5 メッセージ 自動表示設定
6 添付ファイル自動再生設定
7 設定・状態参照許可
8 メッセージ 一覧表示設定
9 ホームURL設定
0 効果音設定
※ ｉモード通信中着信設定
タブ開き方設定

ｉモード設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの詳細画面のスクロールの速度やリンク先の表示を設定します。

　速度設定（お買い上げ時：高速）……スクロール速度を「高速／低速」から選択します。

　スクロール中のフォーカス表示（お買い上げ時：表示しない）……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの一覧・詳細画面の文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……サイトのページ、画面メモの詳細画面の画像を表示するかしないかを設定します。「表示しない」を設定した場合は、表示されない画像の代わりに「 」のアイコンが表示されます。また、Flash画像は表示されません。

ｉモーション自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）→P.184

メッセージ自動表示設定（お買い上げ時：メッセージR優先）……メッセージR／Fの自動表示のしかたを設定します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……メッセージR／Fを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

設定・状態参照許可（お買い上げ時：許可する）→P.181

メッセージ一覧表示設定（お買い上げ時：2行表示）……メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。

ホームURL設定……ホーム表示を利用するための設定をします。「有効」に設定した場合、待受画面で▲［マナー］を押すと、登録したURLの画面が表示されます。URLは半角256文字まで入力できます。

無効（お買い上げ時）……ホーム表示設定を無効にします。

有効……ホーム表示設定を有効にします。ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。

効果音設定（お買い上げ時：効果音ON）……サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

iモード通信中着信設定（お買い上げ時：プッシュトーク着信優先）……iモード中にプッシュトークの着信があったとき、プッシュトークを優先するか、iモードを優先するかを設定します。

タブ開き方設定（お買い上げ時：裏で開く）……新しいウィンドウでページを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

ワンタッチマルチウィンドウ設定→P.174

iモード設定確認……「iモード設定」で設定した内容を表示します。

iモード設定リセット……「iモード設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<iモード通信中着信設定>
- 「iモード優先」に設定した場合、プッシュトークの着信があっても着信履歴に残りません。

接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶以下の項目から選択

60秒間（お買い上げ時）……60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

90秒間……90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

無制限……自動的に接続を中止しません。

iモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先選択〉

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「iモード」以外の接続先に変更すると、iモードやiモードメールをご利用できなくなります。
- 接続先は「iモード」のほかに10件まで登録できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」▶「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

接続先名称……接続先名称を設定します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

接続先アドレス……接続先アドレスを設定します。半角30文字まで入力できます。

接続先アドレス2……接続先アドレス2を設定します。半角30文字まで入力できます。

2 ✉［完了］

おしらせ

- 「iモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 接続先変更をした場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 接続先変更後、iチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chを押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する 〈設定・状態参照許可〉

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。

- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを画像が利用するためには、「iモード設定」の「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定してください。お買い上げ時は、「許可する」に設定されています。なお、画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 日付時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

1 iモード設定画面（P.179）▶「設定・状態参照許可」▶「許可する」または「許可しない」

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」

2 証明書を選択▶証明書を確認

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合

▶証明書を反転▶ ch［機能］▶「有効／無効設定」

おしらせ

- 「有効」に設定すると、「　」のアイコンが表示されます。「無効」に設定すると、「　」のアイコンが表示されます。
- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

- FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- 海外ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.47
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 iα ▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

次へ／English

2 「証明書発行」

■ はじめてFirstPassをご利用になる場合

「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。

■ 失効申請をする場合

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力

PIN2コードについて
→P.124

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」

確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

おしらせ

- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
  - iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
  - iモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
  - メッセージR／Fの受信
  - メールの添付ファイルを手動で取得
  - Web To機能
  - プッシュトーク
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
- 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 サイト画面（P.167）▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルに含まれます。
- フルブラウザでもFirstPassをご利用できます。ただし、フルブラウザでFirstPass対応サイトに接続する際のパケット通信料は、パケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの対象外となります。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択し、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■FirstPassご利用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のFOMA N905iμ用CD-ROMに収録されているFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。
  お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照願います。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、FirstPassについて画面に表示される「ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（P.124）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirst-Pass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」

2 「<未登録>」を反転 ▶ [編集] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 以下の項目から選択

初期画面URL……接続先の初期画面のURLを設定します。半角100文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

3 [完了]

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取得します。また、iモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.100

● iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ(保存可※)	データ取得後に再生(最大10Mバイトまで)	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生(最大10Mバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ(保存不可)	データ取得中に再生(最大10Mバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：iモーションによっては、保存できない場合があります。

サイトからiモーションを取得する 〈iモーション取得〉

1 サイト画面(P.167) ▶ iモーションを選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ **取得を中止する場合**

▶ CLR

■ **標準タイプのiモーションの場合**

「iモーション自動再生設定」で取得しながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、iモーションによっては取得後に再生される場合があります。

■ **ストリーミングタイプのiモーションの場合**

「ストリーミング再生しますか？」と表示されたとき

- 「YES」を選択すると再生がはじまります。「NO」を選択するとサイトの画面に戻ります。
- 「YES」を選択した後、再生中に中止したい場合は、CLRを押します。

2 「再生」

取得したiモーションを再生します。

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.329

データ取得完了画面

機能メニュー➡P.184

おしらせ

- 接続するサイトやiモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 標準タイプの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。

おしらせ

- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションについては、再生することができません。
  ｉモーション情報について→P.283
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- 電波状況により、データ取得中の再生が途中でとまったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生することができますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。

機能 データ取得完了画面（P.183）

画面メモ保存……データ取得完了画面を画面メモに保存します。「画面メモを保存する」→P.174

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

おしらせ

- ｉモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
  ただし、以下のｉモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ストリーミングタイプのｉモーション
  - データが不完全なｉモーション

ｉモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選択できるｉモーションは、FOMA端末に保存し、着信音や待受画面に設定できます。

- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションはカメラでの撮影動画とあわせて最大100件まで保存できます。ｉモーションの保存可能件数は、ｉモーションのデータ量によって変動します。
- ｉモーションのフォルダについて→P.273

1 データ取得完了画面（P.183）▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合
▶「NO」
保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 フォルダを選択

おしらせ

- タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movieXXX」（XXXは数字）と表示されます。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 データ取得完了画面（P.183）▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。Ⓜで画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する
〈ｉモーション自動再生設定〉

- 以下のときに、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
  - サイト画面からｉモーションを取得したとき
  - ｉモーション取得完了画面の画面メモを表示したとき
- 「ｉモーション自動再生設定」は、標準タイプのｉモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのｉモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
  ｉモーションのタイプについて→P.183

1 ｉモード設定画面（P.179）▶「ｉモーション自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する（お買い上げ時）……ｉモーションを取得した後、自動再生します。一部のｉモーションは、データを取得しながら再生します。

自動再生しない……ｉモーションを取得しても、自動再生せずにｉモーション取得完了画面を表示します。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタン（ch）を押すことでチャネル一覧に表示されます（P.185）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）

また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 待受画面／イルミネーション・ウィンドウのテロップ表示について

ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面やイルミネーション･ウィンドウに情報がテロップ表示されます。

- ｉチャネル情報を受信中は⇆が点滅します。
- 「ｉチャネル設定」でテロップ表示の設定ができます。→P.186

おしらせ

- 待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。また、セルフモード設定中でもテロップは表示されます。
- FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。

チャネル一覧からサイトを表示する

チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。
チャネル一覧には「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」を合わせて最大15件まで表示することができます。

1 待受画面表示中▶ch

お買い上げ時は「チャネル一覧画面」が表示されます。「ソフトキーに機能を割り当てる」→P.33

■ ｉモードメニューからチャネル一覧画面を表示する場合

▶「ｉチャネル」▶「チャネル一覧」

チャネル一覧画面

機能メニュー➡P.186

2 チャネル項目を選択

おしらせ

- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。

おしらせ

- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信イルミネーションも点滅しません。

機能 **チャネル一覧画面（P.185）**

デスクトップ貼付→P.115

リプレイ……チャネル一覧画面を最初から表示します。

効果音設定……チャネル一覧画面の効果音を鳴らすかどうか（ON／OFF）を設定します。

ウィンドウ操作

新ウィンドウで開く……「マルチウィンドウで表示する」→P.170

ウィンドウを閉じる……表示中のウィンドウを閉じます。

ウィンドウ切替……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。

クイック検索→P.339

おしらせ

- チャネル一覧画面で設定した「効果音設定」は、「ｉモード設定」の「効果音設定」に反映されます。

ｉチャネルの設定を行う 〈ｉチャネル設定〉

待受画面やイルミネーション・ウィンドウにｉチャネル情報をテロップ表示するかしないかを設定します。また、テロップ表示するときのスクロール速度やテロップ色を設定します。

- テロップ表示設定を「表示する」に設定した場合、待受画面にはテロップが表示され続けます。「受信時のみ表示する」に設定した場合、待受画面には新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。
- イルミネーション・ウィンドウの設定を「ON」にした場合は、以下のように表示されます。
  - テロップ表示設定を「表示する」に設定したときは、新しい情報を受信したときや、FOMA端末を折り畳むたびにイルミネーション･ウィンドウにテロップが2回表示されます。
  - テロップ表示設定が「受信時のみ表示する」のときは、新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。
  - イルミネーション･ウィンドウにテロップを表示している間は、省電力モードになりません。

1 iα▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル設定」▶以下の項目から選択

テロップ表示設定（お買い上げ時：表示する、OFF）……待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する／受信時のみ表示する／表示しない）を設定します。
「表示する」または「受信時のみ表示する」を選択した場合は、さらにFOMA端末を折り畳んでいるときにイルミネーション・ウィンドウに表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

テロップ速度設定（お買い上げ時：標準）……テロップ表示するときのスクロール速度を「標準／高速／低速」から選択します。

テロップカラー設定……テロップ色を選択します。※

テロップ文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……テロップを表示するときの文字サイズを「小／中／大」から選択します。

※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのテロップ色がディスプレイに表示されます。

おしらせ

- FOMAカード未挿入時やお買い上げ時（ｉチャネル初期化時）、公共モード（ドライブモード）設定中の場合などは、ｉチャネルの設定を変更できません。

<テロップ表示設定>

- ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。
- 2in1のモードごとに設定を記憶します。

設定を初期化する 〈ｉチャネル初期化〉

ｉチャネルの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 iα▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル初期化」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

- 初期化後は、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

メール

ｉモードメールとは

FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。
ｉモードメールの送信、受信方法について
→P.188、196

● ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について
→P.224、225

● ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（JPEG 形式の画像、トルカ、PDFデータなど）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんお買い上げ時に登録されているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

● ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メールメニューを表示する
〈メールメニュー〉

1 [メールキー]
「メールメニュー画面」が表示されます。

メール

メニュー	参照
1 受信BOX	P.202
2 送信BOX	P.202
3 保存BOX	P.195
4 新規メール作成	P.188
5 WEBメール	※
6 チャットメール	P.219
7 SMS作成	P.224
8 ｉモード問い合わせ	P.198
9 メール選択受信	P.197
0 SMS問い合わせ	P.226
＊ デコメテンプレート	P.193
＃ メール設定	P.212

※：WEBメールサイトに接続し、Bアドレスからメールの作成や送信を行います。2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

ｉモードメールを作成して送信する
〈ｉモードメール作成・送信〉

ｉモードメールを新規に作成して送信します。
●メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.190
●送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 [メールキー] ▶「新規メール作成」
「新規メール画面」が表示されます。

新規メール画面
機能メニュー➡P.189

2 「To ＜宛先参照／入力＞」
宛先参照／入力の選択メニューが表示されます。

3 宛先を入力

■ 電話帳から参照する場合
▶「電話帳」▶参照先を検索（P.92）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ アドレス一覧から参照する場合
▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ メールメンバーから参照する場合
▶「メールメンバー」▶メールメンバーを選択
メールメンバーについて→P.195

■ 宛先を直接入力する場合
▶「直接編集」▶宛先を入力
宛先は半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

宛先を入力すると、入力した宛先欄の下に新たな宛先欄が追加されます。追加された宛先欄に別の宛先を入力し、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。宛先は5件まで入力できます。

4 「Subject」
「題名入力画面」が表示されます。

5 題名を入力
全角100文字、半角200文字まで入力できます。

6 「[📄]＜新規入力＞」
「本文入力画面」が表示されます。

本文入力画面

機能メニュー➡P.190、364

7 本文を入力
全角5,000文字まで入力できます。

本文編集中に改行することができます。文末では⊙を押しても改行できます。改行したときは「↵」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

デコメールを作成して送信することもできます。→P.190

テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。→P.192

8 内容を確認▶[✉]［送信］
本文を入力すると、本文欄右上に本文のバイト数が表示されます。

メール送信中はアニメーション画面が表示されます。

送信後、「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合

▶[iα]［中止］または[CLR]（1秒以上）

ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

■ 再度送信の要求がある場合

▶「YES」

● 電話帳の画面から、ｉモードメールを作成する
電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、⊙［✉MAIL］を押します。

電話帳の検索のしかた→P.92

表示されていたメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

● デコメ絵文字について
N905iμでは、メールの本文入力時に絵文字と同様の方法でデコメ絵文字を入力することができます。デコメ絵文字とは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことで、お買い上げ時に登録されているものだけでなく、サイトからダウンロードする（P.175）こともできます。

- デコメ絵文字を入力したメールは、デコメールとして扱われます。

おしらせ

- 送信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- 受信側の機種によっては、題名の一部を受信できない場合があります。
- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。また、送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、ｉモードメールを作成・送信できません。

機能 新規メール画面（P.188）

送信……ｉモードメールを送信します。

保存……編集中のメールを保存BOXに保存します。→P.194

宛先削除……入力した宛先が2件以上の場合に、選択している宛先を削除します。

宛先タイプ変更……宛先を反転した状態で宛先のタイプを変更します。

To……送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。

Cc……同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。

Bcc……同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

デコメテンプレート……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.192

添付ファイル追加……ｉモードメールにメロディ、画像、ｉモーションなどの各種ファイルを添付します。「ファイルを添付する」→P.193

カメラ起動

フォトモード……カメラ機能を起動して静止画を撮影します。「静止画を撮影する」→P.152

ムービーモード……カメラ機能を起動して動画を撮影します。「動画を撮影する」→P.156

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件または全削除します。

冒頭文貼付……メールの本文に冒頭文を貼り付けます。

署名貼付……メールの本文に署名を貼り付けます。

本文消去……編集中のメールの本文を消去します。

メール削除……編集中のメールを削除します。

おしらせ

＜宛先タイプ変更＞

● 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

機能 本文入力画面（P.189）

● 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.364）を参照してください。

デコレーション……「デコレーションメニューの種類」→P.191

範囲選択……範囲選択した文字の装飾やコピー、切り取りができます。→P.367

デコメテンプレート読込み……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.192

カメラ起動……挿入する画像をカメラで撮影します。→P.152

クイック検索→P.339

位置情報貼り付け……位置情報URLを本文に貼り付けます。

現在地確認から貼付……現在の位置情報を取得し貼り付けます。

位置履歴から貼付……確認した位置情報の履歴から貼り付けます。

電話帳貼付……電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報から貼り付けます。

マイプロフィール貼付……マイプロフィールに登録されている位置情報から貼り付けます。

画像から貼付……画像に付加されている位置情報から貼り付けます。

プロパティ……本文に挿入した画像の左にカーソルがあるときに、ファイル名、ファイルサイズを表示します。

元に戻す……入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

プレビュー……本文のプレビュー画面を表示します。

おしらせ

＜カメラ起動＞

● カメラ機能で撮影した静止画の画像サイズはSubQCIF（128×96）です。

＜位置情報貼り付け＞

● 位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「 」が表示されます。

● 貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

＜元に戻す＞

● 「元に戻す」で1つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。

デコメールを作成する〈デコメール〉

デコメールは、iモードメール（テキストメール）本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きを付けたり、ライン（本文中の区切り線）や画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

● メール本文をデコレーション（装飾）すると、装飾していないiモードメール（テキストメール）に比べて、入力できる文字数が少なくなります。

● 文字を装飾する場合、装飾しながら文字を入力する方法と、入力済みの文字を装飾する方法があります。

1 本文入力画面（P.189）▶ ▶ で囲み枠を移動しデコレーションメニューを選択

「デコレーションメニュー」が表示されます。

デコレーションメニューについて→P.191

デコレーションメニュー

■ **装飾しながら文字を入力する場合**

デコレーションメニューを選択後は、装飾された文字が入力されます。

■ **入力済みの文字を装飾する場合**

デコレーションメニューの 変更 を選択し、装飾する範囲を指定してから装飾するメニューを選択すると、範囲指定した文字が装飾されます。

2 デコレーションメニューを閉じるときは ch［閉］

おしらせ

● 受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。

● メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。

おしらせ

- デコメール非対応機種や下記機種※以外のデコメール対応機種に10,000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によっては本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
  ※：905iシリーズ、904iシリーズ、903iシリーズ、705iシリーズ、704iシリーズ（P704iμを除く）、703iシリーズ（P703iμを除く）、F801i

● デコレーションメニューの種類

- 行単位で行われる機能（テロップ／スウィング／ライン挿入／文字の表示位置）は、メニューを選択すると自動的に改行されます。
- 複数の装飾を組み合わせて装飾することもできます（例：文字色と文字サイズを変更して点滅させるなど）。

メニュー	説明
[おまかせ] ※1	「おまかせデコメを作成する」→P.192
[A]	文字色を変更します。色は25色パレット／256色パレットから選択することができます。 <25色パレット> 文字色 指定なし 25色 切替　選択 で囲み枠を移動し、変更する色を選択します。 256色パレットで選択した最新の5色が最下段に表示されます。 [切替]を押すごとに、25色と256色が切り替わります。
[AA]	文字サイズを[AA]／[AA]／[AA]（大／標準／小）から選択します。
[画像] ※1	マイピクチャのフォルダから挿入する画像を選択します。
[A]／[A]／[A]	文字を「点滅／右から左へ移動（テロップ表示）／右左往復（スウィング表示）」させます。
[開始] [終了] ※1	装飾を「開始」または「終了」します。
[設定] [解除] ※2	指定した範囲の装飾を「設定」または「解除」します。
[表示位置]	文字の表示位置を[左]／[中央]／[右]（左寄せ／中央／右寄せ）から選択します。
[ライン] ※1	ラインを挿入します。
[背景] ※1	本文の背景色を変更します。 文字色の変更と同様、カラーパレットから背景色を選択します。
[Undo]	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。
[変更] ※1	すでに入力した文字の装飾、または装飾の変更／解除を行います。
[解除] ※2	装飾を解除します。
[全解除] ※1	すべての装飾を解除します。
[プレビュー]	設定した装飾をプレビュー画面に表示します。

※1：[変更]を選択したときのデコレーションメニューでは利用できません。
※2：[変更]を選択したときのデコレーションメニューでのみ利用できます。

おしらせ

<文字色／背景色の変更>
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「[変更]」を選択し、戻す範囲を指定して「[解除]」を選択してください。ただし、デコメ絵文字には文字色の指定が反映されません。

<文字サイズの変更>
- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

<画像挿入>
- メール本文のバイト数や添付ファイルのファイルサイズに関係なく、最大20種類、90Kバイトまでの JPEG形式またはGIF形式の画像やデコメ絵文字を挿入することができます（ファイルサイズによって、最大件数は変動します）。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。

<文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示>
- 点滅、テロップ、スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。

<本文編集>
- 装飾を設定している範囲内に新たに文字を入力した場合、その文字にも同様の装飾が施されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めてすべての文字が削除されます。

おまかせデコメを作成する 〈おまかせデコメ〉

入力したメールの文面から感情を理解し、絵文字／顔文字などの最適なデコレーションを加えたデコメールに自動変換します。
- 最大2つまで感情表現の装飾が行われます。
- サイトからおまかせデコメピクチャをダウンロードすると（P.178）、そのピクチャも自動変換の対象になります。

1 本文入力画面（P.189）▶本文を入力▶ [☎]

2 ✣で囲み枠を移動し おまかせ を選択
デコレーションが5パターン作成されます。

3 いずれかのデコレーションを表示▶◉［確定］
デコレーションパターンは ［次候補］を押すたびに切り替わります。
ch［絵ON／絵OFF］を押すと、絵文字・顔文字の表示／非表示が切り替わり、デコレーションパターンも切り替わります。

■ デコレーションを編集する場合
✉［編集］を押すと、デコレーションを編集することができます。→P.190

おしらせ
- 本文のみで1,000バイト以上ある場合、おまかせデコメは作成できません。
- メールの文面によっては、内容に合わないデコメールイメージが表示される場合があります。

テンプレートを利用してデコメールを作成する

お買い上げ時に登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成します。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。
- テンプレートは、サイトからダウンロードすることができます。→P.178
- テンプレートは、テンプレートプレビュー画面の機能メニューから編集することができます。→P.193
- テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールより入力できる文字数が少なくなります。
- 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
  - すでにメール本文が入力されている場合
  - 冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  - 添付ファイルがある場合

1 新規メール画面（P.188）▶宛先と題名を入力▶ch［機能］▶「デコメテンプレート」▶「デコメテンプレート読込み」▶テンプレートを選択

2 ◉［選択］▶本文を編集
テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。また「デコレーション」（P.190）を使い、さまざまな装飾を追加できます。

3 内容を確認▶✉［送信］

テンプレートを保存する

作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。
- テンプレートは最大45件まで保存することができます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- 挿入画像以外の添付ファイルがある場合、そのファイルは削除され、テンプレートとして保存されます。
- テキストメールのみの場合は、テンプレートとして保存することができません。
- テンプレートは、メールメニューの「デコメテンプレート」に保存されます。

1 デコメールを作成（P.190）▶ch［機能］▶「デコメテンプレート」▶「デコメテンプレート保存」▶「YES」

おしらせ
- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

メール

テンプレートのプレビューを表示する

1 ✉ ▶「デコメテンプレート」

「テンプレート一覧画面」が表示されます。

■ iモードでテンプレートを検索する場合

▶「iモードで探す」

テンプレート一覧画面

機能メニュー➡P.193

2 テンプレートを選択

「テンプレートプレビュー画面」が表示されます。

テンプレートプレビュー画面

機能メニュー➡P.193

機能 テンプレート一覧画面（P.193）

iモードメール作成……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.192

ソート……選択した条件に従ってテンプレートを並び替えます。

タイトル編集……テンプレートのタイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

情報表示……テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。

保存件数確認……テンプレートの保存件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

機能 テンプレートプレビュー画面（P.193）

iモードメール作成……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.192

編集……テンプレートを編集します。

挿入画像保存……テンプレートに挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定できる画像の場合、設定するかしないかを選択できます。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、テンプレートは利用できません。

<編集>

- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

ファイルを添付する 〈添付ファイル〉

iモードメールにファイルを添付して送信します。

- 以下のファイルを添付できます。
  - 静止画、画像
  - SWF形式のFlash画像
  - 動画、iモーション
  - メロディ
  - PDFデータ
  - microSDメモリーカード内のドキュメント
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - 電話帳のデータ
  - マイプロフィールの登録データ
  - スケジュールまたはTo Doリストの登録データ
  - Bookmark
  - microSDメモリーカード内のその他ファイル

1 新規メール画面（P.188）▶ch［機能］▶「添付ファイル追加」▶以下の項目から選択

イメージ・iモーション・メロディ・PDF……本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

ドキュメント……microSDメモリーカード内のドキュメントデータを選択します。

トルカ……本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

電話帳……本体の電話帳か、microSDメモリーカードの電話帳を選択後、電話帳を検索（microSDの場合はフォルダを選択）して、添付するファイルを選択します。
電話帳の検索のしかた→P.92

マイプロフィール……マイプロフィールのデータを添付します。

スケジュール……スケジュールかTo Doリストを選択後、添付するファイルを選択します。

Bookmark……本体（iモード・フルブラウザ）のブックマークか、microSDメモリーカードのブックマークを選択後、添付するファイルを選択します。

その他……microSDメモリーカード内のその他ファイルのデータを選択します。

■ mova端末へ画像をｉショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmova端末へｉショットとして送信できます。
mova端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
mova端末へ送信する場合、相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はｉショットのURL（画像の保管先）を含み全角2,000文字までになります。

2 ｉモードメールを作成して送信

■ 添付したファイルを確認する場合

▶ファイルを選択
100Kバイトを超えるメロディ、およびSWF形式のFlash画像は再生できません。

■ 添付したファイルを削除する場合

▶ファイルを反転▶ch［機能］▶「添付ファイル削除」▶「YES」
複数のファイルが添付されているときに、すべての添付ファイルを削除する場合は、「添付ファイル全削除」を選択します。

これ以降の詳しい操作手順については、「ｉモードメールを作成して送信する」（P.188）をご覧ください。

おしらせ

- ｉモードメールには、メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大10件、2Mバイトまでのファイルを添付することができます（ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します）。なお、トルカの添付は、1件につき、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトまでです。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。
- カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定していても添付することができます。
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルを送信した場合、添付ファイルがｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。その場合、メール本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。

おしらせ

- 「イメージ」でQVGA（横320×縦240ドット）、またはQVGA縦（横240×縦320ドット）を超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」、「QVGA縮小添付」から選択することができます。
- 画像を送信した場合は、送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
- ｉモーションメール（ｉモーションを添付したｉモードメール）に対応していない端末にｉモーションメールを送信した場合、受信側にはｉモーション閲覧用URL付メールが送信され、その閲覧用URLを選択することによりｉモーションを閲覧することができます。
- ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。なお、下記機種※以外に送信する場合は、動画撮影時の「ファイルサイズ設定」を「500KB以下」、「画像サイズ選択」を「QCIF（176×144）」、「記録品質設定」を「高品質」に設定することをおすすめします。
  ※：905iシリーズ、904iシリーズ、903iシリーズ、704iシリーズ（P704iμを除く）、703iシリーズ（P703iμを除く）
  動画の再生について→P.282
- 受信側がFOMA N905iμ以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

ｉモードメールを保存しておき、後で送信する
〈ｉモードメール保存〉

作成中のメールを、FOMA端末に一時保存しておき、後で保存しているメールを編集して送信します。

ｉモードメールを保存する

- SMSと合わせて最大20件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- 保存メールがいっぱいのときは、メールを作成することができません。

1 新規メール画面（P.188）▶ch［機能］▶「保存」

宛先、題名、本文のいずれかに文字が入力されていないと保存できません。ただし、添付ファイルがあるときは、文字が入力されていなくても保存できます。

保存したｉモードメールを送信する

1 ✉ ▶「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

保存メール一覧画面

機能メニュー➡P.195

2 **メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信**

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合は、保存メール一覧画面を表示できません。

機能 保存メール一覧画面（P.195）

一覧表示切替……メールの一覧表示のしかたを「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

ｉC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

microSDへコピー→P.298

保存件数確認……保存BOX内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存→P.209

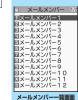
削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

宛先をメールメンバーに登録する

メールメンバーを登録することにより、ｉモードメール作成時に、メールメンバーを指定するだけで簡単に複数の宛先を入力できます。

- メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「メールメンバー」

「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.195

2 **メールメンバーを選択**

「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

メールメンバー詳細画面

機能メニュー➡P.195

3 **「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶メールアドレスを入力**

半角50文字まで入力できます。

メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

機能 メールメンバー一覧画面（P.195）

ｉモードメール作成……メールメンバーを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。

メンバー名編集……メールメンバー名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

メンバー名初期化……メールメンバー名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 メールメンバー詳細画面（P.195）

アドレス編集……メールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

アドレス参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力します。

1件削除・全削除……メールメンバーを1件または全削除します。

iモードメールを受信したときは 〈メール自動受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。
- 受信メール（iモードメールとSMS）は、最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

受信時の自動表示動作

[1] メールの受信がはじまると「メール受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

➡
- 受信中は「✉」が点滅し、受信が終了すると、「✉」が点灯表示に変わります。
- 着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

[2] 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。
- メールの件数には、SMSの件数も含まれて表示されます。
- 受信結果画面で「メール」を選択すると、受信メール一覧画面（P.202、204）が表示されます。
- 何も操作しないで約15秒間経過すると元の画面に戻ります。表示時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。

■ iショットサービスのメールを受信した場合

mova端末から送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

■ 100Kバイトを超えたメールを受信した場合

iモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトを超えるときは自動で受信することはできません。
100Kバイトを超える添付ファイルは、iモードセンターから手動で取得できます。→P.200

おしらせ
- 受信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを受信したとき、ゴミ箱のメール、既読の古い受信メールの順に削除されます（未読または保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- FOMA端末がこれ以上メールを受信できない（未読または保護されているメールでいっぱい）場合、✉（赤色）／📱（赤色）が表示されます。未読のメールを読むか、いらないメールの保護を解除してください。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用しないメールアドレスにのみメールを受信するとメール受信中の画面が表示された後、受信結果画面や「✉」は表示されません。また、メールの着信音も鳴りません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.202、205
- 待受画面以外を表示しているときにiモードメールを受信した場合で、「受信時動作設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。

新着iモードメールを表示する

1 待受画面表示中▶●▶「メール」を選択

■ 未読メールの一覧を表示する場合

▶待受画面表示中 ▶●▶ ✥で「✉」を選択

「未読メール一覧画面」が表示されます。

未読メール一覧画面

機能メニュー➡P.209

おしらせ
- 表示できない文字はスペースで表示されます。
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。

おしらせ

- 受信するｉモードメールのサイズが料金＆お申込・設定の「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、貼り付けデータはｉモードセンターで削除され、再取得はできません。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。

● 感情お知らせメールについて

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンでお知らせします。
また、受信したメールにあらかじめ指定したキーワードが含まれているときにもアイコンでお知らせします。

感情お知らせメールのアイコン

- 表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります。

アイコン	意味	アイコン	意味	アイコン	意味
	急ぎ		アドバイス		OK
	好き		ファイト		返事
	嫌い		質問		お知らせ
	喜び		お誘い・募集		怒り
	感想		哀しみ		お願い
	楽しい		通知	—	アイコン通知対象外※
	驚き				

※：「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
- 赤外線通信やｉC通信などにより転送されたメール
- お預かりセンターから復元したメール
- FOMAカードからコピーまたは移動したSMS
- FOMAカードのSMS
- microSDメモリーカードからコピーしたメール

- アイコンは、「感情／キーワードお知らせ」（P.215）で表示するかどうかを設定できます。
- 表示されるキーワードお知らせのアイコンは次の3種類です。
  「キーワードお知らせ」の内容は、「感情／キーワードお知らせ」（P.215）で設定できます。

- 受信したメールに感情お知らせメールのアイコンやキーワードお知らせのアイコンを表示させるキーワードが複数含まれる場合は、以下の優先順位でアイコンが表示されます。
  ①キーワード1　②キーワード2
  ③キーワード3　④感情お知らせ
- フィルタ機能を使うと、指定した感情お知らせアイコンのメールだけを表示できます。→ P.208

おしらせ

- 受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。
- 受信したメールに合った感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字）までが対象となり、キーワードお知らせのアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。
- 複数のメールを同時に受信した場合は、日時が最も新しいメールのアイコンだけが、受信結果画面およびデスクトップ上のメールアイコンのポップアップに表示されます。

ｉモードメールを選択して受信する 〈メール選択受信〉

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
  なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターからメールを受信したことを通知されたときは、「✉」や「📄」は表示されず、ｉモードセンターにメールが保管されている旨のメッセージと、「📄」アイコンが画面上部に表示されます。メッセージを確認し、いずれかのボタンを押すとメッセージとアイコンが消えます。

メールを選択受信する

1 ✉ ▶「メール選択受信」

メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。

- iα ▶「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。

2 メールごとに項目を選択して設定

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「ｉモード問い合わせ」などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合

▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合

▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信
2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

📷：画像ファイルが添付
♪：メロディファイルが添付
🎥：ｉモーションが添付
▭：トルカが添付
📄：その他ファイルが添付

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合

▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、ｉモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定した場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「ｉモード問い合わせ設定」で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信画面を表示すると、メールを受信、削除しなくても「📄」のアイコンは消灯します。
また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「📄」のアイコンは消灯します。
- 2in1のモードがBモードの場合は、メール選択受信を起動できません。

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる
〈ｉモード問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信することができます。

- ｉモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - 受信BOXが満杯のとき
  - 「メール選択受信設定」が「ON」のとき
  - テレビ電話中／遠隔監視中
  - セルフモード設定中
  - プッシュトーク通信中
  - FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」で設定します。

メール

1 **(1秒以上)**

メール問い合わせ画面が表示されます。

iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。

- ▶「iモード問い合わせ」
- ▶「iモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。

問い合わせ中は「」「」「」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージR/Fを受信します。

■ 問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中に [中止] またはCLR(1秒以上)

問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージR/Fを受信することがあります。

2 **新しく受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数を確認▶「戻る」**

おしらせ

- 電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
- iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」のアイコンが表示されないことがあります。

iモードメールに返事を出す 〈iモードメール返信〉

iモードメールの送信元に返信します。返信には、新たに本文を入力する方法と受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

新たに本文を入力して返信する

1 **受信メール一覧画面(P.202、204)/受信メール詳細画面(P.202、205)▶ [返信]▶題名、本文を編集して送信**

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

▶「返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶「返信」▶「すべてへ」

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのiモードメールに返信できません。

本文を引用して返信する

受信したiモードメールの本文を引用して返信します。

1 **受信メール詳細画面(P.202、205)▶ [機能]▶「引用返信」▶題名、本文を編集して送信**

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ引用返信する場合

▶「引用返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶「引用返信」▶「すべてへ」

返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。

引用符(お買い上げ時は「>」)は、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけ付きます。本文の行頭のすべてには付きません。

引用符を編集するには→P.213

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのiモードメールに引用返信できません。

iモードメールをほかの宛先に転送する 〈iモードメール転送〉

受信したiモードメールをほかの人に転送します。

1 **受信メール詳細画面(P.202、205)▶ [機能]▶「転送」▶「To <宛先参照/入力>」▶宛先を入力**

宛先の詳しい入力操作について→P.188

題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名を合わせて全角5,000文字分まで転送できます。

2 **[送信]**

送信が終了すると「」が「」に変わります。

メール

おしらせ

- メールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- メール本文にメロディやｉアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.200
- 2in1のモードがBモードの場合は、メールを転送できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのメールを転送するとき、Aアドレスのメールとして送信されます。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。

- 受信SMSの場合は、送信元の電話番号が電話帳の電話番号に登録されます。

＜例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合＞

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶ch［機能］▶「アドレス登録」

■ **登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合**

▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

■ **送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合**

▶送信メール詳細画面▶ch［機能］▶「アドレス登録」

複数の宛先に送信したｉモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選択します。

■ **送信または受信したメールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合**

▶送信メール詳細画面／受信メール詳細画面▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転▶ch［機能］▶「電話帳登録」

2 「YES」▶「本体」▶「新規登録」

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。

■ **FOMAカードの電話帳に登録する場合**

▶「YES」▶「FOMAカード（UIM）」

FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

電話帳の登録のしかた→P.89

選択受信添付ファイルを取得する

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添付ファイルを自動で受信することができません。この場合、後から手動で取得する必要があります。

- 「添付ファイル優先受信設定」で、チェックを外している種類のファイルについても、同様に手動で取得する必要があります。
- 受信メール詳細画面で、添付ファイルの取得を行っていない場合は「 」のアイコンが、途中まで添付ファイルの取得を行っている場合は「 」のアイコンが表示されます。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶「 」または「 」のアイコンが表示されている添付ファイルを選択

データの取得が開始されます。

データの取得が完了すると、完了したことを示す画面が表示されます。

■ **取得を途中で中止する場合**

▶［中止］

途中まで取得したデータを保存します。この場合、再度操作1を行うことで残りのデータを取得することができます。

2 データ取得後、添付ファイルのファイル種別に合わせ、ファイルの内容が表示される

おしらせ

- 取得が完了していない添付ファイルが1つでも存在する場合は、「受信メール詳細画面」（P.202、205）で、添付ファイルの保存期限が表示されます。すべての添付ファイルの取得が完了すると、保存期限の表示は消えます。なお、保存期限を過ぎた添付ファイルは取得できません。
- 添付ファイルを受信した際、受信BOXの保存容量を超えた場合は、添付ファイルのサイズに従い受信メールが自動的に削除されます（添付ファイルのサイズによっては大量に受信メールが削除されることがあります）。なお、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内の受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。→P.208

ｉモードメールに添付されているファイルを確認・保存する

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたデータを確認・保存します。
- 受信が完了していない添付ファイルを選択した場合、受信動作を開始します。
- 受信が完了していない添付ファイルは、保存することができません。保存する場合は、あらかじめ受信を完了しておく必要があります。→P.200

メロディを保存する 〈メロディ保存〉

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（ 、 ）をFOMA端末に保存します。
- 通話中はメロディの再生ができません。
- 送信元がFOMA N905iμ以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶メロディを反転▶ch［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディを止める場合
▶ 、 、0〜9、＊、＃、

2 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ
- 複数のデータが貼り付けされている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。
- メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合は、「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生しない」に設定してください。

画像を保存する 〈画像保存〉

受信したｉモードメールに添付または挿入された画像（ ）を保存します。
挿入画像を保存するには→P.210

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶画像に囲み枠を移動▶ch［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合
▶画像を選択
再度画像表示に戻すには、ファイル名を選択します。

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

ｉモーションを保存する 〈ｉモーション保存〉

受信したｉモードメールに添付されたｉモーション（ ）を保存します。
- 通話中はｉモーションの再生ができません。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶ｉモーションを反転▶ch［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

トルカを保存する 〈トルカ保存〉

受信したｉモードメールに添付されたトルカ、トルカ（詳細）（ ）を保存します。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶トルカを選択

トルカが表示されます。

2 ［保存］▶フォルダを選択

▶機能メニューから「データ保存」を選択しても、保存できます。

PDFデータ、ドキュメントを保存する

受信したｉモードメールに添付されたPDFデータ（ ）、ドキュメント（ ）を保存します。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶ファイルを選択

PDFデータ、ドキュメントが表示されます。
PDFデータ、ドキュメントを閲覧するときの操作について→P.314

2 ch［機能］▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

- ドキュメントはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。
- microSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されるのでフォルダを選択する必要はありません。

■ 受信メール詳細画面に戻る場合
▶CLR

ツールデータを保存する

受信したｉモードメールに添付されたツールデータ（電話帳、スケジュールまたはBookmark）（ ）を保存します。

＜例：スケジュールを保存する場合＞

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶ファイルを選択

スケジュールの情報が表示されます。
機能メニューから「データ保存」を選択しても、同じ動作となります。

2 ◉［保存］

■ 電話帳の場合

▶◉［保存］▶登録先を選択

「本体」、「本体＋プッシュトーク電話帳」、「FOMAカード（UIM）」を選択した場合の詳しい操作手順については、「電話帳に登録する」（P.89）を参照してください。

■ Bookmarkの場合

▶◉［選択］▶登録先を選択

ｉモードの場合は「ｉモード」と「microSD」、フルブラウザの場合は「フルブラウザ」と「microSD」が選択できます。

おしらせ

- スケジュールはmicroSDメモリーカードには保存できません。
- 複数件の情報が存在しているファイルをFOMA端末内に保存した場合、保存されるのは先頭の1件のみです（microSDメモリーカードに保存した場合は、すべての情報が保存されます）。

その他ファイルを保存する

受信したｉモードメールに添付されたその他ファイル（ ）を保存します。

- その他ファイルは自動的にmicroSDメモリーカードの「OTHER」フォルダに保存されます。なお、保存するとファイル名が変更されます。→P.293

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶その他ファイルを反転▶ch［機能］▶「データ保存」▶「YES」

送信／受信メールBOXのメールを表示する
〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大1,000件、送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大400件まで保存されます。
- 受信メールは最大1,000件、送信メールは最大200件まで保護することができます。
- 保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

ｉモードメールの本文を読む

＜例：受信メールの本文を読む場合＞

1 ✉▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択

シークレットモード、シークレット専用モードのときには、フォルダ一覧画面にシークレットフォルダも表示されます。

メールメニュー

受信メールフォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.206

受信メール一覧画面
機能メニュー➡P.208

受信メール詳細画面
機能メニュー➡P.210

■ 前後のメールを表示する場合

▶メール詳細画面▶◎

CLRを押すと、メール一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 受信メール詳細画面では、メール本文を読み上げることができます。→P.210
- 2in1のモードがBモードの場合は、送信メールフォルダ一覧画面を表示できません。

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

● メールの本文の文字サイズを変えるとき

●メール詳細画面を表示しているときに、⊙を1秒以上押すことで、本文の文字の大きさを変更できます。

おしらせ

●上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「フォント設定」の「文字サイズ」の「メール」、および「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（1行+本文表示／1行表示／2行表示）

●メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選択すると、1行+本文表示で表示するか、2行で表示するか、1行で表示するかを切り替えることができます。

● メール一覧画面の表示切替（名前表示／アドレス表示／題名表示）

●メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。

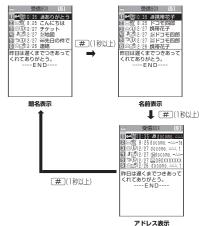
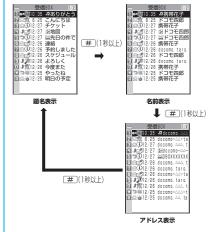
●宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

●メール一覧画面（1行+本文表示）

●メール一覧画面（2行表示）

●メール一覧画面（1行表示）

次ページにつづく

おしらせ

- メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。
- 題名／名前／アドレスの一部が表示されない場合があります。

● バックライト機能について

- FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約10秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面

送信メールフォルダ一覧画面

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	メール連動型iアプリのフォルダ
	ゴミ箱フォルダ
	シークレットフォルダ

：未読メールがあるとき

：フォルダロックが設定されているとき

：自動振分け設定（P.207）がされているとき

メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　　送信メール一覧画面

①メールの状態

①-1 受信

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール
	保護されている既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール

：保護されているとき

①-2 送信

アイコン	説明
	宛先が1件のメール
	宛先が複数のメール（同報メール）

：保護されているとき

：一部送信が失敗したもの

：送信が失敗したもの

②メールの内容

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.197

③送受信した時刻や日付

③-1 当日送受信したメールは時刻表示

③-2 前日までに送受信したメールは日付表示

④送信元／宛先または題名

題名がない場合は「無題」と表示

SMSの場合は本文の冒頭を表示（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」と表示）

エリアメールの場合は本文の冒頭を表示

留守番着信通知の場合は「留守番　着信通知」と表示

留守番電話メッセージ件数通知の場合は「留守番テレビ電話」と表示

⑤メール種別、添付ファイル情報

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS 送達通知受信済みのSMS
	エリアメール
※	2in1のBアドレス宛てのメール
	時差補正されたメール
	メロディ添付または貼付メール
	画像添付または挿入メール
	iモーション添付メール
	トルカ、トルカ（詳細）添付メール
	PDFデータ添付メール
	ツールデータ（電話帳、スケジュールまたはBookmark）添付メール
	ドキュメント添付メール
	その他ファイル添付メール
	メール本文からiアプリが起動可
	メール本文からiアプリが起動不可（メールをシークレットフォルダに移動）
	メール連動型iアプリで送受信したメール
	未取得ファイル添付メール→P.200
	未完成ファイル添付メール→P.200
	取得不可ファイル添付メール
	複数ファイルが添付されている、または添付ファイルと貼付ファイルが混在しているメール
	複数データが貼り付けられているメール（データがiアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示）
	FOMAカード動作制限機能がかかっているメール（メールを送受信したときとは違うFOMAカードを使用）

※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

：添付ファイルが削除されているもの（トルカやFlash画像の場合は、スキャン機能により添付ファイルが削除されたときにも表示）

：複数ファイルのうち、一部のファイルが削除されているもの

：複数ファイルで、すべてのファイルが削除されているもの

おしらせ

- 画像が添付されたiモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像に囲み枠を移動し、◉［選択］を押すごとに画像表示とファイル名表示が切り替わります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用しないメールアドレスで受信したメールは表示されません。

メール詳細画面の見かた

①メールの状態

「メール一覧画面の見かた」（P.204）の①参照

②送受信した時刻と日付

③宛先のタイプ（受信メール）

アイコン	説明
	送信元の宛先のタイプ→P.189

④2in1のメールアドレス情報

アイコン	説明
※	2in1のBアドレス宛てのメール

※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

⑤送信元（受信メール）

アイコン	説明
From Fm	送信元の名前またはメールアドレス

：返信不可のもの

⑥電話帳に登録されているアイコン

メールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンを表示

メール

⑦宛先と宛先のタイプ（送信メール）

アイコン	説明
To OK　To ✕ Cc OK　Cc ✕ Bcc OK　Bcc ✕	宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.189

✕：送信失敗のもの

⑧同報メールの宛先と宛先のタイプ（受信メール）
最大4件まで表示

アイコン	説明
To　To Cc　Cc	同報メールで、自分以外の宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.189

：返信不可のもの

⑨題名
題名がないときは「無題」と表示
受信したSMSには「SMS」（SMSがFOMAカード内にあるときは「」）が表示され、タイトルは「SMS」（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」）と表示
SMS送達通知を受信済みの場合は、「」も合わせて表示
エリアメールの場合は「エリアメール」と表示

⑩メールの内容（受信メール）

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.197

⑪メール本文

⑫本文の終わりに表示

⑬添付ファイル情報
ファイル名、ファイルサイズも表示

アイコン	説明
	貼り付けられたメロディ（不正なメロディは本文にテキスト表示）
	正しくない挿入画像

※ 上記以外に一覧画面と同じアイコンが表示される場合があります。それらについては、P.205の「⑤メール種別、添付ファイル情報」の説明をご覧ください。

おしらせ

- 以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
  - 「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
  - シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスのとき
  - シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスのとき
  - 2in1のモードがAモードに設定中で電話帳がB設定のとき、またはモードがBモードに設定中で電話帳がA設定のとき

機能 メールフォルダ一覧画面（P.202、204）

- 追加できるフォルダは22個までです。
- お買い上げ時にすでにある受信BOX、送信BOX、メッセージR、メッセージF、チャット、ゴミ箱、シークレットの各フォルダは、削除や並び替え、フォルダ名の変更はできません。また各フォルダに自動振分けを設定することもできません。

フォルダ追加……フォルダを追加し、追加したフォルダに自動振り分けを設定します。また、受信BOX／送信BOXに同じフォルダを追加するかどうかを設定します。
「自動振り分けを設定する」→P.207

自動振分け設定→P.207

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダロック……フォルダのロックを設定／解除します。
「フォルダ別にロックを設定する」→P.138

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

保存件数確認……すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。

フォルダ内表示……フォルダ内のメール一覧画面を表示します。

デスクトップ貼付※→P.115

iC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

microSDへ全コピー→P.298

フォルダ削除……フォルダを削除します。

既読メール全削除※……すべての既読メールを削除します。

受信メール全削除（送信メール全削除）……すべてのメールを削除します。

メール

※：受信メールフォルダー覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<フォルダ追加>
- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、ｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます（最大5件）。

<フォルダ並び替え>
- 追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

<保存件数確認>
- 次のｉモードメールやSMSの件数は確認できません。
  - シークレットフォルダ内のもの
  - 2in1の設定により表示されていないもの
- メッセージR／Fの件数は確認できません。

<ｉC全送信><赤外線全送信><microSDへ全コピー>
- メッセージR／Fは対象となりません。

<フォルダ削除>
- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信メールフォルダー覧画面、受信メールフォルダー覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

<既読メール全削除>
- 次のｉモードメールやSMSは削除されません。
  - 保護されているもの
  - シークレットフォルダ内のもの
  - 2in1の設定により表示されていないもの
- メッセージR／Fは削除されません。

<送信メール全削除>
- 保護されているｉモードメールやSMS、シークレットフォルダ内のメールは削除されません。

<受信メール全削除>
- 未読のメールも削除されます。ただし、保護されているｉモードメールやSMS、シークレットフォルダ内のメールは削除されません。
- メッセージR／Fは削除されません。

● 自動振り分けを設定する

受信メールの送信元や送信メールの送信先のメールアドレス、題名、返信不可のメールなど、あらかじめ指定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けます。

- 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーは、受信BOXと送信BOXの全フォルダを合わせて700件まで登録することができます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つだけ登録できます。
- 受信または送信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は以下のとおりです。ただし、メール連動型ｉアプリのメールは自動振分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。チャットメールは、「すべて振分け」が設定されていない場合は、自動振分け設定にかかわらずチャットフォルダに振り分けられます。
  ①すべて振分け　②題名振分け　③返信不可振分け／送信失敗振分け　④メールアドレス／電話番号　⑤メールメンバー　⑥電話帳グループ
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。

1 メールフォルダー覧画面（P.202、204）▶振り分け先のフォルダを反転▶ch［機能］▶「自動振分け設定」

2 以下の項目から自動振り分けを設定

すでに振り分け条件を設定している場合は設定中の条件が表示されますので、さらにch［機能］を押します。

■ オリジナルロックを電話帳やメールメンバーに設定している場合

グループ名は「グループ」、メールメンバーは「メールメンバー」と表示されます。

アドレス振分け……自動振り分けをするメールアドレスを設定します。

アドレス参照入力……電話帳や受信アドレス一覧、送信アドレス一覧を参照してメールアドレスを設定します。

グループ参照……電話帳のグループを設定します。

メールメンバー参照……メールメンバーを設定します。

直接入力……メールアドレスを直接入力して設定します。

題名振分け……自動振り分けをするメールの題名を入力し、設定します。

返信不可振分け（送信失敗振分け）……返信不可のメールアドレス（または送信が失敗したメールアドレス）を設定します。

すべて振分け……メール連動型ｉアプリのフォルダだけに設定することができます。すべてのメールをメール連動型ｉアプリのフォルダに振り分けます。

アドレス／題名編集……設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。

一覧表示切替……自動振り分けをするメールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示／アドレス表示」から選択します。

メール

次ページにつづく

解除……「1件解除／選択解除／全解除」から選択し、自動振り分けの条件を解除します。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 同報送信した送信メールは、1番目、2番目と入力した宛先の順番で振り分け条件を検索します。
- 2in1ご利用の際に、自動振り分けをする場合は「アドレス参照入力（電話帳／受信アドレス一覧／送信アドレス一覧）」、「メールメンバー参照」、「直接入力」、「題名振分け」、「返信不可振分け」、「すべて振分け」、「アドレス／題名編集」の条件でご利用ください。
- エリアメールは、「アドレス振分け」、「題名振分け」、「返信不可振分け」の対象となりません。

<アドレス振分け（グループ参照）>
- シークレットデータとして登録されたメールアドレスをグループ参照でフォルダ登録した場合、その相手からメールを受信すると、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中でないときは受信BOXフォルダに振り分けられ、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中には振り分け設定したフォルダに振り分けられます。

<アドレス振分け（直接入力）>
- メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、受信BOX、送信BOXの各フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<返信不可振分け>
- SMS送達通知は振り分けされません。
- 「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>
- 「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。
- 「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにしか設定できません。

<一覧表示切替>
- 自動振分け設定画面で[#]を1秒以上押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

機能 メール一覧画面（P.202、204）

返信※1……「新たに本文を入力して返信する」→P.199

再編集※2……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。[送信]を押すと、メールを送信できます。

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メールをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

メール検索……送信元／宛先や題名を指定してメールを検索します。

送信元検索※1／**宛先検索**※2……電話帳や受信メールアドレス一覧、送信メールアドレス一覧を参照してメールアドレスを指定したり、メールアドレスを直接入力して検索します。

題名検索……題名を入力して検索します。

全表示……検索､ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメールを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメールのみを表示します。

色分け……メールを「指定なし（黒）／赤／青」から選択して色分けします。

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

すべて既読※1……フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。

保護※1……「1件保護／選択保護／全保護」から選択します。「複数選択について」→P.38

保護解除※1……「1件保護解除／選択保護解除／全保護解除」から選択します。「複数選択について」→P.38

保護／保護解除※2……メールを保護／保護解除します。

全保護解除※2……保護されているすべてのメールの保護を解除します。

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

microSDへコピー→P.298

FOMAカード操作……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.304

メール情報※1……メールを開かずに送信元などの情報を表示します。

保存件数確認……フォルダ内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存→P.209

ゴミ箱へ捨てる※1……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。「複数選択について」→P.38

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

- 受信メールでは「既読削除／SMS送達通知全削除」を選択して、既読メールやSMS送達通知のみを一括削除することもできます。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※3……「1件保管／選択保管／全保管」から選択します。
「複数選択について」→P.38
「各種データを表示できないようにする」→P.129

※1：受信メール一覧画面でのみ利用できます。
※2：送信メール一覧画面でのみ利用できます。
※3：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

機能 未読メール一覧画面（P.196）

返信……「新たに本文を入力して返信する」→P.199

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

1件削除……メールを1件削除します。

おしらせ

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート><フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば受信メール一覧画面で未読メールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<色分け>
- メール一覧画面で ＊ を1秒以上押しても色を切り替えることができます。

<すべて既読>
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

<保護／保護解除>
- 2in1の設定により表示されていないメールは、「全保護」や「全保護解除」を選択しても設定の対象となりません。
  エリアメールは、「全保護」を選択しても設定の対象となりません。

おしらせ

<ゴミ箱へ捨てる>
- 削除したいメールはゴミ箱フォルダに捨てます。ゴミ箱フォルダに捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまではゴミ箱フォルダからほかのフォルダに戻すことができます。ゴミ箱フォルダに捨てられたメールは、「受信BOX」がいっぱいになった場合、優先的に削除されます。
- 未読メールをゴミ箱フォルダに捨てると、既読メールになります。

<シークレットに保管><シークレットから出す>
- 2in1の設定により表示されていないメールは、「全保管」や「全て出す」を選択しても移動の対象となりません。

● メールをお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されているｉモードメールやSMSをお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 保存メール一覧画面（P.195）またはメール一覧画面（P.202、204）▶ch［機能］▶「お預りセンターに保存」▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

メールは最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続してメールの保存を開始します。

3 ✉［完了］

おしらせ

- FOMAカードに保存されているSMSはお預かりセンターに保存できません。
- ｉモードメールに添付されているファイルは削除して保存されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除して保存されます。
- メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は保存されません。

■メールを復元する

お預かりセンターに預けているメールデータは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

機能 メール詳細画面（P.202、205）

返信※1※2……「新たに本文を入力して返信する」→P.199

引用返信※1※2……「本文を引用して返信する」→P.199

転送※1※2……「ｉモードメールをほかの宛先に転送する」→P.199

再編集※3……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。[メール]［送信］を押すと、メールを送信できます。

再送信※3……メールを再送信します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

フォルダ移動……移動先のフォルダを選択し、メールを移動します。

コピー……メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。コピーした文字は本文入力画面に貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367

クイック検索※1→P.339

アドレス登録・電話帳登録……「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.200

データ保存……「ｉモードメールに添付されているファイルを確認・保存する」→P.201

挿入画像保存……デコメール本文に挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定するかしないかを選択できます。

デスクトップ貼付……送信元／宛先のアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けます。→P.115

デコメテンプレート保存……メールをテンプレートとして保存します。「テンプレートを保存する」→P.192

辞典検索……辞典を起動します。→P.353

プロパティ……画像を選択し、デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

メール読み上げ※1→P.210

チャット起動※1……チャットメールを起動します。→P.219

SMS送達通知表示※3……SMS送達通知を表示します。

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

microSDへコピー→P.298

FOMAカード操作……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.304

スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）……画面のスクロール行数を「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……表示される文字サイズを「極小／小／中／大／特大」から選択します。

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件または全削除します。

ゴミ箱へ捨てる※1……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。

削除……メールを削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※4……「各種データを表示できないようにする」→P.129

※1：受信メール詳細画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：送信メール詳細画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

おしらせ

<添付ファイル削除><添付ファイル全削除>
- メール本文に貼り付けられたデータや取得不可ファイル（ ）は削除できません。

● メール本文を読み上げる

受信メール本文（ｉモードメール、SMS）を設定した声で読み上げます。
- 「メール読み上げ設定」で本文を読み上げるときの声を設定できます。

1 メール詳細画面（P.202、205）▶[ch]［機能］▶「メール読み上げ」

■ 読み上げを中止する場合
▶◉［停止］
もう一度◉［再生］を押すと、最初から読み上げを開始します。

■ 読み上げを終了する場合
▶[メール]［閉］

おしらせ

- 読み上げるときの音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量になります。
- メール読み上げ時は、画面上半分に画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。
- [イヤホン]を使ってメール本文を読み上げることもできます。→P.346
- メール読み上げ中に[方向キー]、[▲]［マナー］、[▼]［📷］を押すと、メール本文をスクロールします。また、[5]を1秒以上押すとエマージェンシーモードのON／OFFの切り替え、[8]を1秒以上押すとプライバシーアングルのON／OFFの切り替えができます。これら以外のボタンを押すと、読み上げを中止します。
- メール読み上げ中に着信があると読み上げを終了し、着信中画面が表示されます。

おしらせ

- メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信時動作設定」の設定内容に従います。また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。
- 以下のメールは読み上げできません。
  - SMS送達通知
  - 本文のないメール、デコメール
  - 貼付メロディまたはｉアプリ起動URLのみのメール
- 以下の場合は読み上げできません。
  - 音声通話中
  - プッシュトーク、64Kデータ通信中
  - ミュージックプレーヤー再生中
- パソコンなどから受信したメールは、読み上げできない場合があります。

メールの履歴を利用する
〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧に送信先アドレス、受信アドレス一覧に送信元アドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。アドレス一覧は、ｉモードメールとSMSをアイコンで区別するので、履歴の種類がわかります。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、ｉモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。ただし、2in1を利用している場合、受信アドレスは最大60件まで記憶されます。
- 受信BOX、送信BOXにBOXロックを設定していると、メールアドレスはアドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

＜例：受信アドレス画面を表示する場合＞

1 待受画面表示中▶◎（1秒以上）

「受信アドレス画面（一覧）」が表示されます。

■ 送信アドレス画面（一覧）を表示する場合

▶◎（1秒以上）

受信アドレス画面(一覧)

機能メニュー➡P.212

2 送信元を選択

「受信アドレス画面（詳細）」が表示されます。

受信アドレス画面（詳細）

機能メニュー➡P.212

3 内容を確認

おしらせ

- 送信アドレス画面（一覧／詳細）で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ／：ｉモードメールの送信に成功
  - ／：ｉモードメールの送信に失敗
  - ／：SMSの送信に成功
  - ／：SMSの送信に失敗
- 受信アドレス画面（一覧／詳細）で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ／：ｉモードメールを受信
  - ／：SMSを受信
- 電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しているメールアドレスで送受信した履歴のみが30件まで表示されます。ただし、Bモードに設定している場合、送信アドレス一覧画面は表示できません。

機能 アドレス画面（一覧・詳細）（P.211）

電話帳登録……メールアドレスを電話帳に登録します。
→P.200

電話帳参照……メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。

デスクトップ貼付→P.115

ｉモードメール作成※1……メールアドレスを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。

電話発信……メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To／AV Phone To機能で音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信します。→P.178

着信履歴表示※2……着信履歴画面に切り替えます。
→P.54

リダイヤル表示※3……リダイヤル画面に切り替えます。
→P.54

拡大表示⇔標準表示……文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMSを作成して送信する」→P.224
※2：受信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※3：送信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。発信履歴から送信アドレス画面を表示したときは、「発信履歴表示」となります。

FOMA端末のメール機能を設定する 〈メール設定〉

1 ▶「メール設定」

「メール設定画面」が表示されます。

メール設定 1/2
1 スクロール設定
2 文字サイズ設定
3 メール一覧表示設定
4 本文表示設定
5 添付ファイル自動再生設定
6 冒頭文／署名設定
7 BOXロック
8 受信時動作設定
9 メール選択受信設定
0 添付ファイル優先受信設定
* メール読み上げ設定
# チャット設定

メール設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）……メール詳細画面で を押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……メール詳細画面で表示される文字サイズを「極小／小／中／大／特大」から選択します。

メール一覧表示設定（お買い上げ時：1行＋本文表示）……メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。表示行数を「2行表示／1行表示／1行＋本文表示」から選択し、表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

本文表示設定……メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。

- **通常表示**（お買い上げ時）……メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。
- **本文から表示**……メールの本文から表示します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

冒頭文／署名設定……「冒頭文／署名／引用符を編集する」→P.213

BOXロック……「BOX別にロックを設定する」
→P.138

受信時動作設定……FOMA端末の操作中にメール、メッセージR／Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

- **通知優先**（お買い上げ時）……受信中画面および受信結果画面を表示します。
- **操作優先**……受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。

メール選択受信設定……メールの選択受信をするかどうかを設定します。

- **ON**……メールを自動受信しません。
- **OFF**（お買い上げ時）……メールを自動受信します。

添付ファイル優先受信設定（お買い上げ時：すべて「受信する」）……メールを受信したときに、同時に受信する添付ファイルの種類を「イメージ／ｉモーション／メロディ／PDF／トルカ／ツールデータ／その他」から選択します。
「複数選択について」→P.38

メール読み上げ設定→P.214

チャット設定→P.224

感情／キーワードお知らせ→P.215

SMS設定

- **SMS送達通知設定**（お買い上げ時：要求しない）……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

SMS有効期間設定（お買い上げ時：3日）……送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。

SMS本文入力設定（お買い上げ時：日本語入力（70文字））……SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、全角／半角問わず、すべての文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。

エリアメール設定→P.219

メール設定確認……「メール設定」で設定した内容を確認します。

メール設定リセット……「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、「メール設定」は選択できません。

＜文字サイズ設定＞
- 「特大」に設定すると、「メール一覧表示設定」が自動的に「2行表示」になります。また、「特大」に設定されているときに「メール一覧表示設定」を「1行表示」または「1行+本文表示」に設定すると、自動的に「大」になります。

＜受信時動作設定＞
- 音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリやカメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR／Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用しないメールアドレスにのみメール受信した場合は、「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。

＜メール選択受信設定＞
- 本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR／Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

＜添付ファイル優先受信設定＞
- ファイルの内容を確認するには、後から手動で取得する必要があります。→P.200
- 「ツールデータ」のチェックを外した場合、電話帳、スケジュール、Bookmarkを受信しません。
- 「その他」のチェックを外した場合、ドキュメントも受信しません。

冒頭文／署名／引用符を編集する

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭に付ける記号や文章（引用符）を編集することもできます。

1 メール設定画面（P.212）▶「冒頭文／署名設定」

2 「冒頭文編集」または「署名編集」▶◉［編集］

■ 引用符を編集する場合
▶「引用符編集」

3 冒頭文、署名を入力▶［完了］

冒頭文、署名に入力できる文字数は全角5,000文字、半角10,000文字、引用符に入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。

■ 引用符を入力する場合
▶引用符を入力

■ 冒頭文または署名を装飾する場合
冒頭文または署名を装飾することができます。
→P.190

4 「自動貼付設定」▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶［完了］

■ 冒頭文または署名を自動貼り付けしない場合
▶冒頭文または署名の「自動貼付」のチェックボックスのチェックを外す

おしらせ

- 「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、テンプレート、チャット画面、メール連動型ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する〈ｉモード問い合わせ設定〉

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」（ｉモードメール）、「メッセージR」、「メッセージF」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。

- 「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」

2 で□（チェックボックス）を選択▶［完了］

メール

受信メールを読み上げる声を設定する〈メール読み上げ設定〉

読み上げる声の種類や[キー]を押したときに読み上げるか、読み上げないかを設定します。

1. **メール設定画面（P.212）▶「メール読み上げ設定」**
2. **「読み上げ音声設定」▶読み上げる声を選択**
   お買い上げ時は「女性ボイス1」に設定されています。
3. **「受信時読み上げ設定」▶「有効」または「無効」**
   お買い上げ時は「有効」に設定されています。

● 読み上げルールについて

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・特殊文字・絵文字

記号・特殊文字・絵文字の読み上げはしません。ただし、一部の記号は読み上げをします。

※ 記号・特殊文字・絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。

■数字

数字が並んでいる場合は最大16桁まで桁読みします。

例：1234 → センニヒャクサンジュウヨン

■金額

数字の先頭に「¥（半角・全角可）」などを入力されていると、最大16桁まで金額として読み上げます。入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。

例：¥12345
　　¥12,345 → 「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴエン」

■電話番号

数字を「-」、「(」、「)」により以下のパターンで区切ると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。また数字の先頭に「Tel:」がある場合も電話番号として読み上げます。

例：Tel：0120-102-001→テル　ゼロイチニーゼロ イチゼロニ ゼロゼロイチ

一般電話		
XX-XXXX-XXXX	XXX-XXX-XXXX XXXX-XX-XXXX	XXXXX-X-XXXX
(XX)XXXX-XXXX	(XXX)XXX-XXXX (XXXX)XX-XXXX	(XXXXX)X-XXXX
XX(XXXX)XXXX	XXX(XXX)XXXX XXXX(XX)XXXX	XXXXX(X)XXXX
XXXX-XXXX	XXX-XXXX XX-XXXX	X-XXXX

携帯電話		
XXX-XXXX-XXXX	XXXX-XXX-XXXX (XXX)XXXX-XXXX	(XXXX)XXX-XXXX
XXX(XXXX)XXXX	XXXX(XXX)XXXX	
フリーダイヤル		
XXXX-XXX-XXX	XXXX-XXXXXX	

※：「X」は数字を表します。

■時刻

数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。※「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）を付加すると、「午前」、「午後」を先頭に付けて時刻を読み上げます。

「時」:「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例：23:15 → 「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」:「分」または「時」:「分」AM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 → 「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」
PM「時」:「分」または「時」:「分」PM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：5:05PM → 「ゴゴ　ゴジ　ゴフン」

※「時」:「分」:「秒」の形で入力されている場合（例：23：15：10）、読み上げを行いません。

■日付

数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」、「T」、「S」、「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）を挿入すると年を元号として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」 （「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：2006/12/5、2006/12/05、2006.12.5、2006.12.05 → 「ニセンロクネン　ジュウニガツ　イツカ」
「M」「年」/「月」/「日」または「M」「年」.「月」.「日」 （「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：M10/04/20 → 「メイジ　ジュウネン　シガツ　ハツカ」
「T」「年」/「月」/「日」または「T」「年」.「月」.「日」 （「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：T8.10.15 → 「タイショウ　ハチネン　ジュウガツ　ジュウゴニチ」
「S」「年」/「月」/「日」または「S」「年」.「月」.「日」 （「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：S50.3.6 → 「ショウワ　ゴジュウネン　サンガツ　ムイカ」

「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」
（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31）
例：H17.10.3 →「ヘイセイ　ジュウナナネン　ジュウガツ　ミッカ」

- 数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
- 金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
「0～9」「A～Z(大文字)」、「:」、「¥」、「/」、「.」、「-」（半角・全角）

■記号

下記の記号を読み上げることができます（数字と組み合わせると以下のように読み上げます）。

$（ドル）	%（パーセント）
¥（エン）	°（ド）
℃（ド）	￥（エン）
＄（ドル）	％（パーセント）
㍉（ミリ）	㌔（キロ）
㌢（センチ）	㍍（メートル）
㌘（グラム）	㌧（トン）
㌃（アール）	㌶（ヘクタール）
㍑（リットル）	㍗（ワット）
㌍（カロリー）	㌦（ドル）
㌣（セント）	㌫（パーセント）
㍊（ミリバール）	㌻（ページ）
㎜（ミリメートル）	㎝（センチメートル）
㎞（キロメートル）	㎎（ミリグラム）
㎏（キログラム）	㏄（シーシー）
㎡（ヘイホウメートル）	

■その他

- 英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。
- 文章の内容や、記載内容（とくに地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読みかたを誤る場合があります。
- 読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。
- 句読点（「、」、「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。

文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやりとりする相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。

- 名詞、とくに地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
- 句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

感情お知らせメールの通知方法を設定する 〈感情／キーワードお知らせ〉

iモードメールやチャットメール、SMSを受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定します。また、受信したメールに指定したキーワードが含まれているときにアイコンでお知らせするように設定することもできます。

- 「感情お知らせメールについて」→P.197

1 メール設定画面（P.212）▶「感情／キーワードお知らせ」

「感情／キーワードお知らせ画面」が表示されます。

感情／キーワードお知らせ画面
機能メニュー ➡P.215

■「感情お知らせ」を利用する場合

▶「感情お知らせ」の□（チェックボックス）を選択
「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

■「キーワードお知らせ」を利用する場合

▶「キーワードお知らせ」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを1つ以上入力
「☑」にすると、「キーワード」に入力した文字列が含まれているメールを受信したときに、対応するキーワードお知らせのアイコン（1、2、3）が表示されます。なお、「キーワード」は最低1つは入力してください（全角15文字、半角30文字で3つまで入力できます）。

2 **［完了］**

機能 感情／キーワードお知らせ画面（P.215）

キーワード削除・キーワード全削除……キーワードを1件または全削除します。

おしらせ

- キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワードお知らせアイコンの表示も削除されます。

メール

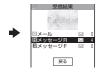
メッセージを受信したときは
〈メッセージ受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。

- メッセージR／Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

受信時の自動表示動作

- メッセージR／Fの詳細画面の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。

[1] メッセージ受信中は「メッセージ受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

- 受信中は「R」または「F」が点滅します。

■ 受信を中止する場合

▶ [中止] またはCLR（1秒以上）
ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

[2] 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。
- 受信結果画面で「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージ一覧画面（P.217）が表示されます。

[3] 受信結果画面表示中に、何も操作しないで約15秒間経過すると、メッセージR／Fの「詳細画面」が表示されます。
- 受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。
- メッセージR／Fの「詳細画面」が自動表示されるのは、待受画面表示中に受信した場合です。
- 詳細画面表示中に何も操作しないで約15秒間経過すると、待受画面に戻ります。ただし、スクロールなどの操作をすると、詳細画面は表示され続けます。

おしらせ

- メッセージの保存領域がいっぱいになると、メッセージを受信したとき、既読の古いメッセージから順に削除されます（未読または保護されているメッセージは削除されません）。

おしらせ

- FOMA端末がこれ以上メッセージを受信できない（未読または保護されているメッセージでいっぱい）場合、R（赤色）／F（赤色）が表示されます（R/F（赤色）、R/F（R：赤色）、R/F（F：赤色）のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります）。未読のメッセージを読むか、いらないメッセージの保護を解除してください。
- ｉモードセンターにメッセージが保管されていると、R／Fが表示されます。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージを受信してください。また、ｉモードセンターに保管されているメッセージがいっぱいのときは、R（赤色）／F（赤色）が表示されます。
- 待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「ｉモード」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中は、メッセージR／Fを受信しても自動表示しません。

メッセージR／F画面の見かた

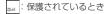
一覧画面 （2行表示）

一覧画面 （1行表示）

詳細画面

①メッセージの状態

アイコン	説明
	未読メッセージ
	既読メッセージ
	保護されている既読メッセージ

：保護されているとき

②受信した時刻や日付
②-1 当日受信したメッセージは時刻表示
②-2 前日までに受信したメッセージは日付表示

③添付ファイル情報
<一覧画面>

アイコン	説明
	メロディ添付または貼付メッセージ
	画像添付メッセージ
	トルカ添付メッセージ
	複数データ添付または貼付メッセージ

：一部のデータが正しくないもの
：データが正しくないもの
：スキャン機能により削除されたもの

<詳細画面>

アイコン	説明
	貼付メロディ

：データが正しくないもの

④題名

メッセージがあるかどうかを問い合わせる 〈iモード問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったメッセージは、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージを受信することができます。

- iモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - メッセージBOXが満杯のとき
  - テレビ電話中／遠隔監視中
  - セルフモード設定中
  - プッシュトーク通信中
  - FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」で設定します。

1 (1秒以上)

メール問い合わせ画面が表示されます。
iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
- ▶「iモード問い合わせ」
- ▶「iモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。
問い合わせ中は「」「R」「F」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。
新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数が表示されます。

■ 問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中に [中止] またはCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージR／Fを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」

おしらせ

- iモードセンターでのメッセージR／Fの保管件数、保管期間は以下のとおりです。

種類	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

メッセージBOXのメッセージを表示する 〈メッセージR／F〉

- iモードセンターからFOMA端末にメッセージR／Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

1 ▶「受信BOX」▶「メッセージR」または「メッセージF」

「メッセージ一覧画面」が表示されます。
メッセージ一覧画面でCLRを押すと、iモードメニュー画面が表示されます。
受信メールフォルダ一覧画面には戻りません。

メッセージ一覧画面

機能メニュー➡P.218

メール

メッセージを選択

「メッセージ詳細画面」が表示されます。

メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは◎を押します。

メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー➡P.218

機能 メッセージ一覧画面（P.217）

全表示……ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメッセージを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメッセージのみを表示します。

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

保護全解除……保護されているすべてのメッセージR／Fの保護を解除します。

保存件数確認……保存されているメッセージR／Fの件数および未読件数、保護件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／既読削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

- 「既読削除」を選択すると、既読メッセージのみを一括削除できます。

おしらせ

<ソート><フィルタ>

- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば未読メッセージだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メッセージR／F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

機能 メッセージ詳細画面（P.218）

電話帳登録……メッセージR／Fに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P.89

メロディ保存……メッセージR／Fに添付されているメロディを保存します。

画像保存……メッセージR／Fに添付されている画像を保存します。

トルカ保存……メッセージR／Fに添付されているトルカを保存します。

クイック検索→P.339

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

削除……メッセージR／Fを削除します。

おしらせ

<メロディ保存>

- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- iモードを契約しなくても、エリアメールの受信はできます。
- エリアメール受信には受信設定が必要です。
  「緊急速報「エリアメール」の設定を行う」→P.219
  なお、下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
  - 国際ローミング中
  - おまかせロック設定中
  - セルフモード設定中
- 下記のような場合などには受信できないことがあります。
  - テレビ電話中
  - データ通信中

緊急速報「エリアメール」を受信したときは 〈エリアメール受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。

- エリアメールを受信すると画面の上部に「📶」が表示されます。
- 受信したエリアメールは、受信BOXに保存されます。
- エリアメールは、FOMA端末に最大100件まで保存できます。

● 緊急地震速報のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると「内容通知画面」が表示され、ブザー音とバイブレーションでお知らせします。◉、CLR、☎のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。

- ブザー音の音量は調整できません。ただし、ブザー音のON／OFFおよび鳴動時間は、「エリアメール設定」の「ブザー鳴動設定」で設定できます。
  ブザー音の設定が「OFF」の場合は、エリアメール用の着信音が鳴動します。
- マナーモード設定中のブザー音の鳴動は、「マナーモード選択」の設定に従います。→P.105

●バイブレーションの振動パターンは、ブザー音鳴動時にはブザー音に連動して振動し、エリアメール着信音鳴動時には「バイブレータ」の「メール」の設定に従います。

● 緊急地震速報以外のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると「エリアメールを受信しました」の画面または「内容通知画面」が表示され、エリアメール用の着信音でお知らせします。
「エリアメールを受信しました」の画面は一定時間何も操作しないか、いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。「内容通知画面」は◉、CLR、☎のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。「エリアメールを受信しました」の画面、「内容通知画面」のどちらが表示されるかは配信者が決定します。

おしらせ

- 着信音の音量は、「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。
- ｉアプリやカメラ機能などの利用中にエリアメールを受信したときは、「内容通知画面」または「エリアメールを受信しました」の画面が表示されない場合があります。

新着エリアメールを表示する

1 待受画面表示中▶◉▶「メール」を選択

■ 未読メール一覧を表示する場合
▶待受画面表示中▶◉▶✥で「」を選択
「未読メール一覧画面」が表示されます。

おしらせ

- メール一覧画面では、受信したエリアメールの送信元には「エリアメール」と表示され、題名には本文の冒頭が表示されます。
- エリアメールの保存領域がいっぱいになると、エリアメールを受信したとき、ゴミ箱の古いエリアメール、既読の古いエリアメール、未読の古いエリアメールの順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う 〈エリアメール設定〉

エリアメール受信に関する設定を行います。

1 メール設定画面（P.212）▶「エリアメール設定」

「エリアメール設定画面」が表示されます。

エリアメール設定画面

2 以下の項目から選択

受信設定（お買い上げ時：利用しない）……エリアメールを受信するかどうかを設定します。
エリアメールを利用するかどうかの確認画面が表示されるので、注意事項をよくお読みになり、「①利用する」／「②利用しない」を選択してください。

ブザー鳴動設定

鳴動設定（お買い上げ時：ON）……ブザーのON／OFFを切り替えます。

鳴動時間（お買い上げ時：10秒）……ブザーの鳴動時間を01～30秒の間で設定します。

受信登録……緊急情報以外に受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。「受信登録画面」で「<未登録>」を選択して端末暗証番号を入力した後、「エリアメール名称」、「Message ID」を入力します。なお、緊急情報は受信登録に関係なく受信されます。

チャットメールを送受信する 〈チャットメール送受信〉

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 以下のような場合はチャットメールを起動することができません。
  - メール選択受信を「ON」に設定しているとき
  - 受信BOXに保存されているメールが満杯のとき
  - 2in1のモードがBモードのとき
  - 「メール送信」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中のとき。
- 複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。
- チャットメールに着信音を設定することができます。同時に複数のメールを受信した場合でチャットメールが含まれているときは、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

次ページにつづく

1 ✉ ▶「チャットメール」

「チャット画面」が表示されます。

チャットメンバーには前回終了時のメンバーが設定されます。

チャット画面

機能メニュー ➡P.221

■ チャットメンバーを設定するとき

お買い上げ後、はじめてチャットを起動したとき、また前回終了時とは異なるメンバーとチャットをはじめるときにはチャットメンバーを設定する必要があります。

「チャットメンバーを設定する」→P.221

■ チャットグループ一覧画面から起動すると

チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットが起動されます。

▶チャットグループ一覧画面（P.223）▶ ch［機能］▶「チャット起動」

2 ◉［選択］▶発言文を入力

チャット画面から送信できる文字数は全角250文字、半角500文字までです。

3 入力が終わったら◉［確定］

入力した発言文が、発言文表示エリアに表示されます。

■ 送信先選択について

機能メニューで「送信先選択」を選択すると、送信するメンバーと送信しないメンバーを選択することができます。

4 ✉［送信］

送信が完了すると、発言文表示エリアの発言文は消去され、最新発言エリアに移行します。

■ 送信に失敗した場合

最新発言エリアの発言文がグレー表示になります。発言文表示エリアの発言文は削除されないので、送信に失敗したチャットメールだけを再送信することができます。

5 チャットメールを交換する

送信したメールに対する返信があると、最新発言エリアに表示され、それまで最新発言エリアに表示されていた発言文は発言履歴エリアに移行します。

■ 自分の発言を送信する場合

操作2～4を繰り返します。

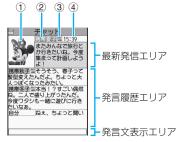
6 チャットを終了するときは ☎

既読のチャットメールを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

おしらせ

- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールはチャットフォルダに保存されます。再送信する場合は、チャットフォルダから送信してください。
- チャット画面で表示したチャットメールは、チャットフォルダにおいて既読となります。
- チャットメールを起動中に通常のｉモードメールを受信しても、受信結果画面は表示されません。

チャットの基礎知識

■チャット画面

最新発言エリア

自分を含めて最新の発言を表示します。発言が長く表示しきれない場合は、「▶」などが表示されるので、◎でページを切り替えて発言内容を確認することができます。

① 画像：表示／非表示（有効／無効）を設定したり、メンバーの写真などを設定することができます。

② メンバー名：グループメンバー一覧画面の機能メニューでメンバー名を編集することができます。

③ 同報アイコン：複数のメンバーに送信されたチャットメールか、自分だけに宛てたチャットメールかが区別できます。

④ 送受信日時

発言履歴エリア

古い発言ほど下に送られます。発言が長く表示しきれない場合は、「»」が表示されます。◎で最新発言エリアにスクロールさせると、発言内容を確認することができます。

発言文表示エリア

入力済みの発言が表示されます。◉［選択］を押すと、文字入力（編集）画面が表示され、文字編集モードになります。

■チャット用語

チャットメンバー：チャットを実行するメンバー。直接、設定したり、チャットグループからグループごと入れ替えたり、メールメンバーからメンバーごと入れ替えることができます。

チャットグループ：チャットを実行する候補者を分類したグループ。チャットメンバーを、すべてのグループから選択して入れ替えることもできます。

グループメンバー：チャットグループに登録してあるメンバー。

機能 チャット画面（P.220）

送信……チャットメールを送信します。

送信先選択……チャットメールの送信先を選択します。
「複数選択について」→P.38

チャットメンバー……チャットメンバーを設定します。
→P.221

同報宛先確認……同報メールの宛先をチャットメンバーに追加します。→P.221

更新……ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。

先頭表示……最新発言エリアに最新の発言を表示します。

最終表示……最新発言エリアに一番古い発言を表示します。

チャット終了……チャットを終了します。

既読削除……保護されていない既読の送受信チャットメールを削除します。

おしらせ

<チャット終了>
- チャットメールを終了すると、未送信のチャットメールは削除されます。
- 送信に失敗したチャットメールは「送信BOX」のチャットフォルダに保存されます。
- チャット画面終了時に、チャットメールを一括削除することができます。この場合、チャットフォルダからも削除されます。ただし、保護されているチャットメールは削除されません。

<既読削除>
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。

● 同報メールの宛先をチャットメンバーに追加する

受信したチャットメールに宛先が複数あった場合（同報メール）、他の宛先をチャットメンバーに追加することができます。

- 本機能は、チャットメールに対応したFOMA端末からの同報メールの場合のみ利用することができます。

1 **チャット画面（P.220）▶ch［機能］▶「同報宛先確認」▶「YES」▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］**

■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
▶「同報宛先確認」▶「OK」

チャットメンバーを設定する〈チャットメンバー設定〉

チャットメールをやりとりする相手を設定します。
- チャットメンバーは自分以外に5人まで登録できます。

1 **✉▶「チャットメール」▶ch［機能］▶「チャットメンバー」**

「チャットメンバー設定画面」が表示されます。

チャットメンバー設定画面

機能メニュー➡P.221

2 **チャットメンバーの入力**

■ メールアドレスを直接入力する場合
▶チャットメンバーを反転▶◉［選択］
チャットメンバーを反転した状態で、機能メニューから「編集」を選択しても入力できます。

■ 参照入力する場合
▶チャットメンバーを反転▶ch［機能］▶「メンバー参照入力」

機能 チャットメンバー設定画面（P.221）

編集……自分以外のチャットメンバーのメールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え→P.222

チャットグループ登録……現在のチャットメンバーを一括してチャットグループに登録します。

詳細設定確認……チャットメンバーの設定の詳細を確認します。

次ページにつづく

削除・全削除……自分以外のチャットメンバーを1件または全削除します。

おしらせ

<編集>
- 同じメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合は、電話帳登録されているかいないかで表示内容が異なります。登録されているときは登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが、登録されていないときはメールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。

● チャットメンバーを入れ替える

1 チャットメンバー設定画面（P.221）／グループメンバー一覧画面（P.223）▶ch［機能］▶「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

チャットグループ※

グループ一覧……チャットグループを選択し、チャットメンバーをチャットグループごと入れ替えます。

メンバー一覧……すべてのチャットグループの中から、チャットメンバーを選択して入れ替えます。
「複数選択について」→P.38

メールメンバー……メールメンバーを選択し、チャットメンバーと入れ替えます。

※：チャットメンバー設定画面でのみ利用できます。

待受中にチャットメールを受信したときは 〈チャットメール受信〉

チャットメールを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「チャット」が表示されます。アイコンを選択するとチャットメールが起動します。
- FOMA端末は、以下の条件が一致するかどうかでチャットメールを識別します。
  - 題名に「チャットメール」（すべて全角またはすべて半角）が含まれている。
  - 送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されている。
  - デコメール、SMS、メール連動型ｉアプリのメール、2in1のBアドレス宛てのメールではない。
- チャットメールの表示可能文字数は全角250文字です。
- 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。

1 待受画面表示中▶●▶「チャット」を選択

■ 送信元がチャットメンバーに登録されていない場合

▶「YES」
チャットメンバーを削除してチャットメールを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、現在設定されているチャットメンバーの設定を変更してチャットメールを起動します。

■ 現在設定されているチャットメンバーを変更しない場合

▶「NO」
現在設定されているチャットメンバーの設定をそのままにして、メールメニュー画面が表示されます。

2 チャットの開始

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日時が新しい順に表示されます。

チャットメンバーが変更されるとき

待受画面から「チャット」を選択した場合や、受信メール詳細画面の機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。

■送信元がチャットメンバーに設定されているとき

前回終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。
ただし、起動方法によって「送信先選択」の設定は次のようになります。
- 受信メール詳細画面から起動した場合は、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- 「チャット」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元が送信先から外れているときは、送信先に追加されます。

■送信元がチャットメンバーに設定されていないとき

- チャットグループに登録されているときは、送信元が登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- チャットグループにも登録されていないときは、送信元だけが、チャットメンバーに設定されます。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくことにより、簡単な操作でチャットメンバーに設定することができます。

- 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
- チャットグループは5件まで登録できます。
- 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。
- チャットグループにメンバーを登録すると、メンバー名を編集したり、画像を設定することができます。

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「チャットグループ」

「チャットグループ一覧画面」が表示されます。

チャットグループ一覧画面

機能メニュー➡P.223

2 チャットグループを選択

「グループメンバー一覧画面」が表示されます。

グループメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.223

3 「<未登録>」を反転▶ [編集] ▶メールアドレスを入力

半角50文字まで入力できます。
メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

■ 電話帳などを引用してメールアドレスを入力する場合

「〈未登録〉」を選択すると、電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力できます。

おしらせ

- チャットメンバーに登録するメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。それ以外の場合は、@マークより後ろの部分を入れても入れなくても構いません。

おしらせ

- 登録したメールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されている場合は、画像も設定されます。

機能 チャットグループ一覧画面（P.223）

チャット起動……チャットグループのメンバーをチャットメンバーとして、チャットメールを起動します。

グループ名編集……グループ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

グループ名初期化……グループ名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 グループメンバー一覧画面（P.223）

編集……グループメンバーのメールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え……グループメンバーをメールメンバーと入れ替えます。

メンバー詳細設定

メンバー名……メンバー名を編集します。全角4文字、半角8文字まで入力できます。

画像……チャット画面に表示する各メンバーの画像をマイピクチャから選択します。

音声（お買い上げ時：女性ボイス1）……チャット画面で読み上げるメンバーの声を設定します。

1件削除・全削除……グループメンバーを1件または全削除します。

おしらせ

<メンバー入れ替え>

- すでに登録されているグループメンバーと同じメールアドレスがメールメンバーに含まれている場合、そのメールメンバーの入れ替えはできません。

チャットの各種設定をする
〈チャット設定〉

1 メール設定画面（P.212）▶「チャット設定」▶以下の項目から選択

お知らせ音設定（お買い上げ時：チャットお知らせ音1）……チャット画面を表示中に、新しいチャットメールを受信したときや送信したときに鳴らすお知らせ音を設定します。
お知らせ音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

チャットメール画像設定（お買い上げ時：有効）……チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。

チャット読み上げ設定（お買い上げ時：無効）……チャット画面でチャットメールを読み上げるか読み上げないかを設定します。

ユーザ詳細設定

ユーザ名……自分の名前を入力します。全角4文字、半角8文字まで入力できます。

画像……チャット画面に表示する自分の画像をマイピクチャから選択します。

音声（お買い上げ時：女性ボイス1）……チャット画面で読み上げる自分の声を設定します。

おしらせ

<お知らせ音設定>
- チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

SMSを作成して送信する
〈SMS作成・送信〉

- SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 ✉ ▶「SMS作成」
「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

機能メニュー ➡P.225

2 「To <宛先参照／入力>」
宛先参照／入力の選択メニューが表示されます。

3 宛先を入力
SMSの宛先は1件のみ入力できます。

■ 電話帳から参照する場合
▶「電話帳」▶参照先を検索（P.92）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ アドレス一覧から参照する場合
▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ 宛先を直接入力する場合
▶「直接編集」▶宛先を入力
宛先は半角21文字まで入力できます。

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合
▶＋（0（1秒以上））、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力
携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。
また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

4 「📄」
「本文入力画面」が表示されます。

本文入力画面

5 本文を入力
入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、全角／半角問わずすべての文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号を160文字まで入力できます。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

6 ✉ ［送信］
メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。
送信済み、未送信のSMSを再編集するには
→P.208、210

おしらせ

- 以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
  - 宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれているとき
  - 宛先の先頭以外に「＋」が含まれているとき
  - 宛先にスペースが含まれているとき

おしらせ

- 電波状況や送信する文字の種類、相手側の端末によっては文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 本文編集中に改行することができます。改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- マルチナンバーの付加番号からはSMSの送信ができません。通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMSを作成・送信できません。

SMS送達通知について＜SMS送達通知表示＞

「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS送達通知が保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。

SMS送達通知（ ）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択します。

SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知を選択しても表示できます。SMS送達通知は題名に「SMS送達通知」と表示されます。

機能 新規SMS画面（P.224）

送信……SMSを送信します。

送信プレビュー……送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。

保存……編集中のSMSを保存BOXに保存します。iモードメールと合わせて最大20件まで保存できます。保存したSMSはあとで送信できます。

SMS送達通知設定※……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

- **要求する**……SMSの送信後にSMS送達通知が届きます。
- **要求しない**（お買い上げ時）……SMSを送信してもSMS送達通知は届きません。

SMS有効期間設定※（お買い上げ時：3日）……送信したSMSが圏外などで届かなかった場合に、SMSセンターに保管する期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を選択すると一定時間後、再送した後にSMSセンターから削除します。

SMS本文入力設定※……SMSの本文の入力方法を設定します。

- **日本語入力**（お買い上げ時）……全角／半角問わずすべての文字を70文字まで入力できます。
- **半角英数入力**……半角の英数字を160文字まで入力できます。

本文消去……本文だけを消去します。

SMS削除……編集中のSMSを削除します。

※：設定中のSMS1件に限り有効です。すべてのSMSに設定を保持させたい場合は、「メール設定」（P.212）で設定してください。

おしらせ

- メール設定画面で「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、電源を切った後でも設定は保持されますが、機能メニューで「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、設定中のSMS1件に限り有効です。

SMSを受信したときは 〈SMS受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

- SMSを受信したときの動作はｉモードメールを受信したときと同じになります。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じになります。→P.196

おしらせ

- mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。

新着SMSを表示する

- 受信メール一覧画面では、受信したSMSの題名に本文の冒頭が表示されます。
- 受信したSMS送達通知の題名は「SMS送達通知」と表示されます。
- 留守番着信通知の場合は、「留守番　着信通知」と表示されます。留守番電話メッセージ件数通知の場合、受信メール一覧画面の題名は「留守番　テレビ電話」と表示されます。

1 待受画面表示中▶●▶「 」を選択

メール

■ 未読メールの一覧を表示する場合

▶ 待受画面表示中▶◉▶✥で「✉」を選択

「未読メール一覧画面」が表示されます。

未読メール一覧画面

機能メニュー➡P.209

おしらせ

- ●受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- ●表示したSMSの送信元を反転表示した状態で◉［選択］を押すと、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、SMSの作成を行えます。（Phone To機能／AV Phone To機能／Mail To機能）。→P.178

受信したSMSに返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送します。

●題名の入力はできません。

「新たに本文を入力して返信する」→P.199

おしらせ

- ●送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- ●FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「↩」／「↑」のアイコンは表示されず「✉」のアイコンの表示のままとなります。
- ●2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバー宛てのSMSに返信できません。

SMSがあるかどうかを問い合わせる 〈SMS問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信することができます。

●SMSセンターに保管されるのは、以下の場合です。

- FOMA端末の電源が入っていないとき
- 「圏外」が表示されているとき
- 受信BOXが満杯のとき
- セルフモード設定中

1 ✉▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、◉［選択］を押します。センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。

問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

SMSの設定を行う 〈SMS設定〉

SMSセンターについて設定する

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「SMSセンター設定」▶以下の項目から選択

ドコモ……ドコモのSMSセンターを利用します。

ユーザ設定……SMSセンターのアドレスを入力後、「International/Unknown」を選択して、他社のSMSセンターを利用します。

リセット……「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

- ●入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「*」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

その他のSMSの設定について

その他のSMS設定については、「メール設定画面」の「SMS設定」（P.212）を参照してください。

- SMS送達通知設定
- SMS有効期間設定
- SMS本文入力設定

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）がさらに便利になります。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

ｉモードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで（メール連動型ｉアプリは5件まで）保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量によって変動します。なお、部分的に取得したｉアプリも保存可能件数に含まれます。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信メールフォルダおよび受信メールフォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が付き、変更できません。ただし、ｉアプリにオリジナルロック設定中はフォルダ名が「ｉアプリ」になります。
- メール連動型ｉアプリ専用のフォルダが5件ある場合、すでに保存されているメール連動型ｉアプリ専用のフォルダを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。
- 同じ受信メールフォルダ、送信メールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでに保存されている場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- BOXロックの設定中は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。BOXロックを解除してください。
- メール連動型ｉアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型ｉアプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用できます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- 有料ｉアプリをダウンロードしようとしたときには、確認のメッセージが表示されます。→P.175

1 ソフトを選択

ダウンロードが完了し、「完了しました」というメッセージが表示されたら◉［選択］を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合

▶ダウンロード中▶◉［Cancel］またはCLR

■ ソフト設定画面が表示された場合

▶ソフトを設定▶「YES」

ソフトの設定について→P.230

2 「YES」

ソフトを起動すると画面下に「　」が表示されます。ｉアプリDXを起動した場合は「　」が表示されます。

■ ソフトを起動しない場合

▶「NO」

● 部分的に取得したｉアプリの残りのデータを取得する

「ソフト一覧画面」（P.229）や「ICカード一覧画面」（P.243）で、部分的に取得したｉアプリ（　）を選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。

すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

- 残りのデータが正しくない場合などは、データの取得ができません。この場合、取得操作を行うと部分的に保存されていたデータは削除されます。

● 管理情報のみが存在しているｉアプリの残りのデータを取得する

「ｉCお引っこしサービス」（P.242）を利用し、対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしていない状態では、ICカード内データは使用できません。この場合、「ソフト一覧画面」（P.229）や「ICカード一覧画面」（P.243）で、管理情報のみが存在するｉアプリ（ ）として表示されます。

- 管理情報のみが存在しているｉアプリを選択すると、その管理情報を持つｉアプリの残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータの取得を行うことができます（ｉアプリによって、自動的にデータを取得する場合と、データを取得するサイトが表示される場合があります）。

おしらせ

- ｉアプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- 端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用するｉアプリ、またはｉアプリDXをダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。ソフトによっては、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによってはダウンロード後に起動の確認画面が表示されないことがあります。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
〈ソフト情報表示設定〉

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」

■ 確認しない場合
▶「表示しない」

ｉアプリを起動する

ｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

「ソフト一覧画面」が表示されます。

■ ｉモードでｉアプリを検索する場合
▶「ｉモードで探す」

ソフト一覧画面

機能メニュー ➡P.230

2 ソフトを選択

ｉアプリを終了する

1 CLR（1秒以上）または ▶「YES」

■ソフトを作成される方へ

ｉアプリのソフトを作成して正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。MENU ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に操作します。ソフトのトレース情報が、発生した順に表示されます。機能メニューから「情報コピー」を選択すると、トレース情報をコピーできます。機能メニューから「情報削除」を選択すると、トレース情報を削除できます。

おしらせ

- ソフトの起動中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークがかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、ｉアプリの通信中は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトの起動中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されない場合があります。
- ソフトによってはmicroSDメモリーカードに、利用するデータ（ｉアプリデータ（microSD））を保存することができます。
- ソフトによっては、ｉアプリからPhone To（AV Phone To）機能やWeb To機能を利用することができます。ただし、ｉアプリ待受画面からはご利用になれません（ｉアプリ実行中は利用可能です）。

おしらせ

- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能やｉC通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ｉアプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「⇋」が点滅します。この際、通信料はかかりません。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。
- 以下の場合は、ｉアプリを起動できません。
  - 静止画の編集中
  - ｉモーションや着うたフル®をダウンロード中
- ソフトによっては、横画面または全画面で表示される場合があります。
- 全画面で表示されるソフトによっては、電池残量を示すアイコンの表示と実際の電池残量が異なる場合があります。

機能 ソフト一覧画面（P.229）／ICカード一覧画面（P.243）

ソフト設定……ソフトの各種設定を行います。設定後、✉［完了］を押すと設定を終了します。

待受画面設定→P.238

通信設定……ｉアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。

待受画面通信……待受画面に設定したｉアプリが通信するかしないかを設定します。

アイコン情報……ｉアプリを起動したときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。

着信音／画像変更……ｉアプリDXを起動したときに電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「許可する」に設定した場合は、自動的に着信音、画像、メニューアイコンが変更されます。「変更ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。

電話帳／履歴参照……ｉアプリDXを起動したときに電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。「許可する」に設定した場合は、自動的に電話帳や履歴を参照します。

位置情報利用……ｉアプリDXを起動したときに位置情報の取得を許可するかしないかを設定します。「利用する」に設定した場合は、自動的に位置情報を取得します。

省電力設定……ｉアプリ実行中に省電力モードに移るかどうかを設定します。FOMA端末を閉じたときにｉアプリを一時停止するかどうか、またはｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合に「各種設定」の「照明設定」の設定に従ってｉアプリを一時停止するかどうかを設定します。

ソフト情報→P.231

バージョンアップ→P.238

一覧表示切替……ｉアプリを一覧表示する方法を「タイトル画像＋アイコン／アイコン／ソフト名」から選択します。

ｉアプリTo設定→P.237

自動起動時刻設定→P.236

デスクトップ貼付→P.115

microSDへ移動……本体のｉアプリおよびｉアプリデータをmicroSDメモリーカードに1件移動します。
「microSDメモリーカード内のｉアプリを表示する」→P.239

保存容量確認……ｉアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>
- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>
- 本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはｉアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（省電力設定）>
- 「閉じたとき」を「設定する」に設定すると、FOMA端末を閉じたときにソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- 「タイマー」を「設定する」に設定すると、ｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合、「各種設定」の「照明設定」の設定に従ってソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<削除>
- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型ｉアプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにロックが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ソフト自体の削除を行う際にICカード内のデータを削除する必要があるものがあります。このようなソフトは「1件削除」では、確認画面に従ってソフトを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行います。なお、「選択削除」または「全削除」の場合はソフトを起動できないため、事前にデータを削除してからソフトの削除を行ってください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによっては削除できないことがあります。

<microSDへ移動>
- FOMA端末本体のｉアプリをmicroSDメモリーカードに移動する場合、FOMA端末本体にあるｉアプリデータもmicroSDメモリーカードに移動されます。
- メール連動型ｉアプリをmicroSDメモリーカードに移動してもFOMA端末本体にあるメール連動型ｉアプリのフォルダは削除されません。
- microSDメモリーカードにｉアプリを保存できるかどうかは、「ソフト情報」(P.231)で確認できます。

ｉアプリ実行時の音量を調節する 〈ｉアプリ音量〉

ｉアプリの音量を調節します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音量」

2 音量を設定

おしらせ

- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「ｉアプリ音量」を「消去」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード設定中のｉアプリ音量は、マナーモード設定に従います。またオリジナルマナー設定時のｉアプリ音量は、マナーモード設定の「ｉアプリ音量」で再生されます。

ｉアプリの情報を確認する

1 ソフト一覧画面（P.229）▶ ch［機能］▶「ソフト情報」▶ソフト情報を確認

おしらせ

- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。
- ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。

: ｉアプリDX
: メール連動型ｉアプリ
: 「自動起動時刻設定」を設定済み
: 「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
: 「自動起動時刻設定」と「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
: 「ｉアプリTo設定」が設定可
: 「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
: 「ｉアプリTo設定」と「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
: SSL対応ページからダウンロードしたソフト
: microSDメモリーカードにデータを保存できるソフト→P.239
: 部分的に取得したｉアプリ
: おサイフケータイ対応ｉアプリ→P.242
: 管理情報のみが存在しているｉアプリ→P.229
: GPS対応ｉアプリ

セキュリティエラー履歴を確認する

ｉアプリやｉアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」

「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。

セキュリティエラー履歴画面

機能メニュー➡P.232

2 セキュリティエラーの内容を確認

機能 セキュリティエラー履歴画面（P.232）

情報コピー……セキュリティエラーの内容をコピーします。

情報削除……セキュリティエラーの内容を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを起動する項目を選択

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、14種類のソフトがあらかじめ登録されています。

- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
- 十分明るい場所でのご利用をおすすめします。

● 絶対視覚

眼から得た情報の中から瞬間的に正しいものを判断する“絶対視覚”能力を診断・トレーニングするゲームです。「長」、「大」、「色」、「測」、「写」の5種類のトレーニングメニューを用意しています。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「絶対視覚」

■ 終了する場合
▶「やめる」

■ 音量を調節する場合
▶ ✉ [音量]

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「説明」

2「トレーニング」

ゲームがはじまります。

警告

- このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。
  振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損につながる可能性があります。
  遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り過ぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

● PLATINUM SURIKI

空いているマス（ブロック）に1～9の数字を入れるナンバープレースゲームです。縦横に並んだブロックの各列と、太枠で囲まれた3×3のグリッドに同じ数字が入らないようにします。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「PLATINUM SURIKI」▶ ｉα [YES]

■ 終了する場合
▶「終了」▶ ｉα [YES]

■ サウンドを鳴らさない場合
▶「オプション」▶「サウンド：オン」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「チュートリアル」

2「数力をプレイ」

3 難易度を選択 ▶ ｉα [OK]

ゲームがはじまります。

■ 続きからはじめる場合
▶ ｉα [YES]

iアプリ

● デコメをつくろう

ｉモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に作成することができます。また、オリジナルの署名を作成し、画像として登録することもできます。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「デコメをつくろう」

■ 終了する場合
▶ i [終了]

2 「デコメ絵文字」

デコメ絵文字を作成します。

■ オリジナルの署名を作成する場合
▶「ネームプレート」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「ヘルプ！」

● 海外旅行便利ツール

外貨換算や忘れ物チェックなどビジネスや海外旅行に便利なツールです。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「海外旅行便利ツール」

■ 終了する場合
▶ ✉ [終了] ▶「はい」

2 項目を選択

● しゃべって翻訳 for N

マイクに向かって主に旅行で使われる日本語、英語を話すだけで翻訳した文章を画面に表示するソフトです。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「しゃべって翻訳_N」

■ 終了する場合
▶ ✉ [終了] ▶「はい」

2 「翻訳」

画面に従って操作し、マイクに向かって話すと翻訳された文章が画面に表示されます。

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「メニュー」▶「チュートリアル」

■ 画面を英語表示する場合
▶ i [En/英]

● モバイルGoogleマップN

インタラクティブな地図や、航空写真、充実したお店やサービスの情報をお楽しみいただけます。拡大・縮小やスクロールが可能で、アメリカやヨーロッパなど、世界16か国以上の詳細な地図や地域情報を参照することができます。

●はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「モバイルGoogleマップN」

■ 終了する場合
▶ ✉ [メニュー] ▶「終了」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶ ✉ [メニュー] ▶「ヘルプ」

● カメラでケンサク！ ERサーチ

週刊誌、TVCM、CDジャケット、ロゴなどをカメラ撮影し、その画像を自動認識してショッピングやキャンペーンなどの関連情報をすばやく入手することができます。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶「カメラでケンサク！ ERサーチ」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶ ✉ [ヘルプ]

2 「検索START!」▶ジャンルを選択▶「カメラ起動」

3 対象物をカメラで撮影▶「OK」

カメラの撮影画像の特徴点※が送信されて関連情報の検索結果画面が表示されます。いくつか候補がある場合は候補一覧画面を表示します。

※：特徴点とは、画像の特徴を数値化したものになります。

4 検索結果画面から項目を選択▶「YES」

インターネットホームページが表示されます。

● 地図アプリ

「地図アプリ」については、P.251をご覧ください。

● iD 設定アプリ

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  ▶ｉMenu▶メニュー／検索▶「iD」

● DCMXクレジットアプリ

DCMXとは、「iD」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがあります。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ アプリの機能

入会申込み･審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1：DCMX mini はお申込時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini 以外のお申込みについては、ｉモードのお申込みページに接続します。

※2：ご利用状況などの確認機能は、DCMX mini のみ可能です。

※3：一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  ▶ｉMenu▶DCMX iD

■ お知らせ

- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■ おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「メイン時計設定」を日本時間に合わせてください。
- G ガイド番組表リモコンの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

■リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応している DVD レコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定方法
  ① DVDレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。
  ② 次に本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法
  初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

おしらせ

- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

● ｉアプリバンキング

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  ▶ｉMenu▶メニュー／検索▶モバイルバンキング▶ｉアプリバンキング

● 楽オク出品アプリ2

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。ガイド表示付きで、はじめて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：
  iα▶iMenu▶楽オク-オークション-

iアプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動するかどうかを設定する 〈自動起動設定〉

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

1 **MENU▶「iアプリ」▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」**

起動日時を設定する 〈自動起動時刻設定〉

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - 電源を切っている場合
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 通信中
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム、スケジュール、To Doリストの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - 同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分未満で起動時刻が設定されていた場合

1 **ソフト一覧画面（P.229）▶ch［機能］▶「自動起動時刻設定」▶でで□（チェックボックス）を選択**

■ **ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合**

▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

■ **起動日時を設定する場合**

▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 **［完了］▶起動日時を設定**

■ **起動日時を設定する場合**

▶日時を選択▶起動日時を入力

■ **自動起動の繰り返しを設定する場合**

▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」

「曜日指定」を選択したときは、で□（チェックボックス）を選択し［完了］を押します。

3 **［完了］**

iアプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。

- ICカード機能からの起動に失敗したソフトについても確認できます。

1 **MENU▶「iアプリ」▶「iアプリ実行情報」▶「自動起動情報」**

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「ソフト」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。起動するソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。情報を通知するデスクトップアイコンについて→P.117
- iモード中やほかのソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。

サイトやメールからｉアプリを起動する　〈ｉアプリTo機能〉

ｉモードのサイトやメールなど、ｉアプリ以外の機能からｉアプリを起動します。

ｉアプリToで起動するかどうかを設定する　〈ｉアプリTo設定〉

ｉモードのサイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード機能、トルカからｉアプリのソフトを起動するかどうかを設定します。
●ソフトごとに設定することができます。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶ ch［機能］▶「ｉアプリTo設定」

2 ◎で□（チェックボックス）を選択▶ ✉［完了］

サイトからｉアプリを起動する

ｉモードのサイトにｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。
●一部ご利用になれないサイトがあります。

1 サイト画面（P.167）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

おしらせ

●通常のｉアプリのソフトとは異なり、ｉモードのサイトからすぐに起動するｉアプリのソフトがあります。
・ｉモードのサイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されていません。ソフト一覧画面にも表示されません。
また、FOMA端末に保存できないソフトもあります。

メールからｉアプリを起動する

受信したｉモードメールにｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、ｉモードメールからソフトを起動することができます。

1 受信メール詳細画面（P.202、205）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

おしらせ

●ｉモードメールを引用返信や転送をしても、ｉアプリの起動指定は引用できません。また、赤外線通信機能やドコモケータイdatalink（P.389）などを使ってメールを転送した場合も、ｉアプリの起動指定は引用できません。

その他の機能からｉアプリを起動する

赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード機能、トルカなど、さまざまな機能からｉアプリを起動します。

■赤外線通信機能
赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信すると、ｉアプリのソフトが起動します。

■バーコードリーダー
バーコードリーダーで読み取ったデータにｉアプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

■ICカード機能
FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざすと、ソフトを起動することができます。

■トルカ
取得したトルカにｉアプリの起動指定が貼り付けられている場合は、トルカからソフトを起動することができます。

おしらせ

＜ICカード機能＞
●以下のような場合、ソフトは起動しません。
・ほかの機能が起動している場合
・通話中
・起動しようとしたソフトがない場合

ｉアプリ待受画面を設定する

〈ｉアプリ待受画面設定〉

選択したｉアプリのソフトを待受画面として設定します。

●待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶ [設定] ▶「待受画面設定」▶「設定する」▶ [完了]

おしらせ

- ●ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。
- ●通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- ●「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- ●ｉアプリ待受画面表示中に「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を設定するか、2in1のモードをBモードまたはデュアルモードにすると、ｉアプリ待受画面は終了します。「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を解除するか、2in1のモードをAモードにすると、ｉアプリ待受画面が再び表示されます。
- ●タスクを切り替えて待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。

ｉアプリ待受画面を実行する

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 ｉアプリ待受画面表示中 ▶ CLR

ｉアプリが実行中になり、画面下に「」または「」が点滅表示されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

〈ｉアプリ待受画面解除〉

● ｉアプリ実行中に解除する

1 ｉアプリ実行中 ▶ CLR（1秒以上）または ☎ ▶ 以下の項目から選択

キャンセル……ｉアプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する……ｉアプリ待受画面に戻ります。

解除する……ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

● ｉアプリ待受画面の表示中に解除する

1 MENU ▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面終了」

2 「設定解除」▶「YES」

■ 解除を中止する場合

▶「終了」

ｉアプリ待受画面の終了情報を確認する

ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」

「待受画面終了情報画面」が表示されます。

待受画面終了情報画面

機能メニュー ➡P.238

機能 待受画面終了情報画面（P.238）

情報コピー……待受画面終了情報の内容をコピーします。

情報削除……待受画面終了情報を削除します。

おしらせ

- ●ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする

〈バージョンアップ〉

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面（P.229）▶ ch [機能] ▶「バージョンアップ」▶「YES」

おしらせ

- ●以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ・BOXロックの設定中
  - ・フォルダロックの設定中
  - ・バージョンアップするメール連動型ｉアプリ専用の送信／受信メールフォルダの使用中

microSDメモリーカード内のｉアプリを表示する 〈microSDソフト一覧〉

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリを一覧表示します。

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「microSD」▶「microSDソフト一覧」

「microSDソフト一覧画面」が表示されます。

機能 microSDソフト一覧画面

- microSDソフト一覧画面では、以下の機能メニューから、ソフト情報の表示、ｉアプリの本体への移動およびｉアプリの削除が行えます。
- microSDメモリーカードを利用するｉアプリのアイコンが表示されます。

ソフト情報……microSDメモリーカードに保存されているｉアプリのソフト情報を表示します。

本体へ移動……microSDメモリーカードに保存されているｉアプリおよびｉアプリデータを本体に1件移動します。

保存容量確認……ｉアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- microSDソフト一覧からｉアプリは起動できません。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリを本体に移動する場合、microSDメモリーカードにあるｉアプリデータも本体へ移動されます。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリを本体に移動できるかどうかは、「ソフト情報」（P.231）で確認できます。

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する 〈microSD保存データ〉

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリデータ（microSD）をフォルダ名で一覧表示します。

1 MENU ▶「ｉアプリ」▶「microSD」▶「microSD保存データ」

「microSD保存データ一覧画面」が表示されます。

機能 microSD保存データ一覧画面

- microSD保存データ一覧画面では、以下の機能メニューから、データ情報の表示とデータの削除が行えます。

データ情報→P.239

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- ソフトからmicroSDメモリーカードに保存するｉアプリデータは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- ソフトからmicroSDメモリーカードにｉアプリデータを保存するかどうかは、「ソフト情報」（P.231）で確認できます。

● データ情報について

項目	情報内容	
作成者	ｉアプリの作成者情報を表示 （情報がないときは「無し」を表示）	
利用可能ソフト	microSDメモリーカードを利用できるｉアプリのソフト名を表示 （情報がないときは「無し」を表示）	
フォルダ利用	ｉアプリがmicroSDメモリーカードを利用できない原因があるかを表示 「利用不可原因」が1つでもある場合は「不可」、すべてない場合は「可能」を表示	
利用不可原因	ソフト動作制限	利用できるｉアプリがないときに表示※
	FOMAカード動作制限	利用したときのFOMAカードと違うときに表示※
	機種制限	FOMA N905iμ以外で利用したｉアプリデータのときに表示※
	シリーズ制限	下記機種以外で利用したｉアプリデータのときに表示※ • 905iシリーズ

※：ｉアプリがmicroSDメモリーカードを利用できない原因がない場合はグレー表示となります。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa ）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の一つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来の FeliCa に対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります（詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください）。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やｉCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失・変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、ダイヤルロック、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。→P.126、247

ｉCお引っこしサービスとは

ｉCお引っこしサービス[※1]は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括[※2]でお取り替え先のおサイフケータイ[※3]に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
ｉCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1：ｉCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2：おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはｉCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※3：ｉCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがｉCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- 以下の場合は、ソフトから IC カード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - 電池が切れた場合
- おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し、一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。

1 （1秒以上）

「ソフト一覧画面」が表示されます。

2 **おサイフケータイ対応ｉアプリを選択**

おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

● おサイフケータイ対応ｉアプリをICカード一覧画面に表示する

1 ▶「おサイフケータイ」▶「ICカード一覧」

「ICカード一覧画面」が表示されます。

ICカード一覧画面

機能メニュー➡P.230

■ ソフトを起動する場合

▶起動するソフトを選択

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、メールの機能を利用するｉアプリは起動できません。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただくことができます。

- 通話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできませんが、FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

1 **FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する**

おサイフケータイ利用時には、「ICカード通知設定」の設定に従って着信イルミネーションの点灯およびバイブレータ（振動）でお知らせします。

FeliCaマーク「」を読み取り機の読み取り部にかざす

おしらせ

- 電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません）。ただし、電池パックを取り付けていないとき、また取り付けていても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ICカード機能をご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FeliCaマークの面を読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- FeliCaマークをかざしても認識されない場合は、読み取り機の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。
- ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。
- FeliCaマークを読み取り機の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動することがあります。

トルカとは 〈トルカ〉

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

- 取得したトルカは「おサイフケータイ」メニューの「トルカ」内に保存されます。
- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

トルカ

トルカ（詳細）

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

おしらせ

- サイトからトルカおよびトルカ（詳細）を取得する場合は、通常のパケット通信料がかかります。

おしらせ

- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカを取得する　〈トルカ取得〉

読み取り機からトルカを取得します。

1 FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り機にかざす

「ICカード通知設定」の設定に従ってバイブレータ、着信イルミネーションでお知らせし、トルカ取得音が鳴って、取得したトルカやトルカ（詳細）が約15秒間表示されます。

おしらせ

- ほかの機能が起動しているときは、取得したトルカは表示されません。
- トルカは最大100件※までトルカフォルダに保存することができます。保存できるトルカサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
  ※：利用済みトルカフォルダには別途最大20件保存できます。
- トルカ取得音は変更できません。また、音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。「ステップ」に設定した場合は「レベル4」の音量になります。
- ICカードロック設定中、おまかせロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

トルカを表示する 〈トルカビューア〉

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「トルカ」

「トルカフォルダ一覧画面」が表示されます。

トルカフォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.245

2 フォルダを選択 ▶ トルカを選択

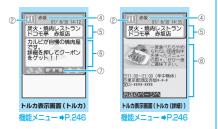
「トルカ表示画面」が表示されます。

● トルカ一覧画面・トルカ表示画面の見かた

トルカ一覧画面

機能メニュー ➡P.246

トルカ表示画面（トルカ）　トルカ表示画面（トルカ（詳細））

機能メニュー ➡P.246　機能メニュー ➡P.246

①フォルダのタイトル
②トルカのカテゴリを示すアイコン
③トルカの状態

：未読トルカ

：既読トルカ

：有効期限切れトルカ

④場所など（インデックス）
⑤トルカのタイトル
⑥トルカの内容（Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo※機能を利用することもできます）
※：トルカ（詳細）でのみ利用可能です。
⑦トルカ（詳細）を取得
⑧お気に入り登録したことを示すアイコン

おしらせ

● トルカによっては、Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo機能が利用できない場合があります。

機能 トルカフォルダ一覧画面（P.245）

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
FOMA端末には20個までフォルダを追加作成できます。FOMA端末内のフォルダの場合、全角10文字、半角20文字まで入力できます。microSDメモリーカード内のフォルダの場合は、全角31文字、半角63文字まで入力できます。

フォルダ名編集※1……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
FOMA端末内のフォルダの場合、全角10文字、半角20文字まで入力できます。microSDメモリーカード内のフォルダの場合は、全角31文字、半角63文字まで入力できます。

☆マーク一覧※2※3……お気に入り登録したトルカを一覧表示します。

全検索※2※3……項目（インデックス／タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

全フィルタ※2※3……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

全表示※2※3……全検索または全フィルタ機能による表示を元の表示に戻します。

iC全送信※2※3→P.309

赤外線全送信※2※3→P.308

フォルダ削除※1……フォルダを削除します。

保存件数確認※3……FOMA端末内に保存されているトルカの件数を表示します。

トルカ全削除……FOMA端末内に保存されているトルカをすべて削除します。

※1：ユーザ作成フォルダ以外のフォルダでは、「フォルダ名編集」や「フォルダ削除」は行えません。
※2：「microSD」フォルダ内のフォルダのときは利用できません。
※3：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内データは、機能の対象になりません。

機能 トルカ一覧画面（P.245）

フォルダ移動※1※5……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

コピー※1※5……「1件コピー／選択コピー／全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダにコピーします。「複数選択について」→P.38

☆ **マーク一覧**※2※5……お気に入り登録したトルカを一覧表示します。

☆ **マーク／解除**※2……トルカにお気に入りを登録／解除します。

検索※2※5……項目（インデックス／タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

フォルダ内全表示※2※5……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示に戻します。
- トルカフォルダ一覧画面で「全検索」「全フィルタ」「全表示」を実行しているときは「全表示」と表示されます。

ソート※2※5……選択した条件に従ってトルカを並び替えます。

フィルタ※2※5……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

ｉモードメール作成※1※3……トルカを添付したｉモードメールを作成します。

ｉC送信※2→P.309

赤外線送信※2→P.307

microSDへコピー※2→P.298

本体へコピー※4→P.299

保存件数確認※1……FOMA端末内に保存されているトルカの件数を表示します。

トルカ情報※1……トルカの情報を表示します。

削除※5……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※2：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDメモリーカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※5：トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆マーク一覧」を選択したときに利用できません。

機能 トルカ表示画面（P.245）

フォルダ移動※5……移動先のフォルダを選択し、トルカを移動します。

コピー※5……コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします

ｉモードメール作成※1……トルカを添付したｉモードメールを作成します。

ｉC送信※2→P.309

赤外線送信※2→P.307

microSDへコピー※2→P.298

本体へコピー※3→P.299

更新※2※4……トルカ(詳細)を新しい情報に更新します。

画像保存※2※4……トルカ（詳細）の画像を保存します。「通常画像／背景画像」から選択します。

電話帳登録※2……トルカに含まれる電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録します。→P.89

リプレイ※2※4……トルカ（詳細）のFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除※5……トルカを1件削除します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：「microSD」のフォルダ内では利用できません。
※3：microSDメモリーカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※4：本体に保存されているトルカ（詳細）を表示中のときのみ利用できます。
※5：トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆マーク一覧」を選択したときに利用できません。

おしらせ

- トルカによっては、コピー、メール添付送信、ｉC送信、赤外線送信、microSDメモリーカードへのコピー、更新を行うことができない場合があります。

トルカについて設定する
〈トルカ設定〉

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「トルカ設定」▶以下の項目から選択

外部R/Wからの取得……FeliCaマークを読み取り機にかざしたときにトルカ取得を行う（許可する）か拒否する（許可しない）かを設定します。
「許可する」に設定した場合、トルカ取得時にFOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）のトルカとの重複チェックを行うかどうかを設定します。

自動読取設定……読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。
「ON」に設定すると、FOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）の利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

スクロール設定……トルカ表示画面のスクロール行数を「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

おしらせ

<外部R/Wからの取得>
- 重複チェックを「行う」に設定した場合、同じトルカを取得することができません。同じトルカを取得したいときは、「行わない」に設定してください。なお、お買い上げ時は「行う」に設定されています。

<自動読取設定>
- 「OFF」に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。トルカを利用する場合「YES」を選択して本機能を「ON」にしてください。

ICカード機能利用時のイルミネーションとバイブレータについて設定する 〈ICカード通知設定〉

ICカード機能を利用したときに、イルミネーションまたはバイブレータ（振動）で知らせるかどうかを設定します。

1 **MENU ▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「ICカード通知設定」▶以下の項目から選択**

イルミネーション……ICカード機能利用時に着信イルミネーションが点灯するように設定します。

バイブレータ……ICカード機能利用時にバイブレータが振動するように設定します。

ICカード機能をロックする 〈ICカードロック設定〉

ほかの人にICカード機能を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。
- 電源を切ってもICカードロックは解除されません。

1 **待受画面表示中▶3（1秒以上）**

ICカードロックが設定されて「IC」が表示されます。

■ 解除する場合
▶3（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

ICカードロックが解除されて「IC」の表示が消えます。

おしらせ

- 電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けるとICカードロックは自動的に解除されます。
- ICカードロックを設定しているときに電池残量がなくなって電源が切れた場合でもICカードロックは解除されません。

電源を切ったときにICカード機能をロックする 〈電源OFF時ICロック設定〉

電源が入っていないときにおサイフケータイが利用できないよう、ICカード機能をロックします。

1 **MENU ▶「おサイフケータイ」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶「電源OFF時ICロック設定」▶以下の項目から選択**

直前の状態を保持……電源を切る直前のICカードロックの設定と同じになります。

ICカードロックON……ICカードロックの設定にかかわらずICカード機能をロックします。

顔認証機能でICカードロックを解除する

「顔認証設定」で画像を登録し、「解除機能選択」で「ICカードロック」を選択している場合は、本人確認のために顔データの読取認証が行われます。
- 顔データの読取認証ができないときは、「顔認証設定」でキーワードとして登録した画像名を入力すれば解除できます。
- 「顔認証機能を利用する」→P.137

1 **待受画面表示中▶3（1秒以上）**

2 **正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる**

■ 顔データの読取認証が失敗した場合
▶画像名を入力▶「OK」

3 **端末暗証番号を入力**

ICカードロックが解除されて「IC」の表示が消えます。

GPS機能

GPS機能のご利用について

- GPS機能は、動作中に電話やメールの着信があっても動作は継続します。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 現在地確認、位置提供、現在地通知が利用できない条件は以下のとおりです。

機能名	利用できない条件
現在地確認	「圏外」が表示されているとき、テレビ電話中、セルフモード中、キー操作ロック中、ダイヤルロック中、おまかせロック中、FOMAカード未挿入時
現在地通知	「圏外」が表示されているとき、セルフモード中、キー操作ロック中、ダイヤルロック中、おまかせロック中、FOMAカード未挿入時
位置提供	「圏外」が表示されているとき、測位中、セルフモード中、FOMAカード未挿入時

おしらせ

- ｉモードのご契約が必要となる場合があります。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますので、ご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - かばんや箱の中
  - ビル街や住宅密集地
  - 密集した樹木の中や下
  - 高圧線の近く
  - 自動車、電車などの車内
  - 大雨、大雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - 携帯電話の画面・操作ボタン・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

おしらせ

このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。

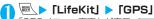
- GPS衛星は常に移動しているため、同じ使用環境であっても日時が異なれば電波の受信状態が異なります。場合によっては位置情報に大きな誤差が生じたり、測位できなくなったりすることがありますのでご注意ください。
- FOMA端末が圏外のとき（または海外）、GPS機能をご利用いただけません。

自分のいる場所を確認する〈現在地確認〉

現在、自分がいる場所を測位して、位置情報を取得します。取得した位置情報を使って、現在地を地図に表示したり、GPS対応ｉアプリを利用することができます。

- 現在地確認をしたときのパケット通信料は無料です。ただし位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1

MENU ▶「LifeKit」▶「GPS」

「GPSメニュー画面」が表示されます。

GPSメニュー画面

2 **「現在地確認」**

「測位結果画面」が表示されます。

■ **中止する場合**

▶ ✉［中断］またはCLR

■ **途中までの測位レベルの位置情報を現在地確認として利用するとき**

▶現在地確認中▶ ◉［利用］

測位結果画面

測位レベル★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）。

測位レベル★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）。

測位レベル★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）。

測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

■ **位置情報を取得し直す場合**

▶ ✉［リトライ］

品質重視モードで位置情報を取得します。

3 以下の項目から選択

地図を見る※1……ｉモードサイトに接続し位置情報から周辺地図などを表示します。

対応ｉアプリを利用……GPS機能に対応したｉアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け※2※3……位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

電話帳登録……位置情報を電話帳に登録します。

画像に付加……画像を選択し、位置情報を付加します。

※1：地図を表示した後、「ｉエリア」を使って周辺情報を調べることができます。「ｉエリア」について詳しくはドコモのホームページをご覧ください。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：送付する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。

おしらせ

● 待受画面表示中に[1]を1秒以上押しても位置情報を取得できます。この場合、「GPSボタンの設定を行う」(P.251）で設定した項目が自動的に選択されます。

現在地確認の設定を行う〈現在地確認設定〉

GPSボタンの設定を行う

待受画面表示中に[1]を1秒以上押したときに自動的に実行される機能を設定します。

1 GPSメニュー画面（P.250）▶「GPS設定」

「GPS設定画面」が表示されます。

GPS設定
1 現在地確認設定
2 現在地通知設定
3 位置提供設定
4 音／バイブレータ設定
5 イルミネーション選択

GPS設定画面

2 「現在地確認設定」▶「GPSボタン設定」▶自動実行する機能を選択

自動実行する機能を「自分のいる場所を確認する」の操作3（P.251）と同様の項目から選択します。
なお、自動実行する機能を選択しないで[1]を押すたびに機能を選択できるように設定することもできます。この場合は「測位毎に確認」を選択します。

現在地確認の測位モードを設定する

1 GPS設定画面（P.251）▶「現在地確認設定」▶「測位モード設定」▶以下の項目から選択

標準モード……短い時間で測位することを優先します。

品質重視モード……時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がります。ただし、電波の状況などにより、精度が上がらない場合もあります。

GPS対応ｉアプリを使用する〈GPS対応ｉアプリ〉

GPS機能に対応したｉアプリを起動します。取得した位置情報を利用することができます。

● GPS機能に対応したｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
● GPS機能に対応したｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトの「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

1 GPSメニュー画面（P.250）▶「対応ｉアプリ」

GPS機能に対応したｉアプリの一覧が表示されます。

2 ｉアプリを選択

「ｉアプリを起動する」→P.229

おしらせ

● 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

地図アプリを利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。
音声で入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

● ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめいたします。
● 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
● 本ソフトはメール連動型ｉアプリのため、2in1のモードがBモード中には利用できません。

- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

● 基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

はじめて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。
91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠地図+ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内容	90日まで	91日以降
今いる場所	• GPSを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。 • 今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を確認したり、みんなの足あとを見たりします。	無料	無料
周辺を調べる	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	• 本ソフトやサーバ、電話帳に登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとPCと登録地点を共有します。	無料	有料
ナビをする	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルナビをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
おしゃべり検索	• 音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、地図を見たりします。	無料	無料
	• 音声で入力することで、簡単に乗換案内をします。	無料	有料
設定／直感★	• FOMA端末を傾けて、3D地図や地図を動かします。	無料	無料
	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使い方の確認をします。	無料	無料

●「地図アプリ」TOPメニューの画面と操作について

- 画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。
- 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOPメニュー画面

TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

■会員登録をせずに91日を過ぎた場合

91日以降、最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。
また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

※ 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン🏠地図+ナビ」のサイトで会員登録します。

● 地図の画面と操作について

■地図表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

■地図表示時のボタン操作

操作ボタン	動作
[メニュー]	メニューを表示します。
●	クイックアクセスメニューを表示します。
[拡縮]	縮尺を示すバーが表示されます。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。[閉じる]を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
	地図を上下左右に移動します。
CLR	メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻ります。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

操作ボタン	動作
[周辺を調べる]	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
[ココへナビ]	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
[ココを送信]	表示している地図のURLをメールで送信します。
[ココを登録]	地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有することができます。
● [地図へ]	クイックアクセスメニューを閉じます。
1 [3D パノラマ]	3D交差点やパノラマ画像が閲覧できるポイントを表示します。ポイントを選択すると、3D交差点やパノラマ画像を見ることができます。
2 [ビルテナント]	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、クリックで確認できます。

● 周辺情報の検索結果の画面と操作について

- 画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。
- 検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

■周辺情報の検索結果画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

■周辺情報の検索結果表示時のボタン操作

- 検索結果の店舗などにカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。

操作ボタン	動作
●	検索結果の詳細情報を確認します。
	地図を上下左右に移動します。
5	表示している地図を中心にして再検索します。
4	前の検索結果を見ます。
6	次の検索結果を見ます。
[メニュー]	メニューを表示します。
[拡縮]	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。[閉じる]を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

● ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的まで案内（ナビゲーション）します。

1 TOPメニュー画面（P.252）▶「ナビをする」▶「ナビをする」▶「出発地」▶以下の項目から出発地を設定

現在地（GPS）……現在地を測位して設定します。

フリーワード検索……キーワードで検索して設定します。

地図上で指定……地図で出発地を設定します。

TEL／〒検索……電話番号・郵便番号で検索して設定します。

住所一覧から……住所を選択して設定します。

ジャンルから……ジャンルを選択して設定します。

履歴から……過去に表示した地図から設定します。

登録地点から……本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。

自宅……自宅の位置情報を設定します

出発地の確認……出発地の情報を確認します。

2「目的地」▶操作1と同様の操作で目的地を設定

3「時間指定」▶以下の項目から選択

現時刻で指定……現在の時間でルートを調べます。

出発時刻指定……出発時間を指定してルートを調べます。

到着時刻指定……到着時間を指定してルートを調べます。

終電を利用……当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

4「条件設定」▶以下の項目から選択▶「上記で設定」

乗換条件……乗り換えの選択基準を「早い／安い／楽々」から選択します。

徒歩ルート……ルートの選択基準を「おまかせ／屋根多い／階段少ない」から選択します。

特急利用……ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。

通常利用車種……利用する車種を選択します。

5「ルートを検索する」

トータルナビの「（アイコン）で検索」と自動車だけの「（アイコン）のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴を表示します。

表示内容	意味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件が揃ったルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

■ ルートを登録する場合
▶「ルートを登録」

6 ルートを選択▶「ナビ・ルート確認」▶「ナビ／ナビ（省電力）」

目的地までのナビゲーションを開始します。

■ ルートを確認する場合
▶「ルート確認」

■ 時刻表を確認する場合
▶「時刻表」

● ルート（自動車）／ナビゲーション（自動車）表示の画面と操作について

● 画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

■ルート（自動車）表示画面

目的地までのルートが表示されます。

GPS機能

■ナビゲーション（自動車）

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

■ナビゲーション利用時のボタン操作

操作ボタン	動作
[メニュー]	ナビを終了し、TOPメニューを表示します。
◉	クイックアクセスメニューを表示します。
[拡縮]	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。[閉じる]を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
	地図を上下左右に移動します。
CLR	現在地の位置に戻ります。
2	交差点モードに切り替えます。
5	ナビゲーションの中止／開始を行います。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

操作ボタン	動作
[結果＆設定]	ルートの検索結果（時刻や料金など）を表示したり、ナビの設定をしたりします。
[経由地を設定]	目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索します。
[リルート]	現在地から目的地までのルートを再度検索します。
◉[地図へ]	クイックアクセスメニューを閉じます。
1 [ルート消去]	表示しているルートを消去します。
2 [モード切替]	交差点モードに切り替えます。

● おしゃべり検索を利用する

おしゃべり検索メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内を確認したり、地図を見ることができます。

＜例：周辺情報のおしゃべり検索を利用する場合＞

1 TOPメニュー画面（P.252）▶「おしゃべり検索」▶「周辺を調べる」

2 音声入力の説明画面▶「音声入力開始」

音声入力画面が表示された後、マイク画面が表示されます。検索したい周辺情報を音声で入力します。

3 音声を認識して確認画面が表示されます。

■ 認識が間違っていた場合
▶「音声再入力」

例：「この辺のコンビニ」を入力した場合

● 設定・ヘルプを利用する

1 TOPメニュー画面（P.252）▶「設定／直感★」▶「設定・ヘルプ」▶以下の項目から選択

会員情報確認……「ゼンリン地図＋ナビ」に会員登録しているかどうかを確認できます。

GPS機能

αの基本設定……地図表示色や文字サイズの設定など、ソフト全般に関する設定をします。

ナビ設定……リルートや音声案内の音量などのナビ全般に関する設定をします。

自宅設定……自宅の場所を登録します。

履歴系クリア……地図やナビなどを利用した履歴を削除します。

使い方の説明／よくある質問／利用規約……使い方の説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

要求に応えて現在の位置情報を提供する 〈位置提供〉

ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供に対応したサービスで設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となることがあります。
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、「位置提供設定」(P.256)の「位置提供」を「ON」に設定する必要があります。また、サービスごとの利用設定が必要な場合があります。
- 位置提供に対応したサービスのご利用については、サービス提供者やドコモのホームページをご覧ください。

おしらせ

- 2in1のモードを問わず、Aナンバーでのみ利用できます。相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。

位置提供の可否を設定する

相手からの現在の位置情報を提供するように要求があったとき、位置情報を提供するかどうかを設定します。

1 GPS設定画面(P.251)▶「位置提供設定」▶「位置提供」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

ON・OFF……要求があったときに位置情報の提供を許可するかしないかを設定します。

許可期間設定※

開始時間……開始時刻を入力します。

終了時間……終了時刻を入力します。

繰り返し設定……「設定なし／毎日／曜日指定」から選択します。

有効期間設定……「繰り返し設定」の「開始日」と「終了日」を設定します。

※：位置提供を許可する期間を設定したときの動作について→P.256

おしらせ

- 「ON」に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
- 開始時間と終了時間に同じ時刻を設定すると以下のようになります。
  - 有効期間設定、繰り返し設定をしていないとき
    設定した時刻から24時間の間、位置提供の許可期間となります。
  - 有効期間を設定しているとき
    「終了日」の翌日の終了時刻まで位置提供の許可期間となります。
  - 繰り返し設定で「曜日指定」を設定しているとき
    指定された曜日の翌日の終了時刻まで位置提供の許可期間となります。

● 位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例1：現在の日時が「2007/12/28　12:05」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合>

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	−	2007/12/28 14:00〜2007/12/28 21:00
毎日	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3〜2008/1/9の毎日 14:00〜21:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28〜2008/1/9の毎日 14:00〜21:00
	設定なし	2007/12/28以降の毎日 14:00〜21:00
曜日指定	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3〜2008/1/9の指定した曜日 14:00〜21:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28〜2008/1/9の指定した曜日 14:00〜21:00
	設定なし	2007/12/28以降の指定した曜日 14:00〜21:00

<例2：現在の日時が「2007/12/28　12:05」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を21:00に設定した場合>

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	ー	2007/12/28 12:05～2007/12/28 21:00
毎日	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3～2008/1/9の毎日 10:00～21:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28～2008/1/9の毎日 10:00～21:00（12/28は12:05～21:00）
	設定なし	2007/12/28以降の毎日 10:00～21:00（12/28は12:05～21:00）
曜日指定	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3～2008/1/9の指定した曜日 10:00～21:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28～2008/1/9の指定した曜日 10:00～21:00（12/28は12:05～21:00）
	設定なし	2007/12/28以降の指定した曜日 10:00～21:00（12/28は12:05～21:00）

<例3：現在の日時が「2007/12/28　12:05」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を10:00に設定した場合>

繰り返し設定	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	ー	2007/12/28 14:00～2007/12/29 10:00
毎日	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3～2008/1/9の間 14:00～翌日10:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28～2008/1/9の間 14:00～翌日10:00
	設定なし	2007/12/28以降 14:00～翌日10:00
曜日指定	開始日：2008/1/3 終了日：2008/1/9	2008/1/3～2008/1/9の間 指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	開始日：2007/12/24 終了日：2008/1/9	2007/12/28～2008/1/9の間 指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	設定なし	2007/12/28以降 指定した曜日の 14:00～翌日10:00

位置提供の測位モードを設定する

1 GPS設定画面（P.251）▶「位置提供設定」▶「測位モード設定」▶以下の項目から選択

標準モード……短い時間で測位することを優先します。

品質重視モード……時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がります。ただし、電波の状況などにより、精度が上がらない場合もあります。

接続先を設定する

※通常は設定を変更する必要はありません。

「サービス利用設定」で接続する接続先を設定します。

1 GPS設定画面（P.251）▶「位置提供設定」▶「接続先設定」▶接続先を選択

■ 接続先を追加する場合
▶「<未登録>」を反転▶[✉]［編集］▶端末暗証番号を入力▶「接続先名称」、「接続先アドレス」を入力▶[✉]［完了］

■ 接続先を編集する場合
▶編集したい項目を反転▶[✉]［編集］▶端末暗証番号を入力▶「接続先名称」、「接続先アドレス」を入力▶[✉]［完了］

■ 接続先を削除する場合
▶削除したい項目を反転▶[ch]［機能］▶「削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

サービス利用設定を行う

「接続先を設定する」（P.257）で設定されている接続先に接続して位置提供に必要な設定を行います。

1 GPS設定画面（P.251）▶「位置提供設定」▶「サービス利用設定」▶設定を行う
設定方法については、サービスの提供者にお問い合わせください。

● 位置提供の要求があると

相手から位置提供の要求があると、現在地を測位して相手に位置情報を提供します。

- ●サービスごとの利用設定で、毎回確認してから位置提供を行うように設定すると、位置情報を提供する前に確認画面が表示されます。

おしらせ

- ●位置情報を送信しても、電波の状況などによりサービス提供者に届いていない場合もあります。
- ●送信先が画面に表示されない場合があります。
- ●公共モード（ドライブモード）中の位置提供については、次のように動作します。
  - ・サービスごとの利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合は、位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
  - ・サービスごとの利用設定で、位置提供を許可に設定した場合は、通知音・バイブレータ・イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- ●イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき
  - ・要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、即座に大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択した後、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
  - ・「YES」を選択した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
  - ・イマドコかんたんサーチについては、ドコモのホームページをご覧ください。

現在の位置情報を通知する
〈現在地通知〉

現在地通知の機能に対応したサービス提供者などに現在地の位置情報を通知します。

- ●現在地通知機能の利用は有料です。
- ●現在地通知に対応したサービスを利用するには、サービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となることがあります。
- ●現在地通知のご利用については、サービス提供者やドコモのホームページをご覧ください。

おしらせ

- ●2in1のモードを問わず、Aナンバーにて位置情報を通知します。

位置情報を通知する相手を登録する
〈現在地通知先登録〉

- ●通知先は5件まで登録できます。
- ●お買い上げ時は未登録です。

1 GPS設定画面（P.251）▶「現在地通知設定」▶「現在地通知先登録」▶「現在地通知先」

「現在地通知先登録画面」が表示されます。

現在地通知先登録画面

機能メニュー ➡P.259

2 ［新規］▶以下の項目から選択

通知先名※……通知先の名称を入力します。

通知先ID……サービス提供者から指定されたIDを入力します。

電話番号※……通知先の電話番号を入力します。

発信時通知設定……通知先として登録した相手に音声電話やテレビ電話をかけたとき、位置情報の通知方法を「する／しない／発信時確認」から選択します。ただし、発信者番号を通知しない場合は位置情報を通知しません。

※：電話帳から引用して入力することもできます。
▶ ［機能］▶電話帳参照入力▶電話帳を選択

3 ［完了］

GPS機能

機能 現在地通知先登録画面（P.258）

新規登録……「位置情報を通知する相手を登録する」→P.258

編集……現在地通知先を編集します。

デスクトップ貼付→P.115

microSDへコピー……現在地通知先をmicroSDメモリーカードにコピーします。「複数選択について」→P.38

iC送信→P.309

赤外線送信→P.307

iC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

電話帳登録……現在地通知先の名称と電話番号を電話帳に登録します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

● microSDメモリーカードの通知先を管理する

FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーした「現在地通知先」の内容の確認や、機能メニューのさまざまな機能を実行します。

1 GPS設定画面（P.251）▶「現在地通知設定」▶「現在地通知先登録」▶「microSD」

「microSD通知先フォルダ画面」が表示されます。

microSD通知先フォルダ画面

機能メニュー➡P.259

2 フォルダを選択

「microSD通知先一覧画面」が表示されます。

microSD通知先一覧画面

機能メニュー➡P.259

3 通知先を選択

「microSD通知先詳細画面」が表示されます。

microSD通知先詳細画面

機能メニュー➡P.259

機能 microSD通知先フォルダ画面（P.259）

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。

フォルダ名編集……フォルダ名を編集します。

フォルダ削除……フォルダを削除します。

機能 microSD通知先一覧画面（P.259）／通知先詳細画面（P.259）

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、通知先をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

コピー……「1件コピー／選択コピー／全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、通知先をほかのフォルダにコピーします。「複数選択について」→P.38

本体へコピー※2……通知先を選択し、本体にコピーします。「複数選択について」→P.38

microSD情報表示※3………microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：通知先詳細画面では1件移動となります。
※2：通知先詳細画面では1件コピーとなります。
※3：通知先詳細画面では利用できません。

通知したい相手を選択して位置情報を通知する 〈現在地通知〉

1 GPSメニュー画面（P.250）▶「現在地通知」▶通知先を選択

現在地を測位して位置情報を通知します。

■ 通知先を直接入力する場合

▶「直接入力」▶通知先IDを入力▶「確定」

おしらせ

- 「位置履歴」（P.260）に緯度・経度が記憶されていても、電波の状況などにより、相手に位置情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知中に中断操作をしても、タイミングによっては相手に位置情報が通知される場合があります。

現在地通知の測位モードを設定する

1 GPS設定画面（P.251）▶「現在地通知設定」▶「測位モード設定」▶以下の項目から選択

標準モード……短い時間で測位することを優先します。

品質重視モード……時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がります。ただし、電波の状況などにより、精度が上がらない場合もあります。

確認した位置情報の履歴を表示する 〈位置履歴〉

現在地確認、位置提供、現在地通知などの位置履歴を表示します。

- 位置履歴は50件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

1 GPSメニュー画面（P.250）▶「位置履歴」

「位置履歴一覧画面」が表示されます。

- 「位置履歴一覧画面」で項目を選択すると「位置履歴詳細画面」が表示されます。

■位置履歴一覧画面の見かた

機能メニュー➡P.260

① 測位した機能名
確認：現在地確認
通知：現在地通知
提供：位置提供
② 測位した日付と時間

■位置履歴詳細画面の見かた

機能メニュー➡P.260

①測位した日付と時間
②測位した機能名
③測位した位置情報の北緯（N）と東経（E）（度・分・秒で表示）
④wgs84（世界測地系※）
⑤測位レベル
⑥現在地通知の通知先の名称または位置提供の送信先の名称
⑦現在地通知の通知先のIDまたは位置提供の送信先ID
⑧位置提供の検索者の名称
⑨位置提供の検索者のID

※：地球上の位置を緯度・経度で表すための基準

おしらせ

- 位置提供利用時には、2in1の各モードで表示される電話帳と照合して位置提供要求者名が表示されます。
- 表示される測位レベルは目安です。実際の誤差と異なる場合があります。
- 測位に失敗した履歴は各機能で使用できません（「検索者に発信」「検索者にメール作成」「削除」を除く）。
- 位置履歴に緯度・経度が表示されていても、電波の状況などにより通知先や提供先に位置情報が届いていない場合があります。
- 位置履歴に記録されている緯度・経度・測位レベルは、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された緯度・経度・測位レベルとは異なる場合があります。

機能 位置履歴一覧画面（P.260）／位置履歴詳細画面（P.260）

地図を見る……iモードサイトに接続し位置情報から周辺地図などを表示します。

対応iアプリを利用……GPSに対応したiアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け※……位置情報URLをiモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

検索者に発信……検索者IDが電話番号の場合、電話をかけます。「Phone To機能」→P.178

検索者にメール作成※……検索者IDがメールアドレスの場合、そのアドレスを宛先としてiモードメール作成画面を表示します。

電話帳登録……位置情報を電話帳に登録します。

画像に付加……画像を選択し、位置情報を付加します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

サイトやトルカなどで位置情報を利用する

サイトやトルカなどで、位置情報を送信するように設定されているリンク先や、位置情報が付加されているリンク先を選択すると、位置情報を送信したり利用することができます。

● 位置情報を送信する

1 サイト画面（P.167）▶位置情報を送信するように設定されているリンク先を選択▶以下の項目から選択

現在地確認……現在の位置情報を取得し送信します。

位置履歴より参照……確認した位置情報の履歴から送信します。

電話帳より参照……電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報から送信します。

● 位置情報を利用する

1 サイト画面（P.167）▶位置情報が付加されているリンク先を選択▶以下の項目を選択

対応ｉアプリを利用……GPS機能に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

地図を見る……ｉモードサイトに接続し、位置情報から周辺地図などを表示します。

メール貼り付け※……位置情報URLをｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

フルブラウザ

フルブラウザで登録したホーム、Bookmarkなどのデータはｉモードで利用することはできません。
また、フルブラウザで設定した内容はｉモードには反映されません。

パソコン向けのインターネットホームページを表示する
〈フルブラウザ〉

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。iモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、一部については表示が可能です。

- フルブラウザでは、以下の2つのタイプを利用できます。
  - ビューアタイプ:ページのスムーズな拡大/縮小機能の利用や、ツールバーによる操作ができます。→P.265
  - スタンダードタイプ:画像保存やマルチウィンドウなどの機能を利用できます。→P.265
- インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- インターネットホームページから画像を保存する場合は、スタンダードタイプをご利用ください。→P.267
- フレーム※1で作成したインターネットホームページを閲覧することができます。また、スタンダードタイプではフレームを選択して表示することもできます。→P.266
- ビューアタイプでフレーム対応のページを表示すると、正しく表示されない場合があります。また、一部のフレームがSSL非対応のページである場合、SSLを示すアイコンが表示されないことがあります。
- フルブラウザでSSL/TLS※2対応のページを表示できます。

※1: 本章での「フレーム」はフレーム撮影のフレームとは異なり、ウィンドウ内を分割して作成されているインターネットホームページのことを指します。
※2: SSL、TLSは認証/暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

ページを表示する

1 [i]▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」

■ ビューアタイプの「デスクトップ貼付」について

「ビューアタイプ」を反転表示させて[ch][機能]を押すと、「デスクトップ貼付」を選択できます。

2 以下の項目から選択

ホーム※1……ホームURLに登録したページを表示します。

Bookmark……Bookmark登録したページを表示します。

ラストURL※2……ビューアタイプで最後に表示したページを表示します。→P.268

URL入力※1……URLを入力してページを表示します。

ビューアタイプ設定※2→P.268

サイト閲覧履歴※3→P.169

ワンタッチマルチウィンドウ※3……ワンタッチマルチウィンドウに登録したサイトに接続します。→P.174

スタンダードタイプ設定※3→P.268

※1: ビューアタイプ/スタンダードタイプそれぞれで設定、入力ができます。
※2: ビューアタイプでのみ利用できます。
※3: スタンダードタイプでのみ利用できます。

■ フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示された場合

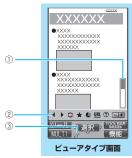
お買い上げ時は「アクセス設定」(フルブラウザを利用するかどうかの設定)が「利用しない」に設定されています。
「アクセス設定」が「利用しない」に設定されている場合は、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。表示される注意事項をよくお読みになり、設定を行ってください。ここで「利用する」を選択すると、「アクセス設定」(P.268)が「利用する」に変更され、設定が保持されます。

おしらせ

- フルブラウザで表示しているページを画面メモに保存することはできません。
- フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをiモードに切り替えて表示することはできません。
- フルブラウザはFlash、PDFには対応していません。
- 待受画面で[マナー]を押してもホームURLをフルブラウザで表示することはできません。
- 「アクセス設定」はFOMAカードを挿入していないと設定できません。
- 「アクセス設定」を「利用する」に設定していても、別のFOMAカードに差し替えた場合は、「利用しない」に変更されます。

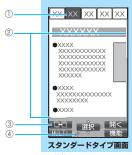
フルブラウザの表示形式について

● ビューアタイプ画面の見かた

ビューアタイプ画面

機能メニュー➡P.267

①ビューポジション
表示しているページの現在の位置➡P.267
② ツールバー
③ FBまたは FB
フルブラウザでインターネット接続中に表示
（オリジナルレイアウト時は「FB」を表示）

● スタンダードタイプ画面の見かた

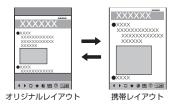
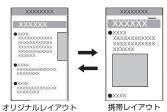
スタンダードタイプ画面

機能メニュー➡P.267

①タブ
- 表示しているページのタイトルが表示（タイトルがない場合は、URLが表示）
- 同時に表示しているページの数に合わせ、タブも表示
- フレームを選択して、フレーム内表示画面（P.266）を表示しているときは「」も表示
- フレームを選択して表示中（P.266）に、別のフレームが通信中のときは「」も表示

②スクロールバー
表示しているページの現在位置
（携帯レイアウト時は表示しません）
③ ウィンドウ切替アイコン
複数のページを開いているとき、［］でページの切り替えができるときに表示
④ FBまたは FB
フルブラウザでインターネット接続中に表示
（携帯レイアウト時は「FB」を表示）

● レイアウトについて

ビューアタイプ、スタンダードタイプそれぞれの画面で、オリジナルレイアウト／携帯レイアウトの2つの表示方法があります。

<ビューアタイプ>

<スタンダードタイプ>

■オリジナルレイアウト

ビューアタイプ：FOMA端末の画面幅でページを表示します。表示サイズを拡大すると上下左右にスクロールして閲覧できます。縮小するとページ全体を一画面で表示することもできます。
スタンダードタイプ：パソコン上で横800×縦600ドットの表示をしたときの大きさと同じようにページを表示します。表示されていない領域は、上下左右にスクロールして閲覧します。

■携帯レイアウト

FOMA端末の画面幅でページを表示します。上下のスクロール操作だけでページを閲覧できます。

■表示方法の切り替え

機能メニューの「表示モード切替」を選択するたびに、オリジナルレイアウト／携帯レイアウトが切り替わります。
ビューアタイプではツールバーでも切り替えることができます。
- 最初に表示されるモードを「ビューアタイプ設定」または「スタンダードタイプ設定」の「表示モード設定」（P.269）で設定することができます。

• 表示方法はフルブラウザ終了時に保持され、次回それぞれのタイプを起動したときに、前回と同じモードで表示されます。

フルブラウザ画面の操作について

● スクロールのしかた

ボタン	説明
(マルチカーソル)	押した方向にリンクを移動しながらスクロールします。 押し続けると、その方向に連続してスクロールします。
▼［📷］▲［マナー］	画面単位で下方向または上方向にスクロールします。
▲［マナー］（1秒以上） ▼［📷］（1秒以上）	

● ツールバーの使いかた

ツールバーはビューアタイプ画面でのみ利用できます。
（メール）［ツール］：ツールバーの表示／非表示の切り替え
（iα）［TOOLBAR］：ページ操作とツールバー操作の切り替え

アイコン	説明
◀	キャッシュに取得済みの前のページに戻ります。
▶	キャッシュに取得済みの次のページに進みます。
(更新)	表示中のページを新しい情報に更新します。
★	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。
(表示切替)	表示方法を切り替えます。
URL	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 (マルチカーソル)で文字などを選択して入力操作を行います。
?	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
－＋	サイトの表示サイズを拡大／縮小します。

● フルブラウザ画面の便利なボタン

ボタン	説明
1	縮小表示 ※スタンダードタイプの携帯レイアウトでは、文字サイズの縮小
2 ※1	「サイト全体から表示したい部分を表示する」→P.268
3	拡大表示 ※スタンダードタイプの携帯レイアウトでは、文字サイズの拡大
4	キャッシュに取得済みの前のページに戻ります。
5	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示
6	キャッシュに取得済みの次のページに進みます。
7 ※2	拡大表示中のページの全体イメージ（ビューポジション）を画面の右下に表示または消去します。
9 ※3	横画面で表示または解除（縦画面に戻る）
0	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示

※1：スタンダードタイプのオリジナルレイアウトでのみ利用できます。
※2：ビューアタイプでのみ利用できます。
※3：スタンダードタイプの携帯レイアウトでは利用できません。

● フレーム対応のページを表示する

スタンダードタイプでは、パソコン向けにフレームで作成されたページをフレーム単位で表示することができます。

1 スタンダードタイプ画面（P.265）▶フレームで作成されたページを表示

2 でフレームを選んで◉［選択］

選択したフレームが表示されます。

フレーム表示画面　　フレーム内表示画面

■ フレーム表示画面に戻る場合

▶CLR

おしらせ

- フレームでの分割数が多いページの場合、すべてのフレームを表示できないことがあります（文字や画像のないフレームとなります）。

● 画像のアップロードについて

インターネットホームページによってはFOMA端末に登録してあるJPEG形式およびGIF形式の画像をアップロードできます。

- 画像をアップロードする方法は、ページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

おしらせ

- 選択した複数の画像の合計が80Kバイトを超える場合、または選択した画像以外のデータとの合計が100Kバイトを超える場合はアップロードすることはできません。
- ページによってはアップロードできない場合があります。
- FOMA端末外へ出力が禁止されている画像はアップロードできません。

機能 ビューアタイプ画面（P.265）／スタンダードタイプ画面（P.265）

前のページへ戻る……現在表示しているページの1つ前に表示していたページに戻ります。

次のページへ進む……「前のページへ戻る」の操作を行う前のページに戻ります。

Bookmark登録……ブックマークに登録します。ビューアタイプとスタンダードタイプ合わせて、最大100件まで登録できます。

Bookmark一覧……Bookmarkフォルダー覧画面を表示します。Bookmarkフォルダは、最少で3（シークレットフォルダを含む）、最大で12作成できます。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

横画面モード切替 ⇔ 横画面モード解除※4……ページを横画面で表示、または解除（縦画面に戻る）します。

表示モード切替……「オリジナルレイアウト」と「携帯レイアウト」を切り替えます。

ビューポジション表示 ⇔ ビューポジション消去※1……拡大表示中のページの全体イメージを画面の右下に表示します。現在の表示位置が赤色で表示され、現在の位置を確認できます。

ホーム登録／表示

- **ホーム登録**……表示中のページをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるのは1件です。
- **ホーム表示**……ホームURLに登録したページを表示します。

リプレイ※2……表示中のページのアニメーションを最初から再生します。

再読み込み……表示中のページを更新します。

文字コード変換※2……表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。新たに通信を行う場合があります。

サイト情報表示

- **タイトル表示**……表示中のページのタイトルを確認します。
- **URL表示**……表示中のページのURLを表示します。
- **証明書表示**……表示中のページがSSL／TLS対応ページの場合にSSL／TLS証明書の内容を表示します。

画像表示設定※2（お買い上げ時：表示する）……画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「🖼」が表示されます。

Referer設定※2（お買い上げ時：送信する）→P.270

Cookie設定※2（お買い上げ時：有効）→P.269

Cookie削除※2→P.270

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

画像保存※3……表示中のページの画像を保存します。

クイック検索※3→P.339

サイト閲覧履歴※3→P.169

ズーム⇔文字サイズ切替※3

- **ズーム**……オリジナルレイアウトの場合に表示される機能です。表示サイズの倍率を「250%／200%／150%／100%／60%／サイト全体表示」から選択します。
「サイト全体から表示したい部分を表示する」→P.268

フルブラウザ

文字サイズ切替……携帯レイアウトの場合に表示される機能です。文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。

ウィンドウ操作※3

新ウィンドウで開く……「マルチウィンドウで表示する」→P.170

ウィンドウを閉じる……表示中のウィンドウを閉じます。

ウィンドウ切替……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。

フレーム表示へ戻る※3……フレーム内表示画面からフレーム表示画面に戻ります。

ｉモードメール作成※3……表示中のページのURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。

デスクトップ貼付※3→P.115

ブラウザ設定／表示※3……スタンダードタイプでは、「リプレイ／画像表示設定／Referer設定／Cookie設定／Cookie削除／文字コード変換」はこのメニュー内に配置されています。

※1：ビューアタイプでのみ利用できます。
※2：スタンダードタイプでは、「ブラウザ設定／表示」の中に配置されます。
※3：スタンダードタイプでのみ利用できます。
※4：スタンダードタイプの携帯レイアウトでは利用できません。

おしらせ

<画像保存>
- PNG形式やBMP形式の画像の場合は、自動的にmicroSDメモリーカードの「OTHER」フォルダ内の「OUDXXX」（XXXは数字）フォルダに保存されます。

● サイト全体から表示したい部分を表示する

スタンダードタイプのオリジナルレイアウトの画面では、サイト全体から表示したい部分を表示することができます。

1 **スタンダードタイプ画面（P.265）▶ch［機能］▶「ズーム」▶「サイト全体表示」**
表示サイズの倍率が60%となり、サイト全体が表示されます。

2 **◈で囲み枠を移動▶●［選択］**
選択した部分が表示されます。なお、表示サイズの倍率は「サイト全体表示」を選択する前に戻ります。

● 最後に表示したページに再接続する〈ラストURL〉

ビューアタイプでページを表示するたびに、表示中のURLが「ラストURL」に記憶され、フルブラウザを終了した際には、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続します。

1 **▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」▶「ラストURL」▶「YES」**

おしらせ

- 以下のような場合は、「ラストURL」に履歴は保存されません。
  - シークレットフォルダのBookmarkからサイトに接続したとき

フルブラウザについて設定する〈ビューアタイプ設定／スタンダードタイプ設定〉

- ビューアタイプ設定またはスタンダードタイプ設定で変更した内容は、別々に保持されます。

1 **▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」▶「ビューアタイプ設定」または「スタンダードタイプ設定」▶以下の項目から選択**

アクセス設定（お買い上げ時：利用しない）……「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」を利用するかどうかの設定をします。

ホーム設定（お買い上げ時：Google（http://www.google.co.jp））……ホームURLの設定を行います。

スクロール設定……ビューアタイプでは、スクロール速度を「高速／低速」から選択します。（お買い上げ時：高速）
スタンダードタイプでは、以下の項目から選択します。

速度設定（お買い上げ時：高速）……スクロール速度を「高速／低速」から選択します。

スクロール中のフォーカス表示（お買い上げ時：表示しない）……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「 」が表示されます。

Cookie設定（お買い上げ時：有効）→P.269

Cookie削除→P.270

Referer設定（お買い上げ時：送信する）→P.270

表示モード設定……ビューアタイプでは、「オリジナルレイアウト／携帯レイアウト」から選択します。（お買い上げ時：オリジナルレイアウト）
スタンダードタイプでは、以下の項目から選択します。

オリジナルレイアウト（お買い上げ時：100%）……画面表示を「250%／200%／150%／100%／60%」から選択します。

携帯レイアウト（お買い上げ時：中）……文字の大きさを「小／中／大／特大」から選択します。

Script設定（お買い上げ時：有効）……ページを表示したとき、JavaScript※1を有効にするかどうかを設定します。ページによってはScript設定を「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。

ビューアタイプ設定確認※2……「ビューアタイプ設定」の設定内容を確認します。

ラストURL初期化※2……記憶されているラストURLを初期化します。

ビューアタイプ設定リセット※2……「ビューアタイプ設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

ウィンドウオープンガード設定※3（お買い上げ時：無効）……JavaScript※1で新規ウィンドウを自動で開かないようにするかどうかを設定します。「有効」に設定すると自動でウィンドウが開かなくなります。

タブ開き方設定※3（お買い上げ時：裏で開く）……新規ウィンドウを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

ワンタッチマルチウィンドウ設定※3……ワンタッチマルチウィンドウを登録／登録解除します。
→P.174

スタンダードタイプ設定確認※3……「スタンダードタイプ設定」の設定内容を確認します。

スタンダードタイプ設定リセット※3……「スタンダードタイプ設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※1：JavaScriptは、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。
※2：ビューアタイプでのみ利用できます。
※3：スタンダードタイプでのみ利用できます。

Cookieについて

Cookie※を利用すると一度アクセスしたインターネットホームページに、効率よくアクセスすることができるようになります。

※：Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておくしくみです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。
Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

- ビューアタイプとスタンダードタイプを個別に設定できます。

Cookieについて設定する

1 [i]▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」▶「ビューアタイプ設定」または「スタンダードタイプ設定」▶「Cookie設定」▶以下の項目から選択

有効……Cookieを常に有効にします。
Cookieを送受信するときに確認を行いません。

無効……Cookieを常に無効にします。

毎回確認（送信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送信するかしないかを選択できます。Cookieを受信するときには確認を行わず、情報がFOMA端末に書き込まれます。

毎回確認（受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを受信するかしないかを選択できます。Cookieを送信するときには確認を行わず、情報を送信します。

毎回確認（送受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送受信するかしないかを選択できます。

おしらせ

- Cookieは、最大件数、または最大容量を超えた場合に使用されないものから順に削除されます。
- ビューアタイプ設定リセットまたはスタンダードタイプ設定リセットを実行するとそれぞれのCookieが削除されます。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されたビューアタイプまたはスタンダードタイプのCookieを削除します。

1 **i**α▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」▶「ビューアタイプ設定」または「スタンダードタイプ設定」▶「Cookie削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

FOMA端末に保存されているビューアタイプまたはスタンダードタイプのCookieがすべて削除されます（Cookieを個別に削除することはできません）。

Refererについて

Referer※を送信するかどうかを設定します。

※：Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかなどの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページによってはRefererを送信しないと、リンク先などにアクセスできない場合があります。

- ビューアタイプとスタンダードタイプを個別に設定できます。

Refererについて設定する

1 **i**α▶「フルブラウザ」▶「ビューアタイプ」または「スタンダードタイプ」▶「ビューアタイプ設定」または「スタンダードタイプ設定」▶「Referer設定」▶以下の項目から選択**

送信する……Refererを送信します。

送信しない……Refererを送信しません。

毎回確認……Refererを送信するときに確認をします。

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXにはカメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■フォルダの内容

● 以下のような項目とフォルダが用意されており、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

フォルダ	フォルダ説明
マイピクチャ	
INBOX	カメラで撮影した静止画、サイトやメール、バーコードリーダーから取得した画像の保存先として選択可能です。 microSDメモリーカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送された画像は自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
デコメピクチャ	デコメール用の画像が内蔵されています。INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※1	デコメ絵文字が内蔵されています。サイトやメールから取得したり、microSDメモリーカードからコピーしたデコメ絵文字が保存されます。
おまかせデコメ	サイトから取得したデコメール用の画像が感情の分類別のフォルダに保存されます。
プリインストール	待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが内蔵されています。
シークレット※2	ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
自作アニメ	連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。

フォルダ		フォルダ説明
microSD	ピクチャ	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG･GIF形式の画像が保存されます。
	デコメ絵文字※1	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したデコメ絵文字が保存されます。
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーションとSWF形式のFlash画像、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像やGIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像が保存されます。
フレーム		フレームが内蔵されています。 サイトから取得したフレームやトルカから取得したフレームは自動的にこのフォルダに保存されます。
スタンプ		マーカースタンプが内蔵されています。 サイトやトルカから取得したスタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
ミュージック		
プレイリスト		FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX		音楽データの保存先として選択可能です。
SD-Audio WMA		パソコンなどからmicroSDメモリーカードに転送した音楽データが保存されます。
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した音楽データが保存されます。
プリインストール		音楽データが内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の音楽データの保存先として選択可能です。
Music&Videoチャネル		
配信番組		保存されている番組が表示されます。
ユーザ作成フォルダ※3		配信番組から移動した番組の保存先として選択可能です。

フォルダ	フォルダ説明
ｉモーション	
INBOX	カメラで撮影した動画、サイトやメールから取得した動画・ｉモーションの保存先として選択可能です。 microSDメモリーカードからコピー・移動したり、赤外線通信などで転送された動画・ｉモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ	INBOXと同様の動画・ｉモーションの保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した動画は自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール	ｉモーションが内蔵されています。
シークレット※2	ほかの人に見られたくない動画・ｉモーションを保管します。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様の動画・ｉモーションの保存先として選択可能です。
microSD SDビデオ※4 microSD マルチメディア※5	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画・ｉモーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存した動画が保存されます。
移行可能コンテンツ	FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した動画・ｉモーションが保存されます。
プログラム	動画プログラム再生に利用するフォルダです。→P.284
メロディ	
INBOX	サイトやメール、バーコードリーダーから取得したメロディの保存先として選択可能です。 microSDメモリーカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール	メロディや効果音が内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のメロディの保存先として選択可能です。
おしゃべり	「おしゃべり機能」で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
microSD	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム	メロディプログラム再生に利用するフォルダです。→P.289

フォルダ	フォルダ説明
マイドキュメント	
INBOX	PDFデータが内蔵されています。サイトやメールから取得したPDFデータの保存先として選択可能です。microSDメモリーカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたPDFデータは自動的にこのフォルダに保存されます。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のPDFデータの保存先として選択可能です。
microSD	FOMA端末からコピーしたPDFデータ、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータが保存されます。
キャラ電	
キャラ電が内蔵されています。サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。	
きせかえツール	
パッケージが内蔵されています。サイトから取得したパッケージは自動的にこの項目に保存されます。	
ドキュメントビューア	
microSD	メールから取得したり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したドキュメントが保存されます。

※1：デコメ絵文字（横20×縦20ドット、ファイル制限なし）のみ保存できるフォルダです。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※3：「フォルダ追加」で20個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。
※4：映像付きの動画・ｉモーションが保存されます。
※5：映像のない音声のみの動画・ｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）が保存されます。

保存した画像を表示する〈マイピクチャ〉

撮影した静止画やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャで表示します。

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイピクチャ」

「フォルダー一覧画面」が表示されます。

マイピクチャのフォルダ内容について→P.272

フォルダー一覧画面

機能メニュー ➡P.302

2 **フォルダを選択**

「画像一覧画面」(ピクチャー一覧）が表示されます。

画像一覧画面の見かた→P.274

■ ｉ モードで画像を検索する場合

▶「ｉ モードで探す」

画像一覧画面

機能メニュー ➡P.277

3 **画像を選択**

「マイピクチャ画面」が表示されます。

で前または次の画像を表示することができます。

■ 通常モードと全画面モードを切り替える場合

▶ [通常／全画面]

全画面モードでは、画像のサイズに合わせて、縦画面表示または横画面表示となります。

マイピクチャ画面

機能メニュー ➡P.277

■ 画像を拡大表示する場合

▶ [ ]

[＋]／ [－] を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。

画像が画面内に収まらないときは、で画像をスクロールできます。

元の表示に戻すときは、 [戻る] を押します。

おしらせ

- 以下の画像は表示できません。
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
- 拡大表示をしているとき、で前または次の画像の切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります）。

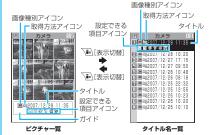
ピクチャー一覧／タイトル名一覧の見かた

● 画像一覧の表示のしかたを設定する〈ピクチャ表示設定〉

1 MENU ▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

ピクチャー一覧（お買い上げ時）……ピクチャー一覧に切り替えます。

タイトル名一覧……タイトル名一覧に切り替えます。

● ピクチャー一覧／タイトル名一覧の見かた

■ピクチャー一覧

画面に9枚の画像が表示されます。

※ 自作アニメは、常にタイトル名一覧で表示されます。

■タイトル名一覧

画面に11件の画像がタイトル名一覧で表示されます。

■画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像
GIF	GIF形式の画像
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、ｉモーション
（青色の音符）	音響効果のあるMP4形式のｉモーション
（オレンジ色の音符）	ASF形式のｉモーション
	MP4形式の再生制限ありのｉモーション
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のｉモーション
	部分的に取得したｉモーション
（緑色の音符）	FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
（青色の音符）	音響効果があり、FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているｉモーション
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

：再生制限付きのｉモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「」が「」になります）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	ダウンロードしたフレーム、マーカースタンプ
	キャラ電撮影したデータ
PDF	PDFデータから画面切り出しして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
QVGA	QVGAサイズの動画／ｉモーションデータ。 ｉモーションの各フォルダでのみ表示されます。
VGA	VGAサイズの動画／ｉモーションデータ。 ｉモーションの各フォルダでのみ表示されます。
	ｉモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ※
	着信音に設定できるデータ※
	位置情報が利用できるデータ
	赤外線送信、ｉC送信が可能なデータ※
	microSDメモリーカードにコピー可能なデータ※
	編集可能なデータ※
	microSDメモリーカードに移動可能なｉモーションデータ※
	10Mバイト超（10Mバイトは含みません）のデータ。 microSDフォルダでのみ表示されます。

※：microSDフォルダでは表示されません。

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

次ページにつづく

■ファイル形式について

フォルダ	ファイル形式
マイピクチャ	
INBOX	JPEG、GIF、SWF
カメラ	
デコメピクチャ	
デコメ絵文字	JPEG、GIF
おまかせデコメ	
プリインストール	JPEG、SWF
シークレット	JPEG、GIF、SWF
ユーザ作成フォルダ	
自作アニメ	－
microSD	JPEG、GIF、SWF
フレーム	IFM
スタンプ	
ミュージック	
プレイリスト	－
INBOX	3GP
SD-Audio	SA1
WMA	WMA
移行可能コンテンツ	SB2
プリインストール	3GP
ユーザ作成フォルダ	
Music&Videoチャネル	
配信番組	3GP、MP4
ユーザ作成フォルダ	
iモーション	
INBOX	MP4
カメラ	
プリインストール	
シークレット	
ユーザ作成フォルダ	
microSD	MP4、ASF（ASF形式は再生のみ可能）
移行可能コンテンツ	SB1
プログラム	－
メロディ	
INBOX	SMF、MFi
プリインストール	MFi
ユーザ作成フォルダ	SMF、MFi
おしゃべり	－
microSD	SMF、MFi
プログラム	－
マイドキュメント	
INBOX	PDF
ユーザ作成フォルダ	
microSD	
キャラ電	
－	AFD
きせかえツール	
－	UCM、UCP
ドキュメントビューア	
microSD	Word、Excel、PowerPoint

■タイトル、ファイル名について

- 撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
  タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年／月／日　時刻※）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  （yyyymmddhhmm：年月日時刻※）
  （静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます）
  ※：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。
- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」となります。

■ファイル制限について

撮影した静止画や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。→P.277、283、289

機能 画像一覧画面（P.274）／マイピクチャ画面（P.274）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集→P.280

タイトル編集※1……画像のタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカードの場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

イメージ表示※1……画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付……画像を待受画面などに設定します。
設定した項目には★が表示されます。
「画面の表示を変える」→P.107
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.74

イメージ情報……画像のファイル名、保存日時などを表示します。

位置情報

地図を見る……画像に付加されている位置情報からｉモードサイトに接続し、周辺地図などを表示します。

メール貼り付け※2……画像に付加されている位置情報をメール本文に貼り付けます。

対応ｉアプリを利用……GPS機能に対応したｉアプリの一覧を表示します。

電話帳登録……画像に付加されている位置情報を電話帳に登録します。

現在地確認から付加……現在の位置情報を取得し画像に付加します。

位置履歴から付加……確認した位置情報の履歴から画像に付加します。

位置情報詳細……画像に付加されている位置情報を確認します。

位置情報削除……画像に付加されている位置情報を削除します。

ｉモードメール作成※2……静止画を添付するか本文内に挿入するかを選択してｉモードメールを作成します。
「画像サイズを変更してｉモードメールやデコメールを作成する」→ P.278

ｉC送信→P.309

赤外線送信・IrSS→P.307

画像表示設定※3……画像の表示サイズを設定します。

標準（お買い上げ時）……画像のサイズに合わせて表示します。

画面サイズで表示……画像のサイズによらず、画面のサイズに合わせて表示します。

通常モード⇔全画面モード※3……画像の表示方法を設定します。
「全画面モード」の場合、画像のサイズに合わせて、縦画面表示または横画面表示となり、「通常モード」の場合、縦画面表示となります。

デスクトップ貼付→P.115

microSDへコピー→P.298

電話帳イメージ登録……画像を電話帳に登録します。
→P.89

ファイル名編集※1……画像のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（"-"、"_"のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限※1……保存した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

保存容量確認※1……画像の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート※1……選択した条件に従って画像を並び替えます。

タイトル名一覧⇔ピクチャ一覧※1……タイトル名一覧／ピクチャ一覧を切り替えます。

4枚画像合成※1→P.279

リトライ※3……アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

PictBridge印刷→P.317

お預りセンターに保存※1→P.278

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

1件削除※3……画像を1件削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1※4……「各種データを表示できないようにする」→P.129

本体へコピー※5→P.299

DPOF設定※5→P.318

コピー※1※5……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.300

※1：画像一覧画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※5：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ利用できます。

おしらせ

<タイトル編集>
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

<イメージ貼付>
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
  - 待受画面、ウェイクアップ表示
  - 電話・テレビ電話の発信／着信
  - メールの送信／受信／問い合わせ／受信結果
  - テレビ電話の応答保留／通話中保留／代替画像／伝言メモ／伝言準備／音声メモ
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像（待受画面、ウェイクアップ表示を除く）

<通常モード／全画面モード>
- GIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像は、通常モードと全画面モードを切り替えても表示は変わりません。

<電話帳イメージ登録>
- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリやトルカから取得した画像
  ②カメラで撮影した静止画
  ③赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカードなどで取得した画像
  ④キャラ電撮影した画像
  ⑤PDFデータから切り出した画像
  ⑥お買い上げ時に登録されている画像

● 画像をお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている画像などをお預かりセンターに保存します。
- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 画像一覧画面（P.274）▶ch［機能］▶「お預りセンターに保存」▶◎で画像を選択▶✉［完了］
画像は最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」
お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

3 ✉［完了］

おしらせ
- 1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメピクチャやデコメ絵文字は保存できません。

■画像を復元する
お預かりセンターに預けている画像データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 画像サイズを変更してｉモードメールやデコメールを作成する

保存した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入します。

1 画像一覧画面（P.274）▶ch［機能］▶「ｉモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままｉモードメールに添付します。これより大きな画像は添付方法を以下の項目から選択します。

　そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

　QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して添付します。

画像挿入……横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイル容量が90Kバイト以下の画像はそのままデコメールの本文に挿入します。これより大きな画像は挿入方法を以下の項目から選択します。

データ表示／編集／管理

そのまま挿入……画像サイズを変更しないで、ファイル容量を90Kバイト以下に変換して挿入します。

SubQCIF縮小挿入……画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

2 処理された画像を確認▶◉［確定］▶メールを作成

■ そのまま添付／そのまま挿入を選択した場合
画像の確認操作はありません。
「iモードメールを作成して送信する」→P.188
「デコメールを作成する」→P.190

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- 横もしくは縦が、横352×縦288ドットより大きな画像は設定できません。ただし、以下のサイズは設定できます。
  - VGA（640×480）、VGA縦（480×640）
  - フルスクリーン（240×427）
  - CIF縦（288×352）
  - QVGA縦（240×320）

1 画像一覧画面（P.274）▶ch［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 ✉［完了］▶◉［保存］

■ 4枚合成をし直す場合
▶✉［取消］

おしらせ

- 画像選択画面で✉［デモ］を押すと、囲み枠のある画像の内容を確認することができます。

アニメーションを作成する 〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成します。

- 画像サイズが横854×縦854ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。
- 20件まで作成できます。

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.279

2 「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 ✉［完了］

機能 自作アニメ一覧画面（P.279）

タイトル編集……自作アニメのタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

自作アニメ設定……「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。
作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

イメージ表示……自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

イメージ貼付……自作アニメを設定する項目を選択します。

イメージ情報……イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。
設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

自作アニメ解除……自作アニメを解除します。

自作アニメを表示する

❶ 自作アニメ一覧画面（P.279）▶自作アニメを選択

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを２つ以上登録しているときは、⊙で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー➡P.280

機能 自作アニメ再生画面（P.280）

イメージ貼付……画像を設定する項目を選択します。

画像表示設定……イメージ表示エリアより小さな画像の表示方法を設定します。

- **標準**（お買い上げ時）……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

リトライ……アニメーションを最初から再生します。

静止画を編集する 〈イメージ編集〉

撮影した静止画などを編集します。

●編集内容と画像サイズは以下のとおりです。

編集の内容	画像サイズ（編集前）
フレーム合成 • フレーム付きの画像にします。→P.281	横854×縦480ドットまで※1 横480×縦854ドットまで※1
フォトレタッチ • セピア調の画像にするなど、画像に効果を付けます。→P.281	横854×縦480ドット以下 横480×縦854ドット以下
マーカースタンプ • ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。→P.281	横2,592×縦1,944ドット※2 横1,944×縦2,592ドット※2 横2,304×縦1,728ドット※2 横1,728×縦2,304ドット※2 横2,048×縦1,536ドット※2 横1,536×縦2,048ドット※2 横1,616×縦1,212ドット※2 横1,212×縦1,616ドット※2 横1,600×縦1,200ドット※2 横1,200×縦1,600ドット※2 横 1,280 × 縦 960 ドット※2 横 960 × 縦 1,280 ドット※2 横854×縦480ドット以下※3 横480×縦854ドット以下※3
文字スタンプ • 入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。→P.282	
トリミング • お好みのサイズに画像を切り抜きます。→P.282	
明るさ • 画像の明るさを調節します。→P.281	
回転 • 画像を左右90度または180度回転します。→P.281	
サイズ変更 • 画像サイズを変更します。→P.281	
逆光補正 • 逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。→P.281	横854×縦480ドット以下 横480×縦854ドット以下
肌色補正 • 肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。→P.281	

※１：横480×縦854ドット、横854×縦480ドット、横480×縦640ドット、横640×縦480ドット、横352×縦288ドット、横288×縦352ドット、横240×縦320ドット、横320×縦240ドット、横240×縦427ドット、横427×縦240ドット、横176×縦144ドット、横144×縦176ドット、横128×縦96ドット、横96×縦128ドット以外の画像はフレーム合成できません。

データ表示／編集／管理

※2：横640×縦480ドット、または横480×縦640ドットに縮小してからの編集となります。
※3：編集項目によって画像サイズ（編集前）との関係で編集できない場合があります。

- フォトモード確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」、「フォトレタッチ」、「肌色補正」、「逆光補正」のみです。
- 「✂」の付いた画像のみ編集できます。

1 マイピクチャ画面（P.274）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶以下の項目から選択

フレーム合成→P.281

フォトレタッチ……画像に効果を付けます。

- **シャープ**……よりシャープな感じの画像にします。
- **ソフト**……よりソフトな感じの画像にします。
- **セピア**……セピア調の画像にします。
- **浮き彫り**……レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
- **ネガ**……ネガ画像にします。
- **ミラー**……左右を反転した画像にします。

マーカースタンプ→P.281

文字スタンプ→P.282

トリミング→P.282

明るさ……◎で画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。

回転……画像を回転させる角度を、「右90度／左90度／180度」から選択します。

サイズ変更……変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小されます。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

逆光補正……逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。

肌色補正……肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

iモードメール作成※1※2……「画像サイズを変更してiモードメールやデコメールを作成する」→P.278

保存※1……編集した画像を保存します。

※1：画像編集後に利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

2 編集後の画像を確認▶◉［確定］

3 ◉［保存］▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

- 編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。

● フレームを重ねる

- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 マイピクチャ画面（P.274）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
◎でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180゜回転する場合
▶✉［回転］

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶ch［機能］▶「取消」

おしらせ

- トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。

● マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 マイピクチャ画面（P.274）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶ch［機能］▶以下の項目から選択

右90度……時計回りに90度回転します。

左90度……反時計回りに90度回転します。

180度……180度回転します。

拡大……2倍のサイズに拡大します。

縮小……1／2のサイズに縮小します。

2 ◎でマーカースタンプの位置を調整▶◉［配置］

■ ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶✉［追加］▶操作1～2を繰り返す

データ表示／編集／管理

おしらせ

- ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。
- マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。

● 文字スタンプを貼り付ける

- 一度に入力できる最大文字数は全角1～15文字、半角3～30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、書体、文字サイズを変更することができます。

1 マイピクチャ画面（P.274）▶ ch［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合

▶ ch［機能］▶以下の項目から選択

文字入力……文字を入力します。

文字色……色を設定します。
色パレットを切り替えるときは ✉［切替］を押します。

書体……「ゴシック体／明朝体」から選択します。

文字サイズ……大きさを「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」から選択します。

2 ✣で文字スタンプの位置を調整▶◉［配置］

おしらせ

- フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

● トリミングする

1 マイピクチャ画面（P.274）▶ ch［機能］▶「イメージ編集」▶「トリミング」▶切り抜く画像サイズを選択

メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

2 ✣で切り抜き枠の位置を調整▶◉［確定］

動画／iモーションを再生する
〈iモーション〉

撮影した動画、iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーションなどは、ミュージックプレーヤー（P.325）で再生します。

1 MENU ▶「データBOX」▶「iモーション」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

iモーションのフォルダ内容について→P.273

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.302

2 フォルダを選択

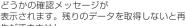
「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。

動画一覧画面の見かた→P.283

■ iモードでiモーションを検索する場合

▶「iモードで探す」

■ 部分的に取得したiモーションの場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが

表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

動画一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.283

3 動画を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、動画の再生がはじまります。

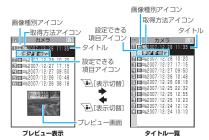
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.328

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.329

おしらせ

- FOMA N905iμ以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
- 再生中に着信などがあった場合や CLR、☎ によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。
- iモーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.275
- タイトル、ファイル名について→P.276

プレビュー表示　　タイトル一覧

■プレビュー表示
画面に6件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画面がタイトル一覧の下に表示されます。
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）などは、プレビュー画面は表示されません。

■タイトル一覧
画面に11件の動画がタイトル一覧で表示されます。

機能　動画一覧画面（P.282）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

ｉモーション編集→P.284

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカードの場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

着信音設定……動画の音声を着信音に設定します。→P.100

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

ｉモーション情報……ｉモーションのファイル名、再生制限、microSDへの移動可否などを表示します。

ｉモードメール作成※1……動画を添付してｉモードメールを作成します。→P.188

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

microSDへコピー→P.298

microSDへ移動→P.300

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

デスクトップ貼付→P.115

ファイル名編集……動画のファイル名を編集します。半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限……保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認……動画の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート……選択した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替……動画の一覧表示のしかたを選択します。表示されるメニューはFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは異なります。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.129

本体へコピー※3→P.299

本体へ移動※4→P.300

コピー※3……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.300

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDメモリーカードに保存されている動画のときのみ利用できます。
※4：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ利用できます。

おしらせ

<着信音設定>
- ●着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
- ●以下の場合は着信音に設定できません。
  - 音声がない動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）を超えていてVGA（640×480）以下の動画やｉモーション
- ●VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面でｉモーションの画像は表示されません。

<待受画面設定>
- ●以下の場合は待受画面に設定できません。
  - 音声だけの動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）より大きいサイズの動画

<保存容量確認>
- ●表示される容量はおおよその目安です。

おしらせ

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
  ②カメラで撮影した動画
  ③赤外線通信やｉC送信、microSDメモリーカードなどで取得した動画
  ④キャラ電撮影した動画

● 動画を好きな順に再生する 〈動画プログラム再生〉

お好きな動画やｉモーションを25件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。
- プログラムフォルダは5つあります

1 フォルダ一覧画面（P.282）▶「プログラム」を選択
「プログラムフォルダ一覧画面」が表示されます。

2 登録するプログラムフォルダを反転▶ch［機能］▶「プログラム編集」

プログラムフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.284

3 登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

4 ✉［完了］
ｉモーションのプログラムフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

機能 プログラムフォルダ一覧画面（P.284）

プログラム編集……プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、動画を変更することができます。

プログラム解除……登録済みの動画を削除し、プログラムを解除します。

動画を編集する 〈ｉモーション編集〉

- 「✂」の付いた動画のみ編集できます。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

1 動画一覧画面（P.282）▶ch［機能］▶「ｉモーション編集」
「ｉモーション編集画面」が表示されます。

ｉモーション編集画面

2 ch［機能］▶以下の項目から選択

ｉモーション切り出し→P.284

ｉモードメール作成※……動画を添付したｉモードメールを作成します。

ファイル制限……「ｉモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.276

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ
- 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
- 編集によって画質が劣化する場合があります。

● 動画の一部を切り出す

1 ｉモーション編集画面（P.284）▶ch［機能］▶「ｉモーション切り出し」

2 「任意サイズ」または「500KB」▶✉［始点］
切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合
▶◉［再生］▶切り出しをはじめたい場面で◉［停止］▶✉［始点］

3 切り出したい最後の場面で◉［停止］▶✉［終点］

■「500KB」を選択している場合
500Kバイトに到達、または最後まで再生すると自動的に停止します。

4 切り出した動画が再生される

再生が終わったら自動的に停止します。

5 ◉［確定］▶◉［保存］▶「YES」

おしらせ

- QCIF（176×144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送信します。

キャラ電を表示する

- キャラ電をダウンロードする→P.177

1 MENU▶「データ BOX」▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。

キャラ電一覧画面

機能メニュー➡P.286

2 キャラ電を選択

「キャラ電画面」が表示されます。

キャラ電画面

機能メニュー➡P.286

キャラ電一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.275
- タイトル、ファイル名について→P.276

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1 キャラ電画面（P.285）▶キャラ電を操作する

■ アクション一覧を確認する場合

▶［＊］

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。

アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

<アクションの詳細を確認する場合>

▶アクションを反転▶✉［詳細］▶詳細を確認▶ch［閉］

■ アクションモードを切り替える場合

▶✉［パーツ／全体］

（アイコン）が表示されているときはパーツアクションモードに、（アイコン）が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

（アイコン）（全体アクション）：感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

（アイコン）（パーツアクション）：頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■ キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（［1］～［9］）または［#］［1］～［#］［9］

「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（［1］［1］～［9］［9］）

<例：全体アクション「怒る」を選択する場合>

※キャラ電は正像表示です。

［全体］

<例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合>

■ 音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。
機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

機能 **キャラ電一覧画面（P.285）／キャラ電画面（P.285）**

キャラ電発信……キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
キャラ電発信画面では電話番号の入力以外に ◎ を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

キャラ電撮影→P.286

タイトル編集※1……キャラ電のタイトルを編集します。全角18文字、半角36文字まで入力できます。

キャラ電切替※2……表示するキャラ電を選択します。

アクション一覧※2……アクション一覧を表示します。

アクション切替※2……アクションモードを切り替えます。

キャラ電情報……キャラ電のファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……キャラ電の保存容量などを表示します。

デスクトップ貼付→P.115

画像表示設定

等倍表示……実際のサイズで表示します。

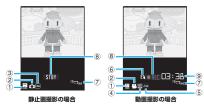
画面サイズで表示（お買い上げ時）……画面のサイズに拡大して表示します。

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2：キャラ電画面でのみ利用できます。

キャラ電を静止画／動画として保存する 〈キャラ電撮影〉

■キャラ電撮影画面の見かた

①現在選択されているアクションモード
　：全体アクション
　：パーツアクション
②撮影モード
　：静止画撮影
　：動画撮影
③「画像保存設定」の設定
　NOR：ノーマル
　FINE：ファイン
　S FINE：スーパーファイン
④「動画保存設定」の設定
　NOR：標準
　：画質優先
　：時間優先
　：動き優先
⑤「ファイルサイズ設定」の設定
　500KB：500KB以下
　2MB：2MB以下
⑥「撮影種別設定」の設定
　：映像＋音声
　：映像のみ
⑦「画像サイズ選択」に設定しているサイズを表示
　176×144：QCIF（176×144）
　117×96：縮小サイズ（117×96）
⑧撮影の状態
　STBY：スタンバイ
　●REC：撮影中
⑨残り撮影時間が「分：秒」で表示（撮影前は非表示）

● 静止画を撮影する

1 キャラ電画面（P.285）▶ch［機能］▶「キャラ電撮影」

「キャラ電撮影画面（静止画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（静止画）

機能メニュー➡P.287

2 アクションを操作▶◉［撮影］

アクションの操作について→P.285

■ **パーツアクションにする場合**

▶✉［パーツ］

■ **撮影した静止画を添付／挿入したｉモードメールを作成する場合**

▶✉▶「画像添付」または「画像挿入」

■ **撮影し直す場合**

▶CLR

3 ◉［保存］

撮影した静止画は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

● 動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面（静止画）（P.287）▶ch［機能］▶「ムービーモード」

「キャラ電撮影画面（動画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（動画）

機能メニュー➡P.287

2 ◉［撮影］▶アクションを操作

アクションの操作について→P.285

■ **パーツアクションにする場合**

▶✉［パーツ］

3 ◉［終了］

■ **撮影した動画を添付したｉモードメールを作成する場合**

▶✉

■ **撮影した動画を確認する場合**

▶ch［機能］▶「再生確認」

■ **撮影し直す場合**

▶CLR

4 ◉［保存］

撮影した動画は、ｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

- 画像サイズ（QCIF（176×144））は変更できません。

おしらせ

- 動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

機能 キャラ電撮影画面（P.287）

キャラ電切替……撮影するキャラ電を切り替えます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

アクション一覧……アクション一覧を表示します。

アクション切替……アクションモードを切り替えます。

画像表示設定

- **等倍表示**……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**（お買い上げ時）……画面のサイズに拡大して表示します。

ムービーモード⇔フォトモード……ムービーモードとフォトモードを切り替えます。

画像サイズ選択※1……撮影する画像サイズを選択します。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

撮影種別設定※2

- **映像＋音声**（お買い上げ時）……映像と音声両方の動画を撮影します。
- **映像のみ**……映像のみの動画を撮影します。

動画保存設定※2

- **標準**（お買い上げ時）……標準の画質、撮影時間で撮影します。
- **画質優先**……よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
- **時間優先**……撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
- **動き優先**……よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。

画像保存設定※1……静止画を撮影するときの画質を「ノーマル／ファイン／スーパーファイン」から選択します。

ファイルサイズ設定※2

- **500KB以下**……500Kバイトまで撮影することができます。
- **2MB以下**（お買い上げ時）……2Mバイトまで撮影することができます。

※1：フォトモードでのみ利用できます。
※2：ムービーモードでのみ利用できます。

おしらせ

<キャラ電切替>

- キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

メロディを再生する 〈メロディ〉

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

1

「フォルダー一覧画面」が表示されます。
メロディのフォルダ内容について→P.273

フォルダー一覧画面
機能メニュー➡P.302

2 フォルダを選択

「メロディ一覧画面」が表示されます。
メロディ一覧の見かた→P.288

■ ｉモードでメロディを検索する場合
▶「ｉモードで探す」

メロディ一覧画面
機能メニュー➡P.289

3 メロディを選択

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。
「メロディ再生中の操作について」→P.289

メロディ画面
機能メニュー➡P.289

おしらせ

- 再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります（「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します）。

メロディ一覧の見かた

■メロディ種別アイコン

アイコン	アイコンの内容
	MFi／SMFのメロディ

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■取得方法アイコン

アイコン	アイコンの内容
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■設定できる項目アイコン

アイコン	アイコンの内容
	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信とｉC通信で送信可能なメロディ
	microSDメモリーカードにコピー可能なメロディ

■タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動作
左右キー	前後の曲の再生
上キー（[マナー]）、下キー（[カメラ]）	音量調節※1※2
0～9、＊、＃、通話キー、メールキー、決定キー、iモードキー	再生の停止
CLR	終了

※1： 音量を調節した後、決定キー［確定］を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2： 再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

機能 メロディ一覧画面（P.288）／メロディ画面（P.288）

●機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

タイトル編集※1……メロディのタイトルを編集します。全角25文字、半角50文字まで入力できます。

ファイル名編集※1……メロディのファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で36文字まで入力できます。

メロディ再生※1……メロディを再生します（メロディ画面を表示します）。

着信音設定……メロディを設定する項目を選択します。

ファイル制限※1……保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。→P.276

連続再生設定※2……同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。

デスクトップ貼付→P.115

iモードメール作成※3……メロディを添付したiモードメールを作成します。→P.188

iC送信※1→P.309

赤外線送信※1→P.307

microSDへコピー→P.298

本体へコピー※4→P.299

メロディ情報……メロディのファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……メロディの保存容量などを表示します。

コピー※4……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.300

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1……選択した条件に従ってメロディを並び替えます。

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メロディをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1： メロディ一覧画面でのみ利用できます。
※2： メロディ画面でのみ利用できます。
※3： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4： microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ利用できます。

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やiC通信、OBEX™通信で受信したメロディはファイル名編集できます。

<着信音設定>
- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、iアプリから取得したメロディ
  ②赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカードなどで取得したメロディ

● メロディを好きな順に再生する〈メロディプログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

1 フォルダ一覧画面（P.288）▶「プログラム」を反転▶ch［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

データ表示／編集／管理

2 [完了]

メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ

- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

きせかえツールを管理する 〈きせかえツール〉

サイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージの内容を確認します。

- お買い上げ時には「拡大メニュー」と「ドコモダケ_N905iμ」が登録されています。
- サイトからのダウンロードについて→P.177

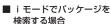
1 ▶「データ BOX」▶「きせかえツール」

「パッケージ一覧画面」が表示されます。

パッケージ一覧画面の見かた→P.290

パッケージ一覧画面

機能メニュー➡P.290

■ iモードでパッケージを検索する場合

▶「iモードで探す」

2 パッケージを選択

■ パッケージを設定する場合

▶[機能] ▶「一括設定」

きせかえツールの設定について→P.120

■ 部分的に取得したきせかえツールを選択した場合

データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったきせかえツールパッケージを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。

残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得は完了できませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていた不正なデータは削除されます。

おしらせ

- 着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります(「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量で鳴り、「消去」に設定されている場合は鳴りません)。ただし、iモーションの場合、「消去」に設定されているときは「レベル2」の音量で鳴ります。

パッケージ一覧の見かた

■パッケージ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているパッケージ
	一部のデータしか取得できなかったパッケージ
	FOMAカード動作制限該当パッケージ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	ダウンロードして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
STBY	待受画面、ウェイクアップ表示
	電話発信画面など、待受画面、ウェイクアップ表示以外の画面
♪	着信音や時刻アラーム音
	メニュー※
	時計表示
Color	配色パターン
Icon	電池アイコンなどのアイコン
	ミュージックプレーヤー再生画面の背景
	イルミネーション

※：フォントが大きいメニューがパッケージに含まれている場合は、「」が一緒に表示されます。

機能 パッケージ一覧画面(P.290)

一括設定……「きせかえツールを設定する」→P.120

タイトル編集……パッケージのタイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

きせかえツール情報……パッケージのファイル名、保存日時などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

画面／音設定初期化……一括設定できる項目（P.120）をお買い上げ時の状態に戻します。

保存容量確認……きせかえツールの保存容量などを表示します。

ソート……指定した条件に従ってパッケージを並び替えます。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

microSDメモリーカードについて

N905iμでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2008年1月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- ｉモードから
  「みんなNらんど」への接続のしかた→P.167
- パソコンから
  http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のご注意

※ フォーマットは必ずFOMA N905iμで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。→P.301

- microSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

● 取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。

1 microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 microSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

3 microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

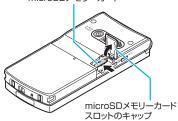
microSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

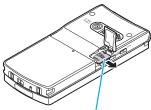
● 取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。

1 microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 microSDメモリーカードを軽く押し込む

microSDメモリーカードを押し込んで手を放すと、microSDメモリーカードが少し出てきます。このとき、microSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

3 microSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

microSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

おしらせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDメモリーカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
- microSDメモリーカードを取り付けた後、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータをコピーすると、別表1（P.294）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も別表1のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、**別表1**のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

おしらせ

- SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
- パソコンなどで編集したファイルをmicroSDメモリーカードに保存するとき、P.294のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA N905iμでは正しく表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードにコピーしたPDFデータ／ドキュメントのファイル名は、オリジナルのファイル名（全角29文字、半角59文字まで）になります。microSDメモリーカードへ保存されているPDFデータ／ドキュメントのファイル名と重複する場合は、オリジナルのファイル名に3桁の数字が付いたものになります。
- microSDメモリーカードのフォーマットなどを行い、SDVIDEO.DATファイル、MMFILE.DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、microSDメモリーカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」または「動画保存先選択」で設定し直してください。FOMA端末の電源を切ったり、microSDメモリーカードの取り外し／取り付けでは解除されません。
- microSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。
  FOMA N905iμでmicroSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
- ほかの機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、FOMA N905iμで対応しているmicroSDメモリーカードとの動作を各メーカーにご確認の上お買い求めください。
- FOMA N905iμ以外の機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

[別表1] microSDメモリーカードのフォルダ構成と格納ファイル（〔 〕内は拡張子）

※ 表中に説明のない英字のイタリック体は、以下のような半角の英数字になります。
aaa：100～999　*bbbb*：0001～9999　*ddd*：001～999　*eeeee*：00001～65535　（10進数）
ccc：001～FFF　（16進数）
※ パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合や、microSDメモリーカード内のデータ修正する場合は、[点線枠]の規則に従ってください。異なる文字を使用すると、ファイルの表示、再生ができない場合があります。

データ表示／編集／管理

● microSDメモリーカードに保存できる件数について

microSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
LCSCLIENT	999件	999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件
DOCUMENT	999件	999件
DICT	1件	999件
IM_DATA	1件	999件

●フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
●microSDメモリーカードのメモリ容量とメモリ空き容量は「分類一覧表示画面」の機能メニューで確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。
●microSDメモリーカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。ほかのmicroSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してください。
●microSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やｉモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。
●音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーすることはできません。
●コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
- SD-PIM以外にコピーする場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。ただし、カメラで静止画を撮影後、直接microSDメモリーカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。
- SD-PIMにコピーする場合、件数がいっぱいというメッセージが表示され、microSDメモリーカードにコピーできません。

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

■電話帳、メールなどのPIMデータの場合

データの種類	詳細
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、位置情報、メモリ番号※1、シークレット属性※2※3、グループ番号※3、グループ名※3、プッシュトーク電話番号※3、プッシュトークグループ番号※4、プッシュトークグループ名※4
スケジュール	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性※2、分類※5、アラーム設定、繰り返し設定
To Doリスト	内容、分類※6、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終更新日時、分類、内容
受信メール※7、送信メール※7、保存メール	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付
ブックマーク※7※8	URL、タイトル
文字入力学習データ	かな漢字変換の学習履歴、ワード予測の学習履歴、T9入力方式の学習履歴
ユーザ辞書	単語、読み

※1：「全コピー」の場合にコピーできます。なお、「追加全コピー」の場合、FOMA端末に同じメモリ番号が登録されているときは、空き番号に登録されます。
※2：シークレット属性は、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
※3：「全コピー」の場合にコピーできます。
※4：「上書コピー」の場合にコピーできます。
※5：分類は、スケジュールの内容で設定したアイコン情報です。
※6：分類は、To Doリストの用件で設定したカテゴリーです。
※7：受信メール、送信メール、ブックマークの全コピーでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。
※8：microSDメモリーカードからFOMA端末へコピーした場合、ｉモードのブックマークは、「ｉモードメニュー」のBookmarkフォルダに登録されます。フルブラウザのブックマークは、「フルブラウザ」のBookmarkフォルダに登録されます。

次ページにつづく

■データBOX内のデータの場合

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、おまかせデコメフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のJPEG、GIF、SWF形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のMP4形式のデータ
メロディ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のMFi／SMF形式のメロディ
PDFデータ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のPDF形式のデータ

■その他のデータ

データの種類	詳細
トルカ	トルカフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のトルカ
現在地通知先	現在地通知先名称、通知先ID、電話番号、自動通知設定

おしらせ

- ユーザアイコンを設定したスケジュールをコピーした場合、「分類」の情報は転送されません。

microSDメモリーカードのデータを表示する

microSDメモリーカードのSD-PIMデータを表示する 〈microSD管理〉

microSDメモリーカードに保存してある電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどのSD-PIMデータを表示します。

1 ▶「LifeKit」▶「microSD管理」

「分類一覧表示画面」が表示されます。

分類一覧表示画面

機能メニュー➡P.296

2 項目を選択

「ファイル一覧画面」が表示されます。

ファイル一覧画面

機能メニュー➡P.297

3 ファイルを選択

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面

機能メニュー➡P.297

4 データを選択

「データ詳細画面」が表示されます。

データ詳細画面

機能メニュー➡P.297

おしらせ

- microSD管理の起動中やデータの詳細表示中は、ほかの機能を起動することはできません。
- ｉモードブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示され、フルブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示されます。
- デコメールは、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。
- 文字入力学習データの場合、データ一覧画面、データ詳細画面を表示することはできません。

機能 分類一覧表示画面（P.296）

microSD情報表示→P.301

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。

- 「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「ｉモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の項目を選択できます。

microSDフォーマット→P.301

microSDチェックディスク……microSDメモリーカードをチェックします。
チェックすることによってmicroSDメモリーカードの不具合を修復できる場合もあります。

おしらせ

<microSDチェックディスク>

- microSDチェックディスク中に　microSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはmicroSDチェックディスクできません。
- microSDチェックディスク中は「 」が点滅します。
- microSDチェックディスク中に[中止]や を押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「 」が表示されます。
- microSD チェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- microSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。
- microSDチェックディスクを行うと、microSDに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
  タイトル、ファイル名について→P.276、288

機能 ファイル一覧画面（P.296）

タイトル編集……ファイルのタイトルを編集します。全角15文字、半角31文字まで入力できます。

追加コピー・上書コピー※……「SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.299

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。

- 「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「ｉモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の項目を選択できます。

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※：文字入力学習データでは、「追加コピー」は利用できません。

機能 データ一覧画面（P.296）／データ詳細画面（P.296）

追加1件コピー・追加全コピー・上書全コピー※……

- 「追加1件コピー」は、1件のデータを追加コピーする機能です。
- 「追加全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「追加1件コピー」と同機能です。
- 「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「上書1件コピー」と同機能です。

「SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.299

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

※：「追加全コピー」「上書全コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できます。

microSDメモリーカードのその他のデータを表示する

microSDメモリーカードに保存してある画像、ｉモーション、メロディなど、データBOX内のデータを表示します。

<例：マイピクチャの画像を表示する場合>

1 フォルダ一覧画面（P.274）▶「microSD」▶「ピクチャ」、「デコメ絵文字」または「イメージボックス」

「microSDフォルダ一覧画面」が表示されます。

例：microSDフォルダ一覧画面（ピクチャ）

機能メニュー➡P.303

2 フォルダを選択▶画像を選択

データ表示／編集／管理

microSDメモリーカードとFOMA端末間でデータをコピーする

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

● 電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをmicroSDメモリーカードに保存します。

1 各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）▶ ch［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー※……いずれかのコピー方法を選択します。
「複数選択について」→P.38

※：受信メール、送信メール、ブックマークでは、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面の機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■詳細画面の機能メニューについて

詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■分類一覧表示画面の機能メニューについて

分類一覧表示画面の機能メニュー（P.296）の「本体からコピー」は、電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモの一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、ブックマークのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ

- ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピー／選択コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
- データをmicroSDメモリーカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
- 電話帳データを1件コピーした場合、プッシュトーク電話帳データはコピーされません。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。

おしらせ

- マイプロフィールの項目をすべてコピーしたい場合には「全データ表示」を行ってからコピーしてください。

● 画像などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダなどに保存されているデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ ch［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データをmicroSDメモリーカードのフォルダにコピーします。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
  - お買い上げ時に登録されているデータのとき
  - FOMA端末外への出力が禁止されているデータのとき
  - microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
  - 対応microSDメモリーカード以外のとき
  - microSDメモリーカードにエラーが発生したとき
  - microSDメモリーカードが挿入処理中のとき
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画／動画のとき
  - 部分的に取得したデータ（ｉモーション、PDF）のとき
- 静止画や動画をmicroSDメモリーカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDメモリーカードへのコピーは中断されます。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。

<画像のコピー>
- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：NEC_mmmm（mmmm＝0001～9999）
- 以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
  - JPEG形式、GIF形式、SWF形式の画像以外のとき
  - コピーするとファイル容量が2Mバイトを超えるとき
- microSDメモリーカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

<動画のコピー>
- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

● SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどを、FOMA端末に追加コピー／上書きコピーします。

- スケジュールを上書きコピーする場合、To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。
- 上書コピー（上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDメモリーカード内のデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  上書コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ファイル一覧画面（P.296）▶ch［機能］▶「追加コピー」または「上書コピー」▶以下の項目から選択

追加1件コピー／上書1件コピー……1件のファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

追加選択コピー／上書選択コピー……選択したファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。「複数選択について」→P.38

追加全コピー／上書全コピー……すべてのファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

■ 文字入力学習データの場合
「上書コピー」のみ可能です。また、「上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー」の選択はできません。

■データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニューについて

- データ一覧画面（P.296）の「追加全コピー」「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の「追加1件コピー」「上書1件コピー」と同機能です。
- データ一覧画面／データ詳細画面（P.296）の「追加1件コピー」は、選択した1件のデータを追加コピーします。

おしらせ

- 「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
- ファイル一覧画面やデータ一覧画面／データ詳細画面から追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）や上書コピー（上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）を選択した場合、プッシュトーク電話帳のデータもコピーされます。
- ファイル一覧画面やデータ一覧画面／データ詳細画面から追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）を選択した場合、microSDメモリーカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。
- 送信BOXがいっぱいのとき、送信メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
- 受信BOXがいっぱいのとき、受信メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。

● 画像などのデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されている画像などのデータをFOMA端末のINBOXフォルダ（デコメ絵文字はデコメ絵文字フォルダ）にコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ch［機能］▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択します。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 静止画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合、コピーは継続されます。動画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、コピーは中断されます。

<画像のコピー>
- 以下の画像はコピーできません。
  - 100Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854 ×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像

<動画のコピー>
- 以下の場合はコピーできません。
  - MP4形式以外の動画のとき
  - 再生できないMP4形式の動画のとき
  - 10Mバイトを超える動画のとき

  ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

<PDFデータのコピー>
- 2Mバイトを超えるPDFデータはコピーできません。

microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする

microSDメモリーカード内のデータを、microSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。

- コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.303

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ch［機能］▶「コピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データを別のフォルダにコピーします。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- コピーが終了するまではmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。

著作権のあるデータをmicroSDメモリーカードとFOMA端末間で移動する〈コンテンツ移行対応〉

著作権のある移動可能なｉモーションや着うたフル®を移動します。

● FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する

- 移動したｉモーションは、ｉモーションの移行可能コンテンツフォルダ（P.273）に保存されます。
- 移動した着うたフル®は、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ（P.272）に保存されます。

1 動画一覧画面（P.282）／楽曲一覧画面（P.326）▶ch［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

● microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する

- 移動したｉモーションは、ｉモーションのINBOXフォルダに保存されます。
- 移動した着うたフル®は、ミュージックのINBOXに保存されます。

1 フォルダ一覧画面（P.282、326）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

「動画一覧画面」（P.282）／「楽曲一覧画面」（P.326）が表示されます。

2 ch［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動・選択移動・全移動……いずれかの移動方法を選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 移動処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- ｉモーションや着うたフル®の移動可否は「ｉモーション情報」（P.283）、「ミュージック情報」（P.327）やアイコン（P.275、326）などで確認できます。

microSDメモリーカードの管理について

microSDメモリーカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDメモリーカードをフォーマットする

※ フォーマットは必ずFOMA N905iμで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

- microSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1 分類一覧表示画面（P.296）▶ ch［機能］▶「microSDフォーマット」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「YES」

おしらせ

- フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。

microSDメモリーカードの使用状況を確認する

microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

- microSDメモリーカードに保存できる件数について→P.295

1 分類一覧表示画面（P.296）▶ ch［機能］▶「microSD情報表示」

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1 USBモード設定画面（P.302）▶「microSDモード」

「microSDモード」に設定すると、「SD」が表示されます。

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

microSDモード中にmicroSDメモリーカードが挿入され、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合は、「 」が表示されます。

パソコンのマイコンピュータに、microSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。

パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

■ お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の着信イルミネーションが点滅している状態では、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

USBモードを設定する 〈USBモード設定〉

パソコンやプリンタなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

●USBモードには、「通信モード」、「microSDモード」、「プリントモード」、「MTPモード」があります。

<通信モード>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）

<microSDモード／MTPモード>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）

<プリントモード>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）

1 MENU ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」

「USBモード設定画面」が表示されます。

USBモード設定画面

2 以下の項目から選択

通信モード…外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。

- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合

microSDモード…外部接続端子をmicroSDメモリーカードのリーダー／ライターとして使います。

- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合（FOMA端末とmicroSDメモリーカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません）

プリントモード…外部出力端子をPictBridge印刷用に使います。

- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合／FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続しているが、プリントの準備ができていない場合
- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続され、プリントの準備ができている場合

MTPモード…外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。

- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合

フォルダとデータを操作する

データBOXの各フォルダ一覧画面やmicroSD フォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

■移行可能コンテンツフォルダについて

●ミュージックの場合、以下の「 機能 各データのフォルダ一覧画面」の「フォルダ追加」「フォルダ名編集」「フォルダ削除」「保存容量確認」の機能メニューを利用できます。

●ｉモーションの場合、以下の「 機能 microSDフォルダ一覧画面」と同様の機能メニューを利用できます。

フォルダを作成／編集／削除する

機能 各データのフォルダ一覧画面

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

デスクトップ貼付※1→P.115

フォルダ削除……データが保存されているフォルダも削除できます。
- ミュージックでは端末暗証番号入力後に、削除方法を「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。
「複数選択について」→P.38

全削除※2※3……保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

プログラム編集※4……プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。
「メロディを好きな順に再生する」→P.289

プログラム解除※4……プログラムを解除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※1：ミュージックでのみ利用できます。
※2：マイピクチャでは「画像全削除」、iモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」、マイドキュメントでは「ドキュメント全削除」となります。
※3：ミュージック、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ、Music&Videoチャネルでは利用できません。
※4：メロディのプログラムフォルダ反転時のみ利用できます。

おしらせ

<フォルダ追加>
- 移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

<フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除>
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」、「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - 設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 自作アニメ、プログラムは解除されます。
  - スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。

機能 microSDフォルダ一覧画面（P.297）

フォルダタイトル編集※1……フォルダのタイトルを編集します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※2

フォルダ作成※1……タイトルを入力してフォルダを作成します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※2

DPOF印刷※1※3……「保存した画像を印刷する」→P.317

フォルダ削除……フォルダを削除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※1：「イメージボックス」や「デコメ絵文字」では利用できません。
※2：iモーションの移行可能コンテンツフォルダ、メロディでは全角10文字、半角20文字までの入力となります。
※3：iモーション、メロディ、マイドキュメント、ドキュメントビューアでは利用できません。

おしらせ
- iアプリがmicroSDメモリーカードにデータ保存を行っている場合、microSDメモリーカード内のデータにアクセスしようとすると、操作できないことを通知するメッセージが表示されます。

<フォルダ作成>
- 「デコメ絵文字」、「イメージボックス」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

1 確認メッセージで、「YES」
■ 保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択
データの種類によっては、データの保存領域を共有しているため、フォルダを選択する前にどのデータを削除するかを選択します。

3 [✉]［完了］▶「YES」
データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで[✉]［完了］は表示されません。

FOMAカードで電話帳やSMSを管理する 〈FOMAカード（UIM）操作〉

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数について→P.88
- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

メインメニューから電話帳やSMSをコピーまたは削除する

<例：電話帳やSMSをコピーする場合>

1 MENU ▶「LifeKit」▶「FOMAカード(UIM)操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード(UIM) 操作を終了します。

2 「コピー」

■ 削除する場合
▶「削除」

3 「本体→FOMAカード（UIM）」または「FOMAカード（UIM）→本体」

■ 削除する場合
▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

4 以下の項目から選択

電話帳……電話帳を検索し、一覧画面を表示します。
電話帳の検索のしかた→P.92

SMS……SMSのデータを選択します。

- **受信BOX**……受信BOXの一覧画面を表示します。
- **送信BOX**……送信BOXの一覧画面を表示します。

5 で□(チェックボックス)を選択▶[完了]▶「YES」

FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合は、さらに「YES」を選択します。

FOMAカード（UIM）操作画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.304

機能 FOMAカード(UIM) 操作画面(P.304)

- 電話帳の場合、タブの選択状態などによって利用できる機能が異なります。

コピー開始※1……コピー操作を開始します。

削除開始※2……削除操作を開始します。

1件選択……データを選択します。

全選択……すべてのデータを選択します。

1件解除……データの選択を解除します。

全解除……すべてのデータの選択を解除します。

詳細表示……データを詳細表示します。

※1： コピー画面でのみ利用できます。
※2： 削除画面でのみ利用できます。

電話帳詳細画面から電話帳をコピーする

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「FOMAカードへコピー」または「本体へコピー」▶「YES」

電話帳の保存先（本体またはFOMAカード）によって、ch［機能］を押したときに表示されるメニューは異なります。また、FOMAカードへコピーする場合は、さらに「YES」を選択します。

メール画面からSMSを移動またはコピーする

- メール画面でのFOMAカード操作は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面の機能メニューで行えます。

<例：本体の受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーする場合>

1 受信メール一覧画面（P.202、204）▶SMSを反転

データ表示／編集／管理

2 ch［機能］▶「FOMAカード操作」▶「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」

■ FOMAカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合

▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」

「受信BOX」フォルダへ移動またはコピーされます。

おしらせ

<電話帳>

- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、「グループなし」に登録されます。

<SMS>

- 送信したSMSをコピーした場合は、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知のみのコピーはできません。
- FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 2in1のBナンバー宛のSMSを移動またはコピーした場合は、Aナンバー宛のSMSとして保存されます。

赤外線通信／ｉC通信について

赤外線通信機能／ｉC通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- FOMA端末の赤外線通信／ｉC通信によるデータ転送機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC™1.1規格に準拠していても転送できないデータがあります。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- 転送できるデータは次のとおりです。
  - 電話帳
  - マイプロフィール
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - スケジュール
  - To Doリスト
  - 送信メール、受信メール、保存メール
  - テキストメモ
  - メロディ※
  - 静止画※
  - SWF形式のFlash画像※
  - 動画（ｉモーション）※
  - PDFデータ※
  - ｉモードブラウザまたはフルブラウザのブックマーク
  - 現在地通知先
  - ユーザ辞書
  - 定型文

※：全送信はできません。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、キー操作ロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック設定中はｉC通信を行えません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、マイプロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、プッシュトーク、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。

次ページにつづく

●通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータについて

●FOMA端末で受信したデータは、次のように登録されます。

データ	保存場所／保存順	
静止画、画像、メロディ	INBOXフォルダの1番目に登録されます。	
動画・iモーション、PDFデータ	INBOXフォルダに日付の順に登録されます。	
トルカ、トルカ（詳細）※1	トルカフォルダの1番目に登録されます。	
電話帳※2、マイプロフィール	電話帳の「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。すべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。	
スケジュール	受信したスケジュールの開始日時に従って登録されます。	
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録されます。	
受信メール、送信メール※3	（1件受信）	受信BOX／送信BOXフォルダに、メールの日付の順に登録されます。
	（全受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダやごみ箱フォルダに格納されます。
保存メール	保存BOXに、メールの日付の順に登録されます。	
テキストメモ	<未登録>の1番目に登録されます。	
定型文	（1件受信）	<未登録>の1番目に登録されます。※4
	（全受信）	送信元と同じ順番、内容で登録されます。
ユーザ辞書	（1件受信）	ユーザ辞書の1番目に登録されます。
	（全受信）	送信元と同じ順番で登録されます。
iモードのブックマーク、フルブラウザのブックマーク	（1件受信）	iモードメニュー／フルブラウザのBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全受信）	iモードメニュー／フルブラウザのBookmarkフォルダに送信元と同じ順番で登録されます。※5
現在地通知先	（1件受信）	現在地通知先リストのうち最も小さい番号に登録されます。
	（全受信）	現在地通知先リストの最も小さい番号から順番に登録されます。

※1：赤外線通信で、1件ずつ送信する場合、トルカ（詳細）を送信するかどうかの確認画面が表示されます。
※2：赤外線通信／iC通信では、プッシュトーク電話帳の順番が転送されません。受信した順番に登録するため、メモリ番号順に変更されます。
※3：赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。
※4：定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。
※5：送信元の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

- 静止画を全受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
- 電話帳を受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録されます。
- 静止画や動画、iモーション、PDFデータのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

●次のデータは、送受信できません。
- FOMAカードの電話帳、SMS
- フレームのデータ（受信のみ可能）
- FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やiモーション、PDFデータ
- シークレットフォルダのデータ

●次のデータは、受信できません。
- JPEG、GIF、SWF形式以外の静止画や画像
- MP4、3GP形式以外の動画
- FOMA N905iμで扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、iモーション、メロディ、PDFデータ

●電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 電話帳のシークレットコードは転送できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳を赤外線通信またはiC通信で1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
- 電話帳を全送信すると、「マイプロフィール」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「マイプロフィール」に登録されているデータ（電話番号を除く）が上書きされます。
- 全送信では電話帳とプッシュトーク電話帳が送信され、1件送信では電話帳のみ送信されます。ただし、受信側では受信後にプッシュトーク電話帳に登録するかどうかのメッセージが表示され、プッシュトーク電話帳にも登録できます。

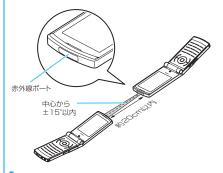
● メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 受信側の機種によっては、メールの題名の一部を受信できない場合があります。
- ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDメモリーカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- データの取得が完了してない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
- 受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- メールの全受信の場合は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
- メール連動型ｉアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
- 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。

認証パスワードについて

● 「全送信／全受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータを転送する
〈赤外線通信〉

赤外線通信でデータ転送するときは

● 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
● 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

赤外線通信でデータを1件ずつ転送する
〈赤外線送信／赤外線受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを1件ずつ転送します。

● データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。また、送信するデータがJPEG形式の画像の場合、高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信することもできます。

<例：画像を1件送信する場合>

1 **マイピクチャ画面（P.274）▶ ch［機能］▶「赤外線送信」または「IrSS」**

2 **相手側の機器を受信状態にする**

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ✉［中止］

おしらせ

- 「IrSS」は片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、相手側の機器が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

● データを1件受信する

1 MENU▶「LifeKit」▶「赤外線受信」

「赤外線受信画面」が表示されます。

赤外線受信画面

機能メニュー➡P.308

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶相手側の機器からデータを受信

データの受信がはじまります。

3 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信中に中止する場合
▶ ✉［中止］

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

機能 赤外線受信画面（P.308）

デスクトップ貼付→P.115

赤外線通信でデータをまとめて転送する
〈赤外線全送信／赤外線全受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

● データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信する場合>

1 電話帳一覧画面（P.91）▶ ch［機能］▶「赤外線全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.307

3 相手側の機器を受信状態にする

4 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ✉［中止］

● データをまとめて受信する

1 赤外線受信画面（P.308）▶「全受信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.307

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

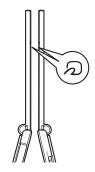
5 相手側の機器からデータを全受信

データの全受信がはじまります。
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■ 受信中に中止する場合
▶ ［中止］

ｉＣ通信でデータを転送する
〈ｉＣ通信〉

ｉＣ通信でデータ転送するときは

- 送信側FOMA端末の FeliCa マーク「」を受信側FOMA端末の FeliCa マーク「」に重ね合わせます。
- 相手の FOMA 端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCa マーク「」どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

ｉＣ通信でデータを１件ずつ転送する
〈ｉＣ送信／ｉＣ受信〉

ｉＣ通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを１件ずつ転送します。

● データを１件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「ｉＣ送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを１件送信する場合>

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ ch［機能］▶「ｉＣ送信」

2 FeliCa マーク「」を相手側の FeliCa マーク「」に重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ［中止］

● データを１件受信する

1 FeliCa マーク「」を相手側の FeliCa マーク「」に重ね合わせる▶相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。

2「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信中に中止する場合
▶ ［中止］

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

ｉＣ通信でデータをまとめて転送する
〈ｉＣ全送信／ｉＣ全受信〉

ｉＣ通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

● データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「ｉＣ全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信するとき>

1 電話帳一覧画面（P.91）▶ ch［機能］▶「ｉＣ全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.307

3 FeliCa マーク「[icon]」を相手側の FeliCa マーク「[icon]」に重ね合わせる▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶[icon]［中止］

● データをまとめて受信する

1 FeliCa マーク「[icon]」を相手側の FeliCa マーク「[icon]」に重ね合わせる

2 相手のFOMA端末からデータ全送信の操作を行う

3 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.307

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

■ 受信中に中止する場合
▶[icon]［中止］

ケーブル接続によるデータ転送について〈OBEX™通信〉

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.389）、および付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
- ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページをご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「パソコン接続」、および付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。

■ お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

電話帳の画像を転送しないように設定する〈電話帳画像転送〉

赤外線通信機能やｉC通信機能、microSDメモリーカードへのコピー、データ転送（OBEX™通信）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

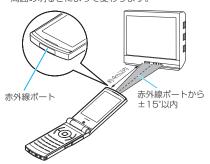
1 [MENU]▶「LifeKit」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 転送する場合
▶「する」

赤外線リモコン機能を利用する

- リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください（リモコンのボタン操作はソフトにより異なります）。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.235
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

●FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。

PDFデータを表示する〈マイドキュメント〉

サイトからダウンロードして保存したPDFデータを、PDF対応ビューアで表示します。また、microSDメモリーカードに保存されているPDFデータを表示することもできます。

●サイトからのダウンロードについて→P.176

1 MENU ▶「データ BOX」▶「マイドキュメント」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.302

2 フォルダを選択

「PDFデータ一覧画面」が表示されます。

PDFデータ一覧画面

機能メニュー➡P.312

3 PDFデータを選択

「PDFデータ画面」が表示されます。

PDFデータ画面

機能メニュー➡P.316

■ パスワード入力画面が表示された場合

PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ ダウンロードを再開するというメッセージが表示された場合

ページ単位で部分的に取得したPDFデータを開こうとしています。残りのページ（データ）を後から追加でダウンロードできます。→P.176

■ 残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合

データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。→P.176

おしらせ

●PDFデータによっては、表示に時間がかかることがあります。

●PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

●ページ単位で部分的に取得したPDFデータを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。→P.176

●パソコンなどからmicroSDメモリーカードにPDFデータを保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名で保存してください。→P.293
フォルダ構成やフォルダ名が異なると、FOMA端末で表示できません。

●microSDメモリーカード内のPDFデータを表示中は、「 」が点滅します。

PDFデータ一覧の見かた

■PDFデータ種別アイコン

アイコン	説明
(水色) (青色)	すべてのページが取得されているPDFデータ ※青色で表示されるPDFデータは、ファイルサイズが2Mバイトを超えるPDFデータです。FOMA端末本体に保存することはできません。
(水色)	ページ単位で部分的に取得したPDFデータ
(水色)	一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータ（データ転送不可）

：ファイル制限が設定されているPDFデータ（データ転送や、microSDメモリーカードへのコピー不可）

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されている PDFデータ
	サイトなどからダウンロードしたPDFデータ
	microSDメモリーカード、パソコンなどから取得したPDFデータ

■設定できる項目アイコン

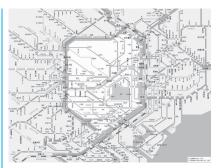
アイコン	説明
	メール添付可能なPDFデータ（2Mバイト以下）
	赤外線送信とｉC送信が可能なPDFデータ
	microSDメモリーカードにコピー可能なPDFデータ

おしらせ

- microSDメモリーカードのフォルダを表示しているときなどに「(青色)」または「(青色)」のアイコンで表示されるPDFデータは、FOMA端末では利用できません。

● お買い上げ時に登録されているPDFデータ

FOMA N905iμには、「ゼンリン」の「鉄道路線図」のPDFデータがお買い上げ時に登録されています。

- マイドキュメントのINBOXフォルダには、札幌路線図、仙台路線図、東京都心路線図、中部路線図、関西路線図、博多路線図のPDFデータが登録されています。

東京都心路線図

機能 PDFデータ一覧画面（P.311）／ドキュメント一覧画面（P.313）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集……タイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

ドキュメント表示……PDFデータは、表示するページを「前回の続きから／初めから／ｉモードしおりから」から選択します。
ドキュメントは、その内容を1ページ目から表示します。

ドキュメント情報……PDFデータ／ドキュメントのファイル名、保存日時などを表示します。

残り全てを取得※1……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.176

デスクトップ貼付※1※2→P.115

ｉモードメール作成※3……PDFデータ／ドキュメントを添付したｉモードメールを作成します。

ｉC送信※1※2→P.309

赤外線送信※1※2→P.307

microSDへコピー※1※2→P.298

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、PDFデータ／ドキュメントをほかのフォルダに移動します。
「複数選択について」→P.38

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

ソート※1※2……指定した条件に従ってPDFデータを並び替えます。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

本体へコピー※1※4→P.299

コピー※4……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.300

※1：PDFデータ一覧画面でのみ利用できます。
※2：microSDメモリーカードの一覧画面では利用できません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：FOMA端末のPDFデータ一覧画面では利用できません。

おしらせ

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ①サイトからダウンロードしたPDFデータ
  ②赤外線通信やmicroSDメモリーカードから取得したPDFデータ

ドキュメントを表示する〈ドキュメントビューア〉

メールに添付されていたり、microSDメモリーカードに保存されているドキュメントをドキュメントビューアで表示します。

■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel	xls
Word	doc
PowerPoint	ppt

1 「データBOX」▶「ドキュメントビューア」

「microSDフォルダー一覧画面」が表示されます。

microSDフォルダー一覧画面（ドキュメント）

機能メニュー➡P.303

2 **フォルダを選択**

「ドキュメント一覧画面」が表示されます。

ドキュメント一覧画面

機能メニュー➡P.312

3 **ドキュメントを選択**

「ドキュメント画面」が表示されます。

ドキュメント画面

機能メニュー➡P.316

おしらせ

- ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
- ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにドキュメントを保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名で保存してください。→P.293
  フォルダ構成やフォルダ名が異なると、FOMA端末で表示できません。

ドキュメント一覧の見かた

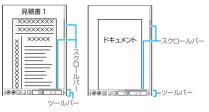
■ドキュメント種別アイコン

doc xls ppt	表示可能なドキュメントの種類

■設定できる項目アイコン

✉	メール添付可能なドキュメント

PDFデータ画面／ドキュメント画面について

PDFデータ画面／ドキュメント画面には、画面の表示位置を確認するためのスクロールバーや、各種の画面操作を行うためのツールバーが表示されます。

＜PDFデータ画面＞　＜ドキュメント画面＞

画面の操作について

表示倍率の変更など画面の表示変更は、機能メニューだけでなく、各種機能が割り当てられたダイヤルボタンやツールバーアイコンを使って行います。

- PDFデータ画面では、iモードしおりやマークを設定したり、ページを切り出して保存することもできます。

● スクロールのしかた

■ でスクロールする

を押すとその方向にスクロールします。

■ [マナー]、 [] でスクロールする

[マナー] を押すと上にスクロールし、 [] を押すと下にスクロールします。

● ツールバーの使いかた

8：ツールバー（スクロールバー）の表示／非表示の切り替え

[ツール]：ページ操作からツールバー操作への切り替え

[解除]：ツールバー操作からページ操作への切り替え

：ツールバー操作でのアイコン表示切り替え

：ツールバー操作でのアイコン選択

アイコン	説明
倍率	倍率が表示されます。倍率を指定すると、指定した倍率で表示します。 [選択]▶4桁の数字を入力
頁	表示中のページ番号が表示されます。表示するページ番号を指定すると、指定したページへ移動します。 [選択]▶4桁の数字を入力
	縮小表示します。
	拡大表示します。
	ページ全体を表示します。
	倍率100%で表示します。
	ページの幅を画面に合わせて表示します。
	最初のページを表示します。
	前のページを表示します。
	次のページを表示します。
	最後のページを表示します。
	文字列を検索します。
	右に90度回転して表示します。
	左に90度回転して表示します。
※	文字列をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367
※	「ページを切り出す」→P.316
	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
※	単一でページを表示します。
※	連続でページを表示します。
※	見開きでページを表示します。
※	しおり一覧画面を表示します。

※：PDFデータ画面でのみ利用できます。

● PDFデータ／ドキュメント画面の便利なボタン

ボタン	説明
1	縮小表示します。
2	ページ全体を表示します。
3	拡大表示します。
4	前のページを表示します。
6	次のページを表示します。
7	文字列を検索します。→P.315
8	ツールバー、スクロールバーの非表示／表示を切り替えます。
0	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
#	次を検索します。
*	前を検索します。

● 文字列を検索する

1 PDFデータ画面（P.311）／ドキュメント画面（P.313）▶ [ツール] ▶「 」を選択▶文字列入力欄を選択▶検索する文字列を入力

文字列は全角8文字、半角16文字まで入力できます。ただし、一部特殊文字など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択▶ [検索]

検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。

* を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。

を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

■ Excelを検索する場合

「ページ内検索」または「ファイル検索」を選択します。「ページ内検索」は現在表示しているシート内を検索します。「ファイル検索」は表示しているドキュメント（Excel）全体を検索します。

● しおりを使ってPDFデータを表示する

■あらかじめPDFデータに設定されている「しおり」を使う場合

● PDFデータにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

1 PDFデータ画面（P.311）▶ [ツール] ▶「 」を選択▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。

表示しているPDFデータにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。

+のある項目で [ ] を押すと、その下のしおりが表示されます。

■「iモードしおり」を使う場合

● iモードしおりは、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのPDFデータにつき最大10件まで設定できます）。

● iモードしおりを設定した箇所（ページ）に移動するには、以下の操作を行います。

1 PDFデータ画面（P.311）▶ [機能] ▶「iモードしおり」▶表示したいiモードしおりを選択

選択したiモードしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■ iモードしおりを追加する場合

▶ [追加] ▶「YES」▶iモードしおりのタイトルを入力

現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がiモードしおりとして登録されます。

■ iモードしおりのタイトルを変更する場合

▶ [機能] ▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ iモードしおりを削除する場合

▶ [機能] ▶「削除」▶「YES」

■ PDFデータに設定されているｉモードしおりをすべて削除する場合

▶［機能］▶「全削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

機能 PDFデータ画面（P.311）／ドキュメント画面（P.313）

ズームアウト……縮小表示します。

ズームイン……拡大表示します。

表示……ページの表示サイズを「倍率指定／全体表示／実際の大きさ／幅にあわせる」から選択します。

ページ移動……表示するページを「最初のページ／前のページ／次のページ／最後のページ／指定のページ」から選択します。

検索※1……「文字列を検索する」→P.315

ページレイアウト※2……ページの表示スタイルを「単一ページ／連続ページ／見開きページ」から選択します。

リンク表示※1※2……URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびｉモードメール作成ができます。

※ PDFデータ内にあるリンクを表示させた場合は、画面のスクロールやツールバーの使用ができません。CLRを押すと、通常のPDFデータ画面に戻ります。

ツール／スクロールバー非表示⇔ツール／スクロールバー表示……ツールバー、スクロールバーの非表示／表示を切り替えます。

表示を回転……ページを回転する方向を「右90度／左90度」から選択します。

しおり※2……「しおりを使ってPDFデータを表示する」→P.315

コピー※1※2……文字列をコピーします。

ｉモードしおり※2……「「ｉモードしおり」を使う場合」→P.315

マーク※1※2……マークを追加・修正・削除します。マークは最大10件まで設定できます。

画面切り出し※1※2……「ページを切り出す」→P.316

ｉモードメール作成※1※3……PDFデータ／ドキュメントを添付したｉモードメールを作成します。

デスクトップ貼付※1※2※4→P.115

残り全てを取得※1※2※4……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.176

保存※1……表示中のPDFデータ／ドキュメントを保存します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作説明を表示します。

プロパティ※1※2……PDFデータのプロパティを表示します。

終了……表示中の画面を閉じます。

ドキュメント情報※1……PDFデータ／ドキュメントのファイル名、保存日時などを表示します。

1件削除※1……表示中のPDFデータ／ドキュメントを削除します。

※1：メール作成時に添付したPDFデータ／ドキュメントを閲覧しているときや、サイトのPDFデータを閲覧しているときは利用できない場合があります。
※2：PDFデータ画面でのみ利用できます。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDメモリーカード内のPDFデータのときは利用できません。

● ページを切り出す

PDFデータ画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。

1 切り出したいページを表示▶［ツール］▶「を選択」▶●［確定］▶「YES」▶保存するフォルダを選択

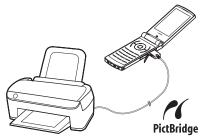
切り出したページが保存されます。

おしらせ

- FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータから切り出した画像は、メール送信やmicroSDメモリーカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
- コピーが禁止されているPDFデータの場合は、画面の切り出しができない場合があります。

データ表示／編集／管理

保存した画像を印刷する
〈PictBridge印刷〉

FOMA端末とPictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンタをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続し、保存した画像を印刷します。

“Mobile Printing Ready”(PictBridge、microSD) に対応
※この“Mobile Printing Ready”対応製品は、携帯電話からプリンタへの印刷をより簡単にすることを目的に、世界の主要な携帯電話メーカおよびプリンタメーカにて結成された Mobile Imaging and Printing Consortium(MIPC) バージョン 1.0 版の設計ガイドラインに沿った製品です。

- JPEG形式の画像のみ印刷できます（内蔵カメラで撮影した画像はJPEG形式です）。
- 内蔵カメラで撮影した静止画以外の画像を印刷した場合、プリンタによっては正しく印刷されない場合があります。
- 接続する前に、プリンタがPictBridge印刷に対応していることを確認してください。
- microSDメモリーカードに保存されている画像はあらかじめ印刷方法を設定しておくこともできます。→P.318
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は印刷できません。
- PictBridge印刷を行うときは、電池を十分充電しておいてください。電池残量が不十分な場合は、印刷できない場合があります。
- プリンタとの通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜かないでください。通信中は「」が表示されます。
- プリンタによっては、FOMA端末で設定した印刷方法（レイアウト、枚数など）どおりに印刷されないことがあります。

1 USBモード設定画面（P.302）▶「プリントモード」

「プリントモード」に設定すると、「」が表示されます。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続する前に「プリントモード」に設定しておかないと印刷できない場合があります。

2 FOMA端末とプリンタを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

接続する前に、プリンタの電源を入れておいてください。

3 画像一覧画面（P.274）▶ ch［機能］▶「PictBridge印刷」

■ 1件印刷をする場合
画像一覧画面で印刷する画像に囲み枠を移動するか、画像を選択してマイピクチャ画面を表示します。マイピクチャ画面で機能メニューを選択した場合は、操作5に進みます。

■ DPOF印刷をする場合
あらかじめ「DPOF 設定」（P.318）を行い、microSDメモリーカード内の「画像一覧画面」または「タイトル名一覧画面」を表示します。

4 印刷の種類を選択

1件印刷……画像を1件印刷します。

選択印刷……印刷する画像を選択します。
「複数選択について」→P.38

DPOF印刷……「DPOF設定」で設定しておいたプリント指定と、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷されます（操作5以降は不要です）。

5 印刷方法を設定

■ 印刷方法
印刷方法を以下の項目から選択

印刷枚数※……印刷枚数（01～99）を入力します。

印刷スタイル

用紙サイズ……印刷する用紙サイズを選択します。

レイアウト……印刷レイアウトを「全面（フチなし）／全面／2面／4面／8面／16面／プリンタ標準」から選択します。
2～16面を選択すると、2～16個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に2～16個印刷します。

日付……日付を付加するかどうかを設定します。

※：操作4で「1件印刷」を選択したときのみ設定できます。

6 ［完了］

画像が印刷されます。

データ表示／編集／管理

● プリンタがエラーになったときは

- 「エラーが発生しました」というメッセージが表示されたときはプリンタ側でエラーが発生している可能性があります。
- プリンタからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外してから、プリンタのエラー復帰操作を行ってください。
- エラー復帰後は、FOMA端末の画面上部に「 」が表示されていることを確認してから、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をプリンタに接続し直してください。
- プリンタのエラー復帰方法についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- 選択印刷で一度に選択できる画像は100枚までです。
- 1件印刷および選択印刷の場合、選択できる用紙サイズ、レイアウトは接続するプリンタによって異なります。DPOF印刷の場合は、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷します。
- 以下の画像は印刷できません。
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超える画像
  - 総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する〈DPOF設定〉

microSDメモリーカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。

- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDメモリーカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタ（P.317）やプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。

1 フォルダー覧画面（P.274）▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶ ch ［機能］▶「DPOF設定」

■ 1件DPOF設定をする場合

画像一覧画面で設定する画像に囲み枠を移動するか、画像を選択してマイピクチャ画面を表示します。マイピクチャ画面で機能メニューを選択した場合は、操作3に進みます。

2 設定の種類を選択

1件DPOF設定……1件の画像にDPOF設定します。

選択DPOF設定……DPOF設定する画像を選択します。「複数選択について」→P.38

3 「プリント指定」▶以下の項目を設定

プリント枚数……印刷枚数（01～99）を入力します。

日付……日付印刷の「あり／なし」を選択します。

■ 表示している画像に設定されているプリント指定を解除する場合

▶「プリント指定解除」

■ 保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合

▶「プリント指定全解除」

4 ［✉］「完了」

おしらせ

- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 以下の画像にはDPOF設定はできません。
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超える画像
  - 総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

Music&Videoチャネル／音楽再生

■Music&Videoチャネル

■ミュージックプレーヤー

音楽データの取り扱いについて

- 本書では着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイル、SD-Audioデータを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
  上記の場合、FOMA端末でWMA全削除を行ってから必要なWMAファイルをパソコンから転送してください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
  ※：国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

■BGM再生（バックグラウンド再生）について

Music&Videoチャネルの番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。

「音楽を再生しながら他の機能を利用する」→P.334

Music&Videoチャネルを起動する

1 MENU ▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

「Music&Videoチャネル画面」が表示されます。

Music&Videoチャネル画面

機能メニュー➡P.321

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定し、夜間に番組データを自動的に取得します。

1 Music&Videoチャネル画面（P.320）▶「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 一度に設定できる番組の数は2つです。
- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録（P.171）が必要です。
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、Music&Videoチャネル未契約のお知らせが表示されます。その画面から「Music&Videoチャネルのお申し込みへ」を選択するとMusic&Videoチャネル契約をすることができます。

● 番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面（P.320）▶「番組設定」▶画面の指示に従って操作する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を設定すると

- 番組取得を開始する 12 時間前に、待受画面に「」が表示されます。
- 番組取得は夜間に自動的に行われ、成功すると「Music&Videoチャネル更新」のデスクトップアイコン「」が表示されます。
  番組取得に失敗した場合、「Music&Videoチャネル更新失敗」のデスクトップアイコン「」が表示されます。この場合、番組を手動で取得することができます。→P.321

おしらせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組の保存は2番組までです。新しい番組が取得されると、以前取得された番組は削除され、再生できなくなります。削除したくない番組は、データBOXに移動してください。→P.321
- 取得した番組をmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- 番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況の良い環境でお使いください。
- 番組取得に失敗する原因として、「圏外」、「電源が入っていない」、「電池残量が少ない」、「番組取得中に手動で中断」、「マルチタスクやマルチアクセスの組み合わせ」などがあります。これらの原因によって番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。ただし、「番組取得中に手動で中断」など、番組取得の途中で中断したときには、翌日の夜間の再取得は行われない場合があります。
- 番組を設定したときと異なる FOMA カードを挿入した場合や端末初期化を行った場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- すでに番組を設定している FOMA 端末の FOMA カードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA 端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。
- Music&Videoチャネルやｉモードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。

● Music&Videoチャネル画面のアイコンの見かた

アイコン	説明
	通常の番組
	放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組
	取得に失敗した番組
	サイトからダウンロードした番組
	サイト接続情報（URL）が含まれている番組
NEW	未再生の番組

：部分的に取得した番組

：再生制限付きの番組（再生回数・期間・期限を過ぎるとアイコンが全体的に薄くなり、「（灰色）」が「（赤色）」になります）

● 番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、番組を手動で取得します。

1 Music&Videoチャネル画面（P.320）▶番組を選択▶「YES」

おしらせ

- 「Music&Videoチャネル更新失敗」のデスクトップアイコンは「Music&Videoチャネル画面」を一度表示すると消えます。デスクトップアイコンが消えても、取得に失敗した番組がある場合は手動で取得できます。
- 番組の取得が中断された場合でも、中断されるまで部分的に取得した番組は保存されます。残りの番組の取得は、一部時間帯を除きお客様の操作によって再開できます。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日までは更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

機能 Music&Videoチャネル画面（P.320）

チャプター一覧……各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1 「チャプター一覧について」→P.322

番組移動……移動先のフォルダを選択し、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルのユーザ作成フォルダに移動します。※2

番組情報……番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。

番組画像表示……番組に登録されている画像を表示します。※3

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

デスクトップ貼付→P.115

番組削除……番組を削除します。

※1：すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2：部分的に取得した番組や放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組は移動できません。
※3：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。なお、番組画像を保存することはできません。

● チャプター一覧について

Music&Videoチャネル画面の機能メニューで「チャプター一覧」を選択すると、番組のチャプターが一覧で表示されます。

チャプター一覧画面

機能メニュー➡P.322

機能 チャプター一覧画面（P.322）

チャプター情報……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

チャプター画像表示……チャプターに登録されている画像を表示します。※

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

※：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。また、番組がiモーションで構成されている場合は、画像は表示されません。なお、チャプターに登録されている画像は保存できません。

番組を再生する

1 MENU▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

「Music&Videoチャネル画面」が表示されます。

2 **番組を選択**

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、番組の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.328
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.329

おしらせ

- イヤホンなどを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 前回途中で再生を終了した番組を選択した場合は、終了したときに再生していたチャプターの先頭から再生されます。
- 再生制限付きの番組もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組は、タイトルの先頭に「⊘」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組は、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている番組については、再生することができません。
  番組情報について→P.322

● 放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組の再生

番組を再生するときに、放送波で流れている内容と同期を取り、放送波と同じ内容を再生することができます。

- 番組は、あらかじめ取得しておく必要があります。
- 番組を再生する方法は、通常番組と同様ですが、再生可能な時間以外には再生できません。

おしらせ

- 再生時間は、自動時刻補正された端末内の時計と同期しているため、本FOMA端末で日付・時刻を手動で変更した場合でも、再生可能な時間は変更されません。
- 部分的に取得した番組は再生できません。

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

1 MENU ▶「データ BOX」▶「Music&Videoチャネル」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
Music&Video チャネルのフォルダ内容について
→P.272

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.302

2 フォルダを選択

「番組一覧画面」(プレビュー表示)が表示されます。
番組一覧画面の見かた
→P.323

番組一覧画面
(プレビュー表示)

機能メニュー ➡P.323

3 番組を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、番組の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.328
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.329

プレビュー表示/タイトル一覧の見かた

●番組一覧画面のアイコンについて→P.321

プレビュー表示

タイトル一覧

■プレビュー表示
画面に6件の番組がタイトル一覧で表示され、反転表示されている番組のプレビュー画面がタイトル一覧の下に表示されます。

■タイトル一覧
画面に11件の番組がタイトル一覧で表示されます。

機能 番組一覧画面(P.323)

チャプター一覧……各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1「チャプター一覧について」→P.322

タイトル編集……番組のタイトルを編集します。

番組移動※2……移動先のフォルダを選択し、番組をユーザ作成フォルダに移動します。

フォルダ移動※3……「1件移動/選択移動/全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、番組をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

番組情報……番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。

番組画像表示……番組に登録されている画像を表示します。※4

ソート……指定した条件に従って番組を並び替えます。

一覧表示切替……番組の一覧表示のしかたを選択します。

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

保存容量確認……番組の保存容量などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

番組削除※2……番組を削除します。

削除※3……「1件削除/選択削除/全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1:すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2:配信番組フォルダの場合のみ利用できます。
※3:ユーザ作成フォルダの場合のみ利用できます。
※4:登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。なお、番組画像を保存することはできません。

サイトから着うたフル®を取得する

1 サイト画面（P.167）▶着うたフル®を選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

データ取得完了
COMPLETED
Cool talk
再生
保存
情報表示
戻る

データ取得完了画面

■ 取得を中止する場合
▶CLR

■ 取得した着うたフル®を再生する場合
▶「再生」
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.328
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.329

■ 着うたフル®の情報を表示する場合
▶「情報表示」

おしらせ

- 再生制限付きの着うたフル®もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある 着うたフル®は、データ取得完了画面でタイトルの先頭に「🕒」が表示されます。なお、再生できる期間が制限されている着うたフル®は、期間前や期間後には再生できません。
  ミュージック情報について→P.327
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®については、再生することができません。ただし、再生制限を更新して再生可能にできる着うたフル®もあります。
- 5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。
- 着うたフル®のデータ取得完了画面（P.324）の機能メニューの「画面メモ保存」で「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。→P.174

● うた・ホーダイの楽曲の再生制限を更新する

再生制限切れの更新可能なうた･ホーダイの楽曲があるフォルダやプレイリストの曲を再生すると、再生期限の更新が必要である旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、再生制限を更新します（パケット通信料有料）。「NO」を選択すると、音楽データを利用できません。
再生制限を更新可能なうた･ホーダイの楽曲が複数ある場合は、更新する音楽配信サイトを選択します。

- うた・ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生期限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。ライセンス情報には、再生期限とともに再生猶予期間が指定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生できますが、再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。
  また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 再生制限の状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.326
- 再生制限の更新はサイトに接続して行いますので、パケット通信（課金）が発生します。
- FOMAカードを差し替えて使用する場合は、端末初期化することをおすすめします。

おしらせ

- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイの楽曲が再生不可能になった場合は、デモ再生や着信時、アラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。

取得した着うたフル®を保存する

●着うたフル®はFOMA端末本体に最大100件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されている着うたフル®のデータ量により少なくなる場合があります）。

1 データ取得完了画面（P.324）▶「保存」▶「YES」

■ データの一部のみ保存できる場合
電波状況により取得が中断された場合や取得を中止した場合は、データ取得完了画面に「部分保存」というメニューが表示されることがあります。このようなときは、取得した部分のみを保存することができます。

■ 保存を中止する場合
▶「NO」

2 保存先のフォルダを選択
保存したことを通知するメッセージが表示されます。

● 部分的に取得した着うたフル®の残りのデータを取得する

部分的に取得した着うたフル®を保存先から選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、残りのデータを取得します。
すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。
●データの取得状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.326
●部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません（うた・ホーダイの楽曲を除く）。また、取得操作を行う際に、部分的に保存されていたデータを削除できます。

ミュージックプレーヤーを利用する 〈ミュージックプレーヤー〉

ミュージックプレーヤーでは、着うたフル®やｉモーション、Music&Videoチャネルの番組、microSDメモリーカードに登録した楽曲を再生できます。
●プレイリストに楽曲を登録して、お好みの楽曲をお好みの順序で再生することもできます。→P.331
●お買い上げ時に登録されているｉモーションや着うたフル®のほかに、ｉモードサイトから取得したｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組、音楽CDから取り込んだ音楽データを再生することができます。
「サイトからｉモーションを取得する」→P.183
「サイトから着うたフル®を取得する」→P.324
「番組を設定する」→P.320
「SD-Audioを利用する」→P.333
「microSDメモリーカードにWMAデータを登録する」→P.333
●本体内蔵のスピーカや平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続してステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。
●イヤホンを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
●FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみを再生することもできます。→P.331

■BGM再生（バックグラウンド再生）について
ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。
「音楽を再生しながら他の機能を利用する」→P.334

曲を再生する

着うたフル®やmicroSDメモリーカードに登録した楽曲を、ミュージックプレーヤーで再生します。

- 動画／ｉモーションの再生について→P.282
- Music&Videoチャネルの番組の再生について→P.322

1 MENU ▶「データ BOX」▶「ミュージック」

「フォルダー一覧画面」が表示されます。

フォルダー一覧画面

機能メニュー➡P.302

2 フォルダを選択

「楽曲一覧画面」が表示されます。

「楽曲一覧の見かた」→P.326

■ ｉモードで楽曲を検索する場合

▶「ｉモードで探す」

楽曲一覧画面

機能メニュー➡P.327

3 楽曲を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、楽曲の再生がはじまります。

再生中の操作について→P.329

■ 部分的に取得した着うたフル®の場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータを取得します。→P.325

ミュージックプレーヤー再生画面

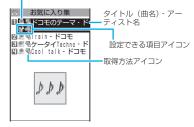
機能メニュー➡P.330

おしらせ

- イヤホンを接続しているときは、マナーモード設定中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード設定中にイヤホンを抜くと、曲の再生を一時停止します。

おしらせ

- 再生制限付きの楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある楽曲は、タイトルの先頭に「◷」が表示されます。再生できる期間が制限されている楽曲は、期間前や期間後には再生できません。

● 楽曲一覧の見かた

■ファイル種別アイコン

アイコン	説明
（灰色）（灰色）（水色）	FOMA端末本体に保存されている楽曲
（灰色）（灰色）（灰色） （灰色）（水色）（水色）	microSDメモリーカードに保存されておりFOMA端末（本体）に移動可能な楽曲
	microSDメモリーカードに保存されておりFOMA端末（本体）への移動が禁止されている楽曲 FOMA端末本体のプレイリスト楽曲一覧画面で、プレイリストに登録されている楽曲の保存されているmicroSDメモリーカードが本体に挿入されていない場合にも表示されます。
	再生が不可能または再生制限が更新不可能な再生制限付きの楽曲
SD Audio	SD-Audio形式の楽曲
WMA	WMA形式の楽曲
	部分的に取得した楽曲
	FOMAカード動作制限に該当している楽曲

：ファイル制限が設定されている楽曲

：再生制限付きの楽曲（再生回数・期間・期限を過ぎると「◷」が「◷」になります）
水色アイコンは、再生制限が更新可能なもの

Music&Videoチャネル／音楽再生

：楽曲保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ再生可
：楽曲保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されている楽曲
	サイトなどから取得した楽曲
	パソコンなどから取得した楽曲

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	着信音に設定できる楽曲
	microSDメモリーカードに移動可能な楽曲
	Web To機能を利用できる楽曲

機能 楽曲一覧画面（P.326）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。また、検索やソート表示を利用した場合も、機能メニューに表示される項目が異なります。

プレイリストへ追加……プレイリストを選択すると楽曲がプレイリストの最後に追加されます。

プレイリスト作成→P.332

microSDへ移動※1→P.300

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、楽曲をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

楽曲情報編集……タイトル名、アーティスト名、アルバム名などを編集します。

リスト用タイトル編集……楽曲一覧画面に表示される楽曲のタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

楽曲情報初期化……「ミュージック情報」を取得したときの状態に戻します。

着信音設定……楽曲を着信音に設定します。→P.100

まるごと設定……楽曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……で着信音に設定する部分を指定し、楽曲の一部分だけを設定します。

検索※1……指定した条件に従って楽曲を検索します。

ソート※1……指定した条件に従って楽曲を並び替えます。

一覧表示切替……楽曲一覧画面の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

ミュージック情報……ミュージックのファイル名、再生制限、microSDへの移動可否などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。ジャケット画像が複数枚あるときは、で画像を切り替えることができます。

保存容量確認……楽曲の保存容量などを表示します。

リピート設定……楽曲のリピート再生をする／しないを設定します。

OFF（お買い上げ時）……リピート再生しません。

オールリピート……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……反転している楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

本体へ移動※2→P.300

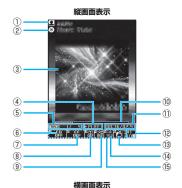
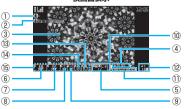
※1：SD-Audioフォルダや移行可能コンテンツフォルダ、WMAフォルダの楽曲一覧画面では利用できません。
※2：移行可能コンテンツフォルダのときのみ利用できます。

おしらせ

<microSDへ移動>
●着うたフル®の移動可否は「ミュージック情報」で確認できます。同じ機種間のみ移動可能な着うたフル®もあります。

ミュージックプレーヤー再生画面の見かた

縦画面表示

横画面表示

① アーティスト名
楽曲：アーティスト名
Music&Videoチャネル：番組タイトル
ｉモーション：作成者

② タイトル
楽曲：タイトル
Music&Videoチャネル：チャプタータイトルとアーティスト名
ｉモーション：タイトル

③ 画像／動画
楽曲：ジャケット画像
Music&Videoチャネル：チャプター画像または番組動画
ｉモーション：動画

④ 再生状態
▶PLAY：再生中
❚❚PAUSE：一時停止中
▶▶FF：スキップ送り中
◀◀REW：スキップ戻し中
▶SLOW：スロー再生中
PLAY：早送り再生中

⑤ トラック
楽曲：再生中のトラック番号／フォルダ内の全トラック数
Music&Videoチャネル：再生中のチャプター番号／全チャプター数
ｉモーション：再生中のファイル番号／フォルダ内の全ファイル数

⑥ 音質（イコライザ）
EQ OFF：イコライザOFF

Kiss／Loud：各ジャンル向け
EQ User1／EQ User2／EQ User3：ユーザ設定1～3

⑦ 音響効果（エフェクト）
EF OFF：エフェクトOFF

⑧ リピート状態
OFF：リピートOFF
：オールリピート
：シングルリピート

⑨ シャッフル状態
OFF：シャッフルOFF
：シャッフルON

⑩ 再生位置表示
<再生中、一時停止中>
現在の再生位置を白のマーカーで表示します。一時停止中に でマーカーを移動して ［再生］を押すと、その位置から再生します。
<「指定位置再生」選択時>
楽曲再生中に、「指定位置再生」（P.330）を選択したときは、 で再生する部分（オレンジで表示）を切り替えます。

⑪ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）

⑫ 音量
ボリュームのレベルを0～20で表示します。マナーモード設定中で音が出ていないときは が表示されます。

⑬ 楽曲／ファイル／チャプター選択
再生する楽曲／ファイル／チャプターを変更

⑭ Web To対応
楽曲データや番組データに含まれているURLに接続

⑮ 設定メニュー→P.329

ミュージックプレーヤー再生画面の操作について

操作ボタン	動作
◉（📱）	一時停止／再生を再開※1
📱（1秒以上）	■**再生中（待受画面表示中）** 終了 ■**一時停止中（待受画面表示中）** 再生を再開※2
◎（▲［マナー］／▼［📷］）	音量調節
◎（▲［マナー］（1秒以上））	先頭から再生※1※3 先頭から1秒以内に押した場合は前の曲／チャプター／動画を再生※1※3※4※5
◎（▼［📷］（1秒以上））	次の曲／チャプター／動画を再生※1※3※4※5
◎（1秒以上）	スキップ戻し※1※3
◎（1秒以上）	スキップ送り※1※3
一時停止中に◎	再生位置表示のマーカーを移動してから◉［再生］を押すと、その位置から再生します。
📱（6）	再生する楽曲／ファイル／チャプターを選択※3※4
# ／ *	画像が複数登録されている場合、画像の切り替え※2
CLR	終了
✉	設定メニューを利用→P.329
1	イコライザの設定
2	エフェクトの設定
3	リピートの設定※1※2※4
4	シャッフルのON／OFF※4※6
5	サイト接続※2
9	縦画面表示と横画面表示を切り替え※7

※1：放送波で流れている内容との同期再生に対応したMusic&Videoチャネルの番組では操作できません。
※2：楽曲、Music&Videoチャネルの番組でのみ操作できます。
※3：ストリーミングタイプのｉモーションやデータを取得しながら再生しているｉモーションでは操作できません。
※4：「データ取得完了画面」（P.324）から再生した場合は、操作できません。
※5：シャッフル再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、前または次の曲を再生します。
※6：楽曲でのみ操作できます。
※7：ｉモーション、ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組でのみ操作できます。

おしらせ

- お買い上げ時の音量は「レベル10」に設定されています。音量は「レベル0」～「レベル20」まで設定でき、次回起動時も設定した音量で再生されます。
- ミュージックプレーヤーで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
- スキップ戻し、スキップ送り中は無音です。
- Music&Videoチャネルの番組で、再生操作に制限が設定されている場合、その操作（主に◎の操作）はできません。
- データによっては、スキップ戻し、スキップ送りができません。

● 設定メニューを利用する

1 再生中／一時停止中／停止中▶✉［MENU］

設定メニューにカーソルが移動します。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.328

2 ◎で機能を選び、◉［選択］

1～5で各機能を設定することもできます。→P.329
CLRを押すと、再生中／一時停止中／停止中に戻ります。

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続した場合

スイッチを使って以下の操作を行うことができます。

操作	動作
1回	押すごとに再生・一時停止
再生中に連続2回	次の楽曲／チャプターを再生
再生中に連続3回	前の楽曲／チャプターを再生 再生時間が3秒以上の場合は先頭から再生
再生中に1秒以上	ミュージックプレーヤーを終了

機能 ミュージックプレーヤー再生画面（P.326）

●再生中でも設定を変更できます。

動作設定

サウンドエフェクト……音質／音響効果を設定します。

イコライザ（お買い上げ時：OFF）……音質を設定します。

■ ユーザ設定で好みの音質を作成する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[詳細]▶で周波数を選択▶で強弱を選択▶[確定]

■ 変更した音質をお買い上げ時の状態に戻す場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[詳細]▶[FLAT]

エフェクト（お買い上げ時：OFF）……音響効果を設定します。

■ ユーザ設定で好みのエフェクトを作成する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[詳細]▶でエフェクトを選択▶で強弱を選択▶[確定]

■ ユーザ設定で既存のエフェクトを基に変更する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[詳細]▶[Mode]▶エフェクトを選択▶[確定]

■ 変更したエフェクトを設定したModeの初期値に戻す場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[詳細]▶[初期値]

リピート設定※1

OFF（お買い上げ時）……リピート再生しません。

オールリピート……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定※2（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

再生画面設定※3……再生画面の表示方法を設定します。

通常画面モード（お買い上げ時）……縦画面表示で再生します。

全画面モード……横画面表示で再生します。

プレーヤー画面変更※2……ミュージックプレーヤー再生画面のデザインを設定します。

画像表示設定※3……縦画面表示のときの画像の表示サイズを設定します。

標準（お買い上げ時）……画像のサイズに合わせて表示します。

画面サイズで表示……画像のサイズによらず、画面のサイズに合わせて表示します。

連続再生設定※4……フォルダ内のファイル順に連続再生するかどうかを設定します（FOMA端末ではリピート再生となります）。

ON……フォルダ内のファイル順に連続再生します。

OFF（お買い上げ時）……選択したファイルのみ再生します。

再生メニュー

早送り再生※3……早送り再生をします。[再生]を押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生※3……スロー再生をします。[再生]を押すと通常の再生に戻ります。

指定位置再生※2……で再生する楽曲の一部分だけを再生します。楽曲によっては、できないことがあります。

チャプター一覧※4……チャプター一覧を表示します。チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生します。

「チャプター一覧について」→P.322

詳細情報

ミュージック情報※2……ミュージックのファイル名、再生制限、microSDへの移動可否などを表示します。

iモーション情報※4……iモーションのファイル名、再生制限、microSDへの移動可否などを表示します。

チャプター情報※5……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

歌詞表示※2……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示※2……で再生中の楽曲のジャケット画像を切り替えます。

チャプター画像表示※5……再生中のチャプターに登録されている画像／アニメーションを表示します。

画像表示※6……常にグレーで表示されます。

サイト接続※1……URLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

楽曲変更※2……再生する楽曲を変更します。

ファイル選択※4……再生するファイルを変更します。

チャプター一覧※5……再生するチャプターを変更します。

ヘルプ※3……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

※1：楽曲再生、Music&Videoチャネルの番組でのみ利用できます。
※2：楽曲でのみ利用できます。
※3：ｉモーション、ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組でのみ利用できます。
※4：ｉモーションでのみ利用できます。
※5：Music&Videoチャネルの番組でのみ利用できます。
※6：ｉモーションでのみ表示されますが、常にグレー表示のため利用できません。

おしらせ

<チャプター画像表示>
- チャプターに登録されている画像は保存できません。

FOMA端末を閉じたままで再生する

を使うと、FOMA端末を閉じたままでミュージックプレーヤーを起動することができます。

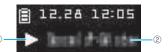
- FOMA端末を閉じたままで再生できるのは、楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組です。ただし、FOMA端末を閉じたままで起動できるのは、楽曲のみです。

1 **（1秒以上）**
前回再生を終了した楽曲の再生が開始します。
再生中の操作について→P.329

おしらせ

- マナーモード設定中は、でのミュージックプレーヤーの起動や再生の再開はできません（イヤホンなどを接続しているときは可能です）。
- 電池残量が少ないときは、を1秒以上押しても、ミュージックプレーヤーは起動しません。また電池残量が少なくなって楽曲が一時停止したとき、を押しても再生は再開されません（FOMA端末を開いて操作してください）。

● 再生中のイルミネーション・ウィンドウの見かた

FOMA端末を閉じた状態では、イルミネーション・ウィンドウで再生状態を確認します。

①再生状態
　▶：再生中　⏸：一時停止中
②曲名、アーティスト名
　<アーティスト名、チャプタータイトル>（テロップ表示）※
※：<　>内は、Music&Videoチャネルの表示内容です。

プレイリストを利用する

プレイリストに楽曲を登録し、お好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

- FOMA端末本体に登録可能な曲数とプレイリスト数は以下のとおりです。

登録可能曲数	最大100曲
プレイリスト数※	最大21件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

- FOMA端末本体に保存されている楽曲（着うたフル®）とmicroSDメモリーカードの楽曲（着うたフル®）、SD-Audioデータ、WMAデータを同じプレイリストに登録できます。

Music&Videoチャネル／音楽再生

プレイリストを作成する

1 プレイリスト一覧画面（P.332）／楽曲一覧画面（P.326）▶ ch［機能］▶「プレイリスト作成」

2 フォルダを選択

複数の楽曲をプレイリストに登録します。
「複数選択について」→P.38

■ 楽曲一覧画面の場合

▶「1件設定／選択設定／全設定」を選択
「全設定」を選択すると、楽曲一覧画面のすべての楽曲をプレイリストに登録します。

3 プレイリスト名を入力

プレイリストが作成され、プレイリスト楽曲一覧画面が表示されます。

■ 再生する場合

▶◉［再生］

プレイリストを再生する

1 フォルダ一覧画面（P.326）▶「プレイリスト」

「プレイリスト一覧画面」が表示されます。

■ プレイリストをすぐに再生する場合

▶再生するプレイリストを反転▶✉［再生］

プレイリスト一覧画面
機能メニュー➡P.332

2 プレイリストを選択

「プレイリスト楽曲一覧画面」が表示されます。

■「全曲リスト（本体）」を選択した場合

FOMA端末（本体）に保存されているすべての楽曲（再生可能な楽曲）が含まれたプレイリストが表示されます。

プレイリスト楽曲一覧画面
機能メニュー➡P.332

3 ◉［再生］

プレイリストの再生がはじまり、登録した順番で楽曲が再生されます。

おしらせ

- プレイリストに登録されている楽曲をすべて削除した場合は、プレイリストも削除されます。

機能 プレイリスト一覧画面（P.332）

プレイリスト作成→P.332

プレイリスト名編集……プレイリスト名を編集します。全角128文字、半角256文字まで入力できます。

プレイリスト複製……プレイリストのコピーをプレイリスト一覧に作成します。

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

プレイリスト情報……プレイリスト名、プレイリスト内の曲数、プレイリストの再生時間が表示されます。

プレイリスト削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

機能 プレイリスト楽曲一覧画面（P.332）

プレイリスト作成→P.332

プレイリスト編集

並び替え……移動先の位置を選択し、楽曲を並び替えます。

楽曲追加……追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。「複数選択について」→P.38

解除……「1件解除／選択解除／全解除」から選択し、楽曲をプレイリストから解除します。「複数選択について」→P.38

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

ソート……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を並び替えます。

一覧表示切替……一覧の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

ミュージック情報……楽曲のファイル名、保存日時などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、◎で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。画像が複数枚あるときは、◎で画像を切り替えることができます。

リピート設定

OFF（お買い上げ時）……リピート再生しません。

オールリピート……プレイリスト内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

おしらせ

<プレイリスト編集>
- プレイリストから楽曲を解除しても、もとのデータは削除されません。

SD-Audioを利用する

音楽CDの音楽データや音楽配信サービスなどで入手した音楽データを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに登録すると、FOMA端末で再生できます。
- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	MPEG2 AAC（LC）／MPEG2 AAC+SBR／ADTS Stream
ビットレート	16～192kbps
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。
- microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは下記のホームページより購入できます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/PanaSense/special/soft/sd_jukebox/
SD-Jukeboxの対応OSは、Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaです。動作環境詳細は下記のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

microSDメモリーカードにSD-Audioデータを登録する

1 以下のものを準備する
- 「SD-Jukebox」の動作環境を満たしたパソコン※1
- 著作権保護機能対応のmicroSDメモリーカードのリーダー／ライター※2
- microSDメモリーカード

※1：あらかじめ「SD-Jukebox」をパソコンにインストールしておいてください。
※2：パソコンからmicroSDメモリーカードにデータを書き込むのに必要です。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使って、FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして使うこともできます。→P.301

2 パソコンから「SD-Jukebox」を起動し、音楽CDなどの音楽データをAAC形式に変換する

「SD-Jukebox」の使用方法については、「SD-Jukebox」のヘルプをご覧ください。
変換済みの音楽データを書き込む場合は操作3へ進んでください。

3 「SD-Jukebox」を使ってSD-AudioデータをmicroSDメモリーカードに登録する

おしらせ
- SD-Audioデータは着信音に設定することはできません。

microSDメモリーカードにWMAデータを登録する

「Windows Media Player」を使って、音楽CDの音楽データをWMAデータに変換してmicroSDメモリーカードに登録します。
- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	WMA9（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
DRM	Windows Media DRM10 for Portable Devices
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには999曲まで登録できます。
- Windows Media Player 10／11について
  Windows XPでWindows Media Player 10／11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。また、操作方法についてはWindows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。
- microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

1 以下のものを準備する
- 「Windows Media Player」の動作環境を満たしたパソコン
- microSDメモリーカード

2 USBモード設定画面（P.302）▶「MTPモード」

「MTPモード」に設定すると、「 」が表示されます。

次ページにつづく

3 FOMA端末とパソコンを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

MTPモード中にmicroSDメモリーカードが挿入され、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続されている場合は、「 」が表示されます。

4 パソコンから「Windows Media Player」を起動し、音楽CDなどの音楽データをWMA形式に変換する

「Windows Media Player」がFOMA端末を認識するまで時間がかかる場合があります。

5 パソコンからWMAデータをmicroSDメモリーカードに転送する

6 データ転送が終わったらFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を外す

7 FOMA端末のUSBモードを「通信モード」に戻す

おしらせ

- ナップスター®アプリについて
  ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。
  - ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
    http://www.napster.jp/
  - ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
    http://www.napster.jp/support/
- 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに転送したWMAデータは、N905iμで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMAデータを転送したmicroSDメモリーカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。その場合には、WMAのフォルダ一覧画面の機能メニューから「WMA全削除」を行うか、microSDメモリーカードをフォーマット（P.301）してください。なお、microSDメモリーカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- WMAデータは着信音に設定することはできません。

音楽を再生しながら他の機能を利用する

〈BGM再生（バックグラウンド再生）〉

楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組は、他の機能を利用しながら再生することができます。

- ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組では、BGM再生を利用できません。

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.326）▶☎▶「BGM再生」

待受画面が表示され、他の機能を利用できるようになります。

■ BGM再生を終了する場合

タスクをミュージックグループに切り替え、ミュージックプレーヤーの再生を停止してください。

タスクの切り替えかたについて→P.337

■ミュージックメニューの機能

BGM再生	再生したまま待受画面を表示します。
ミュージック終了※1・Music&Video ch終了※2	再生を終了します。
キャンセル	メニューを消します。

※1： 楽曲を再生中のときのみ利用できます。
※2： 番組を再生中のときのみ利用できます。

● BGM再生中に利用できる機能

機能	可否
電話／テレビ電話／プッシュトーク	×
メール	○※1
ｉモード	○
ｉアプリ	△※2
データBOX	△
LifeKit	△
電話帳	○
ユーザデータ	○
各種設定	△
サービス	△
おサイフケータイ／トルカ	○

○：利用可　△：一部利用可　×：利用不可
※1： メール設定の「受信時動作設定」を通知優先に設定しているとメール受信時に楽曲を一時停止します（操作優先に設定していても待受画面表示中にメールを受信すると一時停止します）。ｉモードメール作成時は「カメラ起動」など一部ご利用になれない機能もあります。
※2： ｉアプリを起動すると楽曲を一時停止します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて
〈マルチアクセス〉

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、ｉモード中に音声電話をかけたりできます。
「マルチアクセスの組み合わせについて」→P.422

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、以下の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

おしらせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のｉモードメール受信

音声通話中にｉモードメールを受信すると、音声通話中画面のままｉモードメールを受信します。受信したｉモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 [MULTI] ▶「(送受信)」を選択

ｉモードメールの受信結果画面に切り替わります。
タスクの切り替えについて→P.337

➡

2 ｉモードメールを確認

ｉモードメールの見かた→P.202

3 [MULTI] ▶「(音声通信)」を選択

音声通話中画面に切り替わります。

● ｉモード中／パケット通信中の音声電話着信

ｉモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、ｉモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

1 [☎]

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでｉモード画面に戻る場合
▶ [MULTI] ▶「(閲覧)」を選択
相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら[☎]

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままｉモード画面に戻る場合
▶ [MULTI] ▶「(閲覧)」を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、タスクアイコン表示エリアから表示したい機能を選択します。→P.337

● ｉモード中の音声電話発信

ｉモードの接続中やメールの送受信中に、ｉモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 ｉモード中▶ [MULTI]（1秒以上）

待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.50

3 通話が終了したら[☎]

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままｉモード画面に戻る場合
▶ [MULTI] ▶「(閲覧)」を選択

マルチタスクについて
〈マルチタスク〉

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある以下のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。※

※：ミュージックグループを除く。

「マルチタスクの組み合わせについて」→P.423

使用中のタスクアイコンが表示されます。

グループ	大項目（タスク）
メールグループ	メール
ｉモードグループ	ｉモード
ｉアプリグループ	ｉアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	データ BOX、LifeKit、電話帳、ユーザデータ
ミュージック	MUSIC

- Music&Videoチャネルの番組取得中は1つの機能が使用中の状態となり、タスクアイコン「 」が表示されます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク（機能）の呼び出しかた

1 タスクを起動中▶MENU MULTI［MULTI］（1秒以上）

待受画面が表示されます。ただし、起動中のタスクによっては待受画面が表示されない場合があります。

2 起動していないグループのタスクを選択

■ メインメニューから呼び出す場合

▶MENU MULTI▶MENU MULTI［MENU］▶タスクを選択→P.31

■ メニュー番号から呼び出す場合

▶MENU MULTI▶MENU MULTI［MENU］▶呼び出したいタスクのメニュー番号を入力→P.402

■ メールメニューを呼び出す場合

▶ →P.188

■ ｉモードメニューを呼び出す場合

▶ →P.166

おしらせ

- 機能によっては、他のグループの機能として呼び出され、起動するものがあります。
- 以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
  - メールメニューからの新規メール作成
  - メールメニューからのSMS作成
  - テンプレートを利用してデコメール作成
  - 受信メールの返信／引用返信／転送
  - 送信メールの再編集
  - 保存メールの再編集

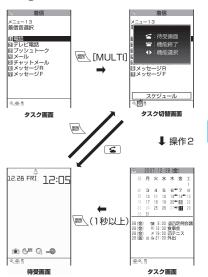
タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。

1 複数のタスクを起動中▶MENU MULTI［MULTI］

「タスク切替画面」が表示されます。

2 切り替えたいタスクアイコンを で反転▶● ［選択］

その他の便利な機能

● タスクを終了する

■1つずつ終了する場合

- 終了したいタスク画面を表示▶[☎]
- タスク切替画面で終了したいタスクアイコンを反転▶[☎]▶「選択した機能を終了」

■すべてのタスクを終了する場合

- タスク切替画面を表示▶[☎]▶「全機能を終了」

データを時系列に表示する〈ライフヒストリービューア〉

過去に自分が登録した画像やメールの送受信履歴などを、日付や時間に沿って参照することができます。

●参照できるデータの種類は以下のとおりです。

- JPEG形式の静止画や画像
- 動画、iモーション
- スケジュール
- メールの送受信履歴

1 ▶「LifeKit」▶「ライフヒストリービューア」

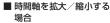
「ライフヒストリー一覧画面」が表示されます。

でデータが上下にスクロールします。

ライフヒストリー一覧画面の見かた→P.338

■ 時間軸を拡大／縮小する場合

▶ [拡大]／ [縮小]

ライフヒストリー一覧画面

機能メニュー➡P.339

2 データを選択

「ライフヒストリービューア画面」が表示されます。

静止画、画像の場合は画像表示、動画、iモーションの場合はプレビュー表示されます。それ以外のデータの場合は、データの情報が表示されます。

ライフヒストリービューア画面

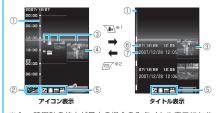
機能メニュー➡P.339

3 [開く]

データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

おしらせ

- ロックのかかっているデータがある場合、表示設定にかかわらず、端末暗証番号の入力が求められます。
- ダウンロードしたデータによっては、保存した日時が正常に表示されない場合があります。

ライフヒストリー一覧画面の見かた

アイコン表示　　タイトル表示

※1：時間軸の拡大が最大の場合のみタイトル表示になります。時間軸の拡大が最大になっていない場合は、押すたびに時間軸が拡大します。

※2：アイコン表示の場合は、時間軸が縮小します。

①時間軸

②時間軸状態表示

時間の間隔に合わせ、 ～ ～

③アイコン

静止画、画像：画像のサムネイル

動画、iモーション：動画のアイコン

スケジュール：スケジュールのアイコン

送受信メールの履歴：送受信メールの履歴のアイコン

④データの情報

静止画、画像、動画、iモーション：表示なし

スケジュール：スケジュールの内容

送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

⑤表示対象のデータの種類

：静止画、画像

：動画、iモーション

：スケジュール

：受信メールの履歴

：送信メールの履歴

：送受信メールの履歴

⑥日時

静止画、画像、動画、iモーション：撮影日時／更新日時／保存日時

スケジュール：開始日時

送受信メールの履歴：送受信日時

⑦タイトル

静止画、画像、動画、iモーション：タイトル

スケジュール：スケジュールの内容

送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

機能 ライフヒストリー一覧画面（P.338）／ライフヒストリービューア画面（P.338）

拡大表示※……ライフヒストリービューア画面に切り替えます。

開く……データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

表示設定……ライフヒストリービューアで表示するかどうかを、データの種類ごとに設定します。

デスクトップ貼付※→P.115

時間軸拡大※……時間軸を1段階拡大します。

時間軸縮小※……時間軸を1段階縮小します。

再読み込み……表示情報を最新の状態に更新します。

※：ライフヒストリー一覧画面のみ利用できます。

キーワード検索する〈クイック検索〉

デスクトップアイコンや各機能から検索ウィンドウを起動し、知りたいキーワードをｉモードなどの検索サイトで検索して、様々な情報やデータをすばやく表示します。

- 以下の機能で機能メニューから起動することができます。
  - ｉモード、フルブラウザ（スタンダードタイプ）、画面メモ、ｉチャネルの閲覧画面
  - メール、メッセージR／Fの受信詳細画面およびｉモードメール本文編集画面
  - スケジュール詳細画面

<例：ｉモード中にクイック検索を利用する場合>

1 ｉモード中に ch［機能］▶「クイック検索」

「クイック検索画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

直接入力……キーワードを直接入力します。

範囲選択……キーワードを範囲選択します。

検索履歴……以前検索した履歴からキーワードを選択します。

i Menu……i Menu画面を表示します。

アラーム機能を利用する〈アラーム〉

- アラームは10件まで登録できます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「アラーム」

「アラーム画面」が表示されます。

以前にアラームを設定したことがある場合は、前回の設定内容が表示されます。

アラーム画面

機能メニュー➡P.340

■ 前回の設定内容のままON／OFFを切り替える場合

▶設定項目を反転▶ iα［ON/OFF］

iα を押すたびにON／OFFが切り替わります。

■ 前回の設定内容を確認する場合

▶設定項目を反転▶◉

アラーム詳細画面

機能メニュー➡P.340

2 設定する項目を反転▶ ✉［編集］

3 以下の項目から選択

タイトル……アラームのタイトルを入力します。全角6文字、半角12文字まで入力できます。

時刻入力……アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し……アラームの繰り返しを設定します。

設定なし……1回だけアラームを鳴らします。

毎日（D）……毎日アラームを鳴らします。

曜日指定（W）……設定した曜日にアラームを鳴らします。「複数選択について」→P.38

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

アラーム音量……◎でアラーム音量を設定します。

次ページにつづく

イルミネーション選択……着信イルミネーションの点滅色を設定します。着信イルミネーションを点滅させないときは「OFF」を選択します。

パターン設定……着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。

スヌーズ通知……スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

- **スヌーズ通知する**……鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。
  アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。
- **スヌーズ通知しない**……鳴動時間（01～10分）を入力します。
  アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

自動電源ON……アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 **[完了]**

おしらせ

- 自動的に電源を入れてアラームを通知する場合、サイトからダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックがアラーム音に設定されていても「アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

機能 **アラーム画面（P.339）／アラーム詳細画面（P.339）**

編集……アラームを編集します。

詳細表示※……アラームの内容を表示します。

完了（1件ON）……アラームを有効にします。

1件OFF……アラームを1件無効にします。

全件OFF……設定されているアラームをすべて無効にします。

※：アラーム画面のみ利用できます。

スケジュールを管理する 〈スケジュール〉

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールやTo Doの件数や用件が表示されます。

- 2004年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

- 500件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.345

1 MENU ▶「LifeKit」▶「スケジュール」

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

機能メニュー➡P.341

2 **[新規]** ▶「スケジュール」

3 **以下の項目から選択**

内容編集……スケジュールの内容を入力し、アイコンを選択します。全角256文字、半角512文字まで入力できます。
入力した内容は通知時に表示されます。

開始日時・終了日時……開始・終了の年月日と時刻を設定します。

繰り返し……スケジュールの繰り返しを設定します。

- **設定なし**……設定した日時のみの設定になります。
- **毎日**（D）……毎日の繰り返し設定になります。

曜日指定（W）……選択した曜日の繰り返し設定になります。「複数選択について」→P.38

アラーム通知……開始日時になったときのアラームの通知について設定します。

通知する……開始日時にアラーム通知します。

事前通知する……開始日時の何分前（01～99分）にアラーム通知するか設定します。

通知しない……開始日時になってもアラーム通知しません。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

イルミネーション選択……着信イルミネーションの点滅色を設定します。着信イルミネーションを点滅させないときは「OFF」を選択します。

パターン設定……着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。

要約編集……スケジュールの要約を入力します。全角20文字、半角40文字まで入力できます。入力した要約は通知時に画面に表示されます。

4 **［完了］**

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時（開始日時の01～99分前）のみです。スケジュールを設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- アラーム通知をするタイミングを同じ日時で行うように登録できるのは、「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

機能 スケジュール画面（P.340）

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.340
「休日・記念日を登録する」→P.342

１週間表示⇔１ヶ月表示……「スケジュールの表示を切り替える」→P.341

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は１件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定→P.342

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.343）に切り替えます。

登録件数確認……スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数を確認します。なお、シークレットモード／シークレット専用モードでは、シークレットで登録された件数も確認することができます。

ｉC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

祝日リセット……国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。

削除……「選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面でカーソルのある日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

おしらせ

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はリセットされてお買い上げ時の登録内容に戻ります。

● スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。を押して確認したい日付を反転させると、選択した日付に登録されているスケジュールやTo Doリストの件数やアイコンを確認できます。

1 **［表示切替］**

［表示切替］を押すたびに「1ヶ月表示」／「1週間表示」が切り替わります。

青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日・祝日・休日
ピンクの日付：記念日
＿：当日
□：午前のスケジュールが登録済み
■：午後のスケジュールが登録済み
T：To Doリストが登録済み

その他の便利な機能

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年1月現在）。

休日・記念日を登録する

- 休日･記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日・記念日は1日に1件のみ登録できます。

<例：記念日を登録する場合>

1 スケジュール画面（P.340）▶ [新規] ▶「記念日」

■ 休日を登録する場合
▶「休日」

2 以下の項目から選択

年月日設定……休日・記念日を登録する年月日を入力します。

繰り返し……休日・記念日の繰り返しを設定します。

設定なし……登録した休日･記念日をその年のみ設定します。

毎年（Y）……登録した休日・記念日を毎年の休日・記念日として設定します。

お知らせ設定※……記念日をお知らせする日を「1週間前／3日前／前日／当日」から選択します。ここで登録した日の午前0:00になると、着信イルミネーションの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコンを表示して、お知らせがあることを通知します。→P.113、117

休日編集／記念日編集……休日・記念日の内容を入力します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

※：記念日編集画面のときのみ表示されます。

3 **[完了]**

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定します。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「1」～「5」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イルミネーション・ウィンドウには「★」が表示されます。

- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1 スケジュール画面（P.340）▶ [機能] ▶「ユーザアイコン設定」▶「<未登録>」

■ すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合
▶設定されている項目を選択

■ ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合
▶「全解除」▶「YES」
ユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 フォルダを選択

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選択することもできます。

■ スケジュールに登録されているアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」▶「YES」

■ スケジュールに登録されていないアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」

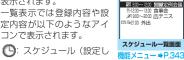
3 画像を選択

選択した画像がプレビュー表示され、しばらくするとユーザアイコン一覧に戻ります。

スケジュール・休日・記念日を確認する

登録したスケジュール・休日・記念日の内容を確認します。

1 スケジュール画面(P.340)▶スケジュール・休日・記念日が登録されている日付を選択

「スケジュール一覧画面」が表示されます。
一覧表示では登録内容や設定内容が以下のようなアイコンで表示されます。

スケジュール一覧画面
機能メニュー➡P.343

- スケジュール（設定したスケジュールアイコンを表示）
- H：休日
- 記念日
- To Doリスト
- アラーム通知
- D：毎日繰り返し
- W：曜日指定繰り返し
- Y：毎年繰り返し
- A：終日（0：00～23：59）をまたぐスケジュール

その他の便利な機能

❷ 項目を選択

スケジュールの詳細画面　休日の詳細画面　記念日の詳細画面

機能メニュー ➡P.343

機能 **スケジュール一覧画面（P.342）／スケジュール・休日・記念日詳細画面（P.343）**

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.340
「休日・記念日を登録する」→P.342

編集……スケジュール・休日・記念日を編集します。

コピー……スケジュール・休日・記念日をコピーします。コピー元に繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。

クイック検索→P.339

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定→P.342

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.343）に切り替えます。

シークレット解除……シークレットモード／シークレット専用モードで登録したスケジュールを通常のデータに戻します。→P.128

iモードメール作成→P.188

メール添付……スケジュールを添付したメールを作成します。

デスクトップ貼付→P.115

iC送信→P.309

赤外線送信→P.307

iC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

microSDへコピー→P.298

削除……「1件削除／選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「前日まで削除」を選択すると、表示中の日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

To Doリストを登録する〈To Doリスト〉

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。
- 2004年1月1日から2037年12月31日まで登録できます。

用件を登録／編集する

- 100件まで登録できます。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していないTo Doリストは登録できません。
- To Doリストのアラーム通知について→P.345

<例：用件を登録する場合>

❶ MENU ▶「LifeKit」▶「To Doリスト」

「To Doリスト画面」が表示されます。

To Doﾘｽﾄ:すべて

To Doリスト画面

機能メニュー ➡P.344

❷ [機能]▶「新規登録」

■ 用件を編集する場合
▶ ch ［機能］▶「編集」

✉ のソフトキーは、用件未登録時には［新規］が、用件登録時には［編集］が表示されます。

❸ 以下の項目から選択

内容……用件の内容を入力します。全角100文字、半角200文字まで入力できます。

期日……用件の期日を設定します。

直接入力……年月日と時刻を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択し、時刻を設定します。

なし……期日を設定しません。

優先度……用件の優先度を「高／低／なし」から選択します。

カテゴリー……用件のカテゴリーを「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知について設定します。

通知する……期日にアラーム通知します。

事前通知する……期日の何分前（01～99分）にアラーム通知するか設定します。

通知しない……期日になってもアラーム通知しません。

♪ **アラーム音選択**……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

イルミネーション選択……着信イルミネーションの点滅色を設定します。着信イルミネーションを点滅させないときは「OFF」を選択します。

パターン設定……着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。

完 **完了日**※……用件の完了日を設定します。

直接入力……年月日を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択します。

なし……完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときのみ利用できます。

4 [完了]

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（To Doリストの01～99分前）のみです。To Doリストを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

機能 **To Doリスト画面（P.343）／To Doリスト内容確認画面（P.344）**

新規登録・編集→P.343

スケジュール切替……スケジュール画面（P.340）に切り替えます。

状態……用件の状態を「予定／承諾／依頼／暫定／確認／拒否／完了／代理」から選択します。
「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。

カテゴリー別表示※……用件を「すべて／なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択してカテゴリー別に表示します。

ソート／フィルタ※……条件を選択して、ソート機能で用件を並び替えたり、フィルタ機能で特定の用件のみを表示します。

デスクトップ貼付※→P.115

メール添付……用件を添付したメールを作成します。

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

ｉC全送信※→P.309

赤外線全送信※→P.308

microSDへコピー→P.298

削除……「1件削除／選択削除※／完了済み削除※／全削除※」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「完了済み削除」を選択すると、完了した用件がすべて削除されます。

※：To Doリスト画面でのみ利用できる機能です。

用件を確認する

1 To Doリスト画面（P.343）▶用件を選択

「To Doリスト内容確認画面」が表示されます。

To Doリスト画面

機能メニュー➡P.344

To Doリスト内容確認画面

機能メニュー➡P.344

アラーム通知のしかたを設定する〈アラーム通知設定〉

「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。
「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

12.28 FRI 12:05

■ 当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合
「 」が表示されます。

■ 明日以降の設定がある場合
「 」が表示されます。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに「アラーム通知動作」（P.346）のような動作でアラームを通知します。

- アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。
  アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。

おしらせ

- 「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- 「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、時刻アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。

<アラーム通知の優先順位>
- 「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
  ①アラーム　②To Doリスト　③スケジュール
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音
「スヌーズ通知しない」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。
「スヌーズ通知する」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔（分）で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に ☎ を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■スケジュール、To Doリストのアラーム音
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージが表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合
アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

おしらせ

- 以下のようなときは、スヌーズが解除されます。
  - 音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があったとき
  - 「アラーム通知設定」を「通知優先」の場合にアラーム、スケジュール、To Doリストのアラームが通知されたとき

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中 ▶◉▶「 (未通知アラームあり)」を選択

「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」の未通知アラーム情報が表示されます。

■「 」を消す場合
▶CLR（1秒以上）

「 」を消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

その他の便利な機能

2 内容を確認▶CLR
待受画面に戻り、「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンは消えます。

● アラーム通知動作

■待受画面表示中のとき

- アラーム
アラーム音が設定した鳴動時間(01～10分)鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間、設定した鳴動間隔(01～10分の2桁)、設定した鳴動回数(01～10回の2桁)繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーション/iモーション、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。
- スケジュール・To Doリスト
アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイにはアニメーション/iモーション、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。

■電源が切れているとき

- アラーム
「自動電源ON」の設定で「電源ONする」に設定している場合は自動で電源が入りアラームを通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源は入らずアラームを通知しません。電源を入れた後も「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンは表示されません。
- スケジュール・To Doリスト
設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。

■通話中※のとき

受話口から時刻アラーム音(ピッピピ…)が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。

■iモード中/メール送受信中※のとき

「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。

■イヤホンマイク接続中のとき

「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。なお、アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよびスピーカから鳴ります。

■ダイヤルロック設定中/おまかせロック設定中/オリジナルロック設定中のとき

- アラーム
「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。電源を切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、ロック解除後も「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンは表示されません。オリジナルロック設定中は待受画面に「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック/おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。
- スケジュール・To Doリスト
「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。オリジナルロック設定中は待受画面に「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック/おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。

※「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「(未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されます。

メールやアラーム内容を読み上げる

メール受信時やアラーム通知中に音声でメールの本文やアラーム内容を読み上げます。

おしらせ

- 読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。

メールの本文を読み上げる

- あらかじめ「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」を「有効」に設定してください。また、「読み上げ音声設定」で音声を変更することもできます。
- 「バイリンガル」が日本語表示に設定されている場合のみ読み上げます。

● FOMA端末を閉じているときにサイドボタンを使って新着メールの本文を読み上げる

イルミネーション・ウィンドウに「」が表示されている場合に、FOMA端末を閉じたまま、その本文を読み上げることができます。

- FOMA 端末を閉じた状態で読み上げるには、あらかじめ「サイドボタン設定」を「閉じた時有効」に設定してください。

1 FOMA端末を閉じたまま▶10秒以内に
メール/チャットメールの本文の読み上げを開始します。

■「不在/新着確認設定」が「OFF」に設定されている場合

FOMA端末を閉じたままを押した時点で、読み上げを開始します。

その他の便利な機能

● FOMA端末を開いているときにメールの本文を読み上げる

以下のような場合に、メールの本文を読み上げることができます。

- FOMA端末を開いて操作中にメール／チャットメールを受信し、受信結果画面が表示されているとき
- 「iモード問い合わせ」を実行し、問い合わせ結果画面が表示されているとき
- 受信メール詳細画面を表示しているとき

<例：iモード問い合わせを実行した場合>

1 問い合わせ結果画面が表示されている間に［読上げ］

受信したメール／チャットメールの本文の読み上げを開始します。

■ 複数のメール／チャットメールを同時に受信した場合

受信日時の新しいメールから順に読み上げます。読み上げ中に を押して、次のメールを読み上げることができます。また、読み上げ完了後、自動的に次のメールを読み上げます。

おしらせ

- 読み上げ中に を押すと、次のメールを読み上げる前に「ピー」という音が鳴ります。読み上げ後に次のメールがない場合は、「ピピッ」という音が鳴り、メールの読み上げを終了します。
- 以下の場合、新着メール／チャットメールの読み上げは行われません。
  - メール連動型iアプリのメールやSMS送達通知を受信した場合
  - 通話中または通信中の場合（ただし、パケット通信中は読み上げます）
  - マナーモード設定中で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続していない場合
  - ミュージックプレーヤー再生中
- 送信元の名前とメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、「○○さんからのメール」という音声通知の後に本文を読み上げます。ただし、受信メール詳細画面では「○○さんからのメール」は通知されません。

アラーム通知中にアラーム内容を読み上げる

FOMA端末を閉じているときにアラーム通知があった場合、アラーム通知中にを押すと、アラームを停止し、アラーム内容を読み上げます。

- 「不在／新着確認設定」を「ボイス」に設定している場合のみ読み上げを行います。

1 アラーム通知中に

読み上げを開始します。
読み上げる内容は以下のとおりです。

アラームの種類	読み上げる内容
アラーム	現在時刻
スケジュール	登録したスケジュールの要約または内容の20文字分
To Doリスト	登録した用件の20文字分

おしらせ

- 読み上げ中に再度を押すと、読み上げを中止します。
- シークレットデータとして登録したスケジュールは読み上げません（「シークレットモード」、「シークレット専用モード」の場合を除く）。

自分の名前や画像を登録する 〈マイプロフィール〉

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外は登録したデータがFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外はFOMA端末に登録したデータが表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、１件目のメールアドレスのみ表示できます。

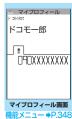
1 ▶「LifeKit」▶「マイプロフィール」

「マイプロフィール画面」が表示されます。
自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

マイプロフィール画面

機能メニュー➡P.348

その他の便利な機能

次ページにつづく

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、マイプロフィール画面でを押すとBナンバーの情報を表示できます。Aナンバーのプロフィール画面には A 、Bナンバーのプロフィール画面には B が表示されます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bモードでマイプロフィールの初期化を行ってください。→P.348

機能 マイプロフィール画面（P.347）

マイプロフィール編集→P.348

全データ表示……で登録内容を確認します。

名前コピー……マイプロフィールに登録されている名前をコピーします。
コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367

電話番号コピー※1……現在表示している電話番号をコピーします。
コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367

メール添付※2……マイプロフィールのデータを添付したメールを作成します。

対応ｉアプリを利用※3……対応したｉアプリの一覧画面を表示します。

地図を見る※3……マイプロフィールに登録されている位置情報を使ってサイトに接続します。

メール貼り付け※3……位置情報URLをｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

microSDへコピー→P.298

拡大表示⇔標準表示……表示する名前の文字サイズを切り替えます。

2in1契約問い合わせ※4……Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのマイプロフィール画面に登録します。

マイプロフィール初期化……自局番号以外のマイプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

電話番号削除※5……現在表示している電話番号を削除します。

※1：選択している項目によって機能名は「メールアドレスコピー／住所コピー／位置情報コピー／誕生日コピー／メモコピー」と表示されます。
※2：全データ表示中にのみ利用できます。
※3：「全データ表示」表示中に、位置情報を反転しているときのみ利用できます。
※4：2in1のBナンバーのマイプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
※5：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／位置情報削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除」と表示されます。

マイプロフィールを登録する

1 マイプロフィール画面（P.347）▶[編集]▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

姓 姓……お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、名と合わせて全角16文字、半角32文字まで入力できます。

カナ フリガナ……お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で名前のフリガナと合わせて32文字まで入力できます。

名 名……名字と同様、お客様の名前を入力します。

カナ フリガナ……名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号……自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
新しく電話番号を登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス……メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
メールアドレスが登録されていない場合は、「自動取得」を選択し、設定されているメールアドレスをｉモードセンターから自動で取得できます。
1件目のメールアドレスを登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所……郵便番号および住所（都道府県名／市町村名／番地／マンション名など）を順番に入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

位置情報付加……位置情報を現在地を測位して登録するか、位置履歴から登録します。
登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日……誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。ここで登録した誕生日の午前0:00になると、着信イルミネーションの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコンを表示して、お知らせがあることを通知します。→P.117

メモ……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画……マイプロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

3 **[完了]**

おしらせ

- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

個人データ（マイプロフィール）を引用する

個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／ｉモードで登録されている内容を引用できます。

<例：ｉモードサイトで個人データを引用する>
選択する項目はサイトによって異なります。

1 個人データを引用するサイトを表示▶「マイプロフィール引用」を選択▶端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ 引用する項目を指定する場合
▶で引用しない項目のチェックを外す

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
▶「マイプロフィールA」または「マイプロフィールB」

2 **[完了]**

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

- 住所情報を文字入力、ｉモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。
- マイプロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

相手の声や自分の声を録音する〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.72

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶ [] （1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶ [停止]、CLR、 または [] （1秒以上）
 を押した場合は、通話も終了します。
ただし、テレビ電話中はCLRを押しても録音を中断することはできません。

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。
- 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号にかかってきた電話の相手の声を録音すると、音声メモの再生／消去画面には「★」が表示されず、再生できません。

待受中に自分の声を録音する

1 MENU▶「LifeKit」▶「待受中音声メモ」▶「YES」▶音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LifeKit」の一覧画面が表示されます。

■ 録音を途中でやめる場合
▶ [停止]、CLRまたは
 を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

アラーム音や応答保留音を録音／再生する 〈おしゃべり機能〉

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 「おしゃべり機能」が録音されている場合は「おしゃべり機能画面」に「★」が表示されます。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - 各種着信音（音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR／F、非通知着信設定、マルチナンバー、2in1のBナンバー）
  - 各種アラーム通知音（アラーム、スケジュール、To Doリスト、通話料金通知）
  - 応答保留音
  - 応答メッセージ（伝言メモ）

音声を録音する

1 MENU ▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶項目を選択▶「YES」▶音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

おしゃべり機能画面

機能メニュー➡P.350

■ 録音を途中でやめる場合

▶◉［停止］、CLRまたは☎

録音中に☎を押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

- 録音中に音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があったときや「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生する

1 MENU ▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶項目を選択

■ 再生を途中でやめる場合

▶◉［停止］、CLRまたは☎

機能 おしゃべり機能画面（P.350）

録音……音声を録音します。

再生……録音した音声を再生します。

消去……録音した音声を消去します。

通話時間・料金を確認する 〈通話時間／料金〉

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積されますが表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約いただいている場合、通話時間と通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

1 MENU/MULTI▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話時間／料金」

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間の目安を表示（発信、着信どちらの通話でも表示）
通話料金	直前の通話料金の目安を表示（「音声通話」は音声電話、「デジタル呼（AV呼）」はテレビ電話、「デジタル呼（非制限デジタル）」は64Kデータ通信の料金を表示）
積算時間	前回リセットしたときから現在までの積算通話時間を表示（「音声通話」は音声電話、「デジタル呼（AV呼）」はテレビ電話、「デジタル呼（非制限デジタル）」は64Kデータ通信の時間を表示）
積算通話料金	前回リセットしたときから現在までの積算通話料金の目安を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の合計料金が表示）
前回積算時間リセット日時	積算通話時間をリセットした前回の日時を表示
前回積算料金リセット日時	積算通話料金をリセットした前回の日時を表示

おしらせ

- 前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
- 電源を切ると、通話時間は「0秒」、通話料金は「¥＊＊」に戻ります。
- 電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする〈積算リセット〉

「通話時間／料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

1 MENU/MULTI▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算時間リセット……積算通話時間をリセットします。

積算料金リセット……PIN2コードを入力して積算通話料金をリセットします。
PIN2コードについて→P.124

積算通話料金の自動リセットを設定する〈積算料金自動リセット〉

毎月1日のAM0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU/MULTI▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.124

■ 設定しない場合

▶「OFF」

おしらせ

- 積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「メイン時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合は積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  - FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
  - FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
  - PIN2コードがロック中のとき→P.124
  - FOMAカードに異常があるとき

通話料金の上限を設定して知らせる 〈通話料金通知〉

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。
- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

上限料金の設定……10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定

上限値通知設定……通話料金通知を行うかどうかを設定します。

アラーム音選択……アラーム音を選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

3 [完了]

おしらせ
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合
積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたは☎を押すと、待受画面に「（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合
積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「（通話料金通知）」のデスクトップアイコンが表示されます。

●「（通話料金通知）」の内容を確認する

待受画面に表示された「（通話料金通知）」のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶●▶「（通話料金通知）」を選択▶端末暗証番号を入力
「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶● [確認]
待受画面に戻り、「（通話料金通知）」が消えます。

電卓として使う 〈電卓〉

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。
- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「電卓」▶計算する

■「23＋57」を計算する場合
2 3 ＋ 5 7 ＝
2 3 ◎ 5 7 ●

電卓画面

機能メニュー➡P.353

■ 負の数を計算する場合
先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。
－ 2 3 ＋ 5 7 ＝
◎ 2 3 ◎ 5 7 ●

おしらせ
- CLR（ACまたはC）は、次のようなときに使います。
  - ＋、－、×、÷、＝を押した後はACの表示となり、CLRを押して計算を最初からやり直すことができます。
  - 数字や小数点の入力中はCの表示となり、CLRを押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

機能 電卓画面（P.352）

デスクトップ貼付→P.115

テキストメモを作成する〈テキストメモ〉

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成します。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。
- テキストメモは10件まで登録できます。
- テキストメモは全角256文字、半角512文字まで入力できます。

テキストメモを登録する

1 MENU ▶「LifeKit」▶「テキストメモ」
「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面
機能メニュー➡P.353

2「<未登録>」を反転▶ ✉［編集］

■ すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合
▶変更する項目を反転▶ ✉［編集］

3 内容を入力

テキストメモの内容を確認する

1 テキストメモ画面（P.353）▶項目を選択▶内容を確認

機能 テキストメモ画面（P.353）

編集……テキストメモを編集します。

ｉモードメール作成→P.188

スケジュール作成→P.340

デスクトップ貼付→P.115

ｉC送信→P.309

赤外線送信→P.307

ｉC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

microSDへコピー→P.298

テキストメモ情報……作成日時や分類を確認します。

分類……「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択して分類します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

辞典を利用する〈辞典〉

- 辞典は、各種文字編集画面の機能メニューからも利用できます。→P.354

辞典を起動する

1 MENU ▶「LifeKit」▶「辞典」
「辞典画面」が表示されます。

辞典画面
機能メニュー➡P.354

2 以下の項目から選択

直接入力……単語を入力します。全角32文字、半角64文字まで入力できます。

テキストリーダー……テキストリーダーから単語を入力します。「文字を読み取る」→P.163

検索履歴……以前検索した単語の履歴から検索します。「検索履歴を使う」→P.354

3 辞典の種類を選択
「検索結果画面（一覧）」が表示されます。
該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語にカーソルがあたって表示されます。

■ 前後の一覧を表示する場合
▶検索結果画面（一覧）▶ ◎

検索結果画面(一覧)
機能メニュー➡P.354

その他の便利な機能

4 単語を選択

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

検索結果詳細
あげる【上げる】
低い所から高い所へ移す。上の方へ動かす。（大きな声・音などを）たてる。空中に高くはなつ。海・川などから陸に移す。「与える」「やる」などの丁寧語。
[対]さげる

検索結果画面（詳細）

機能メニュー➡P.354

■ 前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面（詳細）▶

機能 辞典画面（P.353）

デスクトップ貼付→P.115

検索履歴を使う

1 辞典画面（P.353）▶「検索履歴」

「検索履歴画面」が表示されます。

検索履歴画面

機能メニュー➡P.354

2 単語を選択

機能 検索履歴画面（P.354）

1件削除・全削除……検索履歴を1件または全削除します。

機能 検索結果画面（一覧・詳細）（P.353、354）

ウィンドウ切替※1……検索結果と文字編集の画面を切り替えます。

コピー……文字をコピーします。
一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【 】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー
詳細画面：範囲を指定してコピー
コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.367

結果詳細から検索※2→P.354

別の辞典で検索……検索した単語を別の辞典で検索します。

参照編集※3……検索結果を見ながら文字編集をすることができます。「分割画面について」→P.361

※1：ウィンドウの切り替えができる場合のみ表示されます。
※2：検索結果画面（詳細）でのみ利用できる機能です。
※3：参照編集ができる場合のみ表示されます。

検索結果の詳細画面から、さらに検索する

1 検索結果画面（詳細）（P.354）▶ [機能] ▶「結果詳細から検索」

2 ▶文字のはじめの位置で ［始点］

3 ▶文字の終わりの位置まで反転▶ ［終点］

4 辞典の種類を選択

5 単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。

- 文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面を表示中
- サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。
「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

その他の便利な機能

● 辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■ 検索結果詳細画面から「参照編集」を選択した場合

①辞典の詳細画面
②文字編集画面
③区切り線

辞典を終了するときは、機能メニューから「辞典終了」を選択するか、①の画面に切り替えて［終了］を押します。

■ サイトのページまたは画面メモから「サイト参照入力」を選択した場合

①サイトのページや画面メモの画面
②検索語入力画面
③区切り線

検索語を入力したら、◉［確定］を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた 〈スイッチ付イヤホンマイク〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、端子キャップを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.25
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- 着信音が鳴っているときに平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

● スイッチを使って電話をかける

1 待受画面表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

■ 電話帳一覧画面から電話をかける場合

▶電話帳一覧画面▶かけたい電話帳を反転▶スイッチを１秒以上押す

「ピッ」という音が鳴り、電話帳に登録されている１番目の電話番号に電話がかかります。

リダイヤル／発信履歴画面（一覧）、着信履歴画面（一覧）から電話をかけることもできます。

■ 電話帳詳細画面から電話をかける場合

▶電話帳詳細画面▶かけたい電話番号を表示▶スイッチを１秒以上押す

「ピッ」という音が鳴り、選んだ電話番号に電話がかかります。

リダイヤル／発信履歴画面（詳細）、着信履歴画面（詳細）、直デン画面から電話をかけることもできます。

電話番号入力画面でスイッチを１秒以上押して電話をかけることもできます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

● スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

FOMA端末を折り畳んだ状態でスイッチを押してもかかってきた電話を受けることができます。

■ 音声電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話を受けます。

■ テレビ電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、FOMA端末を折り畳んだ状態では代替画像で、開いた状態では自画像でテレビ電話を受けます。

■ プッシュトークを受ける場合

確認音が鳴り、プッシュトークを受けます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを１秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- プッシュトークの場合、スイッチを1秒以上押しても切れません。

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ 〈イヤホンスイッチ発信設定〉

通話する相手を設定しておけば、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話やプッシュトークをかけることができます。

- 本機能には、FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている電話番号を設定できます。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して音声電話やプッシュトークをかけることができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「発信」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶以下の項目から選択

音声発信……電話帳に登録されている電話番号を選択します。電話帳の検索のしかた→P.92

プッシュトーク発信……プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号またはグループを選択します。→P.84

OFF……発信設定をしません。

おしらせ

- FOMAカードの電話帳は設定できません。
- 本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける 〈オート着信設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動で受けるようにそれぞれ設定します。

- 音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも自動で受けることができます。

1 MENU ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「オート着信設定」▶以下の項目から選択

音声着信……音声着信を設定します。

テレビ電話……テレビ電話を設定します。

プッシュトーク……プッシュトークを設定します。

2 「オート着信あり」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力

■ 無効にする場合

▶「オート着信なし」

おしらせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。機能メニューから「自画像切替」を選択するとカメラ映像に切り替えることができます。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、オート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信設定の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- プッシュトークがかかってきたとき、オート着信に移行する時間は、プッシュトークの「呼出時間設定」と「オート着信設定」の呼出時間のうち、短いほうが優先されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ〈イヤホン接続時マイク切替〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「イヤホン接続時マイク切替」▶「端末マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「端末マイク」を選択してください。

おしらせ

- 「イヤホン接続時マイク切替」を「端末マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

各種機能の設定を初期状態に戻す〈設定リセット〉

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.357

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」（P.402）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。
- 以下の機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、各機能の設定リセットを行ってください。
  - ｉモード設定リセット（ｉモード）→P.180
  - メール設定リセット（メール）→P.213
  - ビューアタイプ設定リセット／スタンダードタイプ設定リセット（フルブラウザ）→P.269

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ 顔認証が有効に設定されている場合
▶正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる

■ リセットしない場合
▶「NO」

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す〈端末初期化〉

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、ｉアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に戻る設定については、「設定リセット」をご覧ください。
- 「設定リセット」の対象となる機能と次の機能やデータは、お買い上げ時の状態に戻ります。

• メールデータ※1	• 音楽利用履歴情報
• メールのフォルダ※1	• Music&Videoチャネルの配信番組
• デコメテンプレート※1	• Bookmark
• チャットメールのチャットメンバー※1	• 画面メモ
• ｉモード設定	• ラストURL
• サイト閲覧履歴	• Internet
• ホーム	• 着もじの送信メッセージ履歴
• ビューアタイプ設定	• 追加サービス
• スタンダードタイプ設定	• マルチナンバー（電話番号設定）
• ｉチャネル設定	• FOMA端末（本体）電話帳※2
• チャネル一覧	• プッシュトーク電話帳※2
• ソフト一覧	• グループ設定※2
• ｉアプリの自動起動設定	• 着信履歴※1
• ｉアプリ実行情報	• リダイヤル／発信履歴※1
• 通話時間／料金	• 受信アドレス一覧※1
• きせかえツール	• 送信アドレス一覧※1
• ポーズダイヤル	• メールメンバー※1
• 端末暗証番号	• チャットグループ※1
• 学習履歴（文字入力の学習履歴クリア）	• ユーザ辞書※1
• To Doリスト	• ダウンロード辞書※1
• スケジュール	• 位置履歴（GPS機能）
• テキストメモ	• 現在地通知先登録データ（GPS機能）
• 音声メモの再生／消去	• 外部ICカード情報（ICカード認証設定）
• 動画メモの再生／消去	• 顔認証設定の画像登録データ
• 音声メモ	• 通信履歴表示（電話帳お預かりサービス）
• おしゃべり機能	• お客様が追加したデータ※3
• メール設定※1	• メニュー画面設定の操作履歴
• メッセージ	• クイック検索履歴

その他の便利な機能

- テキストリーダー
- バーコードリーダー
- 辞典の検索履歴
- キャラ電
- PDFデータ
- 直デン※2
- ソフトウェア更新予約情報
- ソフトウェア更新自動更新設定
- 番組、楽曲の再生中断情報
- デコメ絵文字

※1：2in1のモードがAモードまたはBモードで表示されていないデータがある場合でも、すべてのデータが初期化されます。
※2：2in1のモードがAモードでB設定の電話帳データが表示されていない場合でも、B設定の電話帳データも初期化されます。
※3：登録したデータ、ダウンロードしたデータ、iアプリのソフト、カメラで撮影した静止画や動画などです。

- ●お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- ●シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- ●「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- ●「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- ●端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信やメールの受信などもできません。

●「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。
FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.389）やmicroSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

■ 顔認証が有効に設定されている場合
▶正面を向いて顔全体が画面に写るように合わせる

2 「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動した後、ソフトウェア更新の自動更新設定についての説明が表示されます。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合
▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

- ●端末初期化を行った場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- ●パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。
- ●おサイフケータイ対応iアプリとICカード内のデータは削除されません。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

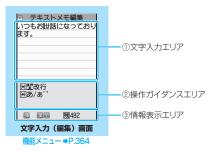
FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」「T9入力方式」の3方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

- 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
  「文字入力方式を設定する」→ P.361
  「かな方式で文字を入力する」→P.361
  「2タッチ方式で文字を入力する」→P.369
  「T9入力方式で文字を入力する」→P.369

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

文字入力（編集）画面

機能メニュー➡P.364

①文字入力エリア

アイコン	説明
		カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

②操作ガイダンスエリア

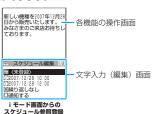
アイコン	説明
▲ ▼変換	◎で変換できます
▲ ▼全件 ▲ ▼検索	◎で電話帳検索ができます
◀ ▶ ▲ ▼領域	文字コピー（切り取り）の範囲を指定します
✳ 長押 改行	✳（1秒以上）で改行します
✳ あ／ぁ゛゜	✳で入力した文字の小文字／大文字を切り替えられます または濁点／半濁点を付けられます
✳ AA→aa	✳を押してCapsLockモードを解除できます→P.364
✳ aa→Aa	✳を押してShiftモードにできます→P.364
✳ Aa→AA	✳を押してCapsLockモードにできます→P.364
☎ 逆順	かな方式で文字を入力中に☎で前の読みに戻せます（例：え→う）
0 スペース	かな方式の英字入力モードで0を押してスペースを入力できます

③情報表示エリア

アイコン	説明
2 T9	文字入力方式（2タッチ方式／T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
挿 上	挿入モード／上書きモード
漢 カ 英 数	入力できる文字種
区	区点入力モード→P.368
全 半	全角モード／半角モード
小	小文字入力モード
Shift CAPS LOCK	Shiftモード／CapsLockモード→P.364
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	FOMAカード電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

分割画面について

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

iモード画面からのスケジュール参照登録

- ●以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
  - iモード画面からのスケジュール参照登録
  - iモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
  - チャットメールのチャット画面
  - 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集
  - クイック検索画面からの直接入力

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

おしらせ

- ●読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。ただし、英字入力モードで、[#]を押して「http://」などを入力する場合は、操作する画面の切り替えが可能です。そのとき、入力中の文字列が自動確定されます。
- ●チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

文字入力方式を設定する

3つの文字入力方式（かな方式／2タッチ方式／T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力方式」▶文字入力方式を選択

おしらせ

- ●文字の入力中に文字入力方式を切り替えることもできます。i［文字］を1秒以上押すか、機能メニューから「入力モード切替」を選択します。

文字入力サイズを切り替える

文字入力（編集）画面や、記号／顔文字／絵文字入力画面の文字サイズを「小／中／大／特大」の4種類から選択します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力サイズ切替」▶入力サイズを選択

ワード予測を設定する

ワード予測を利用するかしないか（ON／OFF）を設定します。

- ●お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「ワード予測」▶「ON」または「OFF」

かな方式で文字を入力する 〈かな方式〉

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、[1]を3回押します。

- ●文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.413）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナを入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナなど、目的の文字に変換します。

● ワード予測を利用して入力する

ワード予測には、1文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。

<例：「携帯電話」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.360）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、i［文字］で切り替えます。

❷ 読みの一部を入力

2を4回
け

文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、1文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。

❸

操作ガイダンスエリアの予測候補が選択できるようになります。

■ 入力したい文字が予測候補にない場合

▶CLR

読みの入力に戻ります。読みの続きを入力すると、予測候補も変更されます。または変換機能を利用します。

「入力したひらがなを変換する」→P.362

❹ 予測候補を選択

▶「携帯」を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。

❺ ▶次の予測候補を選択

▶「電話」を選択

■ 予測候補表示を閉じる場合

▶ch［閉］

おしらせ

- 予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
- 漢字ひらがな入力モード以外では予測候補は表示されません。
- 学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます。
  すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」でワード予測の学習履歴をクリアします。

● 入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、ワード予測をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。

<例：「秋のキャンプ」と入力する場合>

❶ ひらがなを入力

1を1回（あ）　2を2回（き）
5を5回（の）　2を2回（き）
8を1回（や）　＊を1回（小文字変換）
0を3回（ん）　6を3回（ふ）
＊を2回（゜（半濁点））

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

▶

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

▶もう一度そのボタンを1秒以上押すまたはを押す（カーソルが少し右へ移動します）

次の文字が入力できるようになります。

■ ひらがなで確定する場合

▶［確定］

❷ 入力した文字を編集する

▶ch［変換］で漢字やカタカナなどに変換

最初の文節の変換候補が反転表示され、残りの未確定文字はアンダーライン（＿）で表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合

▶［確定］

変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合

▶ch［変換］で変換候補を表示▶変換する文字を選択

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

文字入力

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合、数字も変換候補として表示されます。たとえば1 2 3（あかさ）と入力した場合、「123」という変換候補も表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合
▶で変換範囲を変更
変更した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合
▶［英数］
入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば2 3（かさ）［英数］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。
日付（10/19など）や時刻（10:19など）として表示可能な2～4桁の数字は、その変換候補も表示されます。

おしらせ

- 変換候補の一覧に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
  変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
  - 「記号・特殊文字一覧」→P.416
  - 「絵文字一覧」→P.417
  - 「顔文字一覧」→P.421
- 記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.364）および文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.364）をご覧ください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.368

● 文字数とスクロールについて

■残文字数、入力済み文字数について
文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「ﾞ」と半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

■スクロールについて
文字入力（編集）画面では、で行単位、［📷］、［マナー］でページ単位のスクロールができます。
変換候補一覧では、または［📷］、［マナー］でページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合
文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。
電話帳の再編集について→P.90

■☎を押した場合
文字の入力中に☎を押した場合は、内容を破棄して終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。
<入力中の内容を保存しないで終了する場合>
「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
☎を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。
<文字の入力を続ける場合>
「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。
CLRを押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合
文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中に［MULTI］でタスク切替画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.337

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、機能メニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
[文字]	● かな方式、T9入力方式では [文字] を押すたびに、入力する文字種が次のように切り替わります。 漢字ひらがな→ カタカナ→ 英字→ 数字 ※カタカナ・英字・数字の「半角／全角」の切り替えは機能メニューの「半角切替／全角切替」で行います。 ● 2タッチ方式では [文字] を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角→ 半角 ● 絵文字・記号の一覧表示中は絵文字や記号を連続して入力します。 を押すたびに、次のように切り替わります。 絵文字入力→絵文字D入力※→全角記号入力→半角記号入力 ※：絵文字D（デコメ絵文字）の一覧は、iモードメール本文入力画面でのみ表示されます。
*	● かな方式、2タッチ方式では「濁点／半濁点」の入力や、入力した文字の「大文字／小文字」の切り替えが行えます。 ● T9入力方式の英字入力では * を押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 モード解除→Shiftモード→CapsLockモード • モード解除：すべて小文字で入力されます。 • Shiftモード：モードを切り替えた直後の1文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shiftモードが解除されます）。 • CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ※操作ガイダンスエリアに以下のアイコンが表示されているときのみ有効です。 AA→aa／aa→Aa／Aa→AA
* （1秒以上）	改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。
	カーソルが文末にあるとき、 を押すとスペースが入力され、 を押すと改行マークが入力されます。
#	ひらがな・カタカナ入力では、カーソル位置に関係なく # と続けて押すことでスペースを入力します。 ※英字入力では 1 と押します。
	かな方式で文字を入力中に、前の読みに戻します。（例：え→う）
 （1秒以上）	文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。
[絵記]	絵文字や記号を連続して入力します。絵文字・記号の一覧表示中は を押すたびに、次のように切り替わります。 絵文字入力 → 半角記号入力 → 全角記号入力→ 絵文字D入力※ ※：絵文字D（デコメ絵文字）の一覧は、iモードメール本文入力画面でのみ表示されます。 連続入力を終了するときはCLRを押します。 記号・特殊文字一覧→P.416 絵文字一覧→P.417
[文字] （1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 [文字]（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式 → 2タッチ方式 → T9入力方式

おしらせ

< [絵記]（絵文字記号連続入力）>

● 絵文字、デコメ絵文字（絵文字D）、半角記号、全角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。機能メニューから「絵文字入力」や「記号入力」を選択したときも絵文字・記号は記憶されます。

● ch [全面] を押すと、全画面表示に切り替わり、「絵文字入力」または「記号入力」に移行します。

機能 文字入力（編集）画面（P.360）

顔文字入力……顔文字一覧を表示します。
顔文字一覧では反転した顔文字が2行表示になり、読み（意味）も表示されます。

小文字切替⇔大文字切替……これから入力する文字の「小文字／大文字」を切り替えます。

半角切替⇔全角切替……半角／全角を切り替えます。

コピー・切り取り・貼り付け→P.367

定型文入力→P.366

スペース入力……スペース（空白）を入力します。
全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入され、ともに1文字分として文字数にカウントされます。

改行入力……改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。

記号入力……記号一覧を表示します。

絵文字入力……絵文字一覧を表示します。

区点入力→P.368

上書きモード⇔挿入モード……「上書きモード」と「挿入モード」を切り替えます。
文字を入力すると、「挿入モード」ではカーソルの位置に文字が挿入され、「上書きモード」ではカーソルの位置より後ろの文字が上書きされます。文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

データ引用……各種データを引用入力します。

電話帳引用・マイプロフィール引用→P.366

テキストリーダー→P.163

バーコードリーダー→P.159

辞典検索……辞典を起動します。→P.353

ワード予測OFF⇔ワード予測ON……ワード予測のOFF／ONを設定します。→P.361

入力モード切替……文字入力方式（かな方式／2タッチ方式／T9入力方式）を切り替えます。

T9候補をかなで表示⇔T9候補を漢字で表示……T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字をかなに変換するか、漢字に変換するかを設定します。

JUMP……カーソルを文頭または文末へ移動します。

元に戻す……文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します

ウィンドウ切替……分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.361

おしらせ

<半角切替／全角切替>
- 「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

<改行入力>
- 改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。

<記号入力>
- メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。
- 半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。
- 記号一覧表示中でも絵文字を入力することができます。一覧表示中は[✉]または[iα]を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 記号一覧を表示後でも、[ch]［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

おしらせ

<絵文字入力>
- 絵文字、デコメ絵文字（絵文字D）それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字が表示されます。
- 絵文字一覧表示中でも記号を入力することができます。一覧表示中は[✉]または[iα]を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 絵文字一覧を表示後でも、[ch]［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

<入力モード切替>
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

<T9候補をかなで表示／T9候補を漢字で表示>
- 設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「T9変換モード」で設定した変換モードに戻ります。

文字を削除する

[✣]で削除したい文字の前にカーソルを合わせ、[CLR]を短く（1秒未満）押します。カーソルの右側の文字が削除されます。

■カーソルより右側に文字がない場合
カーソルの左側の1文字が削除されます。

■[CLR]を1秒以上押した場合
カーソルより右側にあるすべての文字が削除されます。

■カーソルより右側に文字がないときに[CLR]を1秒以上押した場合
すべての文字が削除されます。

定型文を入力する

●お買い上げ時に登録されている「固定定型文」については、P.422をご覧ください。

1 文字入力（編集）画面（P.360）▶ch［機能］▶「定型文入力」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶●［選択］

おしらせ

●定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
- テキストメモ編集
- ｉモードメールの題名／本文
- ｉモードメールの冒頭文／署名／引用符
- メール検索の題名入力
- 自動振分け設定の題名入力
- 定型文フォルダ名／定型文編集
- アラームタイトル編集
- 辞典検索語入力
- To Doリスト編集
- ウェイクアップのメッセージ編集
- ｉモードのテキストボックスでの編集
- ｉアプリでの文字編集

●固定定型文は文字入力方式によって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は文字入力方式にかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。
- かな方式、T9入力方式：漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
  漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
- 2タッチ方式：全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
  半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。

電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する

メール、サイト、テキストメモなどの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「マイプロフィール」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモを引用して入力します。
カメラを起動して文字やコードを読み取り、引用することもできます。
●一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面（P.360）▶ch［機能］▶「データ引用」▶以下の項目から選択

電話帳引用……電話帳を検索して目的の電話帳を表示し、引用するデータを選択して入力します。
「複数選択について」→P.38
電話帳検索のしかた→P.91

マイプロフィール引用……引用するデータを選択して入力します。「複数選択について」→P.38

テキストリーダー→P.163

バーコードリーダー→P.159

おしらせ

<マイプロフィール引用>
●住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
●所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

定型文を修正／登録する〈定型文登録〉

よく使う言葉をあらかじめ定型文として登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。
●定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。
フォルダ1～2には、あらかじめ固定定型文がそれぞれ10件登録されています。→P.422
フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
●固定定型文の内容は修正することもできます。
●フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

新しい定型文を作成する

1 **MENU ▶「ユーザデータ」▶「定型文」**

「定型文フォルダ一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.367

2 **フォルダを選択**

「定型文一覧画面」が表示されます。

定型文一覧画面

機能メニュー ➡P.367

3 **「<未登録>」を反転▶ ✉ ［編集］▶定型文を入力**

おしらせ

- メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。

機能 定型文フォルダ一覧画面（P.367）

フォルダ名編集……フォルダ名を変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名初期化……お買い上げ時のフォルダ名に戻します。

ｉＣ全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

機能 定型文一覧画面（P.367）

編集……定型文を編集します。

ｉＣ送信→P.309

赤外線送信→P.307

１件削除・全削除……定型文を１件または全削除します。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

- コピーまたは切り取りによって記憶できるのは１件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 **文字入力（編集）画面（P.360）▶ ch ［機能］▶「コピー」または「切り取り」**

2 **コピーまたは切り取りする先頭の文字の前にカーソルを移動▶ ● ［始点］**

3 **コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶ ● ［終点］**

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字を貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 **文字入力（編集）画面（P.360）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶ ch ［機能］▶「貼り付け」**

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

区点コードで入力する 〈区点入力〉

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

- 区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.360）▶ch［機能］▶「区点入力」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

2 区点コード 2 3 3 6 を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉

よく使う単語を好きな読みでユーザ辞書に登録し、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角10文字、半角20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

新しい単語を登録する

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「ユーザ辞書」

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

機能メニュー➡P.368

2 「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

おしらせ

- 登録した単語はワード予測でも入力できるようになります。

単語の内容を確認する

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「ユーザ辞書」

2 単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合

▶変更したい単語を反転▶✉［編集］

機能 ユーザ辞書画面（P.368）

編集……登録した単語を編集します。

iC送信→P.309

赤外線送信→P.307

iC全送信→P.309

赤外線全送信→P.308

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

学習履歴を初期状態に戻す 〈学習履歴クリア〉

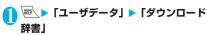
一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号……T9入力方式、「ワード予測」、「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。

かな漢字変換／顔文字……かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順をクリアします。

ダウンロードした辞書を使用する 〈ダウンロード辞書〉

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。
- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.178

1 **MENU ▶「ユーザデータ」▶「ダウンロード辞書」**

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

2 **辞書を選択**

有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ 無効に設定する場合

▶「★」が付いている辞書を選択

無効に設定されて「★」が消えます。

ダウンロード辞書
1 おためし辞書
2 人名辞書 ★
3 用語辞書
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

ダウンロード辞書画面

機能メニュー➡P.369

おしらせ
- 顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、その辞書の顔文字が機能メニューの「顔文字入力」を選択したときの画面に追加され、最大600件（内蔵100件を含む）まで一覧表示されます。
- 顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

機能 ダウンロード辞書画面（P.369）

タイトル編集……ダウンロード辞書のタイトルを変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

辞書ファイル設定……ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報……ダウンロード辞書の情報を表示します。

1件削除・全削除……ダウンロード辞書を1件または全削除します。

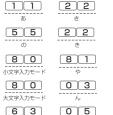
2タッチ方式で文字を入力する 〈2タッチ方式〉

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。
たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1 3 と押します。
- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.414）をご覧ください。
- ワード予測で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.361

<例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合>

1 **文字入力（編集）画面（P.360）▶全角入力モードにする**

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、［文字］で切り替えます。

2 **ひらがなを入力**

おしらせ
- 「濁点／半濁点」の入力や「大文字／小文字」の切り替えは ＊ でも行えます。

T9入力方式で文字を入力する 〈T9入力方式〉

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。
たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の 6 、「ら行」の 9 を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。
- T9入力方式の入力補助機能として、予測・変換候補に目的の文字がないときに読みを正しくする「読み編集機能」があります。
- 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.415）をご覧ください。
- T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな」「カタカナ」「英字」のときです。「数字」では自動的に「かな方式」になります。

＜例：「春」と入力する場合＞

1 文字入力（編集）画面（P.360）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢全）」になっていない場合は、[i]［文字］で切り替えます。

2 文字を入力

[6]（は行）　[9]（ら行）

「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。

■ 入力した文字が多すぎる場合

認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、[◎]で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ 予測・変換候補の表示を切り替える場合

漢字／かな：[#]

英語／日本語：[i]

3 [◎]

操作ガイダンスエリアの変換候補が選択できるようになります。

■ 文字の入力に戻る場合

▶[CLR]

■ 反転した読みに対する予測候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、[☎]を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。

たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、[ch]［変換］を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。

たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

4 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。

● 読みを編集する

＜例：「らんらんと」と入力する場合＞

1 文字を入力

[9]（ら行）、[0]（わ行）、[9]（ら行）、[0]（わ行）、[4]（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

2 [✉]［読み］

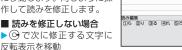
読み編集モードになり、反転表示が先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合[1]（ら）を押します。

文字を修正すると次の文字に移動します。同じように操作して読みを修正します。

■ 読みを修正しない場合

▶[◎]で次に修正する文字に反転表示を移動

■ 途中で編集を終了する場合

▶[✉]［戻る］

終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

T9変換モードを設定する

T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字やカタカナに変換（T9候補を漢字で表示）するか、ひらがなに変換（T9候補をかなで表示）するかを設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「T9変換モード」▶「T9候補を漢字で表示」または「T9候補をかなで表示」

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

● FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.372
キャッチホン	必要	有料	P.373
転送でんわサービス	必要	無料	P.374
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.375
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.48
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.375

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.67
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.68
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.376
英語ガイダンス	不要	無料	P.376
マルチナンバー	必要	有料	P.378
2in1	必要	有料	P.379
OFFICEED	必要	有料	P.384
メロディコール	必要	有料	P.103

● ネットワークサービスセンターに接続して操作する場合、「圏外」が表示されているときは操作できません。
● お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
● 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス　〈留守番電話〉

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- ●「伝言メモ」(P.70) を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- ●留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ●伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「留守番電話」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生※1……留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始※1……呼出時間（000～120秒）を入力して、留守番電話サービスを開始します。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止※1……留守番電話サービスを停止します。

留守番呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）のみを変更します。

留守番設定確認※1……現在のサービスの設定内容を確認します。
- 表示される「留守番設定確認画面」の機能メニューについて→P.373

留守番サービス設定※1……音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更します。
留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問い合わせ……伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定※2……留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

表示消去……待受画面に表示された「　」（留守番電話アイコン）を消去します。

着信通知開始……電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMSでお知らせします。

全着信……すべての着信を通知します。

発番号あり……番号を通知している着信のみ通知します。

着信通知停止……着信通知を停止します。

着信通知開始設定確認……現在の着信通知の設定内容を確認します。

※1：2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーとβナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「留守番設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。
※2：音声電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

おしらせ

- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。

<留守番設定確認>
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

<メッセージ問い合わせ>
- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、音声電話による伝言メッセージは、待受画面に「 」（留守番電話アイコン）と「 」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）を表示します。テレビ電話による伝言メッセージは、SMSによりお知らせします。
- 留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「 」、「 」、「 」…「 」（10件以上）と表示が替わります。
  表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<件数増加鳴動設定>
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号に対する伝言メッセージが録音されても、お知らせ音は鳴りません。

<表示消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

機能 留守番設定確認画面（P.372）

留守番サービス開始・留守番サービス停止……留守番電話サービスを開始または停止します。

呼出時間設定……呼出時間を変更します。

キャッチホン 〈キャッチホン〉

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.377）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.377

キャッチホンを利用する

1 **MENU ▶「サービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択**

キャッチホンサービス開始・キャッチホンサービス停止……キャッチホンを開始または停止します。

キャッチホンサービス設定確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［通話］**

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 **最初の相手との通話に切り替える**

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

▶［終話］▶［通話］

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

▶［通話］

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

［通話］を押すたびに通話の相手が切り替わります。

ネットワークサービス

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶ch［機能］▶「保留呼切断」

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら☎
最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 ☎
あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶☎
最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.92

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合
▶☎▶☎
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合
▶☎
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
☎を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶ch［機能］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス 〈転送でんわ〉

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。
- 「伝言メモ」(P.70) を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
↓
転送でんわサービスを開始に設定する
↓
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
↓
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

発信者に通話料がかかります。
転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

転送サービス開始※1……転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

転送先設定……転送先の電話番号を入力します。
設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
- ⓪または⑨を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.92

呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）を入力します。
設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

開始……転送でんわサービスを開始します。

転送サービス停止※1……転送でんわサービスを停止します。

転送先変更……転送先の電話番号を入力し、転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」を、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」を選択します。

転送先通話中時設定※2……転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認※1……現在のサービスの設定内容を確認します。

※1：2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「転送サービス設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。
※2：「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

<転送サービス開始>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先設定」と「呼出時間設定」は選択できません。
- 「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。

<転送先変更>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先変更＋転送開始」は選択できません。

<転送サービス設定確認>
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面表示中 ▶ 1 4 2 9 ▶ [通話]
- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス
〈迷惑電話ストップ〉

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないようにするサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 [MENU] ▶「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録……最後に着信応答した迷惑電話を拒否登録します。

電話番号指定拒否登録……電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。
- 電話番号の一部を入力し[上]または[下]を押すと電話帳を検索して入力できます。
- [上]または[下]を押すと電話帳を検索して入力できます。電話帳の検索のしかた→P.92
- [左]を押すと着信履歴、[右]を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

迷惑電話1登録削除……最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

迷惑電話全登録削除……拒否登録した電話番号をすべて削除します。

拒否登録件数確認……拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス
〈番号通知お願い〉

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

番号通知お願い開始・番号通知お願い停止……番号通知お願いサービスを開始または停止します。

番号通知お願い確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

おしらせ

- プッシュトーク着信の場合、相手にガイダンスを流さず自動的に切断します。

デュアルネットワークサービス〈デュアルネットワーク〉

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。
- mova端末からの操作についてなど、詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

※：一部のサービスはご利用できません。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替……切り替えにはネットワーク暗証番号の入力が必要です。
ネットワーク暗証番号について→P.124

デュアルネットワーク状態確認……FOMA端末の利用可能／不可能状態を確認します。

おしらせ

- 海外でFOMA端末を利用して帰国した後、mova端末でデュアルネットワークサービスを利用する場合は、FOMA端末の電源を入れてから利用してください。

<デュアルネットワーク切替>

- ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス〈英語ガイダンス〉

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定……設定内容を以下の項目から選択します。

発信時＋着信時……発信時の言語を「日本語」、「英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語」、「日本語＋英語」、「英語＋日本語」から選択します。

発信時……発信時の言語のみを「日本語」、「英語」から選択します。

着信時……着信時の言語のみを「日本語」、「日本語＋英語」、「英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認……現在のガイダンスの設定内容を確認します。

サービスダイヤル 〈サービスダイヤル〉

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU ▶「サービス」▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ……故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付……総合案内・受付へ電話をかけます。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する 〈通話中機能選択〉

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定してください。

通話中の着信動作を選択する 〈通話中の着信動作選択〉

1 MENU ▶「サービス」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話……「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ……「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否……通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

通常着信……音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

- 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。
- 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.378
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 MENU ▶「サービス」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

通話中着信設定開始……「通話中の着信動作選択」の設定を有効にします。

通話中着信設定停止……「通話中の着信動作選択」の設定を無効にします。

通話中着信設定確認……現在の設定を確認します。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

<例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら ☎

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

着信中画面が表示されます。

▶ ☎

2 ☎

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

▶パソコン側で着信操作を行う

ネットワークサービス

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

<例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2

■ 64Kデータ通信の場合

▶[☎]▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続する

<例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[ch]［機能］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合

▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合

▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合

▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

遠隔操作を設定する 〈遠隔操作設定〉

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 [MENU]▶「サービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

遠隔操作開始・遠隔操作停止……遠隔操作を開始または停止します。

遠隔操作設定確認……現在の遠隔操作の設定内容を確認します。

マルチナンバー 〈マルチナンバー〉

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- 2in1と同時に利用することはできません。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを利用する

1 [MENU]▶「サービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定……通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

　基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

　付加番号１・付加番号２※……付加番号で発信するように設定します。

通常発信番号設定確認……通常発信番号の設定内容を確認します。

電話番号設定……マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。

▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶[✉]［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力

登録名は全角8文字、半角16文字まで、付加番号は26桁まで入力できます。

- 「電話番号設定」を選択したときに表示される「マルチナンバー電話番号設定画面」の機能メニューについて→P.379

着信音設定……付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。→P.100

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

<電話番号設定>
- 登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

<着信音設定>
- 着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.101をご覧ください。

機能 **マルチナンバー電話番号設定画面（P.378）**

編集……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を編集します。

1件削除……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を1件削除します。

全削除……基本番号の名前とすべての付加番号の電話番号と名前を削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.50）▶ch［機能］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1・付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

設定消去……設定を解除し「通常発信番号設定」の設定した内容になります。

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

2in1 〈2in1〉

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 本機能では、お客様電話番号・メールアドレスを「Aナンバー・Aアドレス」、追加の電話番号・メールアドレスを「Bナンバー･Bアドレス」と呼びます。
- マルチナンバーと同時に利用することはできません。

おしらせ

- Bナンバー・Bアドレスの情報は、以下の操作で取得できます。
  - Bナンバー：Bナンバーのマイプロフィール画面から機能メニューの「2in1契約問い合わせ」を実行する→P.348
  - Bアドレス：Bナンバーのマイプロフィールの登録時にメールアドレスの「自動取得」を実行する→P.348
- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、A／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

モードについて

2in1では、モードを「Aモード」「Bモード」または「デュアルモード」に設定できます。

モード	内容
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A･Bモードの両方の機能を備えたモードです。

※ 各モードで利用できるサービスについては、「モードごとに利用できるサービスについて」（P.382）をご覧ください。

おしらせ

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1契約済みのFOMAカードから未契約のFOMAカードに差し替える場合は、Aモードに設定してから差し替えてください。

2in1を利用する

2in1をONに設定して、各種設定操作を行います。

1 MENU▶「サービス」▶「2in1設定」▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶以下の項目から選択

■ 2in1がONの場合
端末暗証番号の入力後に2in1をONにするかどうかの確認画面は表示されず、2in1設定画面が表示されます。

モード切替……2in1のモードを「Aモード／Bモード／デュアルモード」から選択します。
「モードについて」→P.379

電話帳2in1設定

電話帳2in1設定……設定する電話帳を反転し、◉［切替］でモードを選択します。
◉［切替］を押すごとに A（Aモード）→ B（Bモード）→ AB（デュアルモード）の順に切り替わります。
電話帳の検索のしかた→P.92

グループ2in1設定……設定する電話帳のグループを反転し、◉［切替］でモードを選択します。
◉［切替］を押すごとに、設定なし→ AB（デュアルモード）→ A（Aモード）→ B（Bモード）の順に切り替わります。

モード別待受画面設定……Bモードまたはデュアルモードのときに表示する待受画面をそれぞれ設定します。
「待受画面のイメージを変える」→P.108
設定を変更した項目には「★」が付きます。設定を解除する場合は ✉［解除］を押します。

発着信番号設定

発着信番号表示設定……発着信時に「Aナンバー（Aアドレス）」と「Bナンバー（Bアドレス）」のどちらの情報（名前や電話番号、メールアドレスなど）かわかるように、文字色を変えて表示するように設定します。
✉［切替］を押すとパレットの色（16色と256色）を切り替えることができます。
お買い上げ時の設定に戻す場合は i［リセット］を押します。

Bナンバー着信設定……Bナンバーで音声電話、テレビ電話、メールを着信したときの着信音（P.100）、着信画面（P.107）、イルミネーション（P.113）、バイブレーション（P.102）、応答メッセージ（P.71）をそれぞれ設定します。

2in1機能OFF……2in1をOFFに設定します。

着信回避設定……Aナンバー、Bナンバーへの着信を個別に規制します。

着信回避設定変更……AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能について設定します。

着信回避設定確認……AナンバーおよびBナンバーの着信回避の設定内容を確認します。

モード切替連動設定……2in1機能のモード切替と着信回避設定が連動するように設定します。AモードのときはAナンバーへの、BモードのときはBナンバーへの着信のみ許可し、デュアルモードのときはAナンバー、Bナンバー両方への着信を許可するように設定します。

着信回避設定(海外)……海外から着信回避機能を設定します（モード切替連動設定が「開始」に設定されている場合は、「停止」に切り替える必要があります）。

おしらせ

- 2in1がOFFの場合は、待受画面表示中に 2 を1秒以上押しても「2in1設定」が行えます。

<モード切替>
- 2in1がONの場合は、待受画面表示中に 2 を1秒以上押してもモードを切り替えられます。

<電話帳2in1設定>
- B設定の電話帳は、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳をBに設定した場合は、プッシュトーク発信ができなくなることを示す確認画面が表示されます。
- FOMAカードの電話帳には、本機能を設定できません。
- 本機能で「電話帳一覧画面」から「電話帳詳細画面」を表示するには、機能メニューから「詳細表示」を選択してください。

<モード別待受画面設定>
- モードがAモードの場合は、「画面表示設定」の設定に従って待受画面が表示されます。
- ダウンロードした「きせかえツール」の設定中または、iアプリ待受画面やランダム待受画面が設定されている場合は、「Aナンバーと同じ」に設定していても各モードのお買い上げ時の画面が表示されます。

<発着信番号表示設定>
- 以下の画面に表示される名前／電話番号／メールアドレスが設定した文字色で表示されます。
  - 通話中／テレビ電話通話中画面
  - 発信／着信中画面
  - リダイヤル／発信履歴画面（一覧／詳細）
  - 着信履歴画面（一覧／詳細）
  - 送信※／受信アドレス履歴画面（一覧／詳細）
  - 着もじ送信メッセージ履歴画面

  ※：Bモード時は送信アドレス履歴画面を表示できません。
- Aナンバー／Bナンバー（Aアドレス／Bアドレス）の設定は、2in1をOFFにした場合でも着信中画面に反映されます。

おしらせ

<Bナンバー着信設定>
- Aナンバー・Aアドレスと同じ設定にする場合は、各項目を「Aナンバーと同じ」に設定してください。
- 着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.101
  Bナンバーで非通知の着信があった場合、着信音は「Bナンバー着信設定」の設定が優先されます。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

2in1をONに設定し、モードをデュアルモードにしている場合は、利用する電話番号を切り替えて発信できます。
- 本機能が利用できるのは「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話帳を利用して電話をかける場合>

1 電話帳詳細画面（P.92）▶ch［機能］▶「発信設定」▶「2in1／マルチナンバー」▶以下の項目から選択

Aナンバー……Aナンバーで発信するように設定します。

Bナンバー……Bナンバーで発信するように設定します。

設定消去……電話帳の2in1設定に従って発信するように設定します。

おしらせ

- リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューから電話番号を切り替えた場合は、それぞれの2in1設定に従って発信します。
- モードがAモードまたはBモードの場合は、機能メニューの「2in1／マルチナンバー」は選択できません。
- 次の操作を行った場合は、発信番号選択画面が表示され、そこから利用する電話番号を選択します。
  - 電話番号入力画面で電話番号を入力して発信した場合
  - 追加サービスに登録した特番からのサービスの利用時
  - 送信／受信アドレス一覧画面の機能メニューの「電話発信」を選択した場合
  - Phone to機能を利用した場合
  - 電話番号入力画面で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押した場合

モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話／テレビ電話	発信		Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信※2		すべて		
電話帳※3	表示※4		A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※5		A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の2in1設定		A	B	A
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの全件受信		送信元の電話帳2in1設定をコピー※5		
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの1件受信		A	B	A
	FOMAカード電話帳	FOMAカードへコピー	電話帳2in1設定は共通		
		FOMAカードから本体へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示		Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示		Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール／SMS	表示※4		Aアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS	【FOMA端末】 FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール（WEBメールサイト上で「端末に保存」の操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール	【FOMA端末】 Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール Aナンバーで送受信したSMS Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール
	送信		【FOMA端末】 Aアドレスからのメール AナンバーからのSMS	【FOMA端末】 メール·SMS送信不可 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール	【FOMA端末】 Aアドレスからのメール※7 AナンバーからのSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール
	受信		Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動なし） FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの全件受信		送信元の状態をコピー※6		
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの1件受信		A		

<table>
<tr><th colspan="3">サービス</th><th>Aモード</th><th>Bモード</th><th>デュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="2">メール／SMS</td><td rowspan="2">FOMAカード（SMSのみ）</td><td>FOMAカードへコピー</td><td colspan="3">A</td></tr>
<tr><td>FOMAカードから本体へコピー</td><td colspan="3">A</td></tr>
<tr><td rowspan="3">プッシュトーク</td><td colspan="2">発信</td><td>Aナンバー</td><td>利用不可</td><td>Aナンバー</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信</td><td colspan="3">Aナンバー</td></tr>
<tr><td colspan="2">プッシュトーク電話帳</td><td>表示</td><td>表示不可</td><td>表示</td></tr>
<tr><td colspan="3">ｉアプリ</td><td>すべて利用可能</td><td>利用可能※8</td><td>利用可能※9</td></tr>
<tr><td colspan="3">マイプロフィール</td><td>Aナンバー･Aアドレス</td><td>Bナンバー･Bアドレス</td><td>A・Bナンバー
A・Bアドレス</td></tr>
</table>

※1： A･共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2： 組み合わせによって、以下のように個別着信動作選択の各機能の動作が異なります。
- Aモードの場合は、A・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
- Bモードの場合は、B・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
- デュアルモードの場合は、すべての電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。

ただし、指定発信制限については2in1のモードにかかわらず、指定した電話番号以外に発信することはできません。
※3： 電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4： Bモード時、microSDメモリーカード内のすべての電話帳が一覧表示されますが電話帳2in1設定がAの場合、詳細を表示しません。
また、メール／SMSも一覧表示されますが、Aナンバー・Aアドレス宛の場合、詳細を表示しません。
※5： 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※6： 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※7： デュアルモード時にメールの新規作成をすると、B設定となっている電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからのメール送信となってしまうため注意が必要です。また、デュアルモード時にBアドレス宛のメールを転送すると、Aアドレスでメール送信されますので注意が必要です。
※8： メール連動型ｉアプリ・メール機能を利用するｉアプリ、ｉアプリ待受画面の場合は除きます。
※9： ｉアプリ待受画面は除きます。

OFFICEED 〈OFFICEED〉

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを登録して利用する 〈追加サービス〉

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 MENU ▶「サービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス……新しいサービスを登録します。
▶「＜未登録＞」を反転▶ch［機能］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択
サービス名は、全角10文字、半角20文字まで入力できます。

特番……特番で接続します。
番号は20桁まで入力できます。

USSD……サービスコードで接続します。
番号は40桁まで入力できます。

- 「追加サービス」を選択したときに表示される「追加サービス画面」の機能メニューについて→P.384

応答メッセージ設定……登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。
▶「＜未登録＞」を反転▶ch［機能］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージを入力▶「YES」
コマンドは20桁まで、応答メッセージは全角10文字、半角20文字まで入力できます。

- 「応答メッセージ設定」を選択したときに表示される「応答メッセージ設定画面」の機能メニューについて→P.384

おしらせ

＜追加サービス＞
- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコードの番号です。

機能 追加サービス画面（P.384）／応答メッセージ設定画面（P.384）

設定追加……設定を追加します。

設定変更……設定を変更します。

1件削除・全削除……追加サービス、応答メッセージを1件または全削除します。

登録したサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶✉［送信］

パソコン接続

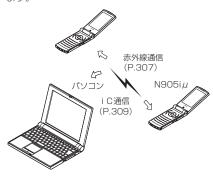
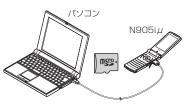
データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

利用できるデータ通信の種類

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
microSDメモリーカード（P.291）
ドコモケータイdatalink（P.389）

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、受信最大3.6Mbps※2、送信最大384kbpsの通信速度でデータを送受信します。
FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：下記の場合、送受信ともに最大384kbpsの通信速度になります。
- FOMAハイスピードエリア外
- 「mopera」のアクセスポイントをご利用の場合
- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。※
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

※：長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

●データ通信の用語集

管理者権限
Windows 2000、Windows XPおよびWindows Vistaのシステムでは、この権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、ドライバやソフトのインストール／アンインストールができません。

通信設定最適化
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

APN（Access Point Name）
パケット通信で、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列です。たとえばmopera Uの場合は「mopera.net」のように表します。

cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のことです。電話帳のメモリ番号のようなもので、1～10までの10件が登録できます。

DNS（Domain Name System）
「nttdocomo.co.jp」のようなドメインネームを、コンピュータが管理しやすいように数字で表したIPアドレスに変換するシステムのことです。

HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）
第3世代（3G）携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

QoS（Quality of Service）
ネットワークの通信速度に関するサービス品質のことで、FOMA端末のQoS設定では、どんな速度でも接続するか、あるいは最高速度で接続するかを設定できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- FOMA N905iμをドコモのPDA「musea」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA N905iμは、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA N905iμは、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA N905iμ用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続します。

■付属の「FOMA N905iμ用CD-ROM」に収録されているソフトについて

- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
- FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
  FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする※

付属のCD-ROMからインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

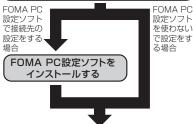
データ転送

※：ドコモケータイdatalink（P.389）もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

付属のCD-ROMからインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

設定する※

パケット通信をする場合、64Kデータ通信をする場合、FOMA PC設定ソフトを使わないで設定する場合のそれぞれで設定方法は異なります。

接続／切断

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもあります。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらにFOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフトウェア／PDF

付属のCD-ROMに収録されているソフトウェア／PDFは以下のとおりです。

- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内(mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ)
- ナップスター®のご案内
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

※ 画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記ホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「USB接続ケーブル（別売）」が必要になります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、ドコモがFOMAをご利用の方に提供するサービスで、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどをご利用いただくものです。

- 本FOMA端末は、国内で使用している電話番号やメールアドレスを海外でも利用できます。海外でも音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMSを利用できます。さらに、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの便利なネットワークサービスを利用できます。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 本FOMA端末は海外のドコモのローミングエリアのみで利用できます。エリアやご利用料金について詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外のネットワークには、3Gネットワーク、GPRSネットワーク、GSMネットワークの3つがあります。
  - 3Gネットワークは、世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
  - GPRSネットワークは、GSMネットワーク上でGPRS※2による高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動体通信ネットワークです。
  - GSM※3ネットワークは、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信ネットワークです。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：GPRS（General Packet Radio Service）
GSMを高速化し、パケット通信などのデータ通信を容易にしています。

※3：GSM（Global System for Mobile Communications）
世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。

■主要国の国番号について

国際電話を利用するとき（P.60）や、「国際ダイヤルアシスト」（P.61）の設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください（2008年1月現在）。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	トルコ	90
イギリス	44	日本	81
イタリア	39	ニューカレドニア	687
インド	91	ニュージーランド	64
インドネシア	62	ノルウェー	47
エジプト	20	ハンガリー	36
オーストラリア	61	フィジー	679
オーストリア	43	フィリピン	63
オランダ	31	フィンランド	358
カナダ	1	仏領ポリネシア	689
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	モルディヴ	960
中国	86	ロシア	7
ドイツ	49		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービスについて

本FOMA端末で利用できる通信サービスや機能は、国内で利用する場合と海外で利用する場合で異なります。また、海外でどのネットワークや通信事業者を利用するかによっても異なります。

- 国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■海外で利用できる通信サービスについて

海外では以下の通信サービスを利用できます。※1※2

	海外		
ネットワーク	3G	GPRS	GSM
音声電話をかける／受ける	○※3※5	○※3※5	○※3※5
テレビ電話をかける／受ける	○※3※4※5	×	×
iモードの利用（フルブラウザを含む）	○	○	×
メッセージRの受信	○	○	×
iモードメールの送受信	○	○	×
パソコンなどと接続して行うパケット通信	○	○	×
SMS送受信	○	○	○
iチャネル	○※6※7	○※6※7	×

※1：通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。
※2：64Kデータ通信の利用はできません。
※3：2in1のBナンバーによる発信はできません。またBナンバーへ着信した場合、通信事業者によっては着信するかを判別できないことがあります。
※4：海外の特定の通信事業者の利用者または日本のFOMA端末の利用者と国際テレビ電話が可能です。
※5：マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信はできません。
※6：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でiチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。
※7：「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新についてもパケット通信料が課金されます。

おしらせ

- 国際ローミング中は、メッセージFの受信、エリアメールの受信、着もじの送受信、プッシュトークの発着信、スキャン機能の「パターンデータ更新」と「自動更新設定」、ソフトウェア更新、パソコンと接続しての64Kデータ通信、2in1のONの利用はできません。ただし、障害を引き起こす可能性のあるデータの削除やアプリケーションの起動の中止はできます。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話・待受時間が通常の半分程度になることがあります。
  電池パックの上手な使いかたについて→P.43
- 海外ではGPS機能を利用できません。

■SMSの送受信について

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信する場合の宛先の指定は以下の表のようになります。また、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

相手	SMSの宛先の指定
ドコモ（FOMA端末）	国内と同様に、相手の電話番号をそのまま入力します。
ほかの海外通信事業者※	送信時は、相手の電話番号の先頭に「+」、「国番号」と相手の電話番号を加えた番号を入力します。 また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

※：電話番号が「0」ではじまる場合は「0」を除いて入力します。

■表示されるアイコンについて

利用中のネットワークと状態がタスクアイコンエリアに表示されます。

アイコン	意味
	国内のFOMAネットワーク利用中で、電話発信のみ利用できる場合に表示されます。
	国内のFOMAネットワーク利用中で、パケット発信のみ利用できる場合に表示されます。
3G	海外の3Gネットワーク利用中で、電話発信のみ利用できる場合に表示されます。
3G	海外の3Gネットワーク利用中で、パケット発信のみ利用できる場合に表示されます。
3G	海外の3Gネットワーク利用中で、電話発信とパケット発信が利用できる場合に表示されます。
GSM	海外のGSM/GPRSネットワーク利用中で、電話発信のみ利用できる場合に表示されます。
GPRS	海外のGSM/GPRSネットワーク利用中で、パケット発信のみ利用できる場合に表示されます。
GPRS	海外のGSM/GPRSネットワーク利用中で、電話発信とパケット発信が利用できる場合に表示されます。

海外利用

■ネットワークサービスの設定操作について

● 海外でネットワークサービスを利用する際には、開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

サービス名称	説明
着もじ	設定はできますが、サービスは利用できません。
留守番電話サービス→P.372	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
キャッチホン→P.373	
転送でんわサービス→P.374	
迷惑電話ストップサービス→P.375	
発信者番号通知サービス→P.48	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。また、発信者番号が正しく通知できない場合があります。
番号通知お願いサービス→P.376	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
公共モード（ドライブモード）	設定はできますが、サービスは利用できません。海外では設定を解除してください。
デュアルネットワークサービス	設定できません。
英語ガイダンス→P.376	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
マルチナンバー→P.378	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。また、付加番号での発信はできません。付加番号に着信はできますが、どの番号に対する着信であるか判別できない場合があります。
ローミングガイダンス設定→P.399	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
ローミング時着信規制→P.399	
留守番電話（海外）→P.400	設定、サービスを利用できます。
転送でんわ（海外）→P.400	
番号通知お願い（海外）→P.400	
ローミングガイダンス（海外）→P.400	
遠隔操作設定（海外）→P.400	

※ FOMAネットワークでは、上記のすべてのネットワークサービスについて設定操作が可能です。

海外でご利用になる前の確認

● 海外で利用する場合は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』もあわせてご覧ください。
● 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
● 海外で利用する場合、「通話時間／料金」（P.350）に表示される通話料金はかけた場合と受けた場合の両方がカウントされます。ただし、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。また、通話料金が「￥**」と表示される場合があります。
● お買い上げ時は、海外で本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され滞在先の利用できる通信事業者に設定されます。設定された通信事業者のサービスエリア外に移動した場合は、自動的にほかの利用可能な通信事業者を検索して設定し直されます。
接続する通信事業者を手動で設定することもできます。→P.398

● 海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

● ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号、国際電話アクセス番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■主要国の国際電話アクセス番号（表1）

海外からのお問い合わせ時にユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）がご利用できない場合は、国際電話アクセス番号を利用します。主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
カナダ	011	ブラジル	0041/0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号をダイヤルし、対応する番号に電話をかけると、海外からでも各種お問い合わせをすることができます。

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側にご確認されてからご利用ください。

出発前の準備

- 海外からｉモードでサイトを表示する場合は、「i Menu」から「海外利用設定」を設定してください。
- 海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ「遠隔操作設定」（P.400）を「遠隔操作開始」に設定しておく必要があります。
  また、海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」のご契約が必要です。
- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。ご出発前に『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』および『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

● 充電について

- ACアダプタの取扱い上のご注意について→P.16
- ACアダプタの充電方法について→P.43、44

おしらせ

- 準備や設定について詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

滞在先での利用

本FOMA端末は3G、GPRS、GSMローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

● ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。

- 利用中の通信事業者の表示は、「オペレータ名表示設定」（P.399）で設定できます。
- 待受画面に滞在中の都市の時刻を表示させるには、「サブ時計設定」（P.47）で「自動（ローミング時自動表示）」を選ぶか、「常時表示（タイムゾーン選択）」で滞在中の都市名を選びます。
- 海外でも国内同様、リダイヤル／発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、送信アドレス一覧のｉモードメールは、本FOMA端末の「メイン時計設定」で設定した日付・時刻に基づいて表示されます。ただし、本FOMA端末の「メイン時計設定」の設定に関係なく、受信アドレス一覧は受信時の日本国内の日付・時刻に基づいて表示されます。

● こんなときは

- 画面に「圏外」が表示されたままになっている
  - 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。
  - 本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあり、その間は「圏外」と表示される場合があります。
- 相手の電話番号が通知されてこない
  - 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。

● 帰国後の設定について

日本帰国時は本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定されます。なお、「ネットワークサーチ設定」(P.398)で「マニュアル」に通信事業者を設定している場合は、「オート」に設定し直してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、本FOMA端末で日本以外の国や地域から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

> テレビ電話について
> テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に[テレビ電話]を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
> - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
> - 国際テレビ電話の接続先の端末によっては、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

- イタリアの一般電話などに国際電話をかけるときは、地域番号(市外局番)の先頭の「0」が必要な場合があります。

1 待受画面表示中に、+(0 1秒以上)→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。
電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)をダイヤルしてください。

2 (音声電話)/テレビ電話

● 「国際ダイヤルアシスト」に登録されている国へ電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト」で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。

1 相手の番号をダイヤル

一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)−相手先電話番号をダイヤルします。日本の携帯電話、PHSにかける場合は、電話番号をそのままダイヤルします。

2 ch[機能]▶「国際電話発信」▶電話をかけたい国名を選択▶(音声電話)/テレビ電話

「+」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。
電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国名として「日本」を選択します。

■「国際ダイヤルアシスト」で「自動変換機能設定」に設定した国へ電話をかける場合

▶電話帳詳細画面(P.92)/電話帳を使ってかけた「リダイヤル画面(詳細)」(P.55)や「発信履歴画面(詳細)」など▶(音声電話)/テレビ電話▶「発信」

おしらせ

- 「国際電話発信」で国名を選択して発信する際、入力した電話番号が「0」ではじまる場合は「0」が削除されます。ただし、「イタリア」を選択したときは先頭の「0」は削除されません。

おしらせ

- ｉモードのサイト画面やメール詳細画面から「Phone To機能」を利用して滞在国以外（日本を含む）に電話をかける場合は、「電話発信」の画面（P.178）で「国際電話発信」を選び、国名を選んで「発信」を選んでください。元の電話番号に「＋」と「国番号」が付加されて発信されます。なお、「国際ダイヤルアシスト」で国番号が登録されていない国に対しては、「Phone To機能」を利用して国際電話を発信できません。
- 電話帳に登録されている番号に電話をかけると自動で「+81」が付加されて発信されます。
- 発信者番号通知を設定した場合でも通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知」など正しい番号表示にならない可能性があります。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。

- 「国際ダイヤルアシスト」（P.61）の「自動変換機能設定」は「OFF」に設定してください。

1 相手先の番号をダイヤル

一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）－相手先電話番号をダイヤルします。
電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

2 ［発信］（音声電話）／［i］［テレビ電話］（テレビ電話）

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ滞在国内にいても、「国際ダイヤルアシスト」（P.61）に登録されている国へ電話をかける操作、電話帳からかける操作、または「滞在国外（日本を含む）に電話をかける」（P.396）の操作で日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話番号を変更することなく、いつもどおりに電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら［着信］

■ テレビ電話で代替画像で出る場合
▶◉［代替画像］

相手からの電話のかけかたについて

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合
日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本FOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
090（または080）－XXXX－XXXX

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 「番号通知お願いサービス」をご利用の場合でも「通知不可能」と表示され着信する場合があります。

ネットワークの接続切り替え方法を設定する 〈3G／GSM切替〉

滞在先で接続するネットワークの切り替えの方法を設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「国際ローミング設定」▶「3G／GSM切替」▶以下の項目から選択

自動……3GネットワークとGSM／GPRSネットワークを自動で切り替えます。

3G……3Gネットワークに固定します。

GSM／GPRS……GSM／GPRSネットワークに固定します。

おしらせ

- 「自動」または滞在先で接続するネットワークに合わせて設定してください。

通信事業者の検索方法を設定する 〈ネットワークサーチ設定〉

利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に、ほかの通信事業者のネットワークに接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況により、本機能を設定できない場合があります。
- 2008年1月現在、日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。
- 日本に帰国後、「圏外」が表示された場合は、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されていることを確認してください。

接続する通信事業者を手動で切り替える

1 MENU ▶「各種設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワークサーチ設定」

「ネットワークサーチ設定画面」が表示されます。

国際ローミング設定
ネットワークサーチ設定
1 オート
2 マニュアル
3 ネットワーク再検索
4 優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定画面

2 「マニュアル」▶接続したい通信事業者を選択

■ 自動で通信事業者を切り替える場合
▶「オート」
自動検索の際に優先的に接続する通信事業者をあらかじめ設定しておくことができます。
→P.398

接続先のネットワークを再検索する 〈ネットワーク再検索〉

- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに通信事業者が検出できなかった場合や、「マニュアル」に設定しているときに通信事業者を切り替えたい場合に、ネットワークを再検索してから接続先を切り替えます。

1 ネットワークサーチ設定画面(P.398)▶「ネットワーク再検索」▶接続したい通信事業者を選択

■「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合
▶「ネットワーク再検索」
ネットワーク検索後に自動的に接続されます。

● 優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークの自動検索や再検索のとき、優先的に接続したい通信事業者を設定します。

- ユーザ設定優先ネットワークリストには、最大20件までの通信事業者を登録できます。
- ドコモ指定優先ネットワークリストとして通信事業者が登録されています。

1 ネットワークサーチ設定画面(P.398)▶「優先ネットワーク設定」

「優先ネットワーク設定画面」が表示されます。優先順位の高い通信事業者から順番に一覧で表示されます。

2 優先順位を変更する通信事業者を反転▶ch［機能］▶「優先順位変更」

3 移動したい位置を反転▶●［選択］

反転表示した項目の上に移動します。「<最後尾へ>」を選択した場合は最後尾に移動します。

4 ✉［完了］▶「YES」

機能 優先ネットワーク設定画面(P.398)

マニュアル登録……国番号(オペレータコード(MCC))とネットワーク番号(オペレータコード(MNC))を入力して登録します。

リストから登録…… リストから通信事業者を選択して登録します。

在圏ネットワーク登録……現在接続している通信事業者が登録されます。

優先順位変更……「優先的に接続する通信事業者を設定する」→P.398

削除……「1件削除/選択削除/全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 接続中の通信事業者を優先ネットワークリストに登録する場合、現在接続している通信事業者がすでに優先ネットワークに登録されているときは設定できません。
- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

ローミング中の通信事業者名を表示する 〈オペレータ名表示設定〉

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名をタスクアイコンエリア（P.29）に表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶「各種設定」▶「国際ローミング設定」▶「オペレータ名表示設定」

2「表示あり」

■ 通信事業者名を表示しない場合
▶「表示なし」

おしらせ

- 国内（FOMAネットワーク）在圏時は、「表示あり」に設定しても通信事業者名は表示されません。
- 「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定中に、「圏外」が表示されているときや圏外移行したときは、本機能の設定にかかわらずに「select net」が表示されます。

ローミングガイダンスを開始する 〈ローミングガイダンス設定〉

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 MENU ▶「サービス」▶「ローミングガイダンス設定」▶以下の項目から選択

ローミングガイダンス開始・ローミングガイダンス停止……ローミングガイダンスを開始または停止します。

ローミングガイダンス設定確認……現在の設定内容を確認します。

おしらせ

- 一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。
- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング中は着信を受け付けないように設定する 〈ローミング時着信規制〉

国際ローミング中に、テレビ電話を規制するかすべての着信を規制するかを選択します。

1 MENU ▶「サービス」▶「ローミング時着信規制」▶以下の項目から選択

開始……国際ローミング中の着信を「全着信規制」（すべての着信を受け付けない）するか、「テレビ電話／データ呼規制」（テレビ電話と64Kデータ着信※を受け付けない）するかを設定します。
設定にはネットワーク暗証番号の入力が必要です。
ネットワーク暗証番号について→P.124

停止……ローミング時着信規制を停止します。
停止にはネットワーク暗証番号の入力が必要です。
ネットワーク暗証番号について→P.124

確認……現在の設定内容を確認します。

※：本FOMA端末では、国際ローミング中の64Kデータ通信は利用できません。

おしらせ

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

ローミング中にネットワークサービスを利用する 〈海外用サービス〉

海外から「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などのネットワークサービスの一部を利用します。またローミングガイダンスの設定も行うことができます。

- 「留守番電話（海外）」や、「転送でんわ（海外）」を利用するには、あらかじめ「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」のご契約が必要です。また、あらかじめ「遠隔操作設定」の設定が必要です。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「圏外」が表示されている場所で、海外用サービスの操作はできません。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などをご覧ください。

留守番電話（海外）

留守番サービス開始・留守番サービス停止・留守番メッセージ再生・留守番呼出時間設定・留守番サービス設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

転送でんわ（海外）

転送サービス開始・転送サービス停止・転送サービス設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

ローミングガイダンス（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

遠隔操作設定（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

番号通知お願い（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー機能一覧

- の項目は「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ①～⑬およびその他設定リセットされる機能については、**別表1**（P.411）をご覧ください。
- メニュー番号（ボタン操作）は、メインメニューのテーマを「Standard」に設定した場合にご利用になれます。→P.35

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
メール	受信BOX		―		―	P.202
	送信BOX		―		―	P.202
	保存BOX		―		―	P.194
	新規メール作成		―		―	P.188
	WEBメール		―		―	P.188
	チャットメール		―		―	P.219
	SMS作成		―		―	P.224
	ｉモード問い合わせ		（1秒以上）		―	P.198
	メール選択受信		―		―	P.197
	SMS問い合わせ		―		―	P.226
	デコメテンプレート		―		―	P.192
	メール設定		―		―	P.212
ｉモード	ｉMenu		―		―	P.167
	Bookmark		―		―	P.172
	画面メモ		―		―	P.174
	サイト閲覧履歴		―		―	P.169
	Internet		―		―	P.172
	ワンタッチマルチウィンドウ		―		―	P.174
	フルブラウザ		―		設定URL　http://www.google.co.jp	P.264
	ｉチャネル		ch ※お買い上げ時		―	P.185
	メッセージR／F		―		―	P.217
	ｉモード問い合わせ		（1秒以上）		―	P.217
	ユーザ証明書操作		―		―	P.181
	ｉモード設定		―		―	P.179
ｉアプリ	ソフト一覧		iα（1秒以上）		―	P.229
	microSD		―		―	P.239
	自動起動設定		―		―	P.236
	ｉアプリ実行情報		―		―	P.232
各種設定	きせかえツール設定		―		―	P.120
	着信	着信音量	MENU 5 0	電話～メッセージF	すべてレベル4	P.66
		着信音選択	MENU 1 3	電話	着信音1	P.100
				テレビ電話	着信音3	
				プッシュトーク	着信音4	
				メール／チャットメール	You've got mail	
				メッセージR／メッセージF	Signal	
		サウンド効果	MENU 6 4	ステレオ・3Dサウンド設定	ON	P.102

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	着信	バイブレータ	MENU 5 4	電話～メッセージF	すべてOFF	P.102
		着信イルミネーション	MENU 8 9	着信イルミネーション選択	電話～プッシュトーク：色5（本体色bourgogne red）／色2（本体色opal white）／色6（本体色venus gold）／色4（本体色graphite black） メール～メッセージF：色7	P.113
				パターン設定	ウェーブ	
				不在お知らせ	ON	
		マナーモード選択	MENU 2 0		マナーモード（オリジナルマナーの設定：初期値→P.105）	P.105
		電話帳画像着信設定	－		ON	P.109
		着信アンサー設定	MENU 5 8		エニーキーアンサー	P.65
		メール／メッセージ鳴動	MENU 6 8	メール～メッセージF	すべてON（鳴動時間：5秒）	P.104
		呼出時間表示設定	MENU 9 0	無音時間設定	OFF 無音時間：1秒 （無音時間設定「ON」設定時）	P.140
				時間内不在着信表示	表示する	
		不在／新着確認設定	MENU 6 5		日本語表示のとき：ボイス （名前通知：OFF） 英語表示のとき：ON	P.70
		伝言メモ	MENU 5 5		OFF 応答メッセージ：標準 （伝言メモ「ON」設定時） 呼出時間：13秒 （伝言メモ「ON」設定時）	P.70
		発着信番号表示設定	－		白（本体色graphite black、bourgogne red）／黒（本体色opal white、venus gold）	P.109
		メロディコール設定	－		－	P.103
	通話	ノイズキャンセラ	MENU 7 6		ON	P.63
		通話品質アラーム	MENU 7 5		アラーム高音	P.104
		再接続機能	MENU 7 7		アラーム高音	P.62
		通話中イルミネーション	－		OFF	P.114
		保留音設定	－	応答保留音	応答保留音1	P.67
		クローズ動作設定	MENU 1 8		終話	P.65
	発信	ポーズダイヤル	MENU 8 4		－	P.59
		サブアドレス設定	－		ON	P.62
		プレフィックス設定	－		「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	P.60
		イヤホンスイッチ発信設定	－		OFF	P.356
		国際ダイヤルアシスト	－	自動変換機能設定	ON（自動付加）	P.61
				国番号設定	「日本」（国番号：81） 22件登録済み	
				国際プレフィックス設定	「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	テレビ電話	送信画質設定	ー		標準	P.73
		画像選択	ー	応答保留選択	内蔵	P.74
				通話保留選択	内蔵	
				代替画像選択	キャラ電（ビーンズ（Beans））	
				伝言メモ選択	内蔵	
				伝言メモ準備選択	内蔵	
				音声メモ選択	内蔵	
		音声自動再発信	ー		OFF	P.73
		遠隔監視設定	ー	監視許可番号登録	未登録	P.77
				応答時間設定	5秒	
				設定	OFF	
		テレビ電話画面設定	ー	親画面表示	親画面相手画像表示	P.75
				内側カメラ鏡像	ON	
		テレビ電話切替通知	ー		ー	P.76
		ハンズフリー切替	ー		ON	P.75
		パケット通信中着信設定	ー		テレビ電話優先	P.76
	ディスプレイ	画面表示設定	MENU 5 6	待受画面	Flame（本体色bourgogne red）／Aurora（本体色opal white）／Luster（本体色venus gold）／Stardust（本体色graphite black）	P.107
				ウェイクアップ表示	Shine ウェイクアップメッセージ：未入力	
				電話発信	Flame（本体色bourgogne red）／Aurora（本体色opal white）／Luster（本体色venus gold）／Stardust（本体色graphite black）	
				電話着信	Flame（本体色bourgogne red、opal white、venus gold）／Stardust（本体色graphite black）	
				テレビ電話発信	Flame（本体色bourgogne red）／Aurora（本体色opal white）／Luster（本体色venus gold）／Stardust（本体色graphite black）	
				テレビ電話着信～メール受信結果	Flame（本体色bourgogne red）／Aurora（本体色opal white）／Stardust（本体色venus gold）／Luster（本体色graphite black）	
		照明設定	MENU 7 0	通常時	ON（点灯）＋省電（待ち時間2分）	P.109
				充電時	標準	
				範囲	液晶＋ボタン	
				明るさ	普通	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ディスプレイ	画面デザイン	MENU 8 6	配色パターン	Bourgogne Red（本体色bourgogne red）／Opal Blue（本体色opal white）／Golden Yellow（本体色venus gold）／Black（本体色graphite black）	P.110
				アイコンパターン	Crest（本体色bourgogne red）／Opal（本体色opal white）／Stardust（本体色venus gold、graphite black）	
				ソフトキー	Red（本体色bourgogne red）／Gray（本体色opal white、graphite black）／Gold（本体色venus gold）	
		イルミネーション・ウィンドウ	MENU 9 3		ON 時計固定表示：OFF 時計種類：時計2 着信表示：ON メール表示：OFF 通信中表示：ON 背面ｉアプリ：OFF 表示時間：15秒間	P.112
		フォント設定	MENU 6 6 または 7 （1秒以上）	書体	ゴシック体	P.114
				太さ	太字	
				文字サイズ	中	
		デスクトップ	MENU 6 3	テーマ1～3	フォトモード、ライフヒストリービューア、クイック検索、ビューアタイプメニュー	P.115
		新着お知らせ3D表示	－		ON	P.119
		バイリンガル	MENU 1 5		Japanese	P.115
		オリジナルメニュー	MENU 5 2		マイプロフィール ｉモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ アラーム 端末暗証番号変更	P.112
		メニュー画面設定	MENU 5 7	メニュー表示	一覧表示	P.110
				テーマ	Flame（本体色bourgogne red）／Aurora（本体色opal white）／Luster（本体色venus gold）／Stardust（本体色graphite black）	
				フォーカス記憶	ON	
				操作履歴リセット	－	
		ピクチャ表示設定	－		ピクチャ一覧	P.274
		表示アイコン説明	MENU 3 6		－	P.26
		表示アイコン設定	－		ON	P.119
		プライバシーアングル	8 （1秒以上）		OFF	P.109

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	時間／料金	通話時間／料金	MENU 6 1		－	P.350
		通話料金通知	－	料金上限値設定	未設定	P.352
				上限値通知設定	通知しない	
				アラーム音選択	アラーム音	
				アラーム音量	レベル4	
		積算リセット	MENU 6 0		－	P.351
		積算料金自動リセット	－		OFF	P.351
	時計	メイン時計設定	MENU 3 1	自動時刻時差補正	時刻補正：自動 時差補正：自動	P.47
				サマータイム	OFF	
		サブ時計設定	－	表示方法	自動（ローミング時自動表示）	P.47
				サマータイム	OFF	
		待受時計表示	MENU 3 9	表示方法	英語	P.115
				表示サイズ	大きく表示	
				文字色	ブラック（本体色opal white）／ホワイト（本体色bourgogne red、venus gold、graphite black）	
		アラーム通知設定	－		通知優先	P.345
		時刻アラーム音設定	－		アラーム音	P.104
	ロック／セキュリティ	ロック	－	ダイヤルロック	解除	P.126
			－	オリジナルロック	解除	P.130
					グループや項目の選択設定 データ閲覧・編集・削除、GPS：すべて選択 発信・メール送信、着信・メール受信表示：すべて解除	
		ICカードロック設定	3（1秒以上）	ICカードロック	OFF	P.247
				電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	
		キー操作ロック	－	閉じたとき	OFF	P.134
				タイマー	OFF	
		顔認証設定	－		無効	P.137
					画像登録：未登録	
					解除機能選択：ICカードロックのみ選択	
		セルフモード	－		解除	P.141
		シークレットモード	MENU 4 0		解除	P.127
		シークレット専用モード	MENU 4 1		解除	P.127
		登録外着信拒否	－		許可	P.141
		非通知着信設定	MENU 1 0	通知不可能～非通知設定	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	P.140
		端末暗証番号変更	MENU 2 9		0000（数字のゼロ4つ）	P.125
		ICカード認証設定	－		無効	P.135
					外部ICカード情報：未登録	
		PIN設定	－		－	P.125
		スキャン機能	－	スキャン機能設定	スキャン機能：ON	P.449
					メッセージスキャン：ON	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	－		60秒間	P.180
		iモード問い合わせ設定	－	メール～メッセージF	すべて「問い合わせをする」	P.213
		接続先選択	MENU 8 1		iモード ユーザ指定接続先：未登録	P.180
		SMSセンター設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.226
		証明書	－		すべて有効	P.181
		証明書センター接続設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.183
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	－		表示しない	P.229
		待受画面終了	－		－	P.238
		iアプリ音量	－		レベル4	P.231
	外部接続	USBモード設定	－		通信モード	P.302
		イヤホン切替設定	MENU 5 1		イヤホン+スピーカー	P.104
		イヤホン接続時マイク切替	－		イヤホンマイク	P.357
		オート着信設定	MENU 9 4	音声着信	オート着信なし	P.356
				テレビ電話		
				プッシュトーク		
	国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定	－		オート	P.398
		3G／GSM切替	－		自動	P.397
		オペレータ名表示設定	－		表示あり	P.399
	その他	ボタン確認音	MENU 3 0		ON	P.103
		充電確認音	－		ON	P.104
		電池残量	MENU 7 1		－	P.45
		サイドボタン設定	MENU ＊（1秒以上）		閉じた時有効	P.137
		文字入力設定	MENU 3 5	入力方式	かな方式	P.361
				ワード予測	ON	P.361
				T9変換モード	T9候補を漢字で表示	P.370
				学習履歴クリア	－	P.368
				入力サイズ切替	中	P.361
		chキー設定	－		iチャネル	P.33
		イルミネーション	－	クローズイルミネーション	ON イルミネーション選択：色5（本体色bourgogne red）／色2（本体色opal white）／色6（本体色venus gold）／色4（本体色graphite black） パターン設定：ホタル	P.113
				誕生日お知らせ	ON イルミネーション選択：色1 パターン設定：ウェーブ	
				記念日お知らせ	ON イルミネーション選択：色1 パターン設定：ウェーブ	

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	その他	設定リセット	MENU 2 3		－	P.357
		端末初期化	－		－	P.357
		ソフトウェア更新	－	自動更新設定	自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03:00	P.443
データBOX	マイピクチャ		MENU 4 6		①	P.274
	ミュージック		－		②	P.326
	Music&Videoチャネル		－		③	P.323
	ｉモーション		－		④	P.282
	メロディ		MENU 1 6		⑤	P.288
	マイドキュメント		－		⑥	P.311
	キャラ電		－		⑦	P.285
	きせかえツール		－		⑧	P.290
	ドキュメントビューア		－		－	P.313
LifeKit	バーコードリーダー		－		－	P.159
	赤外線受信		MENU 7 9		－	P.307 P.308
	microSD管理		－		－	P.296
	カメラ		[📷]（1秒以上）		⑨	P.152 P.156
	ライフヒストリービューア		－		－	P.338
	GPS		1（1秒以上）	現在地確認	－	P.250
				現在地通知	未登録	P.258
				位置履歴	履歴なし	P.260
				対応ｉアプリ	地図アプリ	P.251
				GPS設定	現在地確認設定 GPSボタン設定：地図を見る 測位モード設定：標準モード	P.251
					現在地通知設定 現在地通知先登録：未登録 測位モード設定：標準モード	P.258
					位置提供設定 位置提供：OFF 測位モード設定：標準モード 接続先設定：契約時接続先 サービス利用設定：－	P.256
					音／バイブレータ設定 音量：レベル4 音選択：Phonon バイブレータ：パターン1 通知時間設定 現在地確認：OFF 現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認：ON（5秒）	P.103
					イルミネーション選択：色3	P.103
	電話帳お預りサービス		－	電話帳内画像送信設定	しない	P.98
	スケジュール		MENU 4 5		⑩	P.340
	アラーム		MENU 4 4		すべてOFF	P.339
	To Doリスト		MENU 9 5		－	P.343

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	お買い上げ時の設定		参照ページ
LifeKit	テキストメモ		MENU 4 2		−	P.353
	電卓		MENU 8 5		−	P.352
	音声メモの再生/消去		▼[📷]		−	P.72
	動画メモの再生/消去		−		−	P.72
	待受中音声メモ		MENU 4 3		−	P.349
	おしゃべり機能		MENU 9 1		−	P.350
	FOMAカード(UIM)操作		−		−	P.304
	マイプロフィール		MENU 0		⑪	P.48 P.347
	電話帳画像転送		−		する	P.310
	テキストリーダー		−		−	P.162
	辞典		−		−	P.353
サービス	着もじ		−	メッセージ作成	お買い上げ時に登録されているメッセージ5件	P.56
				メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	
				メッセージ3D表示	ON	
	発信者番号通知		MENU 1 7		−	P.48
	留守番電話		−		−	P.372
	キャッチホン		−		−	P.373
	転送でんわ		−		−	P.374
	2in1設定		2 (1秒以上)		OFF	P.379
				モード切替	デュアルモード	P.380
				電話帳2in1設定	−	
				モード別待受画面設定	デュアルモード待受画面 待受画面:Six Months Calendar Bモード待受画面 待受画面:Ivy	
				発着信番号設定	発着信番号表示設定 Aナンバー:白(本体色graphite black、bourgogne red)/黒(本体色opal white、venus gold) Bナンバー:グレー Bナンバー着信設定 音声着信設定 着信音設定:着信音2 上記以外:Aナンバーと同じ テレビ電話着信設定 着信音設定:着信音2 上記以外:Aナンバーと同じ メール着信設定 着信音設定:メールが届きました 上記以外:Aナンバーと同じ	
				2in1機能OFF	−	
				着信回避設定	−	
	迷惑電話ストップ		−		−	P.375
	番号通知お願いサービス		−		−	P.375

付録/外部機器連携/困ったときには

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
サービス	通話中の着信動作選択		―		通常着信	P.377
	通話中着信設定		―		―	P.377
	遠隔操作設定		―		―	P.378
	デュアルネットワーク		―		―	P.376
	英語ガイダンス		―		―	P.376
	追加サービス		―		―	P.384
	サービスダイヤル		―		―	P.377
	マルチナンバー		―	着信音設定	通常着信音と同じ	P.378
	ローミングガイダンス設定		―		―	P.399
	ローミング時着信規制		―		―	P.399
	海外用サービス		―		―	P.399
電話帳	電話帳		―		⑫	P.89 P.91
	プッシュトーク電話帳		[プッシュトーク]		⑬	P.83 P.84
ユーザデータ	着信履歴		MENU 2 4		―	P.54
	発信履歴		―		―	P.54
	メールメンバー		MENU 9 7		―	P.195
	チャットグループ		―		―	P.223
	直デン		[直デン]		―	P.96
	定型文		MENU 3 8		固定定型文初期状態 （フォルダ名はフォルダ１、２）	P.366
	ユーザ辞書		MENU 8 2		―	P.368
	ダウンロード辞書		―		―	P.369
MUSIC	ミュージックプレーヤー		[プッシュトーク] （１秒以上）		②	P.325
	Music&Videoチャネル		―		③	P.320
カメラ			[▼] [カメラ] （１秒以上）		⑨	P.152 P.156
おサイフケータイ	ICカード一覧		―		―	P.243
	DCMX		―		―	P.234
	トルカ		―		―	P.245
	ICカードロック設定		3 （１秒以上）	ICカードロック	OFF	P.247
				電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	
	設定		―	トルカ設定	外部R/Wからの取得：許可する 重複チェック：行う 自動読取設定：ON スクロール設定：１行スクロール	P.246
				ICカード通知設定	イルミネーション：ON バイブレータ：ON	P.114
	ｉモードで探す		―		―	―

[別表1]その他の設定リセット機能

機能名	お買い上げ時の設定
①マイピクチャ	ソート:新しい順 画像表示設定:標準
②ミュージック	ソート:タイトル(昇順) 一覧表示切替:タイトル
③Music&Videoチャネル	ソート:新しい順 一覧表示切替:タイトル+画像
④iモーション	ソート:新しい順 一覧表示切替:タイトル+画像(FOMA端末本体)、名前+画像(microSD)
⑤メロディ	ソート:新しい順 連続再生設定:OFF
⑥マイドキュメント	ソート:新しい順
⑦キャラ電	代替画像設定:ビーンズ(Beans) キャラ電撮影:フォトモード 画像表示設定:画面サイズで表示 フォトモード 画像サイズ選択:QCIF(176×144) 画像保存設定:ファイン ムービーモード 撮影種別設定:映像+音声 動画保存設定:標準 ファイルサイズ設定:2MB以下
⑧きせかえツール	ソート:新しい順
⑨カメラ	ムービーモード カメラ設定:外側カメラ 画像サイズ選択:QCIF(176×144) ファイルサイズ設定:2MB以下 記録品質設定:標準 カメラ調節 撮影モード選択:人物 ホワイトバランス設定:オート ちらつき軽減:自動 動画シャッター音選択:シャッター音1 動画保存先選択:本体(カメラフォルダ) ボイスモード ファイルサイズ設定:2MB以下 録音開始音選択:シャッター音1 音声保存先選択:本体(カメラフォルダ)
⑨カメラ	フォトモード カメラ設定:外側カメラ 画像サイズ選択 内側カメラ:フルスクリーン(240×427) 外側カメラ:フルスクリーン(480×854) 記録品質設定:スーパーファイン カメラ調節 撮影モード選択:オート ホワイトバランス設定:オート ちらつき軽減:自動 シャッター音選択:シャッター音1 画像保存先選択:本体(カメラフォルダ) ムービーモード/ボイスモード/フォトモード共通 セルフタイマー設定:OFF(時間:10秒) 自動保存設定:OFF ファイル制限:なし 連続撮影の設定→P.154
⑩スケジュール	表示:1ヶ月表示 ユーザアイコン設定:未登録
⑪マイプロフィール	拡大表示⇔標準表示:標準表示
⑫電話帳	個別着信音/画像:すべて解除 個別着信動作選択:すべて解除 拡大表示⇔標準表示:標準表示
⑬プッシュトーク電話帳	プッシュトーク設定 自動応答設定:自動応答なし 呼出時間設定:30秒 クローズ動作設定:スピーカ通話 プッシュトーク通信中着信設定:通常着信 ハンズフリー設定:ON
ミュージックプレーヤー	サウンドエフェクト イコライザ:OFF エフェクト:OFF リピート設定:OFF シャッフル設定:OFF 音量:レベル10 再生画面設定:通常画面モード 画像表示設定:標準 プレーヤー画面変更:Flame(本体色bourgogne red)/Stardust(本体色opal white、venus gold、graphite black) 連続再生設定:OFF

機能名	お買い上げ時の設定
その他の機能	テレビ電話中 　テレビ電話設定：明るさ調節：0 　照明設定：常時点灯 ラストワン機能※ 　メインメニュー：データ BOX 　電話帳検索：フリガナ検索 受話音量：レベル４ マナーモード：解除 公共モード（ドライブモード）：解除

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている状態になる機能です。

シンプルメニュー機能一覧

大項目	中項目／小項目	参照ページ
電話	電話帳検索	P.89、P.91
	リダイヤル	P.54
	着信履歴	P.54
	伝言メモ	P.72
	電話帳登録	P.89
	電話番号表示	P.48、P.347
メール	受信メール	P.202
	送信メール	P.202
	保存メール	P.194
	新規メール作成	P.188
	センター問合せ	P.198
ｉモード	ｉメニュー	P.167
	Bookmark	P.172
	画面メモ	P.174
カメラ	写真撮影	P.152
	動画撮影	P.156
	写真一覧	P.274
	動画一覧	P.282
設定／ツール	着信音設定	P.100
	待受画面設定	P.107
	アラーム	P.339
	電卓	P.352
	通話料金／時間	P.350
	留守番電話	P.372

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	. @ / ? ! ( ) , − _ : ' ~※5 & ¥ 1 ｽﾍﾟｰｽ	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o 6	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z 9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※1ー	スペース 0	0＋※6
＊	゛ ゜ ※2、※3	゛ ゜ ※2、※3	________ ※2、※3	＊※3
＃	、。？！・ｽﾍﾟｰｽ ※4	、。？！・ｽﾍﾟｰｽ ※4	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp※7	＃

※1：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。

※2：濁点／半濁点を付加できない文字で、小文字と大文字の切り替えが可能な文字が入力されている場合は、小文字／大文字を切り替えます。「つ」「ツ」が入力されている場合は、小文字／大文字／濁点を切り替えられます。

※3：1秒以上押すと改行マーク「↲」が入力されます。

※4：ユーザ辞書の読み入力時には何も入力できません。また、FOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「？」「！」「・」は入力できません。

※5：全角入力のときは「￣」となります。

※6：「＋」は、SMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。

※7：全角に切り替えた場合は表示されません。

2タッチ方式で入力できる文字

■全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
		ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
							f	g	h	i	j
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
							k	l	m	n	o
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
				っ			p	q	r	s	t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
							u	v	w	x	y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	―	／
							z				
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※1 ☎	
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		※1 ♥	※2
		ゃ		ゅ		ょ					
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	※3 ゛	※3 ゜	6	7	8	9	0
		ゎ			、	。					

■半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
		ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
							f	g	h	i	j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
							k	l	m	n	o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
				ｯ			p	q	r	s	t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
							u	v	w	x	y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
							z				
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※1 ☎	
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		※1 ♥	※2
		ｬ		ｭ		ｮ					
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
		@	/	-	_	:	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	@docomo.ne.jp	
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0
		~	'		,	.	www.	.com	.html	http://	https://

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※2：8 0 を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に ＊ を押して小文字に切り替えることもできます。

※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。

（網掛け）：スペースが入力されます。

T9入力方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード
1	あ行、1	ア行、1	. @ / ? ! ( ) , -_ : ' ~※5 & ¥ 1 スペース
2	か行、2	カ行、2	A B C a b c 2
3	さ行、3	サ行、3	D E F d e f 3
4	た行、4	タ行、4	G H I g h i 4
5	な行、5	ナ行、5	J K L j k l 5
6	は行、6	ハ行、6	M N O m n o 6
7	ま行、7	マ行、7	P Q R S p q r s 7
8	や行、8	ヤ行、8	T U V t u v 8
9	ら行、9	ラ行、9	W X Y Z w x y z 9
0	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※4 ー、0	0
*	※1、※2	※1、※2	※2、※6
#	※3	※3	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp

- 「数字入力モード」の文字割り当ては「かな方式」の文字割り当てを参照してください。
- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
- 「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
- 「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

※1：読み編集中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）が付いた変換候補の切り替えを行います。
※2：1秒以上押すと改行マーク「↲」が入力されます。
※3：読みおよび文字の確定後は、「､」「｡」「?」「!」「･」「スペース」が表示されます。
※4：「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。
※5：全角入力のときは「￣」となります。
※6：「モード解除」→「Shiftモード」→「CapsLockモード」の順に切り替わります。

記号・特殊文字一覧

■全角記号

※１文字目の空白は「全角スペース」です。

⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡ
ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍
㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻
㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍
℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼
≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩
∪

※：SMS本文入力時は、一覧の最後に ♥ 、☎ が表示されます。

■ 半角記号

 ! " # $ % & ' ( ) * +
, - . / : ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣
､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

※１文字目の空白は「半角スペース」です。

付録／外部機器連携／困ったときには

■変換記号読み一覧

以下の記号については、読みを入力して変換することもできます。なお、「きごう」と入力して変換すると、一部の記号が変換候補に表示されます。

文字入力	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】‘’“”()〈〉[]{}｢｣

文字入力	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

文字入力	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字一覧

■絵文字

次ページにつづく

■絵文字読み一覧

絵文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。

	読み
	はーと
	はーと
	しつれん・はーと
	はーと
	わーい・かお・うれしい
	いかり・かお
	がく・かお・かなしい
	やだ・かお・かなしい
	ふらふら・かお
	るんるん・おんぷ
	おんせん
	かわいい・はな
	きすまーく・きす・ちゅっ
	ぴかぴか・あたらしい・きら・ぴか
	ひらめき・きら・ぴか
	むかっ・いかり
	ぱんち・いかり・て
	ばくだん・ばくはつ・いかり
	むーど・おんぷ
	ねむい・すいみん・ねる・ぐー
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	どんっ・しょうげき
	あせあせ・あせ
	あせ
	だっしゅ・にげろ
	ー
	ー
	ぐっど・やじるし・や・うえ
	ばっど・やじるし・や・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	はれ・てんき・たいよう
	くもり・てんき・くも
	あめ・てんき・かさ
	ゆき・てんき・ゆきだるま
	かみなり・てんき・ぴか

	読み
	たいふう・てんき・まる・ぐるぐる
	きり・てんき
	こさめ・てんき・かさ
	おひつじざ・せいざ
	おうしざ・せいざ
	ふたござ・せいざ
	かにざ・せいざ
	ししざ・せいざ
	おとめざ・せいざ
	てんびんざ・せいざ
	さそりざ・せいざ
	いてざ・せいざ
	やぎざ・せいざ
	みずがめざ・せいざ
	うおざ・せいざ
	すぽーつ・ふく
	やきゅう・すぽーつ・ぼーる
	ごるふ・すぽーつ
	てにす・すぽーつ
	さっかー・すぽーつ・ぼーる
	すきー・すぽーつ
	ばすけっとぼーる・すぽーつ・ばすけ・ばすけっと
	もーたーすぽーつ・はた・ふらっぐ・えふわん
	ぽけっとべる・ぽけべる・べる
	でんしゃ・のりもの
	ちかてつ・のりもの・めとろ
	しんかんせん・のりもの
	くるま・のりもの・せだん
	くるま・のりもの・あーるぶい
	ばす・のりもの
	ふね・のりもの
	ひこうき・のりもの
	いえ・たてもの・うち
	びる・たてもの・かいしゃ
	ゆうびんきょく・ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう・ばんく
	えーてぃーえむ・ばんく
	ほてる
	こんびに

	読み
	がそりんすたんど・がすすたんど・がす
	ちゅうしゃじょう・ぱーきんぐ・ぴー
	しんごう
	といれ・べんじょ
	れすとらん・しょくじ・ごはん・めし
	きっさてん・しょくじ・さてん・おちゃ
	ばー・しょくじ・さけ・かんぱい
	びーる・しょくじ・さけ・かんぱい
	ふぁーすとふーど・しょくじ・はんばーがー
	ぶてぃっく・くつ・ふく・はいひーる
	びよういん・はさみ・とこや
	からおけ・まいく・うた
	えいが・びでお
	ゆうえんち
	おんがく・きく・へっどほん
	あーと・かいが
	えんげき・しばい
	いべんと
	ちけっと・きっぷ
	きつえん・たばこ
	きんえん・たばこ
	かめら・しゃしん
	かばん・ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと・おめでとう
	ばーすでー・おめでとう・たんじょうび
	でんわ
	けいたいでんわ・けいたい・けーたい・でんわ
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー
	はーと・とらんぷ
	すぺーど・とらんぷ
	だいや・とらんぷ
	くらぶ・とらんぷ

	読み
	め・みる・みて
	みみ・きく
	て・ぐー
	て・ちょき
	て・ぱー
	あし・あしあと
	くつ
	めがね
	くるまいす
	しんげつ・つき・まる
	はんつき・つき
	はんつき・つき
	みかづき・つき
	まんげつ・つき・まる
	いぬ・どうぶつ
	ねこ・どうぶつ
	りぞーと・よっと・ふね
	くりすます・き
	かちんこ・かっと・かんとく
	ふくろ
	ぺん・めも
	ひとかげ
	いす
	よる・つき・おやすみ
soon	
ON!	
end	えんど・おわり
	とけい・じかん
	でんわ・でんわばんごう
	めーる・あどれす
FAX	ふぁっくす
	あいもーど・あい
	あいもーど・あい
	めーる・てがみ・あどれす
	どこも
	どこもぽいんと・どこも
¥	ゆうりょう・えん・かね
FREE	むりょう・ただ・ふりー
ID	あいでぃー
	ぱすわーど・かぎ
	つぎ・りたーん
CL	くりあ
	さーち・しらべる・むしめがね

	読み
NEW	にゅー・にゅう・あたらしい
	はた・ふらっぐ・いち
	ふりーだいやる
#	しゃーぷ
1	いち・すうじ
2	に・すうじ
3	さん・すうじ
4	し・よん・すうじ
5	ご・すうじ
6	ろく・すうじ
7	なな・しち・すうじ
8	はち・すうじ
9	きゅう・く・すうじ
0	ぜろ・れい・すうじ
OK	けってい・おーけー・おっけー
	あいあぷり・あぷり
	あいあぷり・あぷり
	てぃーしゃつ・しゃつ・ふく
	さいふ・かね・おかね
	けしょう・くちべに
	じーんず・ふく・ずぼん
	すのぼ・すのーぼーど・すぽーつ
	ちゃぺる・べる・かね
	どあ・とびら
	どるぶくろ・かね・おかね
	ぱそこん・ぴーしー
	らぶれたー・らぶめーる・てがみ・めーる
	れんち・しゅうり
	えんぴつ・めも
	おうかん・かんむり・おう
	ゆびわ
	すなどけい・じかん
	じてんしゃ・のりもの・ちゃり
	ゆのみ・おちゃ・ちゃ
	うでどけい・とけい・じかん
	かんがえる・かお・うーむ
	ほっ・かお
	ひやあせ・かお
	ひやあせ・かお
	いかり・かお・ぷー
	ぼけー・かお

	読み
	はーと・かお
	おーけー・て・おっけー
	あかんべ・かお・べー
	うぃんく・かお
	うれしい・かお・にこ
	がまん・かお
	ねこ・どうぶつ
	なみだ・かお・なき
	なみだ・かお・なき
NG	えぬじー・だめ
	くりっぷ・てんぷ
©	
TM	
	はしるひと・だっしゅ・はしる・にげる
秘	まるひ・ひみつ
	りさいくる
®	
	きけん・ちゅうい
禁	きんし
空	くうしつ・くうせき・くうしゃ・あき
合	ごうかく
満	まんしつ・まんせき・まんしゃ・いっぱい
	やじるし・や
	やじるし・や
	がっこう
	なみ・うぇーぶ・うみ
	ふじさん・やま
	くろーばー・はな
	さくらんぼ・はな・ちぇりー
	ちゅーりっぷ・はな
	ばなな・たべもの
	りんご・たべもの
	め・はな
	もみじ・はな
	さくら・はな
	おにぎり・おむすび・たべもの
	しょーとけーき・けーき・たべもの
	とっくり・おちょこ・さけ・かんぱい
	どんぶり・ごはん・たべもの・しょくじ
	ぱん・しょくじ・たべもの
	かたつむり・どうぶつ

次ページにつづく

	読み
	ひよこ・どうぶつ
	ぺんぎん・どうぶつ
	さかな・どうぶつ
	うまい・たべる・かお

	読み
	にやり・かお・わらい
	うま・どうぶつ・けいば
	ぶた・どうぶつ
	わいんぐらす・わいん・さけ・かんぱい

	読み
	げっそり・さけび・むんく・かお

※ 読みのない絵文字は、絵文字入力でのみ入力可能なものです。

おしらせ

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。なお、ｉモード端末であっても、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。

顔文字一覧

■顔文字読み一覧

顔文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。なお、「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、以下の顔文字がすべて変換候補に表示されます。

読み	顔文字
ありがと(う)	m(_ _)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
わーい	(´∀｀)
わーい	(*^□^*)
わーい	o(^▽^o)(o^▽^)o
わーい	(≧▼≦)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
あは	^□^;
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
にこ	(o‘∀‘o)
にこ	(o^∀^o)
にこ	(’∀’●)
にこ	(●^-^●)
にこ	(o ˆ▽ˆ o)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
さよなら	(_´Д`)ノ~~~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)

読み	顔文字
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
いたた	(＞＜)
えーん	(;_;)
えーん	(´Д`)
えーん	ΩÅΩ;
えーん	(ノд<。)゜。
えーん	゜。(p>∧<q)。゜゜
えーん	(T ω ヽ)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
がーん	(___;)
がーん	Σ(￣□￣;)
えへん	(￣^￣)
む	(−_−メ)
む	o(￣^￣ o)
いかり	(｀´)
むか	(;-_-+
むか	(｀へ´)
むか	(~へ~;)
こそこそ	(・_・|
じーっ	(-_-)
きこえない	|(-_-)|
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(−Q−)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／

読み	顔文字
ねむい	(ρ_-)ノ
めも	φ(..)
うん	(°_°)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／
がまん	(;´∩`)
こんにちは	ヾ(=^▽^=)ノ
こんにちは	(・∀・)ノ
こんにちは	(●´∀`●)/
いいな	(o>ω<o)
いいな	(@°▽°@)
いいな	(m’□’m)
うーん	(￣～￣;)
てれる	(／_＼;)
てれる	(*/ω＼*)
てれる	(//∀//)
てれる	(≧ω≦)
しあわせ	゜+。(*′▽`)。+゜
しあわせ	ヽ(´▽`)/
しあわせ	(*´∀`*)
なかよし	^—^)人(^—^
ごめん	(*c*)
いじいじ	φ(..;)
いじわる	Ψ(`∀´#)
よろしく	☆ヽ(▽⌒*)
こまった	＞＜
やだ	(○>_<)
へこむ	(´`)
へこむ	(´ω`)
びっくり	(。д○;)
びっくり	w(°0°)w
だっしゅ	ε=┏(・_・)┛

定型文一覧

■フォルダ１（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■フォルダ２（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

マルチアクセスの組み合わせについて

新たに発生した通信／現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		ｉモードを利用※1	ｉアプリを利用	ｉモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※2	△※3	×	△※4	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※4	－	△※4	×	×	×	×※9
ｉモード中※1	○	○	△※6	△※7	－	○※14	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	×	×	×	△※8	×	×※9
64Kデータ通信中	×	△※4	×	△※4	×	×	×	×※9
プッシュトーク通信中	×	△※5	×	×※10	×	×	×	×※9

新たに発生した通信／現在の通信状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信		プッシュトーク	
	送信	受信	送信	受信	送信	受信	発信	着信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※4	×	×※10
テレビ電話中	×	○	×	×※10	×	△※4	×	×
ｉモード中※1	○	○	×	×	×	×	△※11	△※13
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	－	－	×	×	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×	×	△※4	×	×
プッシュトーク通信中	○	○	×	×	×	×	×※12	×

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1　：ｉチャネルの情報サイトの表示、フルブラウザ、トルカでの通信を含みます。
※2　：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして発信することができます。

※3　:「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.377
※4　:「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.377
※5　:「プッシュトーク通信中着信設定」を「通常着信」に設定している場合、音声電話の着信に応答すると、プッシュトーク通信が終了します。→P.86
※6　: i モード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※7　:「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、i モード通信が切断されます。
※8　: i アプリのソフトの通信はできません。
※9　: i モードメールやメッセージR/Fは受信されず、i モードセンターに保管されます。i モードセンターに保管された i モードメールやメッセージR/Fは通信終了後、「i モード問い合わせ」を行うと受信できます。
※10: 不在着信履歴が残ります。
※11: i モード接続を切断してからプッシュトーク発信を行います。
※12: 自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信はできます。
※13:「i モード設定」の「i モード通信中着信設定」を「プッシュトーク着信優先」に設定している場合、プッシュトークの着信を受けると i モード通信が切断され、「i モード優先」に設定している場合、不在着信履歴は残りません。
※14: フルブラウザ（ビューアタイプ）起動中の場合は、i アプリを起動できません。

マルチタスクの組み合わせについて

現在の状態＼利用する機能	メール	i モードメニュー/i チャネル一覧	i アプリ	各種設定	データBOX	LifeKit
メールグループ起動中	○※2	○	○	○※11	○	○※18
i モードグループ起動中	○※3	×	○※9	○※11	○※14	○※18
i アプリグループ起動中	○	○※6※7	×	○※11	○※15	○※18
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※18
ツールグループ起動中※1	○	○	○	○※11	×※17	×※19
ミュージック起動中	○※4	○※8	○※10※30	○※11	○※8	○※11
音声通話中	○※5	○※5	×	×※12	×	×※19※20
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※21※22
プッシュトーク通信中	○	○	×	○※12	×	○※23
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	○	○※11	○	○※18
64Kデータ通信中	○	○	×	×※12※13	×	×※11※19

現在の状態＼利用する機能	サービス	電話帳	ユーザデータ	MUSIC	カメラ	おサイフケータイ	オリジナルメニュー
メールグループ起動中	○※24	○※27	○	○	○	○※11	○
i モードグループ起動中	○※24	○※27	○	○	○	○※11	○
i アプリグループ起動中	○※24	○※27	○	○	○	○※11	○
設定グループ起動中	×	○※27	○	○	○	○※11	○

次ページにつづく

現在の状態＼利用する機能	サービス	電話帳	ユーザデータ	MUSIC	カメラ	おサイフケータイ	オリジナルメニュー
ツールグループ起動中※1	○※24	×	×	○※11	×	○※11	○
ミュージック起動中	○※24	○※8※27	○	×	○※31	○※11	○
音声通話中	○※5※24※25※26	○※5※27	○※5※28	×	○※29	×※16	○※5
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	○※24※25※26	○※27	○※28	×	○※29	×※16	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○※24	○※27	○	×	○	○※11	○
64Kデータ通信中	○※24※25※26	○※27	○※28	×	○※29	×※16	○

○：起動できます。　×：起動できません。
※1　：「赤外線受信」、「microSD管理」、「FOMAカード（UIM）操作」のときは利用できません。
※2　：「ｉモードメール作成」および「SMS作成」を同時に利用することはできません。
※3　：フルブラウザ（ビューアタイプ）起動中の場合は、メールの添付画像や、テンプレートの挿入画像をmicroSDメモリーカードに保存できません。
※4　：ミュージックプレーヤー再生中は、メールの読み上げ機能は利用できません。また、添付ファイルのメロディを再生するなど、音を鳴らす操作はできません。
※5　：通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。
※6　：ｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルはダウンロードできません。
※7　：フルブラウザ（ビューアタイプ）は利用できません。
※8　：ミュージックプレーヤー再生中は、メロディやｉモーションを再生するなど、音を鳴らす操作はできません。
※9　：フルブラウザ（ビューアタイプ）起動中の場合は、ｉアプリを起動できません。
※10：「Music&Videoチャネル」、「ミュージックプレーヤー」を起動しているときはｉアプリを利用できない場合があります。
※11：機能によっては利用できません。
※12：「ポーズダイヤル」、「ボタン確認音」、「ICカードロック設定」のみ利用できます。
※13：「テレビ電話切替通知」のみ利用できます。
※14：フルブラウザ（ビューアタイプ）起動中の場合は、画像のmicroSDメモリーカードへのコピー・編集・位置情報付加、ｉモーションの編集・OBEX™通信（10MBの場合）・FOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへのコピーや移動、ミュージックのFOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへの移動は利用できません。
※15：静止画の編集、microSDメモリーカードへのコピー、動画の編集、転送、FOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへのコピー／移動、着うたフル®のFOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへの移動、GPS機能の静止画の位置情報付加機能（「現在地確認から付加」、「位置履歴から付加」）は利用できません。
※16：「トルカ」、「ICカードロック設定」、「ｉモードで探す」のみ利用できます。
※17：GPS機能で測位中に赤外線通信／ｉC通信を行った場合、圏外になり測位が中断されます。
※18：「赤外線受信」、「microSD管理」、「おしゃべり機能」、「FOMAカード（UIM）操作」は利用できません。
※19：GPS機能の現在地確認、現在地通知、位置提供は利用できます。
※20：「バーコードリーダー」、「カメラ」、「GPS」、「電話帳お預りサービス」、「スケジュール」、「To Doリスト」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「マイプロフィール」、「テキストリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連続撮影」のみとなります。
※21：▼［📷］を1秒以上押した場合のみ「通話中音声メモ」が利用できます。ただし、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。
※22：GPS機能の現在地通知、位置提供は利用できます。
※23：「バーコードリーダー」、「カメラ」、「GPS」、「スケジュール」、「To Doリスト」、「テキストメモ」、「電卓」、「マイプロフィール」、「テキストリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連続撮影」のみとなります。
※24：「着もじ」は利用できません。2in1の設定状態により「モード切替」などの機能は利用できません。
※25：「留守番電話」の再生はできません。また、サービスダイヤル（P.377）と特番（P.384）に発信する操作はできません（USSDを利用しての操作はできます）。

※26：「発信者番号通知」、「2in1設定」は利用できません。
※27：「個別着信動作選択」は利用できません。
※28：「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。
※29：「フォトモード」、「連続撮影」のみ利用できます。
※30：「Music&Videoチャネル」、「ミュージックプレーヤー」の再生は一時停止します。
※31：ミュージックプレーヤー再生中はカメラの起動ができません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2008年1月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2008年1月現在）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA USB接続ケーブル※4
- FOMA ACアダプタ 01／02※2
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 卓上ホルダ N15
- 電池パック N16
- リアカバー N23
- 車載ハンズフリーキット 01※3
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- データ通信アダプタ N01
- FOMA室内用補助アンテナ※5
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5
- 車内ホルダ 01
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※2
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースS 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※4
- FOMA補助充電アダプタ 01

※1：FOMA N905iμと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※2：ACアダプタの充電方法について→P.43、44
※3：FOMA N905iμをUSB接続／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※4：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5：日本国内で使用してください。

動画再生ソフトのご紹介

- ●パソコンで動画（MP4 形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）の QuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
- ●QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
  - ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
  - 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

●まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。
「ソフトウェアを更新する」→P.443

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。	P.42 P.45
「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。	P.43 P.45
画面に「圏外です」と表示される	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.46
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。 ● キー操作ロック中ではありませんか。 ● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.133 P.134 P.139
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 市外局番を忘れていませんか。 ●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.50 P.50 —
着信できない または 着信音が鳴らない	● 以下の機能を設定していませんか。 個別着信動作選択 • 指定着信拒否　• 指定着信許可 • 指定転送でんわ　• 指定留守番電話 呼出時間表示設定 • 無音時間設定 登録外着信拒否 非通知着信設定 • 通知不可能拒否　• 公衆電話拒否 • 非通知設定拒否 ● マナーモード設定中ではありませんか。 ● 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。 ●「着信・メール受信表示」の「着信」がオリジナルロック中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。 ● 着信音量を「消去」に設定していませんか。 ● 伝言メモの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。	P.139 P.140 P.141 P.140 P.105 P.67 P.133 P.141 P.372 P.374 P.375 P.376 P.66 P.71
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話やプッシュトークがかかってきたときの着信音が鳴らない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.140
発信履歴／リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「個別着信動作選択」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。	P.139
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。	P.101
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。	P.108

現象	チェックする箇所	参照ページ
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信イルミネーションが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って動作します。	P.114
動画／ｉモーションや着うたフル®の表示、再生に時間がかかる	●「移行可能コンテンツ」フォルダに保存された動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。 「移行可能コンテンツ」フォルダに保存されたデータの場合、表示や再生に時間がかかることがあります。	ー
動画／ｉモーションや着うたフル®をmicroSDメモリーカードにコピー、移動できない	● 部分的に保存された着うたフル®ではありませんか。 ● 再生制限（回数、期間、期限）の切れた動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。	P.326 P.275
PDFデータが正しく表示されない	● PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。	ー
PDFデータの表示に時間がかかる	● サイズが大きいPDFデータなどの場合､表示に時間がかかることがあります。	ー
PDFデータをFOMA端末にコピーできない	● PDFデータのサイズが2Mバイトを超えていませんか。	P.311
PDFデータをmicroSDメモリーカードにコピーできない	● ページ単位で取得したPDFデータではありませんか。	P.311
ドキュメントデータが正しく表示されない	● ドキュメント対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントデータの場合、正しく表示されないことがあります。	ー
ドキュメントデータの表示に時間がかかる	● サイズが大きいドキュメントデータなどの場合、表示に時間がかかることがあります。	ー
着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する	● 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。 ●「きせかえツール設定」で「Disney」を設定した後、着信音やメール着信音にｉモーション、ミュージックを設定すると着信画面と着信音の組み合わせによっては、「Disney」以外のプリインストールの画像が表示される場合があります。 また、ダウンロードしたFlash画像を着信画面やメール着信画面に設定した後、ｉモーション、ミュージックを着信音やメール着信音に設定した場合も同様な動作となります。	ー ー
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。 ● SMS を受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定の着信音設定が有効となります。	P.101 P.101 P.101 P.96 P.95 P.96
画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネルの替わりに文字が表示される	● 以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できない画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネルです。以下の表示がされていないデータを選択してください。 「Not available」、「Expired file」、「No preview data」	P.274 P.282 P.322 P.326
あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.402）を押しても機能を呼び出すことができない	● メインメニューのテーマを「Standard」に設定してから操作してください。	P.35

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って点滅します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のイルミネーション設定に従って着信イルミネーションが点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定していますか。 ● SMS を受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定のイルミネーション設定が有効となります。	P.114 P.114 P.96 P.95 P.96
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。	P.42 P.44 P.44
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。 ● マナーモード設定中ではありませんか。	P.103 P.105
エニーキーアンサーで音声電話、テレビ電話、プッシュトークに出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.65 —
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.24 — — P.66
通話中、相手の声が大きすぎる	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.66
FOMA端末を折り畳んでいるときに、サイドボタンを押しても操作できない	● キー操作ロック中ではありませんか。 ●「サイドボタン設定」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.134 P.137
FOMA端末を折り畳んでいるときに、[P]を押しても不在着信などの確認ができない [P]を1秒以上押してもミュージックプレーヤーが起動しない	●「不在／新着確認設定」を「OFF」に設定していませんか。 ● キー操作ロック中ではありませんか。 ●「サイドボタン設定」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.70 P.134 P.137
日付が英語で表示されている	●「待受時計表示」の「表示方法」を「日本語」に設定してください。	P.115
ディスプレイが見にくい	● バックライトの明るさの設定を「暗め」に設定していませんか。 ●「プライバシーアングル」を「ON」に設定していませんか。	P.109 P.109
ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。 ● [5]を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。 メールの作成中などにも、[5]を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.109 —
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	—
電池の使用時間が短い	● 電池パックの寿命がきていませんか。また、使用環境などによっては電池パックの寿命が短くなることがあります。 ● FOMA端末の使い方によって電池の使用時間は変化します。	— —

現象	チェックする箇所	参照ページ
☎を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	ー
ディスプレイに何も表示されずマルチファンクションボタン横の▭が点滅する	● 省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.109
イルミネーション・ウィンドウに何も表示されない	●「イルミネーション・ウィンドウ」の設定を「OFF」に設定していませんか。	P.112
着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点灯）が行われない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点灯）が行われません。	P.140
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（☎）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.89
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメインまですべて登録しないと振り分けされません。	P.207 P.207
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.197 P.212
FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない	● USBモード設定を「microSDモード」や「プリントモード」、「MTPモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。	P.302
データ転送が行われない	● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	ー
MTPモードでパソコンと接続できない	● ほかのFOMA端末で作成したmicroSDメモリカードはご使用になれません。	ー
iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネルに接続できない	●「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。 ● iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.180 ー
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信イルミネーションの点灯）が行われない	●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。 ●「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」がオリジナルロック中ではありませんか。 ●「受信時動作設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.104 P.133 P.212
送信したメールが送信BOXに残らない	● メール連動型iアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。 メール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.204 P.207
受信したメールが受信BOXに残らず、「✉（白色）」が消えない	● 受信BOXの中のメール連動型iアプリのフォルダに「✉」が表示されていませんか。またはメール連動型iアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。 該当するメール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.204 P.207
メール送信中に切断され、SMSを受信した もう一度操作しようとするとメッセージが表示される	● 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージに従ってください。	ー
外側カメラで撮影すると画像がちらつく	● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「ちらつき軽減」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。	P.153
外側カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる	●「ちらつき軽減」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「ちらつき軽減」の設定を「自動」に戻してください。	P.153

現象	チェックする箇所	参照ページ
撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 撮影する場面に合ったモードを設定してください。	P.151
画像表示しようとすると「☒」が表示される または デモやプレビューで「☒」が表示される	● 画像データが壊れている場合は「☒」が表示されることがあります。	－
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、microSDリーダー／ライター機能で容量の大きいデータをやりとりしたときなどに起こる場合があります。	－
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	－
SD-Audioデータ再生時に、microSDメモリーカードを認識しなくなったり、「再生エラー発生　終了します」と表示される	● いったん「SD-Jukebox」で音楽データをパソコンに移動し、microSDメモリーカードを「SD-Jukebox」でフォーマットしてください。その後、音楽データをmicroSDメモリーカードに戻して使用してください。	－
直感ゲームが利用できない	● カメラにオリジナルロックを設定していませんか。	P.130

■海外利用時の場合

現象	チェックする箇所	参照ページ
画面に「圏外」や「select net」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない	● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 ● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。 ● 日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。 ● 「ネットワークサーチ設定」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。	－ － － P.398
音声電話やテレビ電話がかかってこない	● 「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。 ● 「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。 ● GSM／GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。	P.399 P.76 －
相手の電話番号が通知されてこない 相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる 電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。 また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	－

こんな表示が出たら

● ｉモードエラーメッセージの中の（数字）については、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「“●▲■.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信できません（555）Unable to send. “●▲■.ne.jp”is not available temporarily.」 ※ドメイン名については送信先により表示が異なります。	● 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから操作し直してください。	－
「1件コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「2in1設定がBの電話帳データでは利用できません」	● 電話帳データの「電話帳2in1設定」が「B」に設定されているため、プッシュトーク発信できません。「電話帳2in1設定」を「A」に切り替えてから操作してください。	P.380
「BOXロック設定中です　削除できません」 「フォルダロック設定中です　削除できません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリが利用しているフォルダを削除できません。メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリのフォルダを削除する場合は、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。 メール連動型ｉアプリのみ削除する場合は、ｉアプリ削除時に、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。	P.138
「BOXロック設定中のためダウンロードできません」 「フォルダロック設定中のためダウンロードできません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。	P.138
「Bナンバーではプッシュトークは利用できません」	● 電話帳詳細画面の機能メニュー「発信設定」の「2in1／マルチナンバー」が「Bナンバー」に設定されているため、プッシュトーク発信できません。「発信設定」の「2in1／マルチナンバー」を「Aナンバー」に切り替えてから操作してください。	P.93
「Bナンバー発着信履歴ではプッシュトークは利用できません」	● 2in1のモードがデュアルモードのとき、Bナンバーの発信履歴／着信履歴／リダイヤルからプッシュトーク発信しようとしたときに表示されます。	－
「Bモードではプッシュトークは利用できません」	● 2in1のモードがBモードのため、プッシュトーク発信できません。Aモードに切り替えてから操作してください。	P.380
「FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。	P.40
「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR/Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。	P.40 P.40
「FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.40
「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカード（UIM）を挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.39
「FOMAカード情報が一致しないためダウンロードできません」 「FOMAカード情報が一致しないため移動できません」 「FOMAカード情報が一致しないため保存できません」 「FOMAカード情報が一致しないため起動できません」 「FOMAカード情報が一致しないため削除できません」 「FOMAカード情報が一致しないためバージョンアップできません」	● 挿入しているFOMAカードと FeliCa に登録されているFOMAカード情報が異なる場合、microSDメモリーカードからｉアプリを移動する場合に表示されます。	－
「ICカード内データがいっぱいのため移動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」 「ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」 「ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」 「ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？」	● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、microSDメモリーカードから移動する際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、そのサービスを削除することで確保できる容量（バイト数）、不足エリアサイズが表示されますので、削除するサービスを選択し、メッセージに従いｉアプリを起動してサービスを削除してください。	－
「ｉアプリTo設定されていません」	● サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、トルカからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。	P.237
「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」	● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択し、通信を行わない場合は「通信しない」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。	－
「ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？」	●「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「通信しない」または「ｉアプリ終了」を選択した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。	－
「ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	●「ｉモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためｉモード問い合わせができません。 「ｉモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.213
「microSDが挿入されていません」	● microSDメモリーカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。microSDメモリーカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。	P.291

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」	● microSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。	P.296
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。◉を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.125
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.124
「SSL通信が切断されました」	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	−
「SSL通信が無効です」	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	−
「SSL通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.181
「SSL/TLS通信が無効です」	● SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	−
「SSL/TLS通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.181
「URLが長すぎて登録できません」	● URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。	−
「URLに誤りがあります」	● 「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.172 P.180 P.264
「応答がありませんでした(408)」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。	−
「同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか？」 「同じサービスを利用するソフトがあるため移動できません　該当するサービスを削除しますか？」 「同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？」	● 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスのダウンロードやバージョンアップ、microSDメモリーカードからの移動ができません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。	−
「おまかせロック中です」	● おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話／テレビ電話の着信、電源を入れる／切るの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。	P.127
「海外でご利用の場合　Bナンバー発信はできません　Aナンバー発信します」	● 2in1のモードがBモードのとき、海外から電話の発信操作を行った場合に表示されます。Aナンバーで電話番号を非通知にして発信する場合は「非通知発信」を選択します。	−
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	−
「外部ICカードが見つかりません」	● ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、タイムアウトにより認証できなかった場合に表示されます。	P.135

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。	−
「切替できません」	● 音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（ｉモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。	P.53
「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。	P.168
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かない場所で、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「圏外アイコン」が表示される場所まで移動してｉモードのサービスをご利用ください。	P.46
「このｉモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	−
「このｉモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	−
「このカードは使用できません」	● 本FOMA端末に対応していないmicroSDメモリーカードです。対応しているmicroSDメモリーカードを使用してください。	P.291
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.39
「この外部ICカードは解除できません」	● ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、登録されていない非接触ICカードをFeliCaマークに重ね合わせた場合に表示されます。	P.135
「このサイトとのSSL通信は無効です」	● 書換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。	−
「このサイトとのSSL/TLS通信は無効です」	● 書換えられたSSL／TLS証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL／TLS通信できません。	−
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	−
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「メイン時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。	− P.47
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを「追加1件コピー」したときや、赤外線、ｉC通信またはケーブル接続で受信したときに表示されます。	−
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	− P.169
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● SSL証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	−
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	−

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「これ以上機能を起動できません」	● ほかの機能を終了してから操作をしてください。	―
「サービスがいっぱいです　上書きされたサービスの曲は再生できなくなります　上書きしますか？」	● 登録できるミュージック（会員制）サービスの上限値を超えている場合に表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。	―
「サービス未契約です」	● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	― ―
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。	―
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。	―
「再生制限データに誤りがあるため取得できません」	● 部分的に取得した着うたフル®の再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため、残りのデータが取得できません。部分的に保存されていたデータも削除されます。	―
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイト（ｉモード、フルブラウザ）やインターネットホームページで受信したデータが１ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	― ―
「最大サイズを超えています　受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	―
「最大フレーム数を超えたので中断しました」	● フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。	―
「サイトが移動しました(301)」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.115 P.172 P.180 P.268
「サイトに接続できませんでした(403)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	―
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。◉を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。	―
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	―
「指定サイトがみつかりません(404)」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	―
「指定されたデータがありません　デスクトップアイコンを削除しますか？」	● 削除されたデータのデスクトップアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。	―
「指定されたソフトがありません」	● メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカードからのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	―
「指定したサイトへは接続できませんでした(504)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	―

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。 ● 数字と「#」「✗」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「✗」以外の文字やスペースを削除してください。	－ － －
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.139
「しばらくお待ちください」	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、ｉモードをご利用ください。 なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－
「しばらくお待ちください（パケット）」	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
「上限額を超過しているため接続出来ません」	● リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えています。	－
「すでに他の機能が起動中です　起動できません」 「すでに他の機能が起動中です　設定できません」	● ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。	－
「セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました」 「セキュリティエラーのため終了しました」	● 許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリやｉアプリ待受画面（ｉアプリDXを含む）が終了したときに表示されます。	P.232 P.238
（赤外線通信中／ｉC通信中に）「接続相手が見つかりません　続けますか？」	● 接続相手を発見／認識できません。赤外線通信の場合は赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。ｉC通信の場合はFeliCaマークを確認してもう一度重ね合わせてください。「YES」を選択し、◉を押すともう一度やりなおすことができます。	P.307 P.309
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「[アンテナマーク]」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。	P.166 －
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。	P.180 －
「接続できませんでした」	●「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。	P.48
「設定時間内に接続できませんでした」	●「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.180
「全コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「送信できなかった宛先があります（561）」	● 一部の宛先にメールが正しく送信できませんでした。	－
「送信できませんでした　宛先を確認してください（451）」	● 指定した宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。	P.188
「ソフトに誤りがあります」 「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」 「ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました」	● ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップ、microSDメモリーカードからの移動ができないときに表示されます。	－
「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」	● ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。	－
「対応機種ではありません」	● 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロード、microSDメモリーカードからの移動ができないときに表示されます。	－
「対応していないコンテンツがあります」	● バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。	－
「対応ソフトが削除されています　フォルダ内表示を参照してください」	● 選択したメールフォルダに対応するメール連動型 ｉ アプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。	P.206
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	－
「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	－
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.124
「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」	● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネル初期化、ｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「 」が表示される場所まで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。	P.185
「注意！　電話番号やURLの記述があります。　送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。」	● 「スキャン機能」の「メッセージスキャン」を「ON」に設定し、本文に電話番号やURLが含まれているSMSを表示しようとしたときに表示されます。送信元を確認後、SMSの本文を表示する場合は ◉ を押してください。	P.450
「通信回数が多くなっています　クリアボタンを押して確認を行ってください」	● ｉアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。CLRを押すと、ｉアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはｉアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。	P.238
「通話中です　起動できません」 「通話中です　操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.337 P.422 P.423
「データ取得できませんでした」	● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。	－
「転送先番号を設定してください」	● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。	P.374

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。◉を押すと、添付ファイルが削除されます。	−
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信、ケーブル接続の通信、microSDメモリーカードからのコピーで登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。	−
「同時に通話できる人数4人を超えています」	● 5人以上のメンバーを選んで発信した場合表示されます。メンバーを4人以内に選択し直してから再度発信してください。	−
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字や URL などの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.170
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。◉を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。	−
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。◉を押すと元のページに戻ります。	−
「認証を中止しました(401)」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	−
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.124
「パスワードが違います　再入力してください」	● PDFデータを表示するときや、ダウンロードするときに、パスワード入力画面で誤ったパスワードを入力したときに表示されます。	P.176 P.311
「パスワードをご確認ください(401)」	●「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。	−
「発信／着信機能オリジナルロック設定中です」	●「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」にオリジナルロック設定中に禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.133
「非対応データのため取得できません」	● ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。	−
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	−
「本機で使用できるフォーマットがされていません」	● microSDメモリーカードが初期化されていないなどの異常です。microSDメモリーカードを初期化し直してください。	P.301
「無効なデータを受信しました」 「無効なデータを受信しました(XXX)」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	−
「メモリ番号：XXX書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.127
「メモリ不足です」	● メモリが不足したため、ソフトを起動できないときに表示されます。 ● メモリ不足が発生したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。	− −
「メモリ不足です　ｉモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。◉を押すとｉモードメニューに戻ります。	−

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「メモリ不足です　終了します」	● メモリが不足したため処理を中断します。i モードメール作成時の場合、タスクの起動数、文字の種類の組み合わせなどによっては全角で5,000文字まで入力できないことがあります。	－
「メモリ不足です　スタンダードタイプメニューに戻ります」 「メモリ不足です　ビューアタイプメニューに戻ります」	● メモリが不足したため、処理を中断します。◉を押すとスタンダードタイプメニュー画面またはビューアタイプメニュー画面に戻ります。	－
「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」	● i モードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角で5,000文字を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。	－
「文字数がオーバーします　作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信する i モードメールの本文と引用符の合計が全角で5,000文字を超えるため全角で5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。	－
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。	－
「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」	● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。	P.181
「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。	P.181
「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。	－
「容量不足です　移動できません」	● シークレットフォルダのデータを出し入れした場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。	P.130
「読み込みできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？」	●「自動読取設定」を「OFF」に設定した状態で FeliCa マークを読み取り機にかざした場合に表示されます。「YES」を選択すると、自動読取機能を利用できます。	P.246

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、ｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.389）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカ、受話口部、背面表示付近
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　➡　テストメニュー画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

- ▶「ｉMenu」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

サイト接続用QRコード

●ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
　※海外からのアクセスの場合は有料となります。
●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認いただく際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
●ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
●ご確認いただいた結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する 〈ソフトウェア更新〉

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内いたします。

●ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
●更新方法には「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3種類があります。
　自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
　即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
　予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
●ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
●ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効　設定方法は→P.181）。
●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。

次ページにつづく

- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- 以下の場合はソフトウェア更新のソフトウェアのダウンロードができません。
  - FOMAカードの未挿入
  - FOMAカードの不正
  - PINロック中
  - PINロック解除コードロック中
  - 日付・時刻の未設定
  - おまかせロック設定中
  - セルフモード設定中
  - 圏外
  - パケット発信規制中
  - デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
  - 64Kデータ通信中

  他機能を利用中に予約更新の予約時刻になった場合は、機能終了後にダウンロードを開始します（機能により開始できない場合があります）。
- 以下の場合はソフトウェア更新の書換えができません。
  - おまかせロック設定中
  - 他機能を利用中

  自動更新の書換えの開始に失敗した場合は、自動更新設定の時刻（翌日または1週間後）に再度、書換えを実行します。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

おしらせ

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- 即時更新、予約更新の場合、お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新を自動で行う 〈自動更新〉

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。書換え可能な状態になると待受画面に（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えを行うかどうかを選択することができます。

●お買い上げ時は、「自動で更新」（曜日：指定なし、時刻：03:00）に設定されています。

1 **MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力**

ソフトウェア更新機能一覧画面

2 **「自動更新設定」▶「自動で更新」▶ [確定]**

新しいソフトを自動でダウンロードし、待受画面に（書換え予告アイコン）が表示されます。

■ 更新の曜日や時刻を変更する場合

▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶ [確定]

■ 更新の通知のみを行うように設定する場合

▶「更新の通知のみ」を選択▶ [確定]

ソフトウェア更新が必要な場合に、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

■ 自動更新を設定しない場合

▶「設定しない」を選択▶ [確定] ▶「YES」

3 **待受画面表示中▶◉▶「更新」を選択**

書換え開始時刻を表示します。

ソフトウェア更新
０３：００に
書換え開始します
開始前にフル充電して
おいてください
書換え中は全ての機能が
使えません
他機能動作中は
書換え開始しません
OK
時刻変更
今すぐ書換え

4 **「OK」**

「更新」は消えます。

予約時刻になると書換えを開始します。→P.447

■ 書換え更新の時刻を変更する場合

▶「時刻変更」を選択して設定▶ [確定]

■ すぐにソフトウェア更新を実行する場合

▶「今すぐ書換え」▶端末暗証番号を入力

「すぐにソフトウェアを更新する」の操作2（P.447）に進みます。

おしらせ

● （更新お知らせアイコン）はドコモから通知があった場合や予約更新に失敗した場合などに表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法と、メニュー画面から行う方法があります。

● （更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する

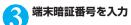
1 **待受画面表示中▶◉▶「更新」を選択**

2 **「はい」**

■ ソフトウェア更新を起動せずに 更新 を消去する場合

▶「いいえ」▶「はい」

3 **端末暗証番号を入力**

付録／外部機器連携／困ったときには

ソフトウェア更新が必要かチェック

このとき、FOMA端末固有の情報がサーバに送信されます。

チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

▶「今すぐ更新」または「予約」

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.446
あとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.447

チェック結果画面

■「更新は必要ありません」と表示された場合

▶「OK」

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

● メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU ▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

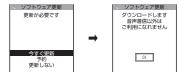
ソフトウェア更新機能一覧画面（P.445）が表示されます。

2 「更新実行」

「更新（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する」の操作4（P.446）に進みます。

すぐにソフトウェアを更新する 〈即時更新〉

1 チェック結果画面（P.446）▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら「OK」

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了し「書換え開始します」と表示されたら「OK」

ソフトウェアの更新を開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選択します。
これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

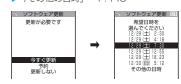
- サーバが混み合っている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- 書換え中に電源が切れた場合でも、電源が回復すると書換えが再開されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- 自動更新の場合、書換え後に「ソフトウェア更新完了しました」の画面は表示されません。

日時を予約してソフトウェアを更新する 〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

＜例：12月29日（土）7：30に予約する場合＞

チェック結果画面（P.446）▶「予約」▶希望日時を選択

■ 希望する日時が見つからない場合
▶「その他の日時」→P.448

選択した日時を確認▶「YES」▶「OK」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合
▶「NO」

● 予約時刻になると

予約時刻になると左の画面が表示され、約5秒後にFOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する」(P.446)と同じです。

おしらせ

- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用しているときに予約時刻になった場合は、機能終了後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

●「その他の日時」を選択した場合

P.447の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

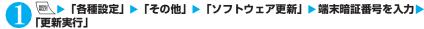
ソフトウェア更新の希望日時を確認

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約した日時を確認・変更・取り消す

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 ▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

2 「取消」

■ 予約した日時でよい場合

▶「OK」

■ 予約した日時を変更する場合

▶「変更」

FOMA端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.448

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」

このときFOMA端末固有の情報をサーバに送信します。

なお、当社に送信されたお客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。

「予約を取消しました」と表示されたら、「OK」を選択します。これで予約の取り消しは完了です。

➡

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る 〈スキャン機能〉

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.450
- スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する　〈スキャン機能設定〉

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
メッセージスキャンを「ON」に設定すると、SMSの本文を自動的にチェックします。

1 **「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」**

「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2 **「スキャン機能設定」▶「スキャン機能」または「メッセージスキャン」▶「ON」**

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合

▶「YES」

※ スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.451

おしらせ

- 「メッセージスキャン」を「ON」に設定しても、留守番着信通知はチェックの対象になりません。

パターンデータを更新する　〈パターンデータ更新〉

1 **スキャン機能画面（P.450）▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」**

※ パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- 更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中、国際ローミング中のときはパターンデータを自動更新できません。

自動でパターンデータを更新する　〈自動更新設定〉

1 **スキャン機能画面（P.450）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」**

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。
1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない 場合があります	正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない 場合があるため 終了します	正常に動作できない 場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないため データを削除します
[確定]･･･動作を継続します。	[中止]･･･動作を中止し、終了します。 [継続]･･･動作を継続します。	[確定]･･･動作を中止し、終了します。	[削除]･･･データを削除し、終了します。 [戻る]･･･動作を中止し、終了します。	[確定]･･･データを削除し、終了します。

おしらせ

- スキャン結果については状況によって上記以外のメッセージが表示される場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する 〈バージョン表示〉

スキャン機能画面（P.450）▶「バージョン表示」

主な仕様

項目		仕様	
品名		FOMA N905iμ	
サイズ		高さ108mm×幅50mm×厚さ12.9mm（折り畳み時）	
質量		約106g（電池パック装着時）	
連続待受時間		FOMA／3G 静止時（「自動」設定時※1）：約630時間 移動時（「3G」設定時※1）：約470時間 移動時（「自動」設定時※1）：約390時間 GSM 静止時（「自動」設定時※1）：約290時間	
連続通話時間		FOMA／3G 音声電話時：約220分 テレビ電話時：約110分 GSM 音声電話時：約190分	
充電時間		ACアダプタ：約120分 DCアダプタ：約120分	
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT262,144色 イルミネーション・ウィンドウ：有機EL1色	
	サイズ	ディスプレイ：約3.0inch イルミネーション・ウィンドウ：約0.8inch	
	画素数	ディスプレイ：409,920画素（480×854ドット） イルミネーション・ウィンドウ：3,360画素（96×35ドット）	
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS	外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/8inch	外側カメラ：1/4inch
	有効画素数	内側カメラ：約33万画素	外側カメラ：約200万画素
カメラ部	記録画素数	内側カメラ：約31万画素	外側カメラ：約190万画素
	ズーム（デジタル）	内側カメラ：最大約2.0倍	外側カメラ：最大約9.1倍
記録部	静止画記録枚数	約1,000枚※2	
	静止画連続撮影	4～20枚※3	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約272秒※4 microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時：約120分※4	
	動画ファイル形式	MP4	
音楽再生	連続再生時間	iモーション	約660分※5
		着うたフル®	約3,300分※5※6
		SD-Audio	約5,100分※5※6
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約3,300分※6
		Music&Videoチャネル	約1,380分（音声）※6 約240分（動画）
保存容量	着うた®	約200Mバイト※7※8	
	着うたフル®		

※1：ネットワークの接続切り替え設定は、「3G／GSM切替」（P.397）で行います。
※2：画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）、記録品質設定＝ファイン（ファイルサイズ＝10Kバイト）の場合です。
※3：画像サイズによって異なります。

※4： 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
<本体>
画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96） 記録品質設定＝標準 ファイルサイズ設定＝2MB以下
撮影種別設定＝通常
<microSDメモリーカード（64Mバイト）>
画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96） 記録品質設定＝標準 ファイルサイズ設定＝長時間
撮影種別設定＝通常
※5： ファイル形式＝AAC形式
※6： バックグラウンド再生対応
※7： 着うた®のシークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。
※8： 画像、ｉモーション、PDFデータ、画面メモと共有

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000※1	－
スケジュール	スケジュール	500	－
	休日	100	－
	記念日	100	－
To Doリスト		100	－
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1,000※2※3※4	最大1,000※2
	送信メール	最大400※2※3※4	最大200※2
	保存メール	最大20※2	－
エリアメール		最大100	－
デコメテンプレート		最大45※2※5	－
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2
	メッセージF	最大100※2	最大50※2
ブックマーク	ｉモード	100※6	－
	フルブラウザ	100※6	－
画面メモ		最大100※2	最大50※2
ｉアプリ		最大200※2 （メール連動型ｉアプリは5）	－
トルカ		最大100※2	－
静止画		最大1,000※2※4	－
動画／ｉモーション		最大100※2※6	－
キャラ電		10※5	－
メロディ		最大400※2	－
きせかえツール		最大100※2※5	－
PDFデータ		最大400※2	－
Music&Videoチャネル		最大30※2	－
ミュージック		最大100※2	－

※1： 50件までFOMAカードに保存できます。
※2： データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3： SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。→P.304
※4： シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※5： お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※6： シークレットフォルダには別途最大10件保存・登録できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N905iμの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N905iμのSARの値は0.871W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/

※： 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and

locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.78W/kg, and when worn on the body, is 0.288W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-FOMA-N905IMYU.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

◆ Reorient or relocate the receiving antenna.

◆ Increase the separation between the equipment and receiver.

◆ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

◆ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product “FOMA N905iμ” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.918W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例１：キー操作ロックをONに設定したいとき>

キー操作ロック................134
キー操作ロックの一時解除.......135
キーワード検索...............339

ロック機能
オリジナルロック............130
顔認証設定.................137
キー操作ロック.............134

<例２：すぐに電話に出られないとき>

応答保留.....................66
オート着信設定...............356

保留（着信中、通話中）..........66
保留音設定.....................67

<例３：別の用語で収録しているとき>

初期化→「リセット」を参照
初期設定.....................46

リセット
オリジナルメニュー初期化......112

●「五十音／英字／数字」索引の後に「機能メニュー」索引を収録しています。機能メニュー（P.37）の項目を検索したいときにご利用ください。

五十音／英字／数字

あ

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

索引／クイックマニュアル

つ

て

と

な

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

ら

り

索引／クイックマニュアル

数字

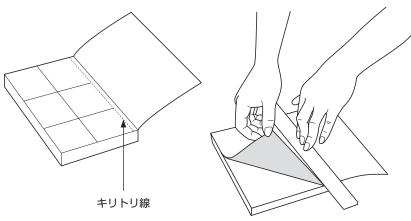
機能メニュー

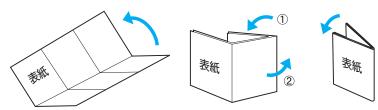
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

クイックマニュアルでは、本FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下図のように折ってご使用ください。クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

■切り取りかた

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などをキリトリ線に合わせて切り取れます。
切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。
※はさみなどで切り取る際は、ケガなどに十分ご注意ください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

NTT DoCoMo

FOMA® N905iμ クイックマニュアル

○総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
○故障お問い合わせ先
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳に登録する

1 MENU→「電話帳」→「電話帳」→ch［機能］→「電話帳登録」

- **着信履歴から登録する場合**
  待受画面表示中→◎→着信履歴を選択→ch［機能］→「電話帳登録」
- **リダイヤルから登録する場合**
  待受画面表示中→◎→リダイヤルを選択→ch［機能］→「電話帳登録」

2 登録先を選択→名前を入力→名前のフリガナを確認→●［確定］

3 項目を選択してそれぞれ入力

■グループの設定（01～19、なし）
GR＜未登録＞→グループを選択

■電話番号の設定（4件まで）
＜未登録＞→電話番号を入力→アイコンを選択

■メールアドレスの設定（3件まで）
＜未登録＞→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所の設定
＜未登録＞→郵便番号を入力→住所を入力

■位置情報の登録
＜未登録＞→位置情報を登録

■誕生日の設定
＜未登録＞→誕生日を入力

■メモの設定
＜未登録＞→メモを入力

■静止画の設定
＜未登録＞→カメラ撮影または静止画を選択

■キャラ電の設定
＜未登録＞→キャラ電を選択

■メモリ番号の設定（000～999）
No→メモリ番号を入力

4 ✉［完了］
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

■プッシュトーク電話帳の登録
登録先が「本体＋プッシュトーク電話帳」のときはプッシュトーク電話帳が登録されます。

電話帳を修正・削除する

■電話帳の修正
電話帳詳細画面を表示→ch［機能］→「電話帳編集」→必要な項目を修正→✉［完了］→「YES」（FOMAカードの電話帳は✉［完了］を押した後、「上書き登録」→「YES」）

■電話帳の削除
電話帳一覧画面を表示→ch［機能］→「電話帳削除」→「1件削除」→「YES」（電話帳によってはさらに「YES」）

文字入力

■文字入力画面

■入力モード
漢…漢字ひらがな　数…数字
カ…カタカナ　区…区点コード　英…英字

■文字入力方式の切り替え
［文字］（1秒以上）
押すたびに次のように切り替わります。
かな方式→2タッチ方式→T9入力方式

■濁点、半濁点の入力
＊（数回）

■句読点の入力
＃（数回）

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切り替え
［文字］（数回）

キリトリ線

■絵文字記号の連続入力

[メール]［絵記］➜絵文字または記号を選択➜入力が終わったら[CLR]

■文字の消去

[マルチカーソル]で削除したい文字にカーソルを合わせる➜[CLR]

■スペースの入力

[ch]［機能］➜「スペース入力」

[右]（カーソルが文末の場合のみ）

■改行の入力

[＊]（1秒以上）

[下]（カーソルが文末の場合のみ）

■入力した文字の大文字／小文字の切り替え

[＊]

テキストメモに「携帯」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

[MENU]➜「LifeKit」➜「テキストメモ」➜[メール]［編集］➜[iα]［文字］（数回）➜「漢字ひらがな入力モード」にする➜

け➜[2]を4回、い➜[1]を2回、
た➜[4]を1回、い➜[1]を2回

■文字の変換

[ch]［変換］➜[上下]➜[マルチカーソル]➜変換候補「携帯」を選択

カメラ

■静止画撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[●]［撮影］➜[●]［保存］

■連続撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[ch]［機能］➜「カメラモード切替」➜「連続撮影」➜「オート」または「マニュアル」➜[●]［連写／撮影］➜[ch]［機能］➜保存する方法を選択

■動画撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「ムービーモード」➜[●]［撮影］➜[●]［終了］➜[●]［保存］

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画表示

[MENU]➜「データ BOX」➜「マイピクチャ」➜フォルダを選択➜静止画を選択

■動画再生

[MENU]➜「データ BOX」➜「ｉモーション」➜フォルダを選択➜動画を選択

■メロディ再生

[MENU]➜「データ BOX」➜「メロディ」➜フォルダを選択➜メロディを選択

ミュージックプレーヤーを利用する

■曲を再生する

[MENU]➜「データ BOX」➜「ミュージック」➜フォルダを選択➜曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力➜[メール]［テレビ電話］➜通話が終了したら[終話]

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、着信イルミネーションが点滅したら[通話]もしくは[●]［代替画像］➜通話が終了したら[終話]

[通話]：自分のカメラ映像を相手に送信する
[●]［代替画像］：代替画像を相手に送信する

■通話中の動作

[メール]：ハンズフリーの切り替え（ON／OFF）

[●]［切替］：カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

キリトリ線

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■新規メール画面を表示

[メール]➜「新規メール作成」

■宛先を入力

「To」➜宛先を入力

■題名を入力

「Subject」➜題名を入力

■本文を入力

「[本文]」➜本文を入力

■メールを送信

[メール]［送信］➜「OK」

ファイルの添付

■イメージ（画像）、ｉモーション、メロディ、PDF、ドキュメント、トルカ、その他

新規メール画面を表示➜[ch]［機能］➜「添付ファイル追加」➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択

■電話帳の添付

新規メール画面を表示➜[ch]［機能］➜「添付ファイル追加」➜「電話帳」➜「本体」➜電話帳を検索➜電話帳を選択

■マイプロフィールの添付

新規メール画面を表示➜[ch]［機能］➜「添付ファイル追加」➜「マイプロフィール」➜端末暗証番号を入力➜◉［確定］

■スケジュールの添付

新規メール画面を表示➜[ch]［機能］➜「添付ファイル追加」➜「スケジュール」➜項目を選択➜データを選択➜◉［選択］

■Bookmarkの添付

新規メール画面を表示➜[ch]［機能］➜「添付ファイル追加」➜「Bookmark」➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択➜◉［選択］

ｉモードメールの受信

「[メール]」が点滅➜受信結果画面が表示➜「[メール]」を選択

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示➜[メール]［返信］➜「[本文]」➜本文を入力➜[メール]［送信］➜「OK」

■メールの転送

転送したいメールを表示➜[ch]［機能］➜「転送」➜「To」➜宛先を入力➜[メール]［送信］➜「OK」

ｉモード問い合わせ

[メール]（1秒以上）

メニュー機能一覧

[MENU]メニュー

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	WEBメール	
	チャットメール	
	SMS作成	
	ｉモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	デコメテンプレート	
	メール設定	
ｉモード	ｉMenu	
	Bookmark	

キリトリ線

[MENU]メニュー

大項目	中項目	小項目
ｉモード	画面メモ	
	サイト閲覧履歴	
	Internet	
	ワンタッチマルチウィンドウ	
	フルブラウザ	
	ｉチャネル	
	メッセージR／F	
	ｉモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	ｉモード設定	
ｉアプリ	ソフト一覧	
	microSD	
	自動起動設定	
	ｉアプリ実行情報	
各種設定	きせかえツール設定	
	着信	着信音量
		着信音選択

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	サウンド効果
		バイブレータ
		着信イルミネーション
		マナーモード選択
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定
		メール／メッセージ鳴動
		呼出時間表示設定
		不在／新着確認設定
		伝言メモ
		発着信番号表示設定
		メロディコール設定
	通話	ノイズキャンセラ
		通話品質アラーム
		再接続機能
		通話中イルミネーション
		保留音設定
		クローズ動作設定

大項目	中項目	小項目
各種設定	発信	ポーズダイヤル
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		イヤホンスイッチ発信設定
		国際ダイヤルアシスト
	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	ディスプレイ	画面表示設定
		照明設定
		画面デザイン
		イルミネーション・ウィンドウ
		フォント設定
		デスクトップ

大項目	中項目	小項目	
各種設定	ディスプレイ	新着お知らせ3D表示	
		バイリンガル	
		オリジナルメニュー	
		メニュー画面設定	
		ピクチャ表示設定	
		表示アイコン説明	
		表示アイコン設定	
		プライバシーアングル	
	時間／料金	通話時間／料金	
		通話料金通知	
		積算リセット	
		積算料金自動リセット	
	時計	メイン時計設定	
		サブ時計設定	
		待受時計表示	
		アラーム通知設定	
		時刻アラーム音設定	
	ロック／セキュリティ	ロック	ダイヤルロック
			オリジナルロック

大項目	中項目	小項目
各種設定	ロック／セキュリティ	ICカードロック設定
		キー操作ロック
		顔認証設定
		セルフモード
		シークレットモード
		シークレット専用モード
		登録外着信拒否
		非通知着信設定
		端末暗証番号変更
		ICカード認証設定
		PIN設定
		スキャン機能
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		ｉモード問い合わせ設定
		接続先選択
		SMS センター設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定
		待受画面終了

大項目	中項目	小項目
各種設定	ｉアプリ設定	ｉアプリ音量
	外部接続	USBモード設定
		イヤホン切替設定
		イヤホン接続時マイク切替
		オート着信設定
	国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定
		3G／GSM切替
		オペレータ名表示設定
	その他	ボタン確認音
		充電確認音
		電池残量
		サイドボタン設定
		文字入力設定
		chキー設定
		イルミネーション
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新

大項目	中項目	小項目
データ BOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション	
	メロディ	
	マイドキュメント	
	キャラ電	
	きせかえツール	
	ドキュメントビューア	
LifeKit	バーコードリーダー	
	赤外線受信	
	microSD管理	
	カメラ	
	ライフヒストリービューア	
	GPS	
	電話帳お預りサービス	
	スケジュール	
	アラーム	
	To Doリスト	
	テキストメモ	

キリトリ線

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
LifeKit	電卓	
	音声メモの再生／消去	
	動画メモの再生／消去	
	待受中音声メモ	
	おしゃべり機能	
	FOMAカード（UIM）操作	
	マイプロフィール	
	電話帳画像転送	
	テキストリーダー	
	辞典	
サービス	着もじ	
	発信者番号通知	
	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	2in1設定	
	迷惑電話ストップ	
	番号通知お願いサービス	

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
サービス	通話中の着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	
	ローミングガイダンス設定	
	ローミング時着信規制	
	海外用サービス	
電話帳	電話帳	
	プッシュトーク電話帳	
ユーザデータ	着信履歴	
	発信履歴	
	メールメンバー	
	チャットグループ	
	直デン	

MENU メニュー

大項目	中項目	小項目
ユーザデータ	定型文	
	ユーザ辞書	
	ダウンロード辞書	
MUSIC	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	
カメラ		
おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	
	設定	
	iモードで探す	

<その他の機能>

- マナーモード　：# （1秒以上）（押すたびに設定／解除）
- 公共モード（ドライブモード）：＊ （1秒以上）（押すたびに設定／解除）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス開始」➜「YES」➜「YES」➜呼出時間（秒）を入力

■留守番サービス停止

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス停止」➜「YES」

■留守番メッセージ再生

MENU➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番メッセージ再生」➜「YES」➜音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

MENU➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス開始」➜「YES」

■キャッチホンサービス停止

MENU➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス停止」➜「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中に着信があったら☎

☎を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

MENU➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス開始」➜転送先や呼出時間を設定し、「開始」➜「YES」

■転送サービス停止

MENU➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス停止」➜「YES」

番号通知お願いサービス

■番号通知お願いサービス開始

MENU➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い開始」➜「YES」➜「OK」

■番号通知お願いサービス停止

MENU➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い停止」➜「YES」➜「OK」

キリトリ線

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）※1	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報※2	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報※2	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

※1：電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。

※2：おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示について

■表示例

アイコン表示エリア

12.28 FRI 12:05

■主なアイコン

：電池残量表示

：電波の受信レベル

：ｉモード中

：SSL対応ページを表示中

：未読メールあり

：未読メッセージFあり

：ｉモードセンターにメールあり

：ダイヤルロック設定中

：ICカードロック設定中

：GPS測位動作中

：通信モード中（USBケーブル接続時）

：赤外線通信中

：microSDメモリーカード取り付け時

：音声通話中

：バイブレータ設定中

：着信音量を「消去」に設定中

：マナーモード設定中

：公共モード（ドライブモード）設定中

：Music&Videoチャネル予約設定中

／ ：アラーム通知機能を設定中

～ 、 ：留守番電話の伝言メッセージあり

～ ：伝言メモ設定中

～ ：テレビ電話伝言メモ設定中

：バックライトを「OFF」に設定中

：キー操作ロック設定中／待機中

：サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定中

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

※ おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間24時間

※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

キリトリ線

その他の緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

※ ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

DoCoMo

FOMA® N905iμ
クイックマニュアル（海外利用編）

○海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114*** （無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N905iμから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合＜ユニバーサルナンバー＞
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

○海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414*** （無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N905iμから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合＜ユニバーサルナンバー＞
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

海外で利用するための準備

iモードの設定

■日本で設定
iα➜「i Menu」➜「料金＆お申込・設定」➜「オプション設定」➜「海外利用設定」➜「iモード利用設定」➜「利用する」➜iモードパスワードを入力➜「決定」

■海外で設定
iα➜「i Menu」➜「海外利用設定」➜「iモード利用設定」➜「利用する」➜iモードパスワードを入力➜「決定」

遠隔操作の設定

■日本で設定
MENU➜「サービス」➜「遠隔操作設定」➜「遠隔操作開始」➜「YES」

■海外で設定
MENU➜「サービス」➜「海外用サービス」➜「遠隔操作設定（海外）」➜「YES」➜音声ガイダンスに従う

時刻時差補正の設定

MENU➜「各種設定」➜「時計」➜「メイン時計設定」➜「自動時刻時差補正」➜「時刻補正」、「時差補正」でそれぞれ「自動」を選択

世界時計の表示設定

MENU➜「各種設定」➜「時計」➜「サブ時計設定」➜「表示方法」➜「自動（ローミング時自動表示）」を選択

海外で利用できるサービスについて

- 音声電話／テレビ電話
- iモード（フルブラウザ含む）
- iチャネル
- パソコンなどと接続して行うパケット通信
- iモードメール
- SMS送受信
- メッセージR

※接続するネットワークや通信事業者によって異なります。

ネットワークの切り替え方法を設定する

MENU➜「各種設定」➜「国際ローミング設定」➜「3G／GSM切替」➜「自動」または「3G」または「GSM／GPRS」

通信事業者の検索方法を設定する

■接続する通信事業者を自動または手動で切り替える
MENU➜「各種設定」➜「国際ローミング設定」➜「ネットワークサーチ設定」➜「オート」または「マニュアル」
「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

■接続可能な通信事業者を再検索する
MENU➜「各種設定」➜「国際ローミング設定」➜「ネットワークサーチ設定」➜「ネットワーク再検索」
「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

優先的に接続する通信事業者を設定する

MENU➜「各種設定」➜「国際ローミング設定」➜「ネットワークサーチ設定」➜「優先ネットワーク設定」➜優先順位を変更する通信事業者を反転➜ch［機能］➜「優先順位変更」➜移動したい位置を反転➜●［選択］➜✉［完了］➜「YES」

通信事業者名の表示について設定する

MENU➜「各種設定」➜「国際ローミング設定」➜「オペレータ名表示設定」➜「表示あり」または「表示なし」

■ディスプレイの表示
現在接続している通信事業者名がタスクアイコンエリアに表示されます。

XXXXX 3G
接続中の通信事業者名

帰国後の設定

日本帰国時は本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されFOMAネットワーク（DoCoMo）に設定されます。
「通信事業者の検索方法を設定する」→P.4

電話をかける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

■「国際ダイヤルアシスト」に登録されている国に電話をかける
相手の番号をダイヤル➜ch［機能］➜「国際電話発信」➜電話をかけたい国名を選択➜☎または✉［テレビ電話］

■国番号からダイヤルして電話をかける
待受画面表示中に+(0 1秒以上)➜国番号➜地域番号（市外局番）➜相手先電話番号の順にダイヤル➜☎または✉［テレビ電話］

キリトリ線

滞在国内に電話をかける

相手先の番号をダイヤル→ または ［テレビ電話］

電話を受ける

音声電話／テレビ電話がかかってきたら

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作の設定が必要になります。

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。
MENU→「サービス」→「ローミングガイダンス設定」→「ローミングガイダンス開始」または「ローミングガイダンス停止」→「YES」

ローミング時着信規制

・海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
MENU→「サービス」→「ローミング時着信規制」→「開始」または「停止」
「開始」の場合、さらに「全着信規制」または「テレビ電話／データ呼規制」から選択→「YES」→ネットワーク暗証番号入力

留守番電話（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「留守番電話（海外）」→サービスを選択→「YES」→音声ガイダンスに従う

転送でんわ（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「転送でんわ（海外）」→サービスを選択→「YES」→音声ガイダンスに従う

ローミングガイダンス（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「ローミングガイダンス（海外）」→「YES」→音声ガイダンスに従う

遠隔操作設定（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「遠隔操作設定（海外）」→「YES」→音声ガイダンスに従う

番号通知お願い（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「番号通知お願い（海外）」→「YES」→音声ガイダンスに従う

主要国の国番号

国際電話を利用するときや「国際ダイヤルアシスト」などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

（2008年1月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	スウェーデン	46	フィリピン	63
イギリス	44	スペイン	34	フィンランド	358
イタリア	39	タイ	66	仏領ポリネシア	689
インド	91	台湾	886	フランス	33
インドネシア	62	チェコ	420	ブラジル	55
エジプト	20	中国	86	ベトナム	84
オーストラリア	61	ドイツ	49	ペルー	51
オーストリア	43	トルコ	90	ベルギー	32
オランダ	31	日本	81	香港	852
カナダ	1	ニューカレドニア	687	マカオ	853
韓国	82	ニュージーランド	64	マレーシア	60
ギリシャ	30	ノルウェー	47	モルディヴ	960
シンガポール	65	ハンガリー	36	ロシア	7
スイス	41	フィジー	679		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年8月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	スウェーデン	00	フランス	00
アメリカ合衆国	011	スペイン	00	ブラジル	0041/0014
アラブ首長国連邦	00	タイ	001		
イギリス	00	台湾	002	ベトナム	00
イタリア	00	チェコ	00	ベルギー	00
インド	00	中国	00	ポーランド	00
インドネシア	001	デンマーク	00	ポルトガル	00
オーストラリア	0011	ドイツ	00	香港	001
オランダ	00	トルコ	00	マカオ	00
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	モナコ	00
ギリシャ	00	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00
シンガポール	001	フィリピン	00	ロシア	810
スイス	00	フィンランド	00		

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年8月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	シンガポール	001	フィリピン	00
アメリカ合衆国	011	スイス	00	フィンランド	990
アルゼンチン	00	スウェーデン	00	フランス	00
イギリス	00	スペイン	00	ブラジル	0021
イスラエル	014	タイ	001	ブルガリア	00
イタリア	00	台湾	00	ペルー	00
オーストラリア	0011	中国	00	ベルギー	00
オーストリア	00	デンマーク	00	ポルトガル	00
オランダ	00	ドイツ	00	香港	001
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	南アフリカ共和国	09
コロンビア	009	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00

※ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

キリトリ線

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要になります。「国際電話アクセス番号」「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

※ 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ⇒ 料金＆お申込･設定⇒各種手続き（ドコモeサイト）［パケット通信料無料］

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　　・病院内
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.105
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF)】→P.67、68
電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.102
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】→P.70
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
そのほかにも、留守番電話サービス（P.372）、転送でんわサービス（P.374）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくは FOMA 端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表 1） **-81-3-5366-3114***（無料）
* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N905iμから、ご利用の場合は +81-3-5366-3114 でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2） **-800-0120-0151***
* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書 P.394、395 をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表 1） **-81-3-6718-1414***（無料）
* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N905iμから、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2） **-800-5931-8600***
* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書 P.394、395 をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入された FOMA 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

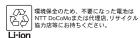
株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'08.2（3版）
MDT-000077-JAA0

FOMA® N905iμ
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA N905iμでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

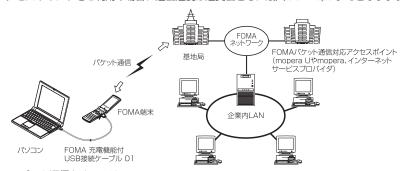
パケット通信と64Kデータ通信

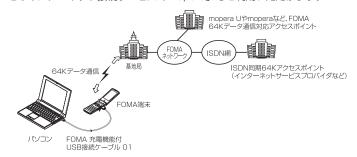
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

● パケット通信
受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの通信速度でデータを送受信します※。パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。
・ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。
※：FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。

● 64Kデータ通信
データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■パケット通信をするには

パケット通信はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。
・ドコモのインターネット接続サービス「mopera」もご利用いただけますが、「mopera」のアクセスポイントをご利用の場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります。

■64Kデータ通信をするには

64Kデータ通信は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。
・ドコモのインターネット接続サービス「mopera」もご利用いただけます。

おしらせ

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信を行うことができません）。
- 海外で64Kデータ通信はご利用できません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader® をインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要※です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を利用できるパソコンであること。
- FOMAサービスエリア内であること。
- パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
- 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

※：日本国内で通信を行う場合です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000（日本語版） • Windows XP（日本語版） • Windows Vista（日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

● メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降※です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
① 「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
Windows Vistaの場合は「 」→「コンピュータ」を開く
② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
③ 「index.html」をダブルクリックする
※：Windows Vistaの場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 7.0以降です。

CD-ROMをパソコンにセットすると、右のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

おしらせ

● FOMA端末をドコモのPDA「musea」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続してデータ通信を行う場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
• 「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」（別売）または「FOMA USB接続ケーブル」（別売）
• CD-ROM「FOMA N905iμ用CD-ROM」

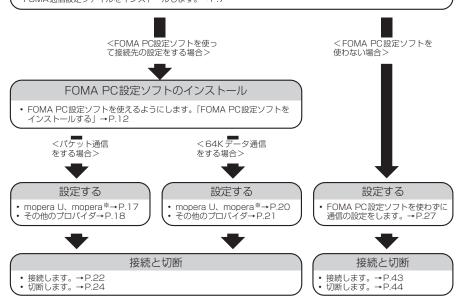
おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
● 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の場合で説明しています。
● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

設定完了までの流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

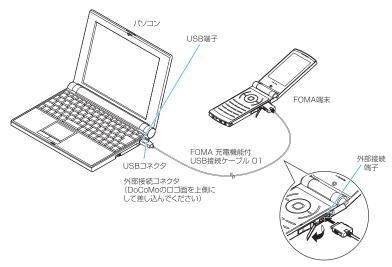
USBモード設定を「通信モード」にする

外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信によるデータ転送に使う準備をします。

● パソコンに取り付ける前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。

1 MENU MULTI ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「通信モード」

取り付け方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

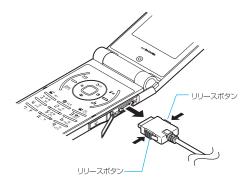
3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、FOMA通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

取り外し方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）の取り外し方法について説明します。

1. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を引き抜く

2. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く

3. FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の取り付け・取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の取り外しは行わないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

パソコンの設定をする

ここでは、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール手順を説明します。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

● FOMA 通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 Windowsを起動して、「FOMA N905iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の項目の「インストール」をクリックする

4 開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックする

お使いのパソコンの設定によっては「FOMAinst」と表示されることがあります。

5 ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「同意する」をクリックする

「同意しない」をクリックするとインストールは中止されます。

6 FOMA端末の電源を入れて、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）をFOMA端末に接続する

7 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンのUSB端子に接続する

ドライバのインストールが自動的にはじまります。
ドライバのインストール完了後、引き続きFOMAバイトカウンタをインストールすることができます。FOMAバイトカウンタをインストールする場合は「インストールする（推奨）」をクリックします。インストールしない場合は「完了」をクリックします。
引き続き、「インストールしたドライバを確認する」（P.8）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows Vistaの場合
「（スタートボタン）」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」を選択

Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

2 「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

Windows Vistaの場合
コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows 2000の場合
コントロールパネル内の「システム」を開く

3 デバイスマネージャを開く

Windows Vistaの場合
「デバイスマネージャ」を選択し、「続行」をクリックする

Windows XP、Windows 2000の場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」、「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.10）へ進みます。

デバイス名	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたは USB （Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA N905iμ
ポート（COMとLPT）	• FOMA N905iμ Command Port • FOMA N905iμ OBEX Port
モデム	• FOMA N905iμ

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.9）の手順に従ってFOMA通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、アンインストールを実行できません。
- FOMA 通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を取り外す

2 Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開く

Windows Vistaの場合

「 」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「FOMA N905iμ USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

Windows Vistaの場合

「FOMA N905iμ USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリックし、「続行」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N905iμ USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「FOMA N905iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  Windows Vistaの場合は「 」→「コンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④CD-ROM内の「N905iμ_USB_Driver」→「Drivers」→「Win2k_XP」フォルダを開く
  Windows Vistaの場合は「N905iμ_USB_Driver」→「Drivers」→「WinVista32」フォルダを開く
  ⑤「n905imun.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「n905imun」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

● FOMA　PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
→P.27

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.5を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「通信設定最適化」などを行います。

通信設定最適化

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

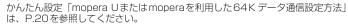
● FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0以前の古いバージョン（以後、旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1 ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします
インストール方法は、P.12を参照してください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0」のインストールを行う前にアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0」のインストールは行えません。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.14を参照してください。

各種設定前の準備をします
各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
FOMA端末とパソコンの接続方法については、P.5を参照してください。
FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法については、「パソコンの設定をする」（P.7）を参照してください。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。
その場合は通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行ってください。

ご利用の通信に対応した設定をします
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」は、P.17を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」は、P.18を参照してください。
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.20を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.21を参照してください。
その他の設定は、P.25以降を参照してください。

STEP 4 接　続

インターネットに接続します
接続方法は、P.22を参照してください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- インストールする前に動作環境を確認してください。→P.3
- 「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」の項目の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合

「実行」をクリックしてください。
Windows Vistaの場合は、「実行」をクリックし、「続行」をクリックします。

「Internet Explorerーセキュリティの警告」画面が表示された場合

「実行する」をクリックしてください。
Windows Vistaの場合は、「実行する」をクリックし、「続行」をクリックします。

4 「次へ」をクリックする

セットアップを開始する前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトまたは旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.14を参照してください。

5 「FOMA PC設定ソフト」のソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

Windows XP、Windows 2000の場合は操作6へ進みます。
Windows Vistaの場合は操作7へ進みます。

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。

6 「次へ」をクリックする

Windows XP、Windows 2000の場合は、セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」常駐の可否を選択できます。
常駐させる場合は「タスクトレイに常駐する」にチェックを入れ「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。インストール後でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
(参考):「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

常駐させた場合は、デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。

9 「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

<旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合>

- 「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

<旧APN設定ソフトがインストールされている場合>

- 「OK」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合>

- 「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
- 古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

- インストールを継続する場合は「いいえ」を、中止する場合は、「はい」をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認する

1 FOMA PC設定ソフトを開く

Windows Vistaの場合

「 」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

2 ツールバーの「メニュー」→「バージョン情報」を開く

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが必要な場合（FOMA PC設定ソフトをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

● 「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

Windows XP、Windows 2000の場合は、「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。Windows Vistaの場合は、操作2から操作を開始してください。

(1) タスクトレイに常駐している「通信設定最適化」を常駐させないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「通信設定最適化」アイコンを右クリックして「終了」をクリックします。

(2) 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 アンインストールを開始する

Windows Vistaの場合

「 」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に開く

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「削除」をクリックする

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して

「削除」をクリック

Windows Vistaの場合

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「アンインストール」をクリックし、「続行」をクリックする

Windows 2000の場合

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

- 「通信設定最適化」の解除
  Windows XPまたはWindows 2000で「通信設定最適化」がされている場合は右の画面が表示されます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

  通信設定最適化の解除は再起動後に行われます。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA端末がFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上にFOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しく認識されている必要があります。

1 FOMA PC設定ソフトを開く

本ソフトを起動すると右の操作画面が表示されます。

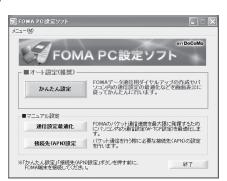
Windows Vistaの場合

「　」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」の順に開く

かんたん設定「mopera U またはmoperaを利用したパケット通信設定方法」

● 最大3.6Mbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します（moperaで接続した場合の通信速度は、送受信ともに最大384kbpsまでとなります）。
パケット通信：受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsのパケット通信が可能です※。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。
※：FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。

● 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows Vistaの場合
「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera U またはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.18を参照してください。

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名の入力と接続方式を選択し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
発信者番号通知の設定と接続方式を選択してください。
発信者番号通知は、海外で利用する場合、「設定しない（推奨）」を選択してください。
接続方式は、mopera Uは「PPP接続」・「IP接続」両方に対応しています。moperaは「PPP接続」のみに対応しています。海外で利用する場合は「IP接続」を選択してください。

6 ユーザ ID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

Windows Vistaの場合
ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする
操作8へ進みます。

7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

FOMAパケット通信を利用するためパソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.22

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows Vistaの場合
　「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<> ｜”（半角のみ）は使用できません。
ダイヤルアップ時に発信者番号を通知するかどうかを選択してください。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmopera U に接続するための「APN:mopera.net」とmoperaに接続するための「APN:mopera.ne.jp」が設定されています。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
なお、海外で利用する場合は「設定しない」を選択してください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1 には mopera の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、接続方式を選択し、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

8 「接続先（APN）の選択」で接続先（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

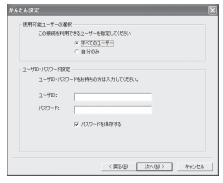
「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

9 ユーザID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザID・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

Windows Vistaの場合

ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする
操作11へ進みます。

10 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

FOMAパケット通信を利用するためパソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

11 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

⑫「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.22

かんたん設定「mopera U またはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」

- 通信速度最大64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。
- 「64Kデータ通信」を利用して長時間通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

①「かんたん設定」をクリックする

②「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

③「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera U またはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.21を参照してください。

④接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA N905iμ」を選択します。
発信者番号の通知については「設定しない」または「186を付加する」を選択してください。

⑤ユーザID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

Windows Vistaの場合

ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.22

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。
- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA N905iμ）
- 電話番号
- ダイヤルアップ時の発信者番号の通知について

入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

プロバイダ情報を元に正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字等に注意し、半角文字で正確に入力してください。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

5 ユーザID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザID・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

Windows Vistaの場合

ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.22

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows Vistaの場合

「 」→「接続先」の順に開き、接続先を選択して「接続」をクリックする

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

mopera Uまたはmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄のままでも接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックしてください。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し、「OK」をクリックする

設定状況やOSの種類によっては、右の画面が表示されない場合があります。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてある場合や、Windows Vistaの場合は、この画面は表示されません。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

Windows Vistaの場合

「 」→「接続先」の順に開く
接続しているダイヤルアップを選択します。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N905iμ」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.3）を満たしているかを確認してください。 ・ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード設定（P.5）が「通信モード」になっているか確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

通信設定最適化

「通信設定最適化」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。Windows XPまたはWindows 2000でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

● 海外でパソコン接続を行う場合は、あらかじめ通信設定最適化を解除してください。

最適化の設定と解除

ここではWindows XPを例にして設定と解除を説明します。

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
「FOMA PC設定ソフト」起動後、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「通信設定最適化」アイコンをクリックし、プログラムを起動する

左クリック

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合
「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択し、「最適化を行う」をクリックする
「HIGH-SPEED対応端末の確認」画面が表示されます。「はい」をクリックすると、システム設定の最適化が実行されます。

(2) システム設定が最適化されている場合
FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

● お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2 または4 ～10に接続先（APN）を設定します。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  cid1とcid3に登録されている接続先は削除できません（cid3を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能
「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。FOMA端末への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「ユーザID・パスワードの設定」をクリックしてください。ユーザIDとパスワードを入力し、画面に従って設定してください。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

おしらせ

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- パソコンで作成したダイヤルアップの設定を継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.34）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA N905iμ」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.30）で使用します。

● 準備

1. **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を接続する**
2. **FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンに接続する**

● Windows VistaでCOMポートを確認する場合

1. **「 」→「コントロールパネル」を開く**
2. **「コントロールパネル内の「ハードウェアとサウンド」→「電話とモデムのオプション」を開く**
3. **「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする**

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N905iμ」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.30）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N905iμ」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.30）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

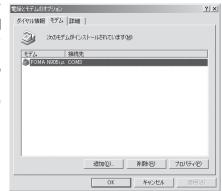
1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

❹「モデム」タブをクリックして「FOMA N905iμ」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.30）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net　cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先について＜APN/cid＞

- パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。※1
- APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊＜cid番号＞#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		―	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○(FOMA PC設定ソフトなどを使用)	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		―	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。

※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2番または4～10番に登録してください。

＜例：Windows XPの場合＞

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N905iμ」を選択し、「OK」をクリックする

接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA N905iμ」のCOMポートを選択できる場合
COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N905iμ」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」（P.27）を参照して確認してください。

「FOMA N905iμ」のCOMポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1)「ファイル」→「プロパティ」を選択

(2)「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N905iμ」を選択

(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す

(4)「OK」をクリックする

7 接続先(APN)を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"PDP_type","APN"の形式で入力する

<cid>:2、4〜10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

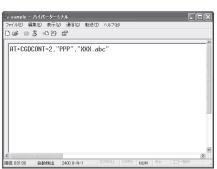
"PDP_type":"PPP"または"IP"と入力します。

"APN":接続先(APN)を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先(APN)の設定は完了です。

例:cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

↵と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「"sample"と名前付けされた接続を保存しますか?」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

● P.32の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1 ↵と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

● ATコマンドで接続先(APN)設定をリセットする場合

・リセットを行った場合、cid=1の接続先(APN)設定が「mopera.ne.jp」(初期値)に、cid=3の接続先(APN)設定が「mopera.net」(初期値)に戻り、cid=2、4〜10の設定は未登録となります。

<入力方法>

AT+CGDCONT= ↵(すべてのcidをリセットする場合)

AT+CGDCONT=〈cid〉↵(特定のcidのみリセットする場合)

● ATコマンドで接続先(APN)設定を確認する場合

・現在の設定内容を表示させます。

<入力方法>

AT+CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.46）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows Vistaでダイヤルアップの設定を行う

1 「　」→「接続先」を開く

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA N905iμ モデム」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

6 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

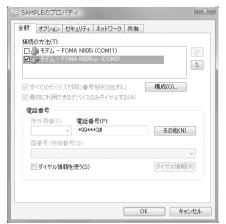
7 「接続をセットアップします」をクリックする

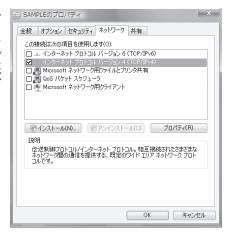
8 「閉じる」をクリックする

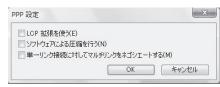
9 「　」→「接続先」を開く

10 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

⑪「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N905iμ」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合はチェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

⑫「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」のみにチェックを付けます。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」にチェックを付けます。

⑬「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

⑭すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

⑮「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2. 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

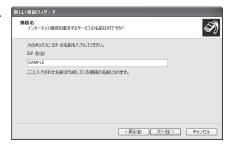
3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4. 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6. 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N905iμ(COMx)」のみを選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx)は、「COMポートを確認する」(P.27)で表示されるCOM ポートの番号です。

7. 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA N905iμ」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

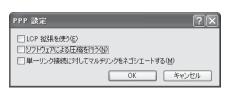
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

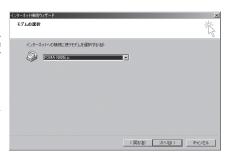
9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N905iμ」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

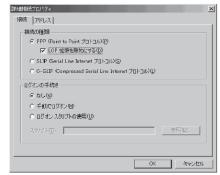
「FOMA N905iμ」になっていない場合は、「FOMA N905iμ」を選択する

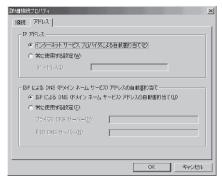
「FOMA N905iμ」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

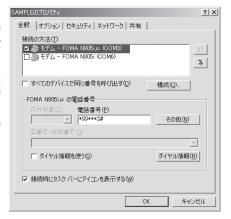
16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17 「完了」をクリックする

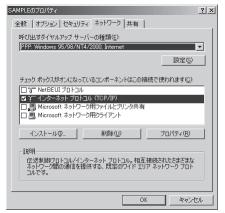
18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

19 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA N905iμ」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

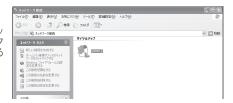
<例：Windows XPの場合>

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.5

2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

3 接続先を開く

P.37の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.27）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.34）を再度確認してください。
通信状態については、P.23を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

Windows Vistaの場合

「 」→「接続先」の順に開く
接続しているダイヤルアップを選択します。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

- ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
  [＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
  [＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。
- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、A／デュアルモードのときはAナンバーで、Bモードのときは Bナンバーで発信します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N905iμ（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*＝0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*＝1：着信拒否設定を有効にする *n*＝2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*＝1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.33）。	*n*＝0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*＝1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*＝2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	－	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA 端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1～100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.57）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.54	P.54
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.54	P.54
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.55	P.55
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG：<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0：リザルトを出さない（初期値） *n*=1：リザルトを出す AT+CLIP? ：現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時に相手に番号を通知する NW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1 設定時に着信) RING +CLIP: "090XXXXXXXX",177,"123",136

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0：CLIRサービスの契約に従う *n*=1：通話相手に番号発信しない *n*=2：通話相手に番号発信する(初期値) AT+CLIR? ：現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0：CLIRは起動していない（常時通知） *m*=1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*=2：不明 *m*=3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIRテンポラリーモード(通知デフォルト)	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0：ERRORリザルトを用いる(初期値) *n*=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type：129または145 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下の通り。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),(3,,,"44F002"),,(0,1),(2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ：AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態 (PIN1ロック解除コード入力可) +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態 (PIN2ロック解除コード入力可) 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しない（初期値） *n*=1：表示する <serv>：パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する （回線種別により“SYNC”,“AV64K”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：+CRINGを使用しない（初期値） *n*=1：+CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS “PPP”,,,“<APN>” AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING：GPRS “PPP”,,,” 〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<*n*>,"<str>"[,0] *n*=0：中間リザルト <*m*>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1：中間リザルト <*m*>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0, "xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0：データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名（NEC）を表示します。	−	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N905iμ）を表示します。	−	AT+GMM FOMA N905imyu OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m*：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m* =2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2) ,(0,1,2) OK
AT+WS46	FOMA端末の無線通信モードを表示します。	12：GSM/GPRS固定モード 22：IMT固定モード 25：Autoモード	AT+WS46? 25 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥Vn [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	n=0： 拡張リザルトコードを使用しない（初期値） n=1： 拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 ～ 10：＋ CGDCONT 設定した APNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：64K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV64K通信	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT ＜64K通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV64K通信＞ AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATEn [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0 ：エコーバックなし n=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	n=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATIn	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示する n=1： 製品名を表示する（+GMMと同じ） n=2： FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） n=3： ACMP信号の各要素を表示する n=4： FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N905imyu OK
ATOn	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0： オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） n=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=n [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0 ：自動着信しない（初期値） n=1-255： 指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43　：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2?　：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13　：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3?　：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10　：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4?　：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8　：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5?　：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：¥（¥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	—	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	—	(オンラインデータモード) +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※1：1～10
<PDP_type>※2：PPPまたはIP
<APN>※3：任意
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<PDP_type>は、接続方式です。FOMA端末はPPPまたはIPを指定できます。<cid>=1にはPPPが、<cid>=3にはIPが初期値として登録されています。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※1　：1～10
<Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または384
<Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または3,648
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および3,648を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。

(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2) 上り384kbps/下り3,648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384,3648
OK

(3) 上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,384
OK

(4) 上りすべての速度/下り3,648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,3648
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**

+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**

<cid>※：1～10

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。
<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。

・**パラメータを省略した場合の動作**

+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り384kbps/下り3,648kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.30）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］がついているコマンドについては、設定後に

AT&W ↲

と入力することにより保存できます。このとき、［&W］がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、

ATZ ↲

と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。
133	CONNECT 3648000	FOMA端末－基地局間速度3,648,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.53）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.51）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞ / ＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞ / ＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大384kbps、受信最大3,648kbpsで接続したことを表します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/3648

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

FOMA® N905iμ
区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ~の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	苑	苜	苿	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			